

令和 6 年度
学生生活実態調査
報 告 書

令和 7 年 3 月
大 阪 体 育 大 学

は じ め に

この調査は、授業・学習の状況、食事状況、アルバイトの状況など学生生活の現状及び大学への意見・要望などを幅広く把握する目的で全学部学生を対象に実施しました。

2024 年度の調査は、WEB にて行い、全学生の 6 割を超える学生からの調査回答を得ることができました。この調査結果では、前回調査結果との比較を行いながらまとめています。この報告書を参考に、関係の方々には学生の現状を確認し、今後の学生への指導、対応に役立てていただければ幸いです。

大学においても、学生がより有意義な学生生活を過ごせるよう、大学として取り組むべき課題解決方策実現に向けての基礎的資料として活用したいと思います。

最後に、調査実施に協力してもらった学生諸君及び報告書作成にご尽力いただいた学生委員会の先生方、その他調査にご協力いただいた関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

令和 7 年 3 月

大阪体育大学 学生委員会

委員長 高本 恵美

副委員長 竹内 亮

- 目 次 -

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査設計	2
4. 回収状況	2
5. 報告書の見方	2

II 調査結果

1. 基本項目	3
2. 住居と暮らしについて	5
3. 授業・学習について	16
4. 課外活動等について	41
5. 健康等について	46
6. 不安や悩みについて	55
7. マナー等について	59
8. 進路と就職について	64
9. ボランティア活動について	81
10. 大学施設等について	90
11. 大学への意見・要望	108

III 令和6年度 全国学生調査(第4回試行実施)

調査結果	110
------	-----

IV 資料編

調査票	143
-----	-----

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、大阪体育大学に在籍する学生を対象として、生活状況や学業などについて意見を聞き、学生生活を送る上でよりよいキャンパスづくりに役立てるとともに、今後の学生を対象とした施設や制度のあり方を検討する際の参考とすることを目的としている。

2. 調査項目

調査項目	質問項目
1. 基本項目	◆ F1. ① 所属学部・学科 ② 年次 ③ 性別 ④ 入学方法 ⑤ 課外活動 ⑥ 居住形態
2. 住居と暮らしについて	◆ 問 1. 家賃等 ◆ 問 2. 大学への通学方法 ◆ 問 3. 通学時間 ◆ 問 4. 通学中の事故の経験 ◆ 問 4-1. 事故の内容 ◆ 問 5. 一ヶ月平均の生活費 ◆ 問 6. 家族からもらう生活費等の一ヶ月の平均金額 ◆ 問 7. 経済状況 ◆ 問 8. アルバイトの週平均労働時間数 ◆ 問 8-1. 主なアルバイトの時間帯 ◆ 問 9. アルバイトの月平均収入 ◆ 問 10. アルバイトをする理由 ◆ 問 11. アルバイトが理由での授業の欠席経験
3. 授業・学習について	◆ 問 12. カリキュラム・時間割について ◆ 問 13. 授業の出席状況 ◆ 問 14. 授業内容の理解度 ◆ 問 14-1. 理解困難な理由 ◆ 問 15. 考えや課題を発表する授業 ◆ 問 16. 教員に質問や意見を述べたこと ◆ 問 17. 学生同士が講義する授業 ◆ 問 18. 定期的な小テストやレポート ◆ 問 19. 自習時間について ◆ 問 20. 授業とは関係ない勉強時間 ◆ 問 21. 授業時間外に授業内容について話し合ったり一緒に勉強したこと ◆ 問 22. 教職員に学修に関する相談 ◆ 問 23. 授業や課題のために図書館で資料・文献を調べたこと ◆ 問 24. 授業や課題のためにインターネットで資料・文献を調べたこと ◆ 問 25. オンライン授業の満足度 ◆ 問 26. 増やしてほしい授業形態 ◆ 問 27. ラーニングコモンズの利用状況 ◆ 問 28. 大阪体育大学のポータルサイトの認知度 ◆ 問 29. Gmail の利用状況 ◆ 問 30. Campus-Xs (旧 Campusmate) の認知度 ◆ 問 31. 大学の情報を見るための利用媒体
4. 課外活動等について	◆ 問 32. 学内の課外活動の参加状況 ◆ 問 32-1. 課外活動の活動時間 ◆ 問 32-2. 課外活動の不参加理由 ◆ 問 33. 大学祭(雨山祭)の参加状況 ◆ 問 33-1. 大学祭(雨山祭)の不参加理由
5. 健康等について	◆ 問 34. 朝食の摂食状況 ◆ 問 34-1. 朝食の摂食場所 ◆ 問 35. 三食の栄養摂取状況 ◆ 問 36. 食生活について ◆ 問 36-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由 ◆ 問 37. 100 円朝食の利用状況 ◆ 問 37-1. 100 円朝食について感じたこと ◆ 問 38. 大学で仲良くしている友人と知り合ったきっかけ
6. 不安や悩みについて	◆ 問 39. 悩みや課題の有無 ◆ 問 40. 悩みや課題の具体的内容 ◆ 問 41. 悩みの相談相手 ◆ 問 42. 学生相談室・スポーツカウンセリングルームについて
7. マナー等について	◆ 問 43. マナーアップキャンペーンについて ◆ 問 44. 学生のマナーが悪いと思うもの ◆ 問 45. 学内での被害の経験
8. 進路と就職について	◆ 問 46. 将来の希望職種 ◆ 問 47. 進路を考える上での情報入手手段 ◆ 問 48. 卒業後の進路に向けた準備開始時期 ◆ 問 49. キャリア支援センターの利用状況 ◆ 問 49-1. キャリア支援センターの利用方法 ◆ 問 49-2. キャリア支援センターを利用していない理由 ◆ 問 50. 教職支援センターの利用状況 ◆ 問 50-1. 教職支援センターの利用方法 ◆ 問 50-2. 教職支援センターを利用していない理由

◆◇ I 調査の概要 ◇◆

調査項目	質問項目
9. ボランティア活動について	◆問 51. ボランティア活動の経験 ◆問 51-1. ボランティア活動に参加した理由 ◆問 51-2. ボランティア活動の経験がない理由 ◆問 52. ボランティア活動への興味・関心 ◆問 52-1. 参加を希望するボランティア活動内容 ◆問 53. ボランティア活動に関する大学での取り扱い
10. 大学施設等について	◆問 54. 大学内で空き時間に利用（滞在）する施設 ◆問 55. 図書館の利用状況 ◆問 55-1. 新聞の閲覧について ◆問 55-2. 読書について ◆問 56. トレーニングルーム（S&C）・ATルームの利用状況 ◆問 56-1. トレーニングルーム（S&C）・ATルームの利用時間 ◆問 57. 大学内で昼食時に利用する施設 ◆問 58. 食堂の利用頻度 ◆問 58-1. 食堂を利用していない理由 ◆問 59. 食堂の混雑状況 ◆問 60. 食堂の利用時間や営業時間について ◆問 61. 普段 1 回の昼食代 ◆問 62. 食べたいメニュー（新メニュー）について ◆問 63. 食堂の改善点や要望・感想（自由記述）等 ◆問 64. 大学事務局の窓口の対応 ◆問 65. 大阪体育大学の学生生活の満足度
11. 大学への意見・要望	

3. 調査設計

調査対象	学部学生全員
調査方法	WEB 調査
調査期間	令和 6 年 11 月 30 日～令和 7 年 2 月 9 日

4. 回収状況

学部・研究科	対象学生数	有効回収数	有効回収率
体育学部 / スポーツ教育学科	959	608	63.4%
体育学部 / 健康・スポーツマネジメント学科	593	385	64.9%
スポーツ科学部 / スポーツ科学科	560	395	70.5%
教育学部 / 教育学科	568	433	76.2%
合 計	2,680	1,821	67.9%

5. 報告書の見方

（１）図中の N（Number of case）は、設問に対する回答者数のことである。

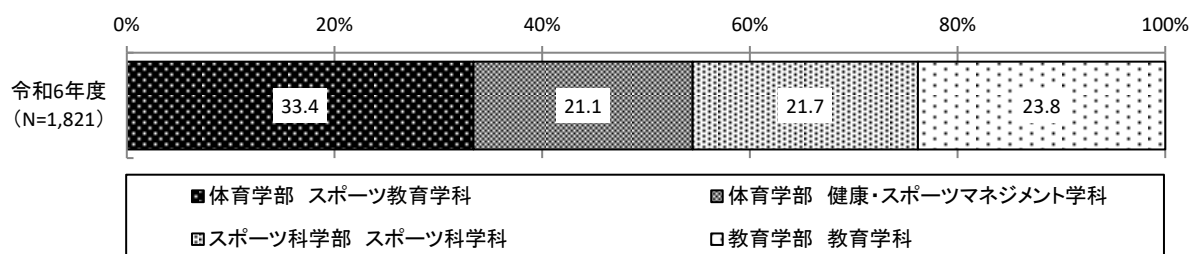
（２）回答比率（％）は回答者数（N）を 100％として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の回答者に複数の回答を求める設問では、回答比率（％）の計は 100.0％を超える。

Ⅱ 調査結果

1. 基本項目

■①所属学部・学科

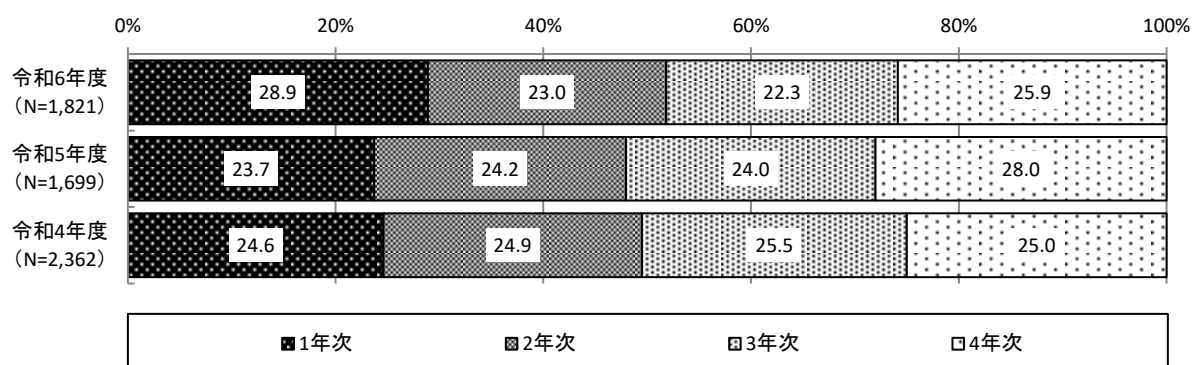
【図 F-1 所属学部・学科】



※選択肢が変更になったため、令和6年度のみ掲載

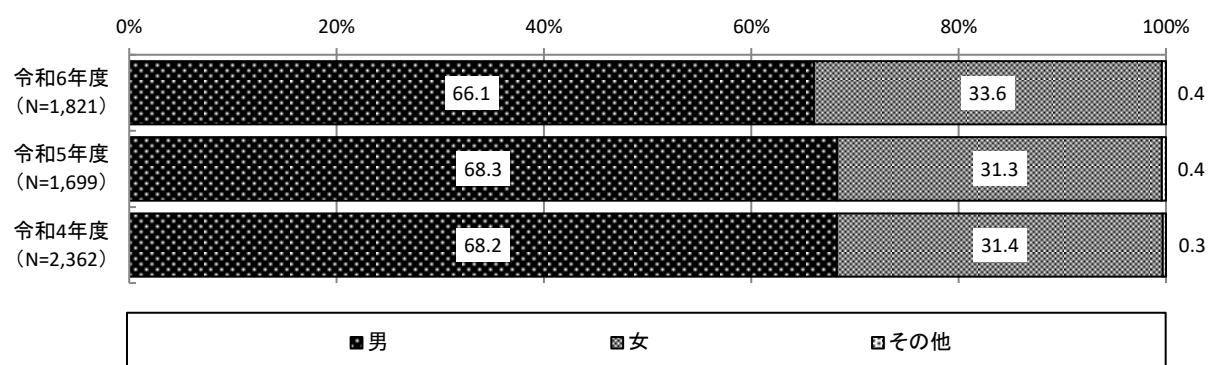
■②年次

【図 F-2 年次】

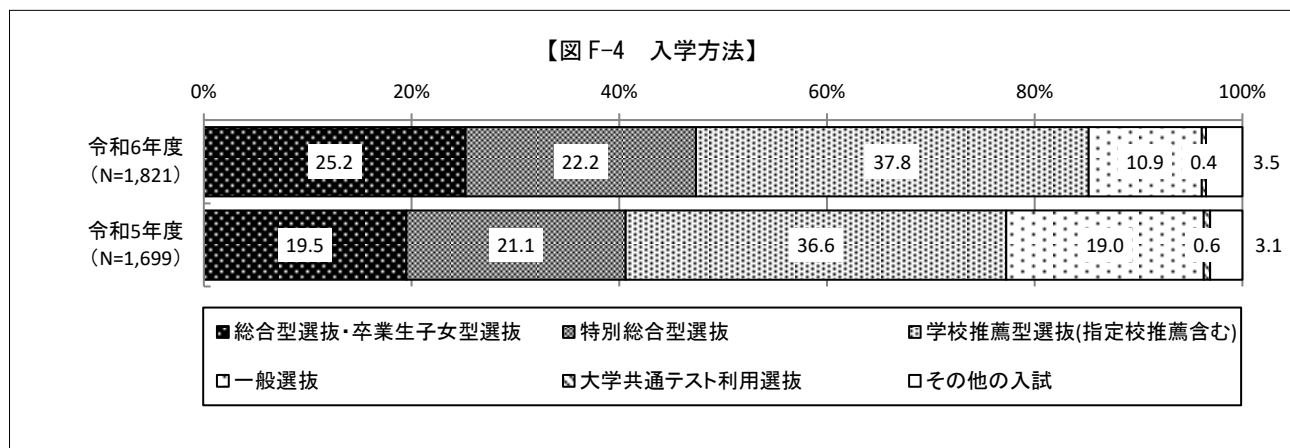


■③性別

【図 F-3 性別】

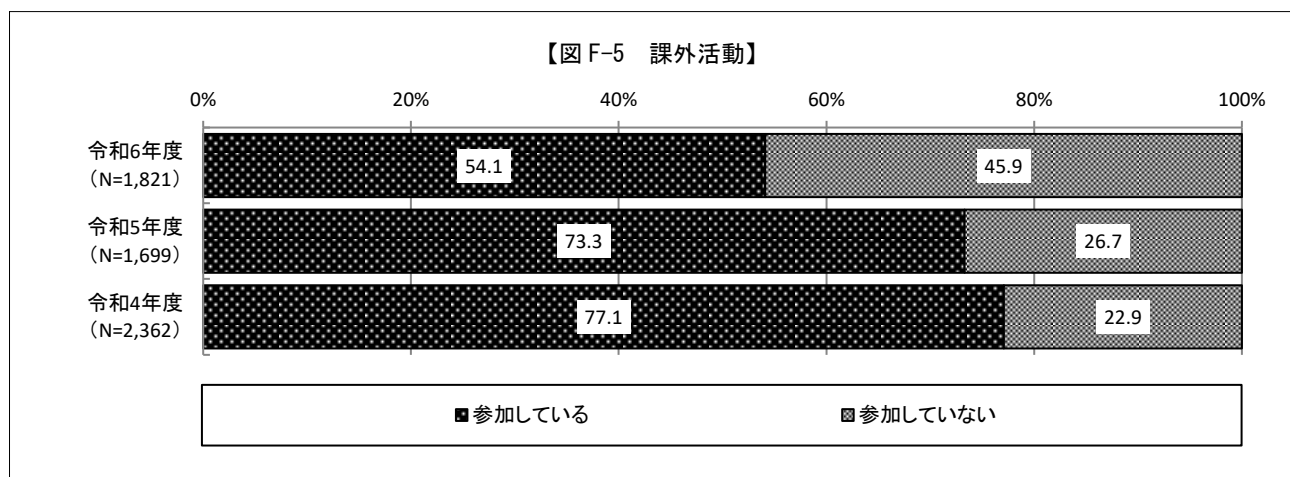


■④入学方法

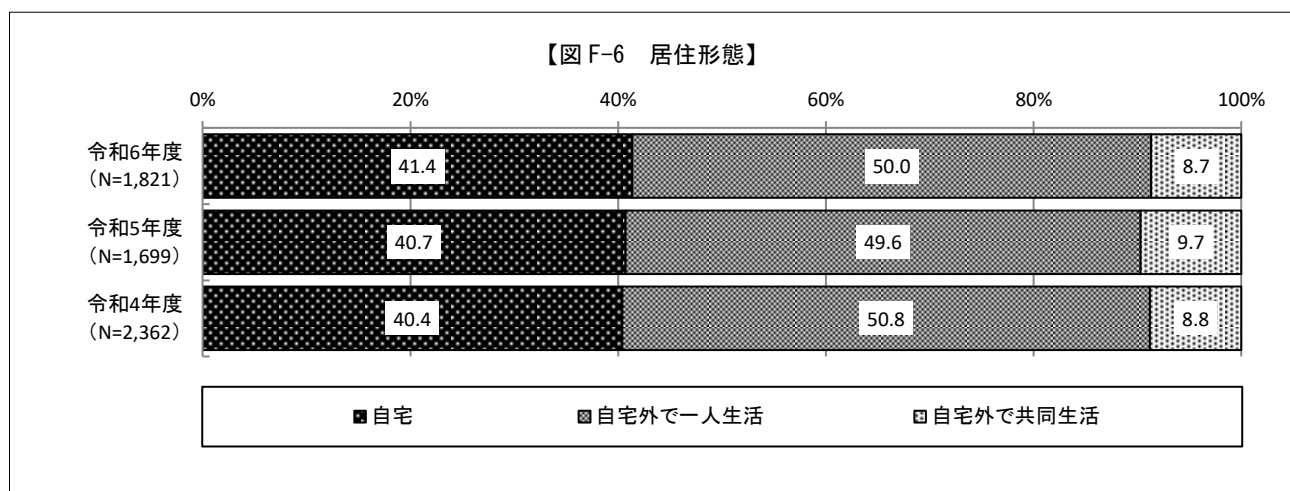


※選択肢が変更になったため、令和5・6年度のみ掲載

■⑤課外活動



■⑥居住形態



2. 住居と暮らしについて

【結果概要(問 1)】

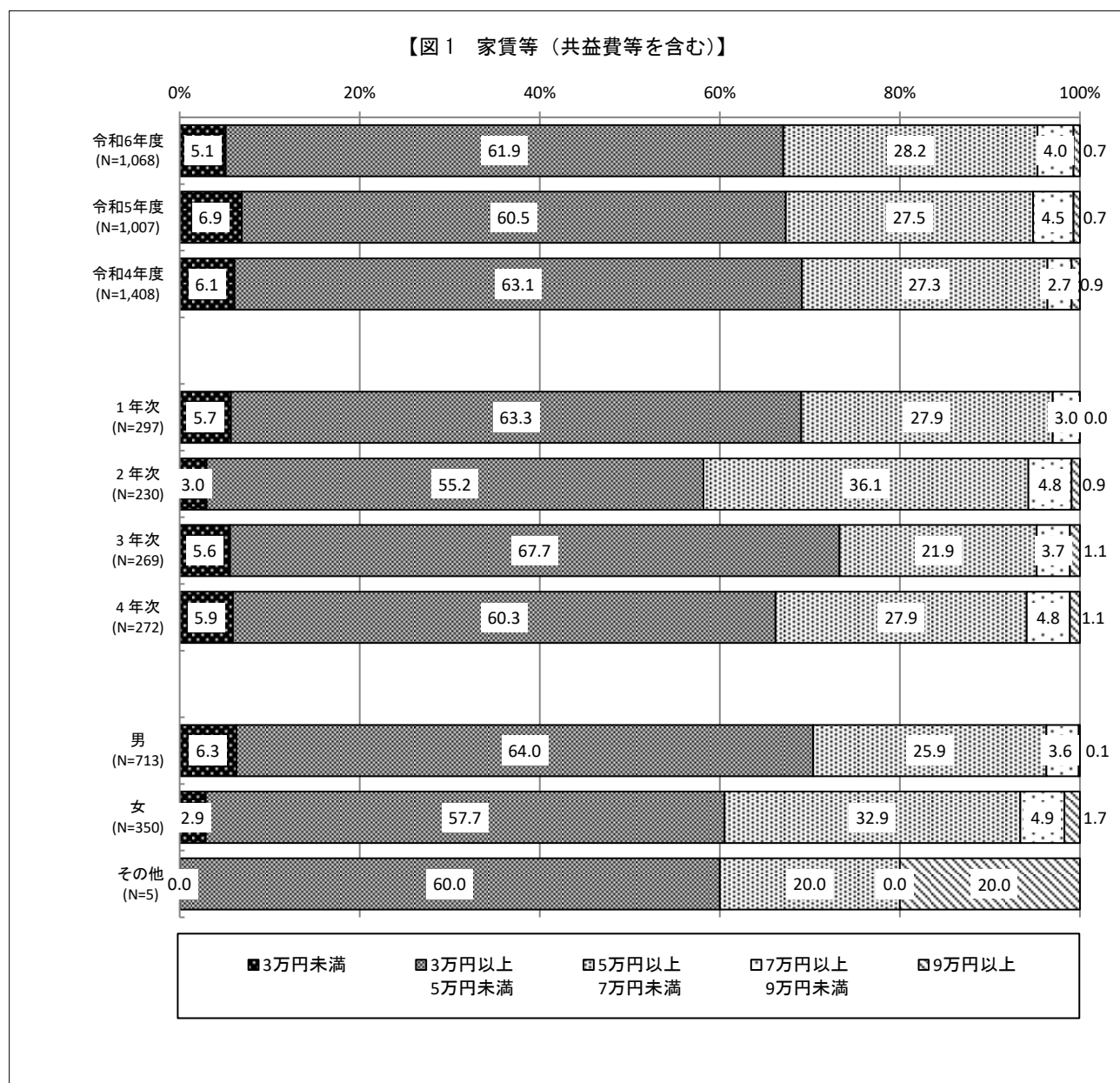
問 1. 自宅外で居住の場合の家賃等（共益費等を含む）は、「3 万円以上 5 万円未満」が 61.9%と最も多く、「3 万円未満」(5.1%) と合わせると「5 万円未満」は 67.0%となっている。

令和 6 年度、令和 5 年度、令和 4 年度（以後、「今回調査」、「前回調査」、「前々回調査」とする）で比べると、今回調査では「3 万円以上 5 万円未満」が増加し、「3 万円未満」が減少している。

年次別でみると、2 年次では「5 万円以上 7 万円未満」が 36.1%と他年次と比べると多くなっている。

性別でみると、「5 万円未満」では男子学生は 70.3%、女子学生は 60.6%と男子学生の方が 9.7 ポイント多くなっている。＜図 1＞

■問 1. 家賃等（共益費等を含む）（過年度調査・年次別・性別）

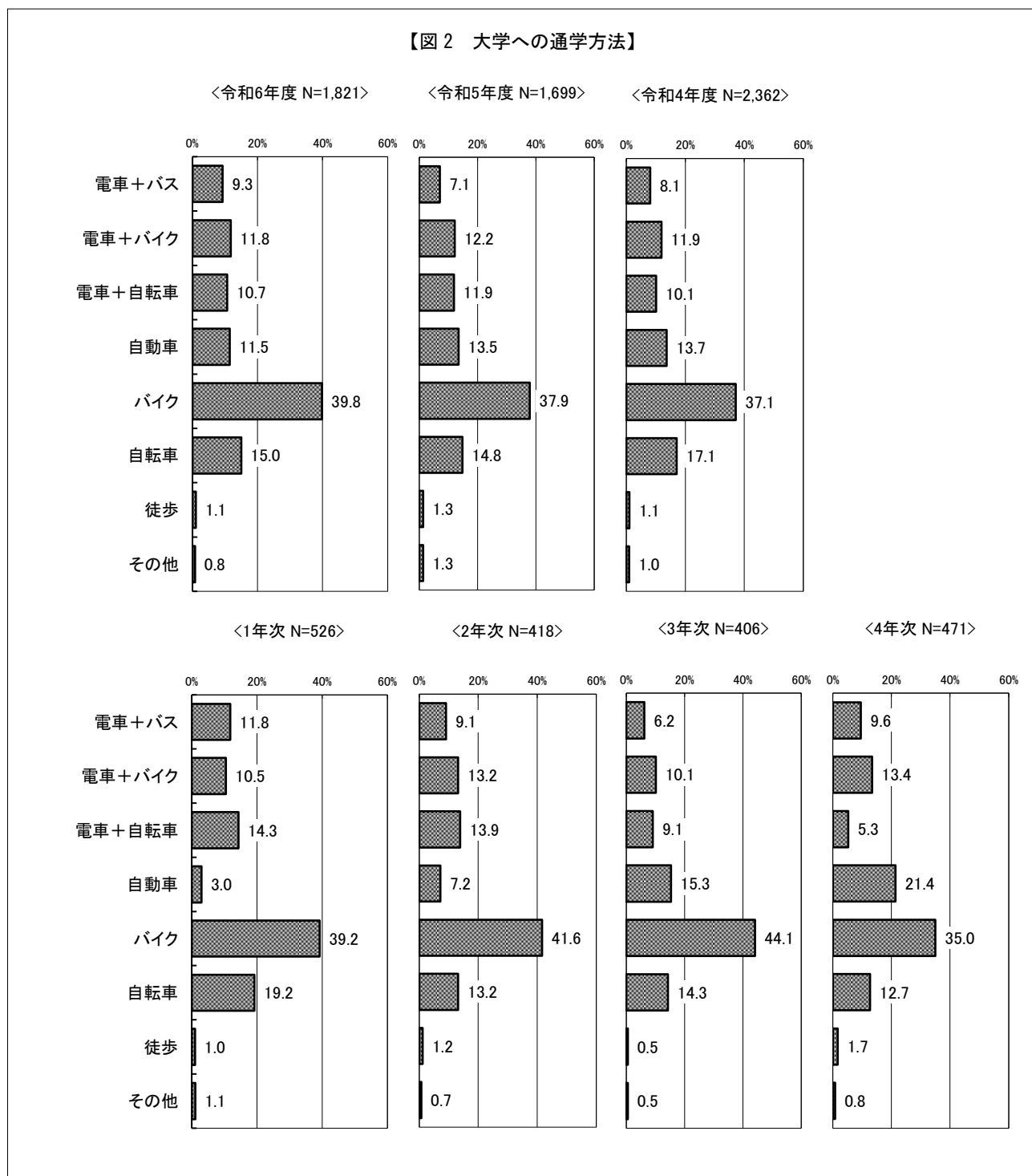


【結果概要(問2)】

問2. 大学への通学方法としては「バイク」が39.8%で最も多く、次に「自転車」「電車+バイク」「自動車」「電車+自転車」がそれぞれ15.0%、11.8%、11.5%、10.7%となっている。

年次別でみると、「自動車」は年次が上がるほど多くなり、1年次の3.0%に対して4年次では21.4%となっている。一方、「電車+自転車」は年次が上がるほど少なくなっている。＜図2＞

■問2. 大学への通学方法（過年度調査・年次別）



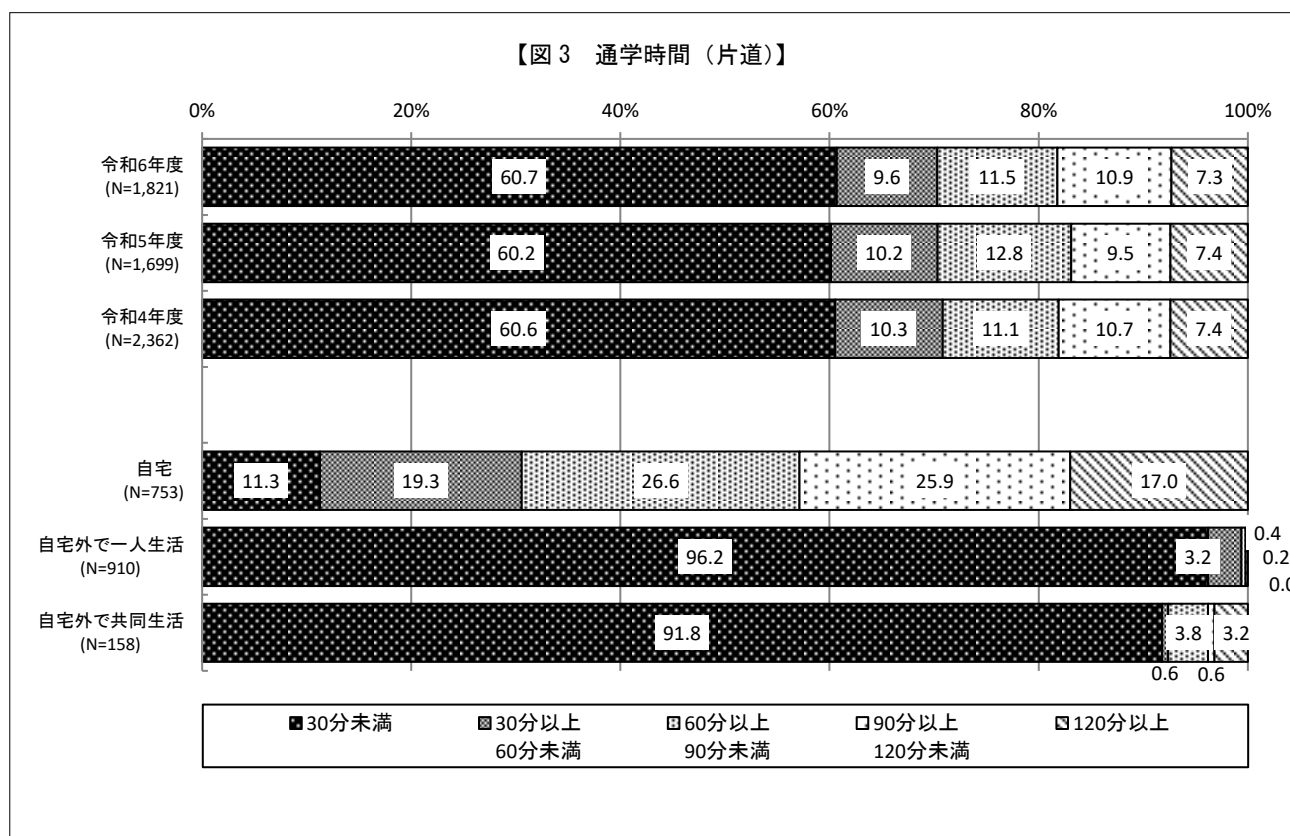
【結果概要(問3)】

問3. 通学時間は、「30分未満」が60.7%と6割を占めている。

年度別でみると、「30分未満」と「30分以上60分未満」を合わせた「60分未満」は今回調査が70.3%、前回調査が70.4%で0.1ポイント減少し、「90分以上120分未満」が前回調査と比べて1.4ポイント増加している。

通学時間を居住形態別にみると、「自宅」からの学生は「60分以上90分未満」が26.6%と最も多いが、「自宅外」の学生は9割以上が「30分未満」と大学の近い場所に居住しており、「自宅外で一人生活」の学生は96.2%にのぼっている。＜図3＞

■ 問3. 通学時間（片道）（過年度調査・居住形態別）

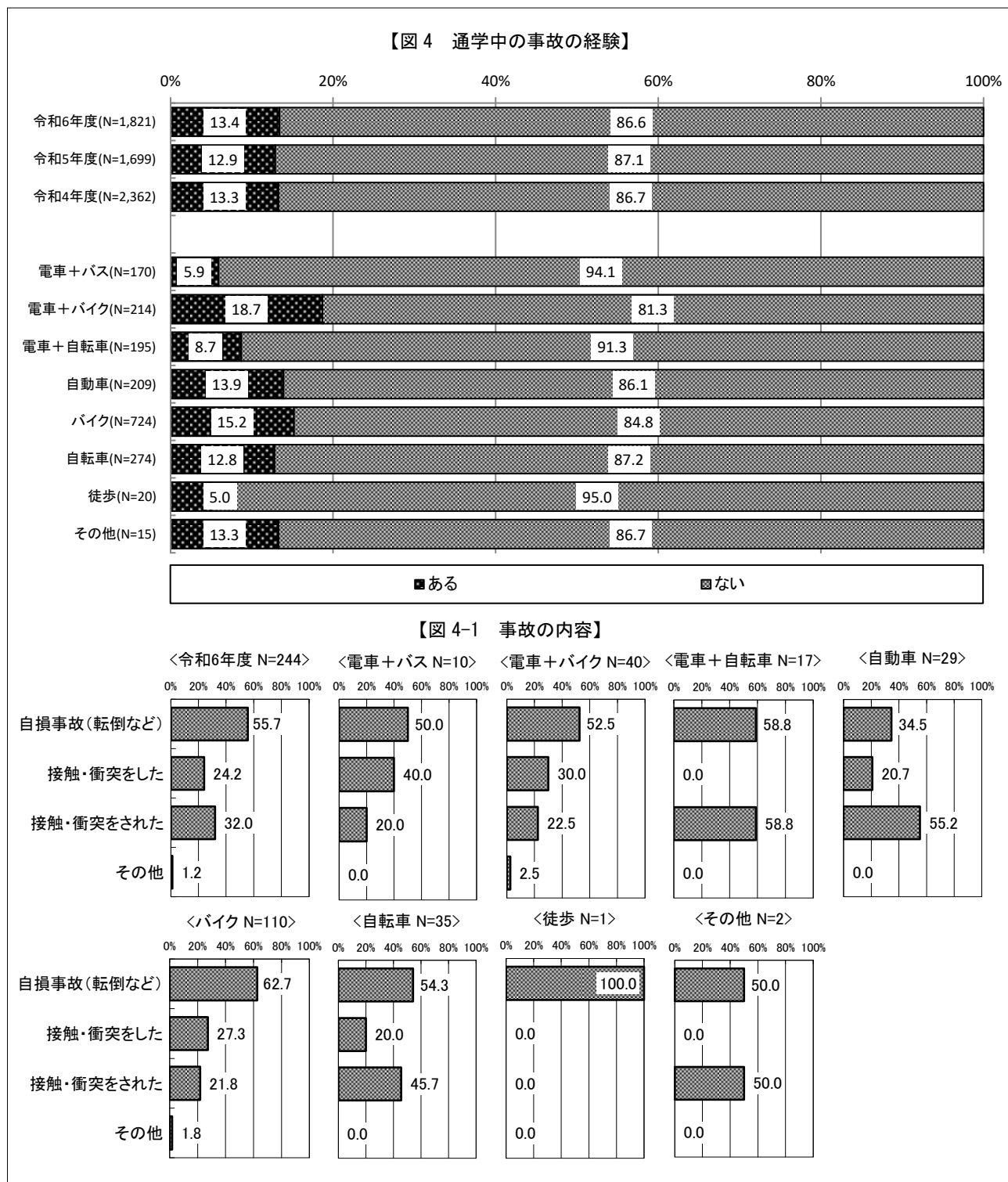


【結果概要(問 4・問 4-1)】

問 4. 通学中の事故の経験の有無としては、「ある」が 13.4%となっており、前回調査の 12.9%と比べると 0.5 ポイント増加している。＜図 4＞

問 4-1. 通学中の事故の内容としては、「自損事故（転倒など）」が 55.7%と最も多く、次に「接触・衝突をされた」が 32.0%、「接触・衝突をした」が 24.2%となっている。＜図 4-1＞

■問 4・問 4-1. 通学中の事故の経験と内容（過年度調査・通学方法別）



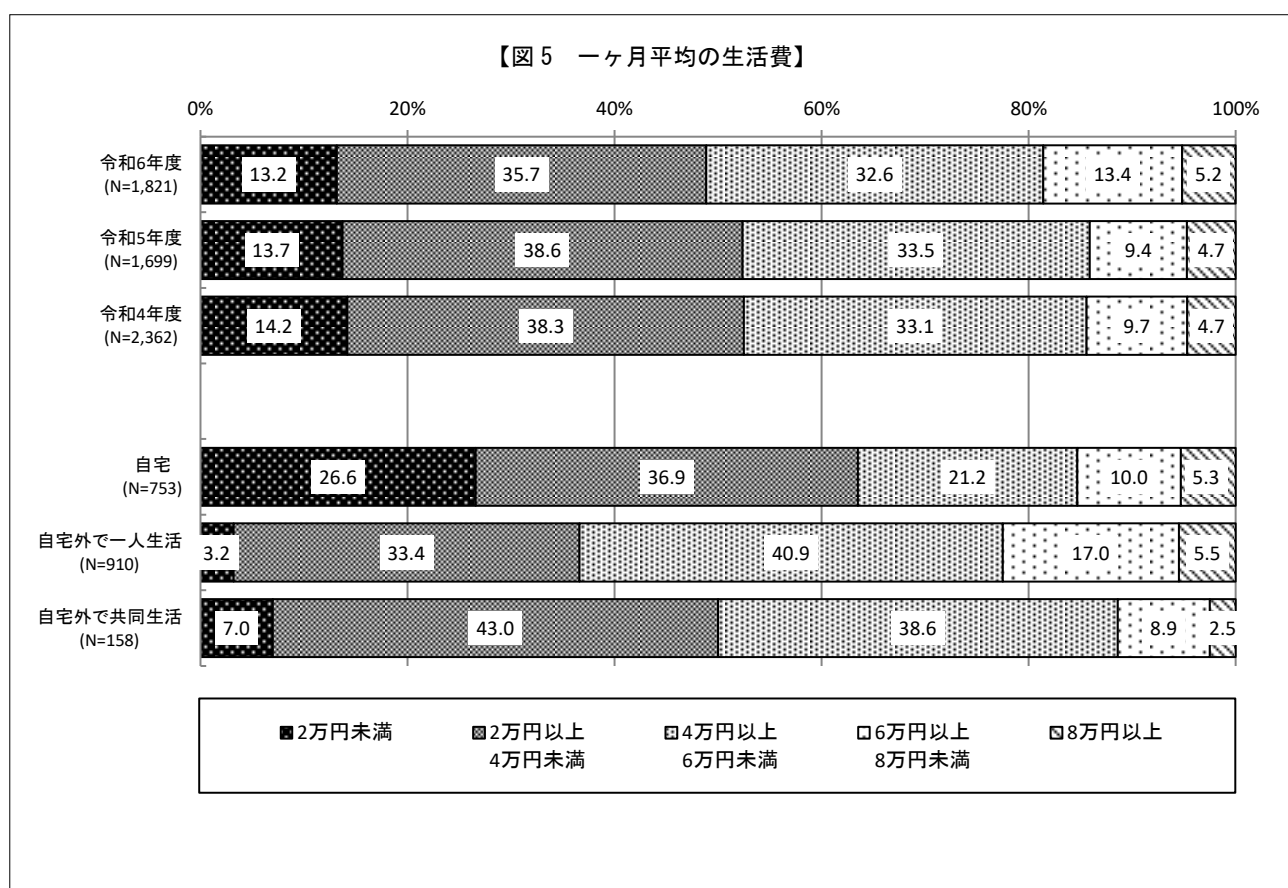
【結果概要(問5)】

問5. 一ヶ月平均の生活費は「2万円以上4万円未満」が35.7%で最も多く、「4万円以上6万円未満」が32.6%、「6万円以上8万円未満」が13.4%と続き、全体で81.5%の学生が「6万円未満」となっている。

年度別でみると、「6万円以上8万円未満」と「8万円以上」を合わせた「6万円以上」は今回調査では18.6%で、前回調査の14.1%と比べて4.5ポイント増加、「6万円未満」は今回調査では81.5%で、前回調査の85.8%と比べて4.3ポイント減少している。

居住形態別でみると、「自宅」から通学している学生は「4万円以上6万円未満」が21.2%、であるのに対し、「自宅外で一人生活」と「自宅外で共同生活」ではそれぞれ40.9%、38.6%と多くなっている。＜図5＞

■問5. 一ヶ月平均の生活費（過年度調査・居住形態別）



【結果概要(問 6)】

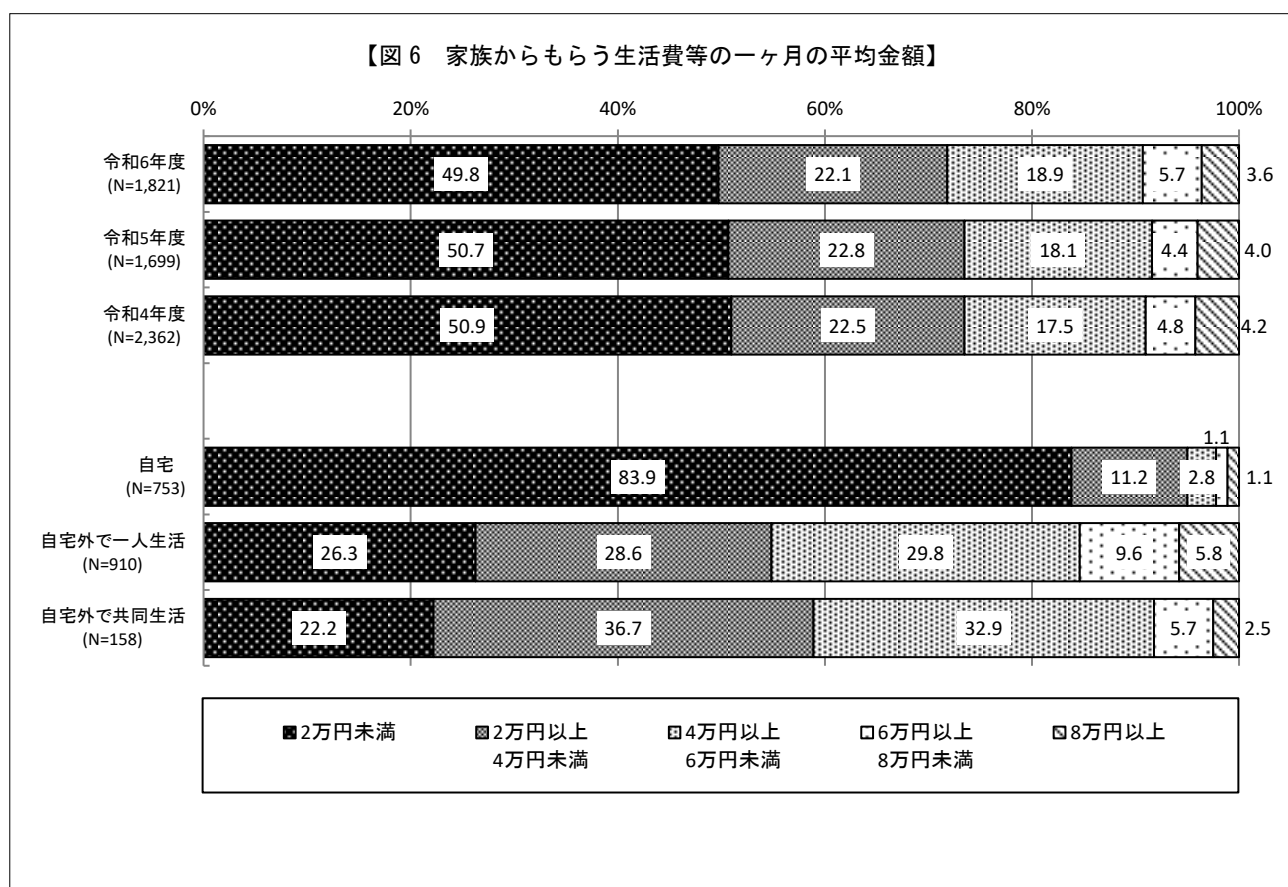
問 6. 家族からもらう生活費等の一ヶ月の平均金額は「2 万円未満」が 49.8%と最も多く、次に「2 万円以上 4 万円未満」が 22.1%、「4 万円以上 6 万円未満」が 18.9%となっている。

年度別でみると、「2 万円未満」が今回調査では 49.8%と、前回調査の 50.7%よりやや減少している。

居住形態別でみると、「自宅外で一人生活」と「自宅外で共同生活」では、「2 万円未満」がそれぞれ 26.3%、22.2%に対し、「自宅」から通学している学生では 83.9%と 8 割を超えている。

<図 6>

■問 6. 家族からもらう生活費等の一ヶ月の平均金額（過年度調査・居住形態別）



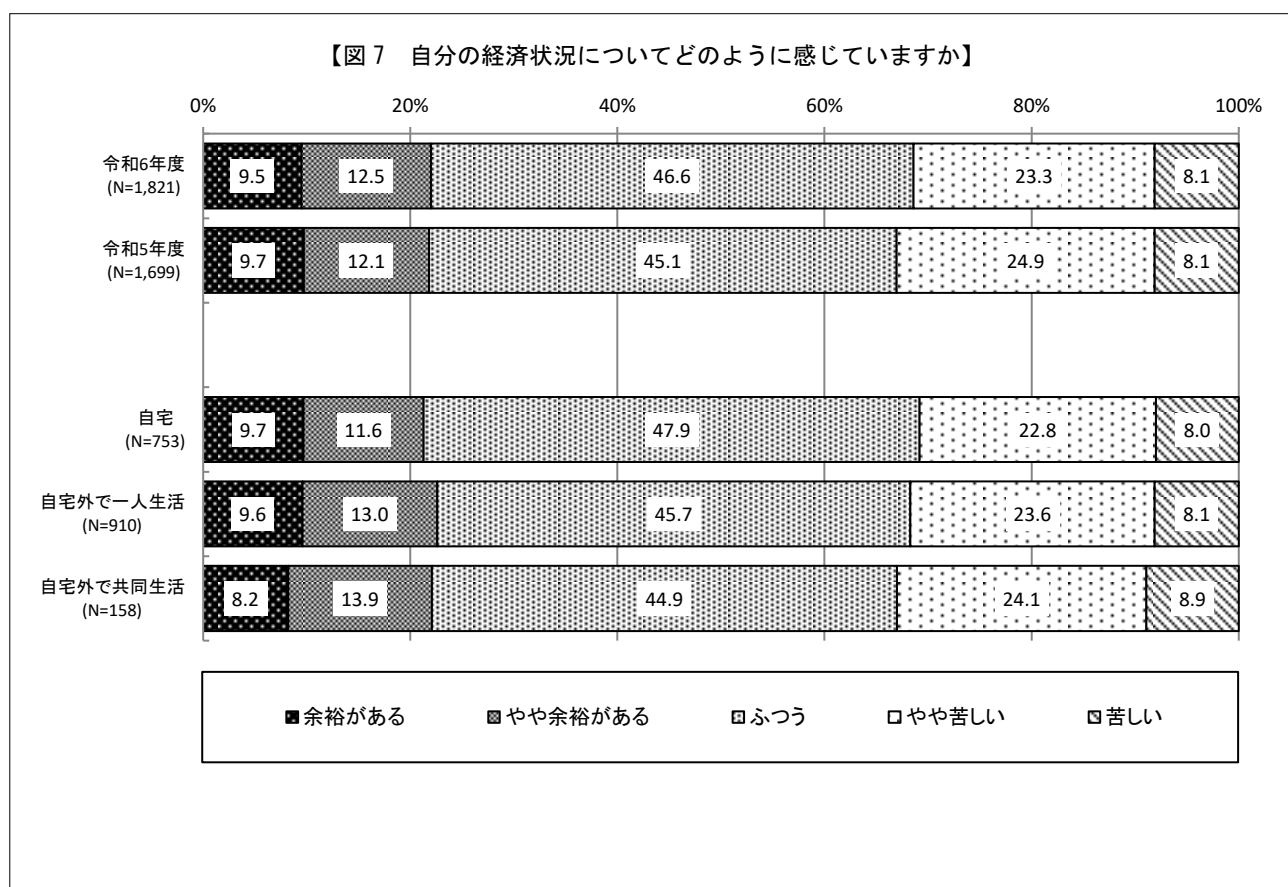
【結果概要(問 7)】

問 7. 自身の経済状況としては、「ふつう」が 46.6%と最も多く、「やや苦しい」が 23.3%、「やや余裕がある」が 12.5%と続いている。

年度別でみると、「やや苦しい」が今回調査では 23.3%と、前回調査の 24.9%より 1.6 ポイント減少している。

居住形態別でみると、どの居住形態でも「ふつう」が最も多く、「自宅」から通学している学生では 47.9%、「自宅外で一人生活」では、45.7%、「自宅外で共同生活」では 44.9%といずれも 4 割を超えている。＜図 7＞

■ 問 7. 自分の経済状況についてどのように感じていますか（過年度調査・居住形態別）



【結果概要(問 8・8-1)】

問 8. アルバイトの状況としては、「している」が 76.6%と全体の 7 割以上を占めている。
「週平均労働時間数」は、「10 時間以上 20 時間未満」が 40.0%と最も多くなっている。

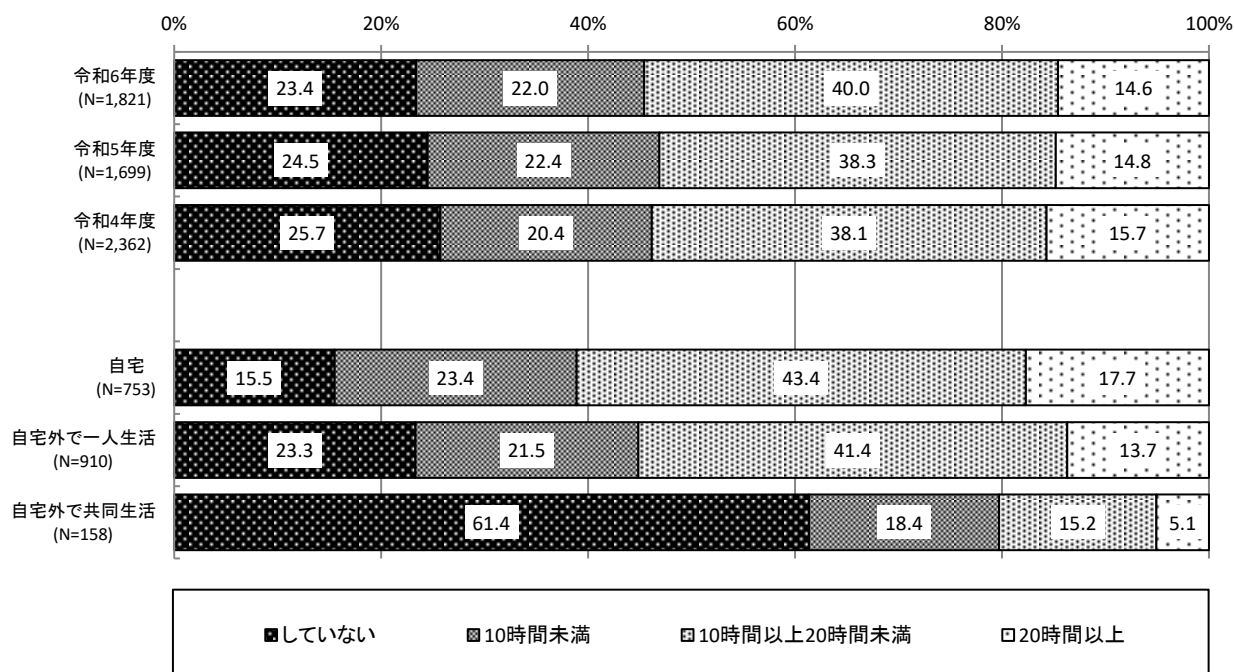
居住形態別でみると、「自宅外で共同生活」では「していない」が 61.4%と他と比べて多くなっている。＜図 8＞

問 8-1. 主なアルバイトをしている時間帯としては「夕方～夜」が 68.7%と最も多く、次に「深夜から早朝」が 13.8%、「昼間」が 9.0%、「午前中」が 5.2%となっている。＜図 8-1＞

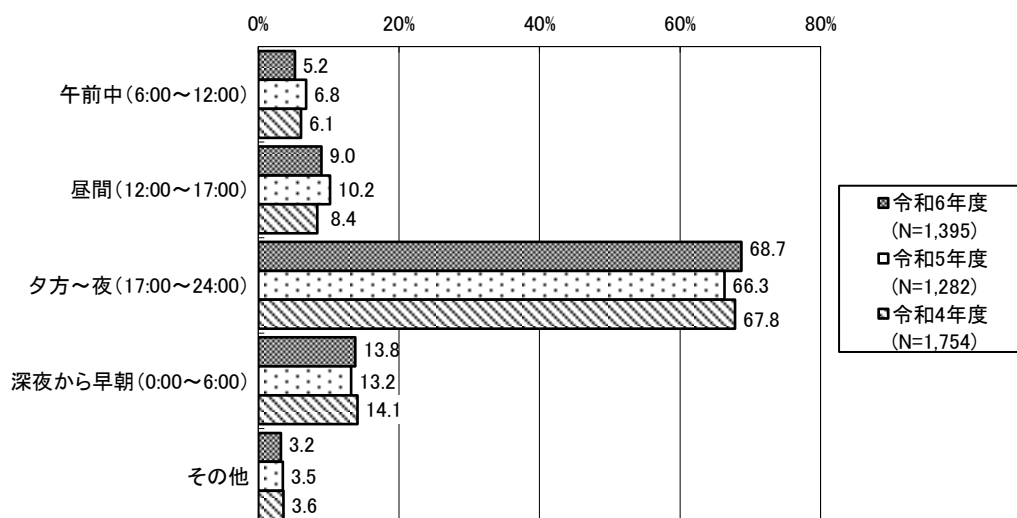
■問 8. アルバイトの週平均労働時間数（過年度調査・居住形態別）

■問 8-1. 主なアルバイトの時間帯（過年度調査）

【図 8 アルバイトの週平均労働時間数】



【図 8-1 主なアルバイトの時間帯】



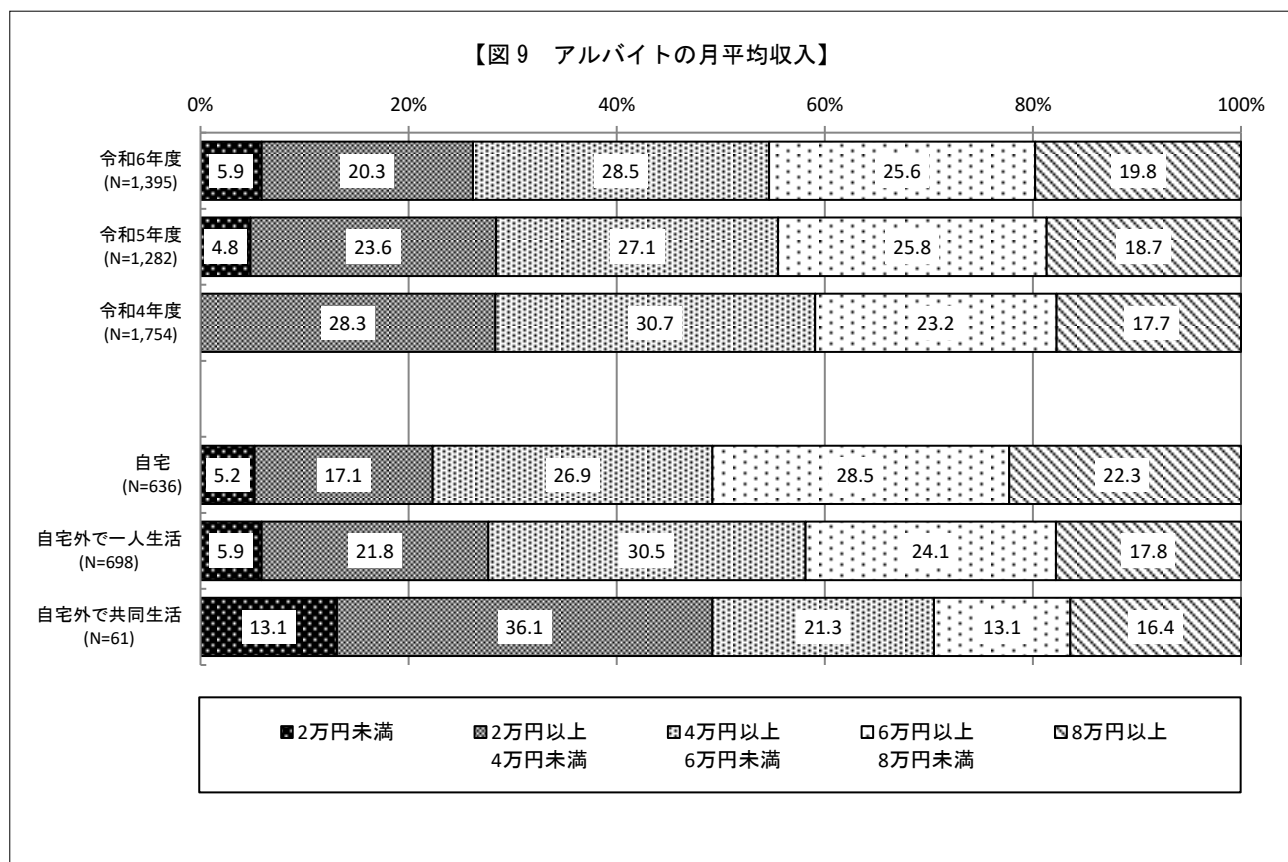
【結果概要(問 9)】

問 9. アルバイトの月平均収入としては、「4 万円以上 6 万円未満」が 28.5%と最も多く、次に「6 万円以上 8 万円未満」が 25.6%となっている。

年度別でみると、「8 万円以上」が年々増加している。

居住形態別でみると、「自宅」では「6 万円以上 8 万円未満」が 28.5%、「自宅外で一人生活」では「4 万円以上 6 万円未満」が 30.5%、「自宅外で共同生活」では「2 万円以上 4 万円未満」が 36.1%で最も多くなっている。＜図 9＞

■問 9. アルバイトの月平均収入（過年度調査・居住形態別）



※令和4年度の選択肢1は「4 万円未満」であったが、令和5年度調査から選択肢1は「2 万円未満」、選択肢2は「2 万円以上 4 万円未満」と変更。

【結果概要(問 10)】

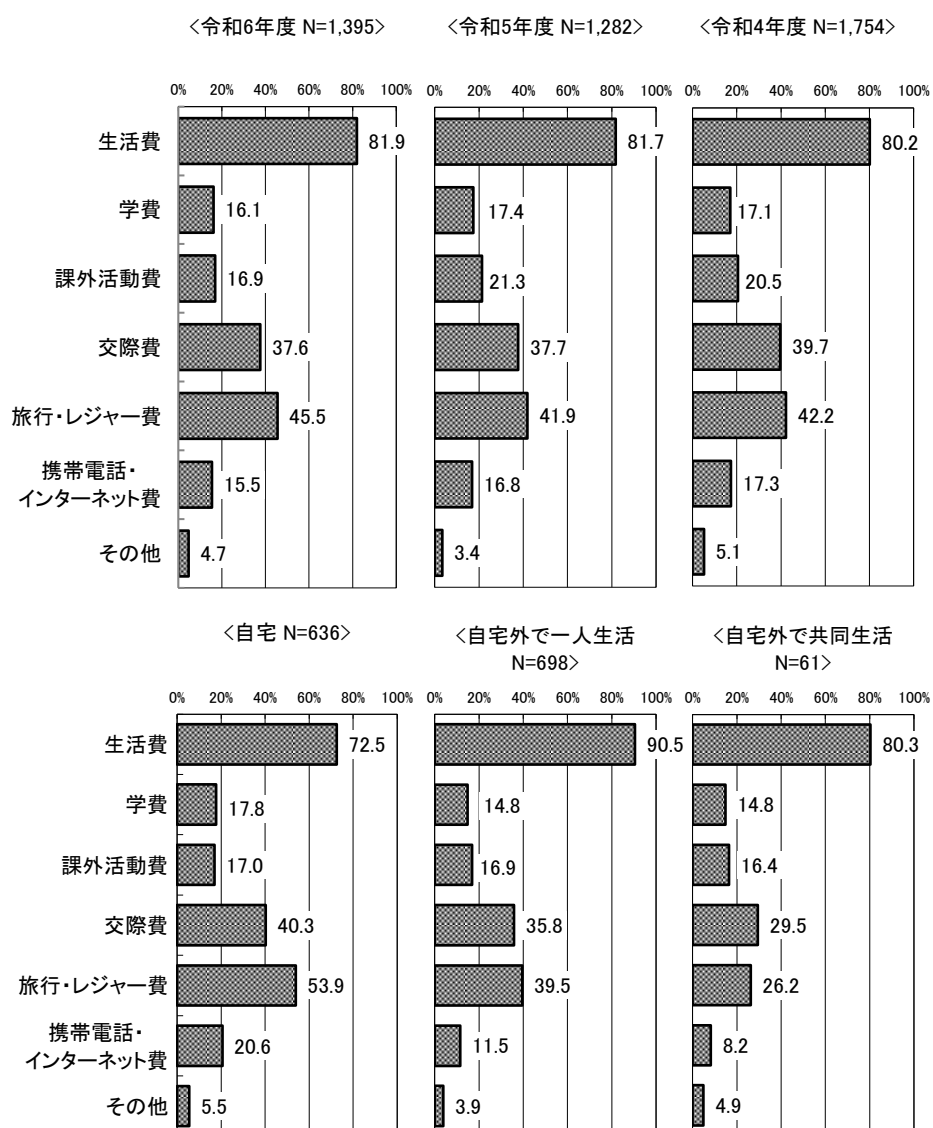
問 10. アルバイトをする理由としては、「生活費」が 81.9%と最も多くなっている。

年度別でみると、「携帯電話・インターネット費」は前々回調査が 17.3%、前回調査が 16.8%、今回調査が 15.5%と年々減少している。

居住形態別でみると、「生活費」が「自宅外で一人生活」では 90.5%、「自宅外で共同生活」では 80.3%でともに 8 割を超えているが、「自宅」から通学している学生では 72.5%と他と比べて少なくなっている。＜図 10＞

■問 10. アルバイトをする理由（過年度調査・居住形態別）

【図 10 アルバイトをする理由】



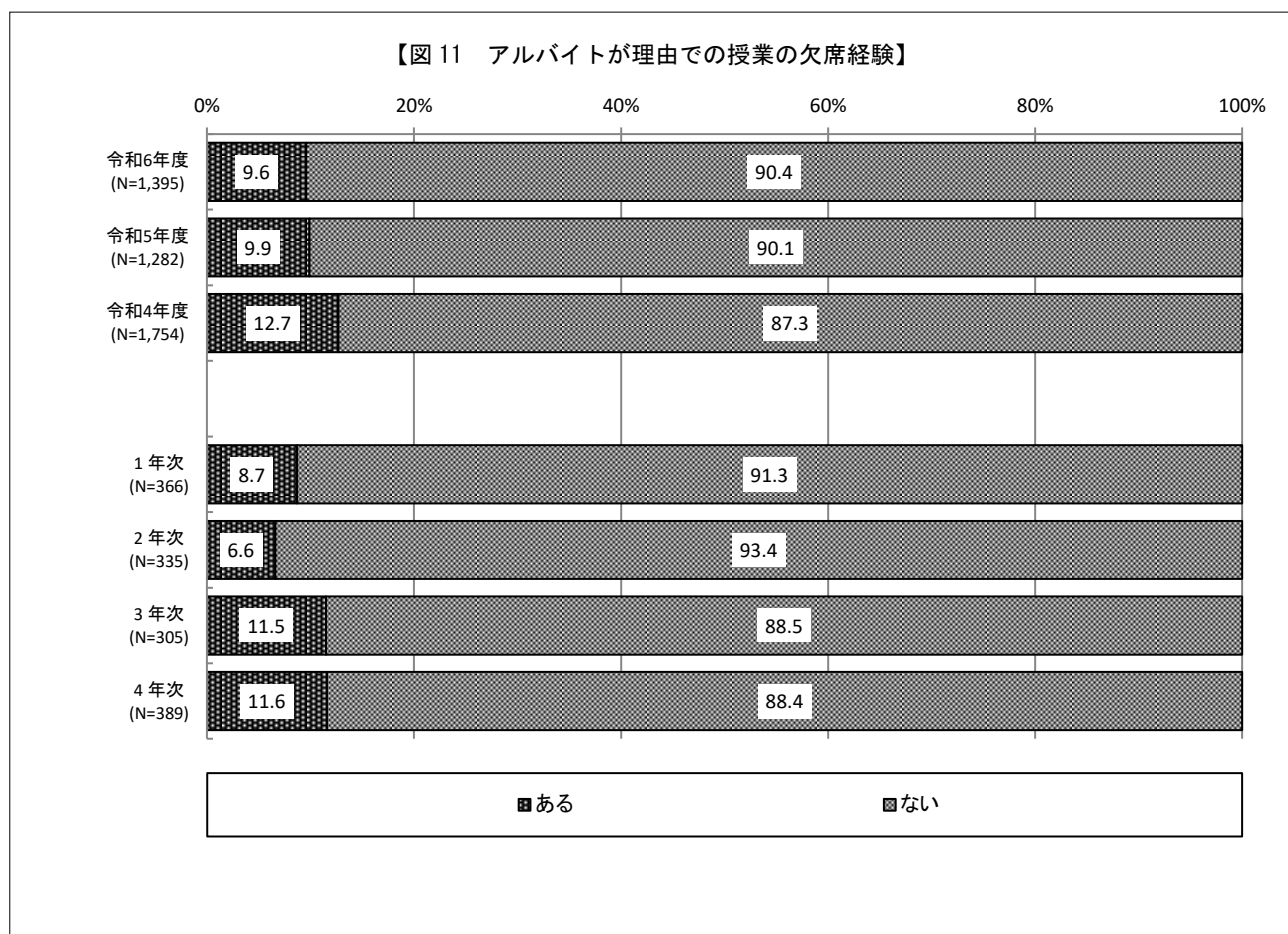
【結果概要(問 11)】

問 11. アルバイトが理由での授業の欠席経験は、「ある」は 9.6%、「ない」は 90.4%となっている。

年度別でみると、今回調査と前回調査では、「ある」が 0.3 ポイント減少している。

年次別でみると、アルバイトが理由での授業の欠席経験が「ある」は「1 年次」が 8.7%、「3 年次」が 11.5%、「4 年次」が 11.6%に対して、「2 年次」は 6.6%と他と比べて少なくなっている。＜図 11＞

■問 11. アルバイトが理由での授業の欠席経験（過年度調査・年次別）



3. 授業・学習について

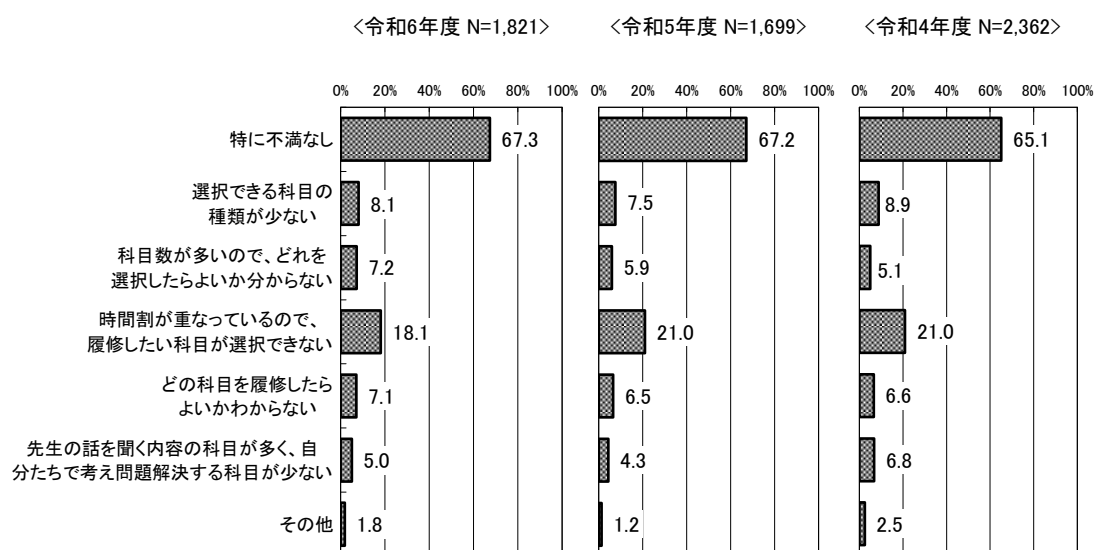
【結果概要(問12)】

問12. カリキュラム・時間割についてどう感じているかでは、「特に不満なし」が67.3%で6割以上を占めている。不満内容としては、「時間割が重なっているので、履修したい科目が選択できない」が18.1%と最も多くなっている。

年度別でみると、「特に不満なし」が前々回調査では65.1%、前回調査では67.2%、今回調査では67.3%と、年々増加している。＜図12-A＞

■問12. カリキュラム・時間割について（過年度調査）

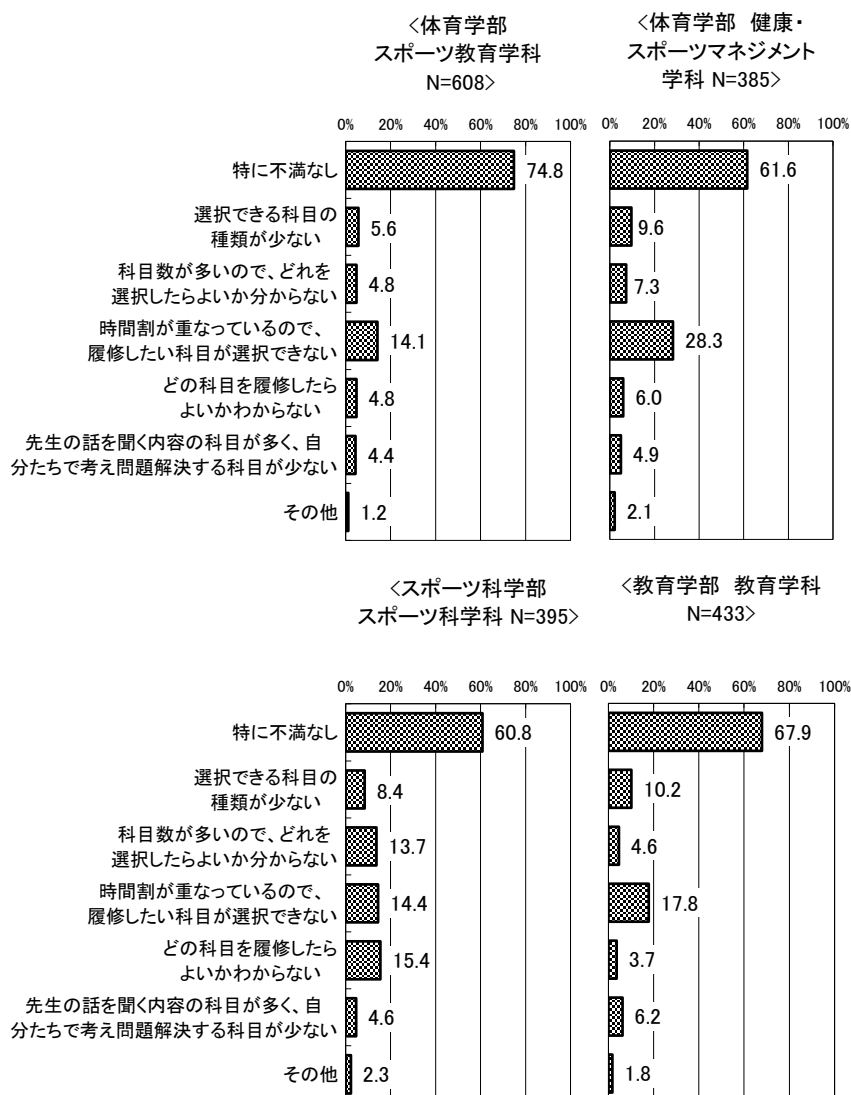
【図12-A カリキュラム・時間割について】



問 12. 所属学部・学科別でみると、「特に不満なし」が全ての所属学部・学科で最も多くなっており、なかでも体育学部スポーツ教育学科では 74.8%であるのに対して、スポーツ科学部スポーツ科学科では 60.8%と 14.0 ポイント低くなっている。また体育学部健康・スポーツマネジメント学科では「時間割が重なっているので、履修したい科目が選択できない」が他の所属学部・学科と比べて多くなっている。＜図 12-B＞

■問 12. カリキュラム・時間割について（学科別）

【図 12-B カリキュラム・時間割について】

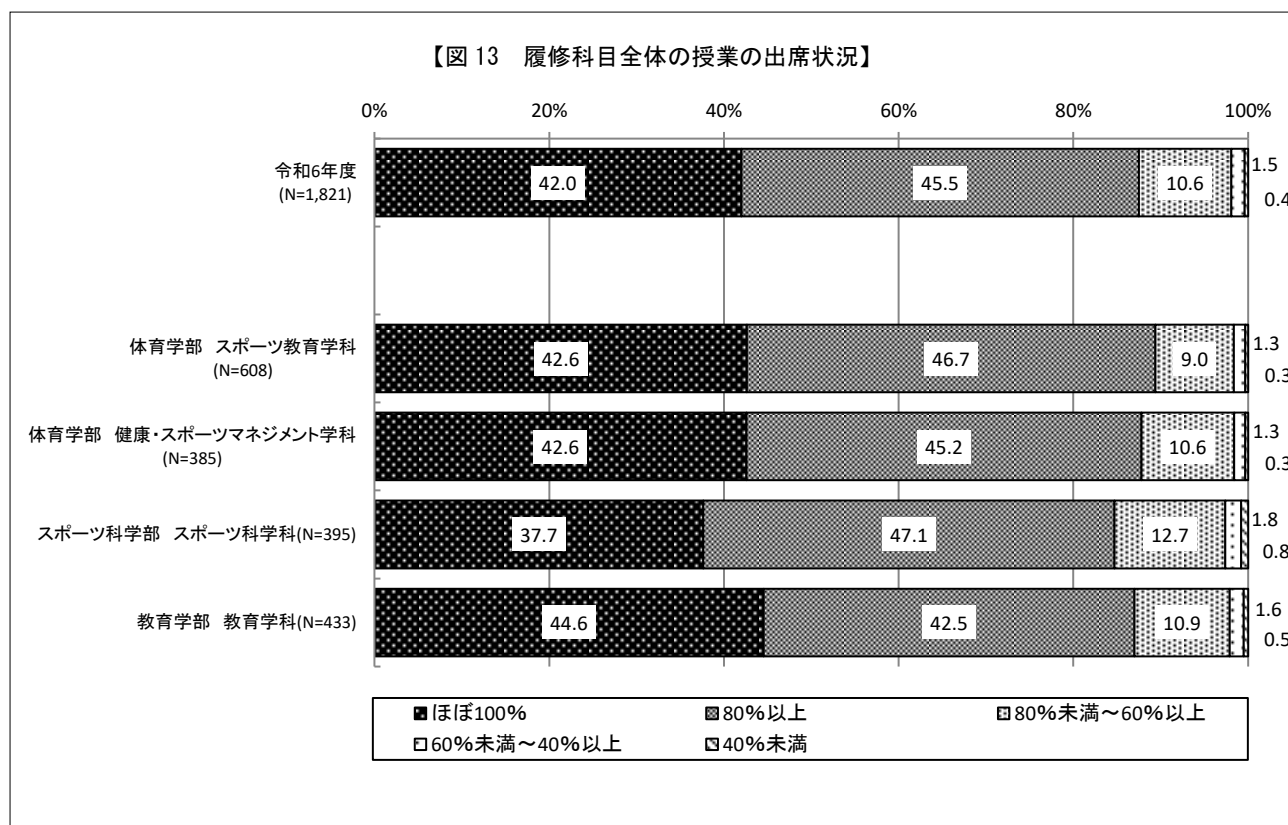


【結果概要(問 13)】

問 13. 履修科目全体の授業の出席状況の割合は、「ほぼ 100%」が 42.0%となっており、「80%以上」の 45.5%を合わせると 87.5%となっている。

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科では「ほぼ 100%」が 44.6%と他の学部・学科と比べると多くなっている。＜図 13＞

■問 13. 履修科目全体の授業の出席状況（学科別）



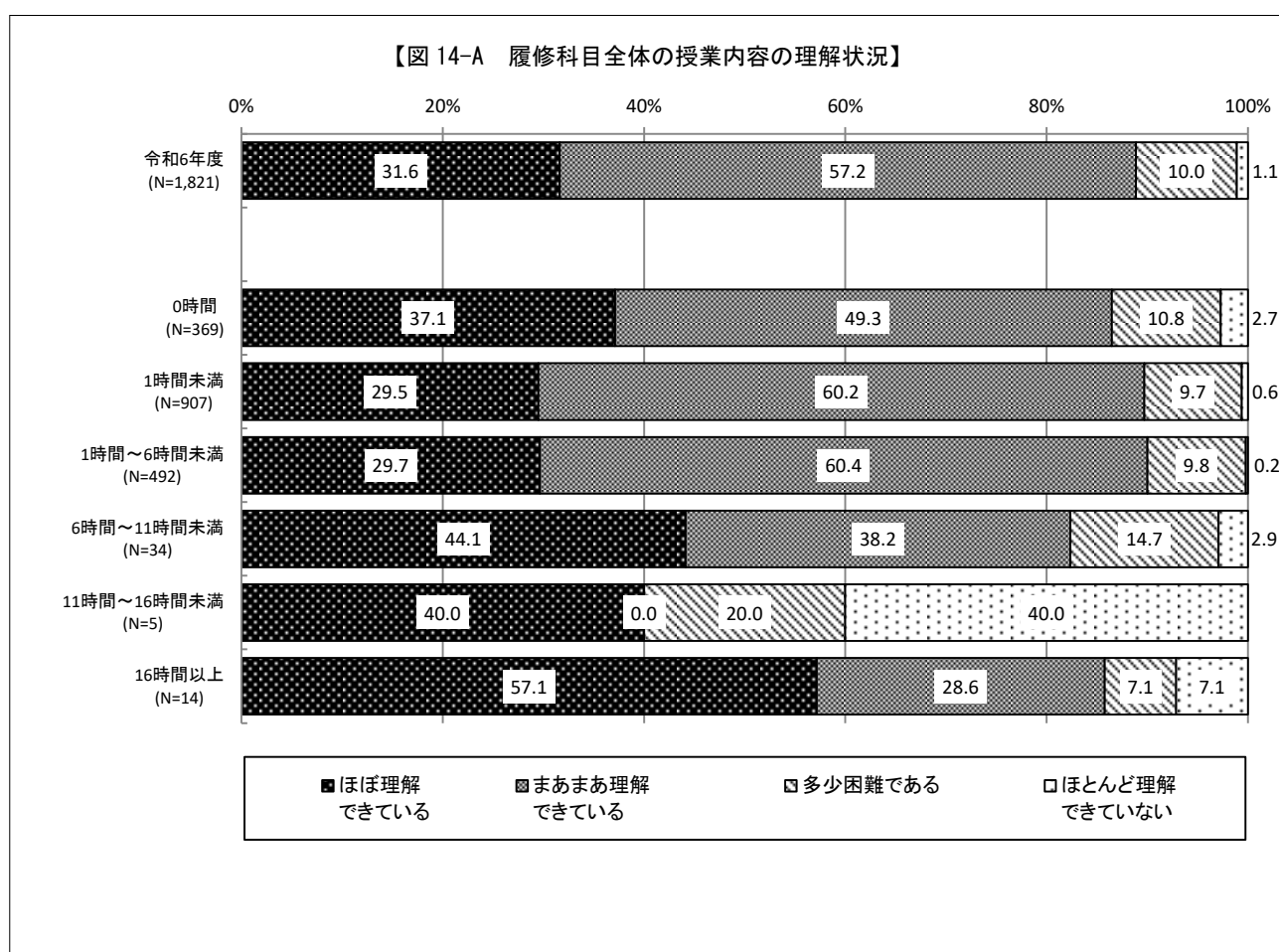
【結果概要(問 14)】

問 14. 履修科目全体の授業内容の理解度としては、「まあまあ理解できている」が 57.2%と最も多く、「ほぼ理解できている」の 31.6%を合わせると、88.8%の学生が「授業を理解できている」と回答している。＜図 14-A＞

「朝食の摂食状況」とのクロス集計では、「ほとんど毎日摂る」の学生は「多少困難である」が 9.1%、「ほとんど理解できていない」が 0.7%、合わせると 9.8%となり、「週に 2～3 回摂る」が 14.0%、「摂らない」が 11.5%と比べると少なくなっている。＜図 14-B＞

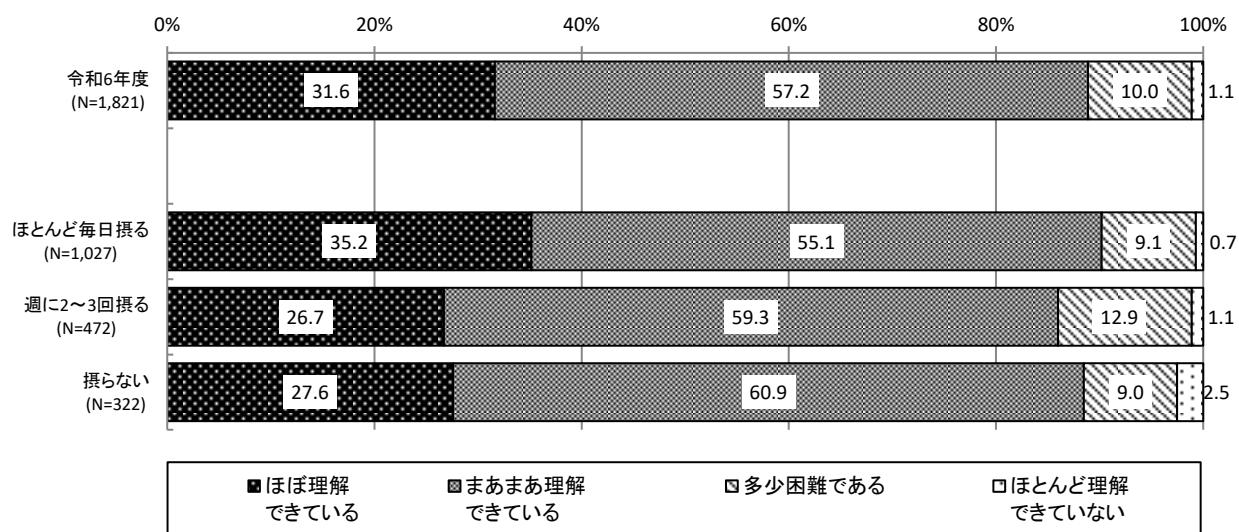
「図書館の利用状況」とのクロス集計では、図書館の利用頻度が多いほど、「ほぼ理解できている」の割合は多くなっている。＜図 14-C＞

■ 問 14. 履修科目全体の授業内容の理解状況（一週間の自習時間別）

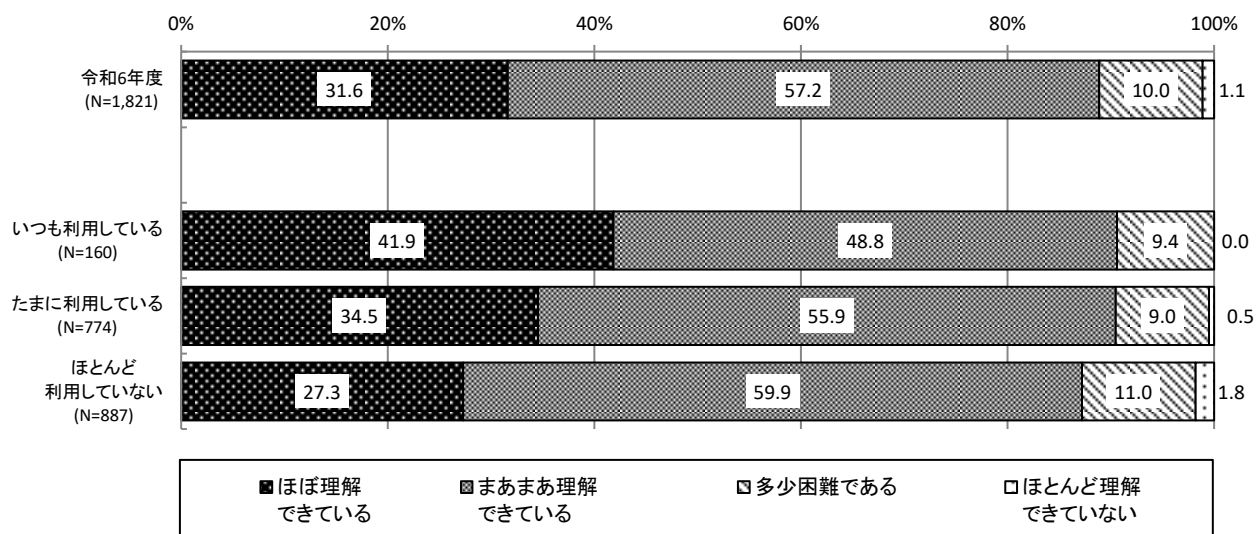


■問 14. 履修科目全体の授業内容の理解状況（朝食摂食状況別・図書館の利用状況別）

【図 14-B 履修科目全体の授業内容の理解状況】



【図 14-C 履修科目全体の授業内容の理解状況】



【結果概要(問 14-1)】

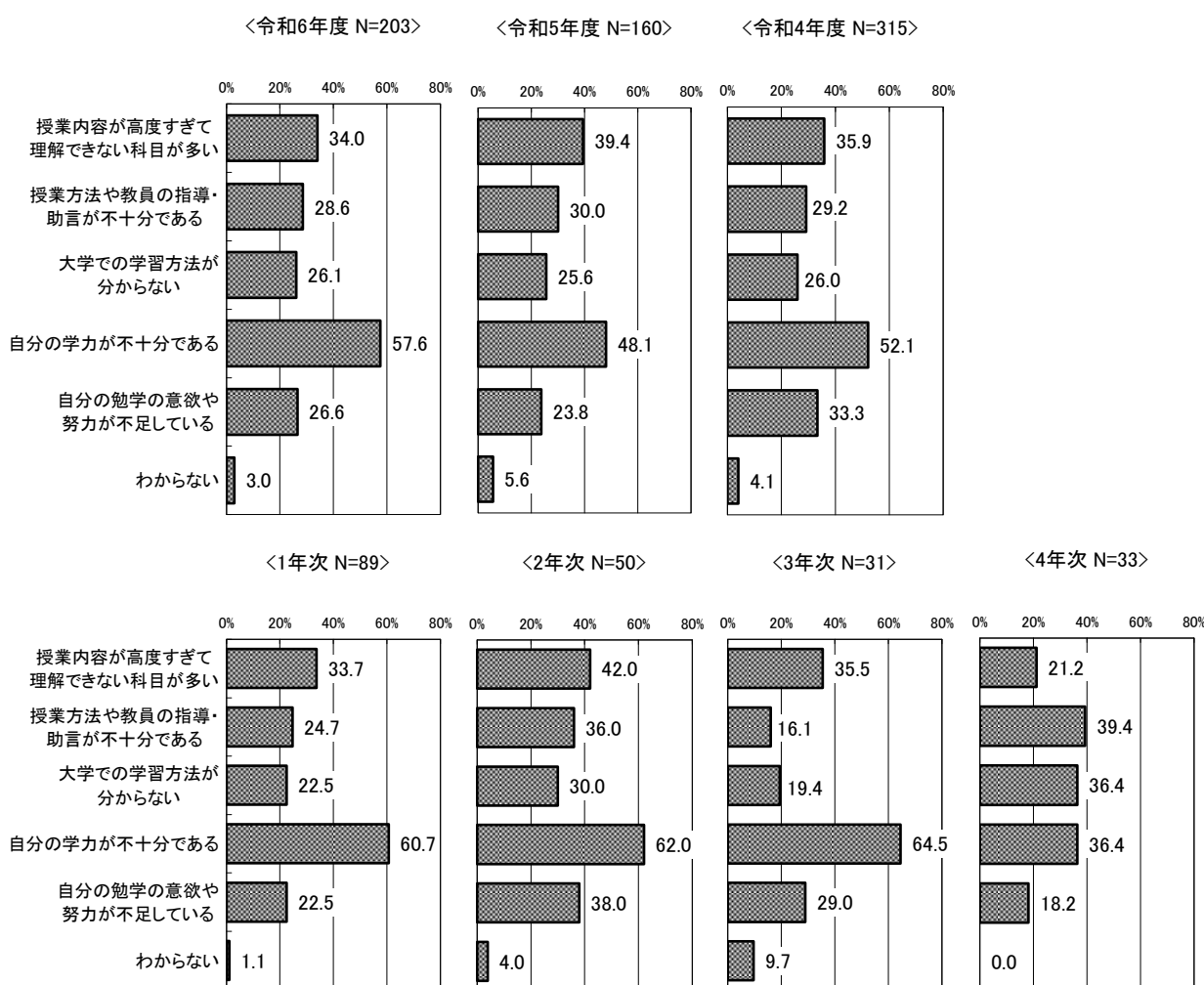
問 14-1. 問 14 で授業内容の理解が「多少困難である」と「ほとんど理解できていない」と回答した学生に理解困難な理由を尋ねたところ、「自分の学力が不十分である」の回答が 57.6%と最も多く、次に「授業内容が高度すぎて理解できない科目が多い」が 34.0%、「授業方法や教員の指導・助言が不十分である」が 28.6%となっている。

年度別でみると、「自分の学力が不十分である」は前回調査と比べて 9.5 ポイント増加し、「授業内容が高度すぎて理解できない科目が多い」は前回調査と比べて 5.4 ポイント減少している。

年次別でみると、4 年次では「自分の学力が不十分である」が 36.4%と他の年次と比べて少なくなっている。＜図 14-1＞

■ 問 14-1. 授業内容が理解困難な理由（過年度調査・年次別）

【図 14-1 授業内容が理解困難な理由】



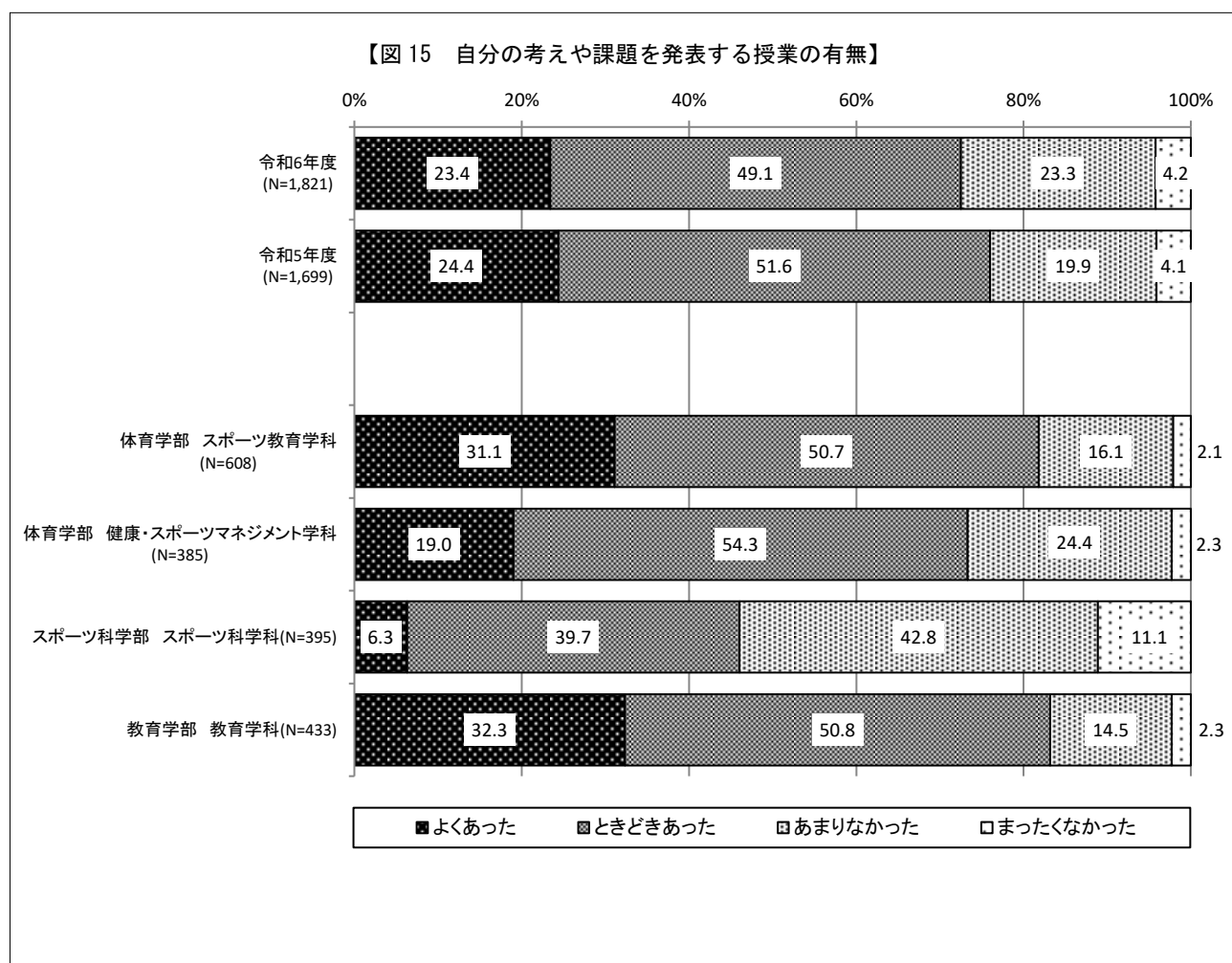
【結果概要(問 15)】

問 15. 自分の考えや課題を発表する授業はあったかでは、「ときどきあった」が 49.1%で最も多く、「よくあった」が 23.4%で続く。

年度別でみると、「ときどきあった」は前回調査と比べて 2.5 ポイント減少し、「あまりなかった」は前回調査と比べて 3.4 ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、スポーツ科学部スポーツ科学科では「よくあった」が 6.3%と他の学部・学科と比べて少なくなっている。＜図 15＞

■問 15. 自分の考えや課題を発表する授業の有無（過年度調査・学科別）



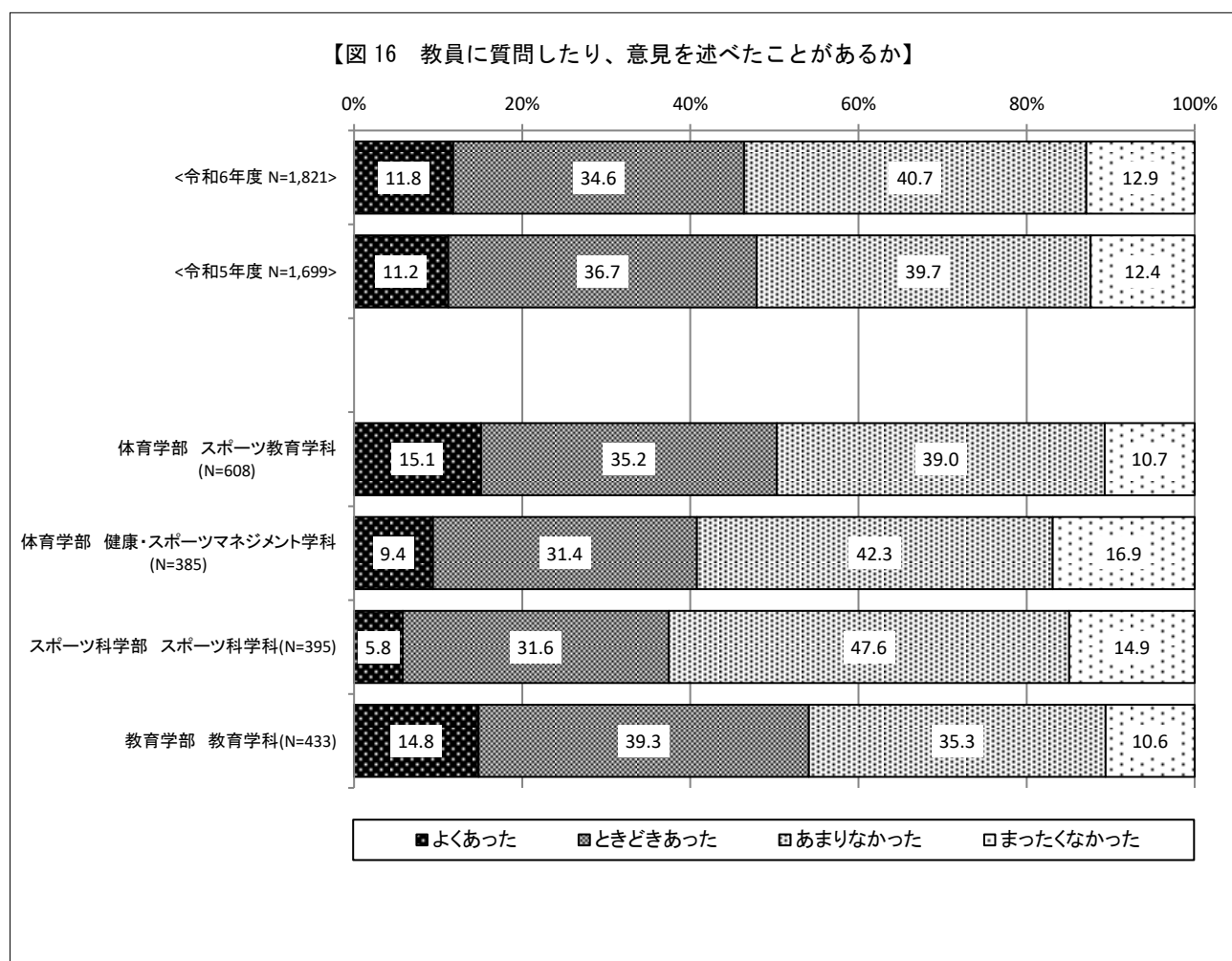
【結果概要(問 16)】

問 16. 教員に質問したり、意見を述べたことはあるかでは、「あまりなかった」が 40.7%と最も多く、「ときどきあった」が 34.6%、「まったくなかった」が 12.9%で続く。

年度別でみると、「ときどきあった」は前回調査と比べて 2.1 ポイント減少し、「あまりなかった」は前回調査と比べて 1.0 ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、スポーツ科学部スポーツ科学科では「よくあった」が 5.8%と他の学部・学科と比べて少なくなっている。＜図 16＞

■問 16. 教員に質問したり、意見を述べたことがあるか（過年度調査・学科別）

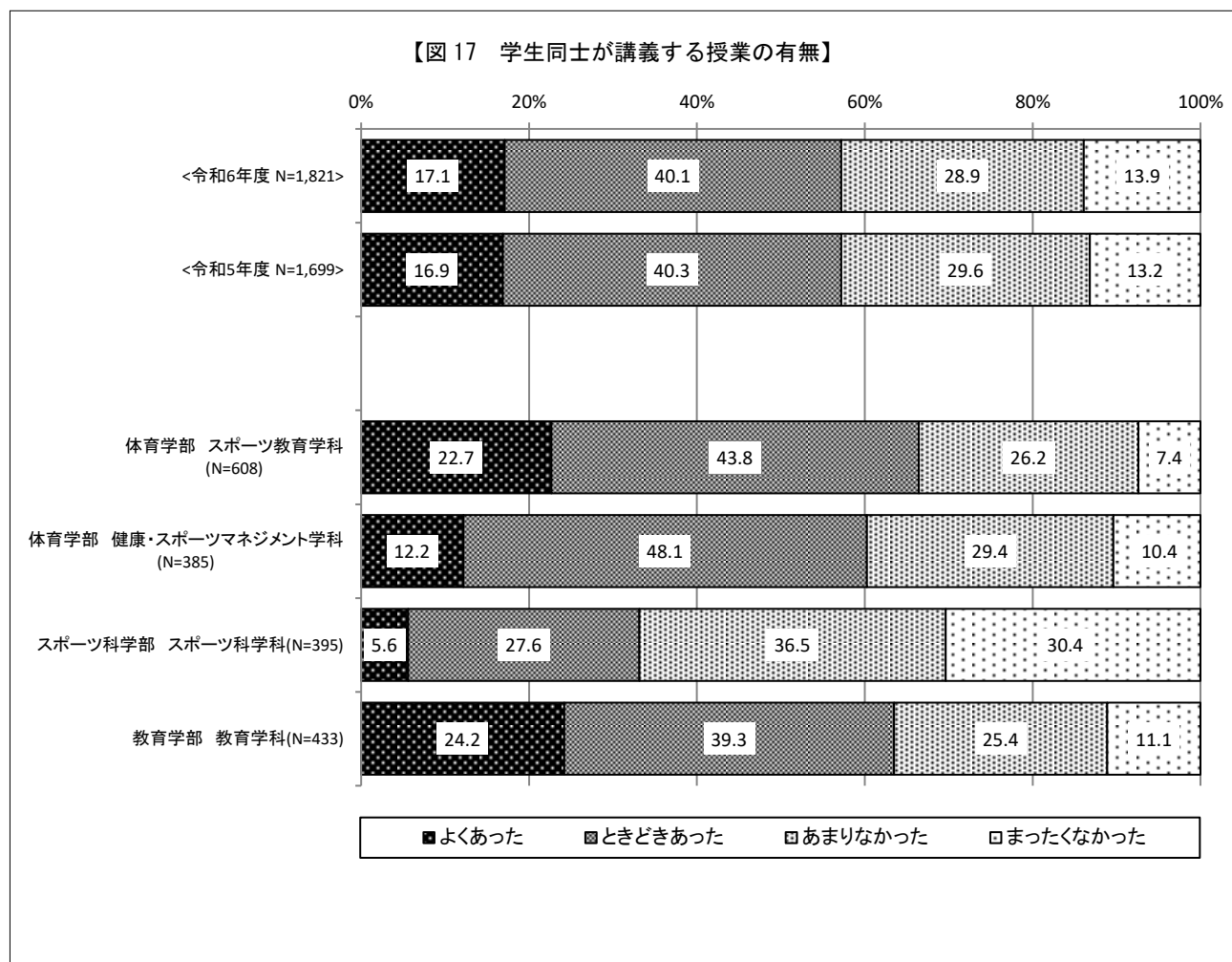


【結果概要(問 17)】

問 17. 学生同士が講義する授業の有無は、「ときどきあった」が 40.1%で最も多く、「あまりなかった」が 28.9%、「よくあった」が 17.1%で続く。

年度別でみると、前回調査と比べて、今回調査のすべての項目は横ばい傾向となっており、大きな変化はなかった。＜図 17＞

■ 問 17. 学生同士が講義する授業の有無（過年度調査・学科別）



【結果概要(問 18)】

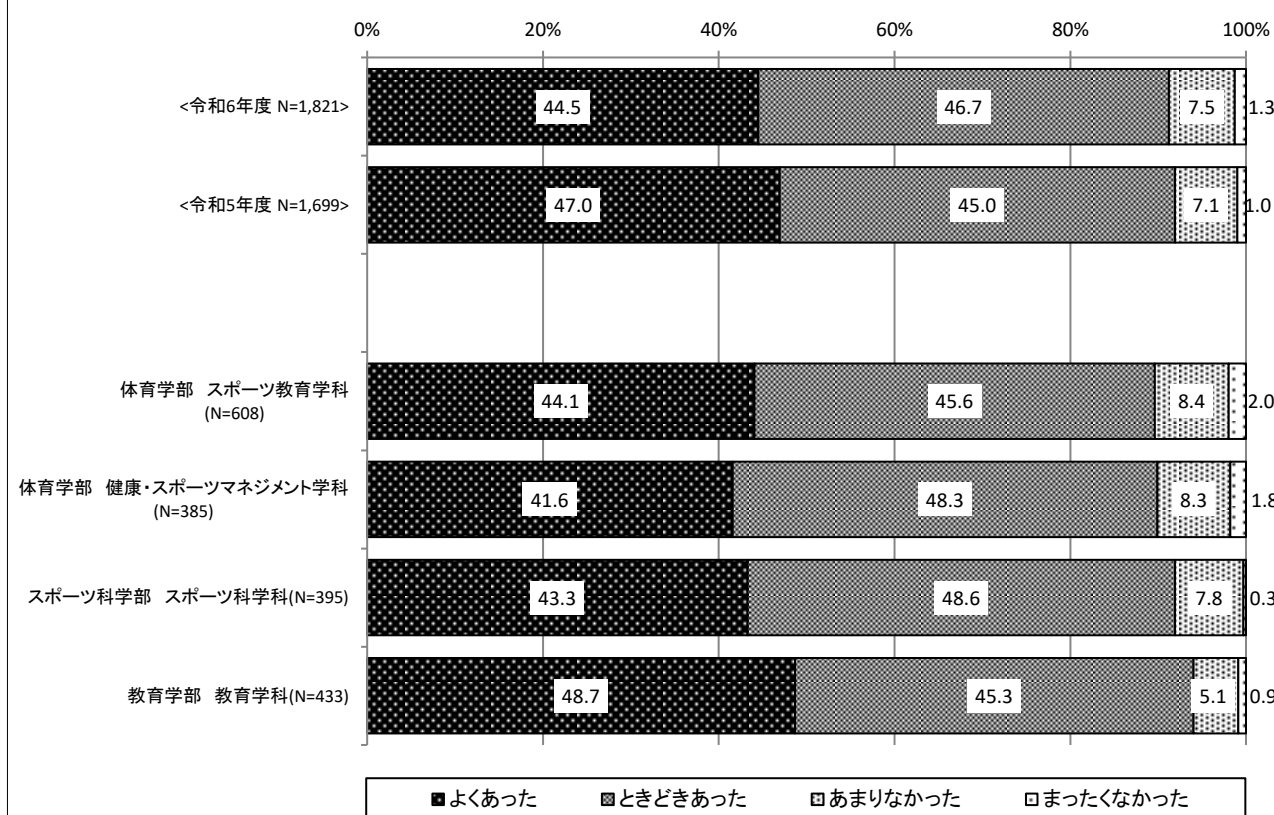
問 18. 定期的に小テストやレポートが課せられた授業の有無は、「ときどきあった」が 46.7%で最も多く、「よくあった」が 44.5%「あまりなかった」が 7.5%で続く。

年度別でみると、「よくあった」は前回調査と比べて 2.5 ポイント減少し、「ときどきあった」は前回調査と比べて 1.7 ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科では「よくあった」が 48.7%と他の学部・学科と比べて多くなっている。＜図 18＞

■ 問 18. 定期的に小テストやレポートが課せられた授業の有無（過年度調査・学科別）

【図 18 定期的に小テストやレポートが課せられた授業の有無】



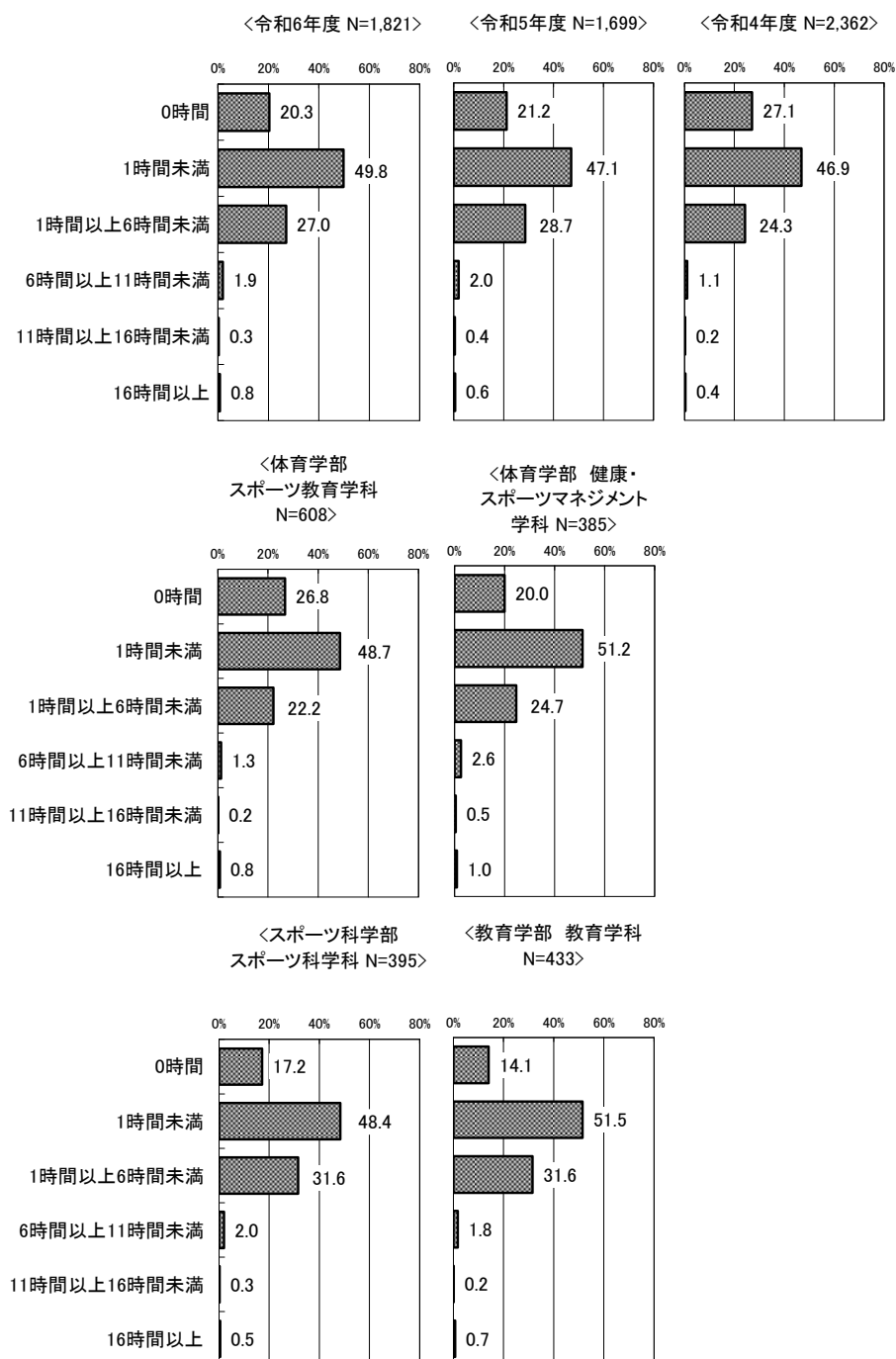
【結果概要(問 19)】

問 19. 一週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間としては、「1 時間未満」が 49.8%と最も多くなっており、次に「1 時間以上 6 時間未満」が 27.0%「0 時間」が 20.3%となっている。

所属学部・学科別でみると、スポーツ科学部スポーツ科学科と教育学部教育学科では「1 時間以上 6 時間未満」がそれぞれ 31.6%と他の学部・学科と比べて多くなっている。＜図 19＞

■問 19. 一週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間（過年度調査・学科別）

【図 19 一週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間】



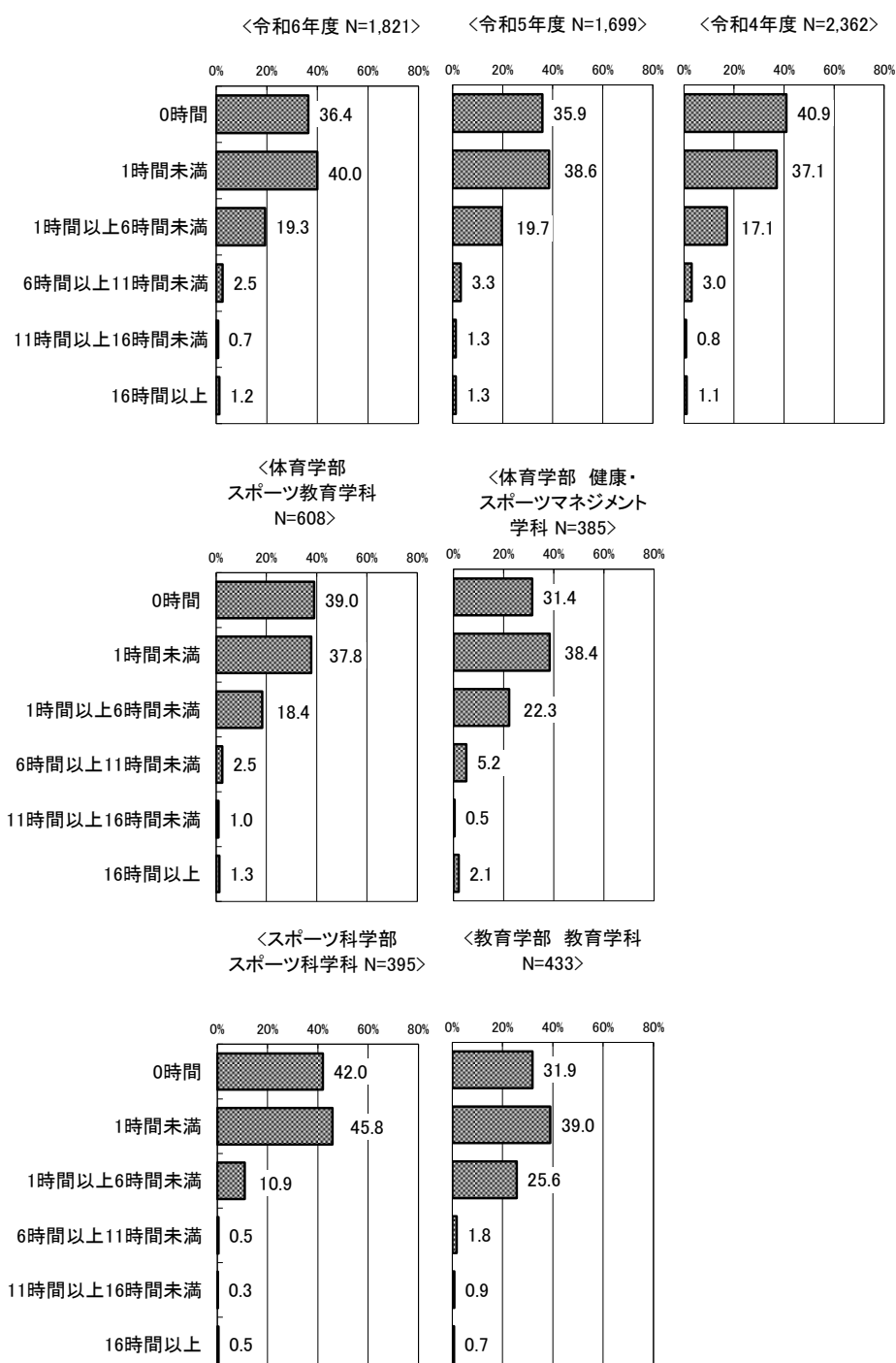
【結果概要(問 20)】

問 20. 一週間あたりの授業とは直接関係のない勉強をしている時間は、「1 時間未満」が 40.0%で最も多く、次に「0 時間」が 36.4%、「1 時間以上 6 時間未満」が 19.3%となっている。

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科では「1 時間以上 6 時間未満」が 25.6%と他の学部・学科と比べて多くなっている。＜図 20＞

■ 問 20. 一週間あたりの授業とは直接関係のない勉強をしている時間（過年度調査・学科別）

【図 20 一週間あたりの授業とは直接関係のない勉強をしている時間】



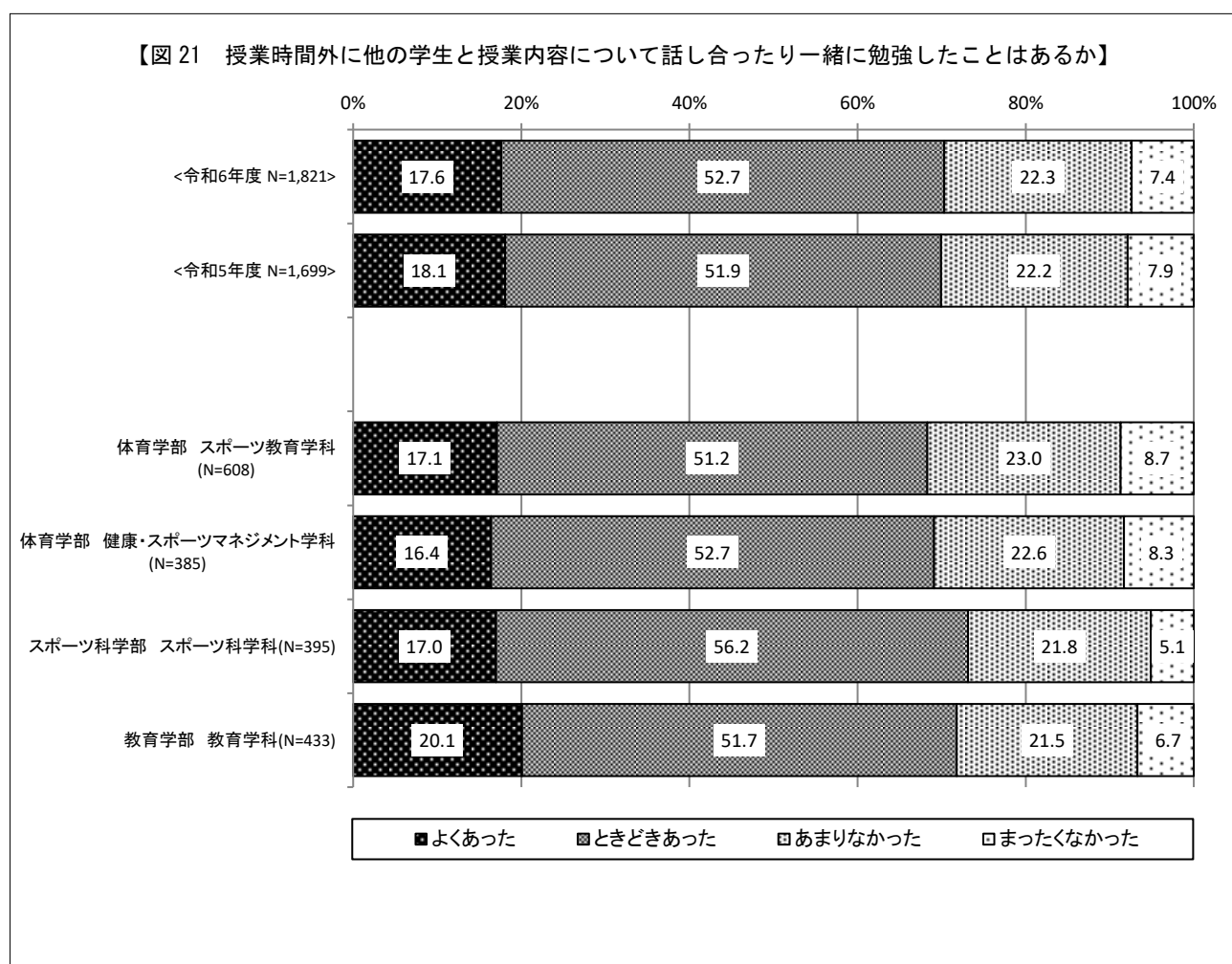
【結果概要(問 21)】

問 21. 授業時間外に他の学生と授業内容について話し合ったり一緒に勉強したことはあるかは、「ときどきあった」が 52.7%で最も多く、「あまりなかった」が 22.3%、「よくあった」が 17.6%で続く。

年度別でみると、前回調査と比べて、今回調査のすべての項目は横ばい傾向となっており、大きな変化はなかった。

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科では「よくあった」が 20.1%と他の学部・学科と比べるとやや多くなっている。＜図 21＞

■ 問 21. 授業時間外に他の学生と授業内容について話し合ったり一緒に勉強したことはあるか
(過年度調査・学科別)



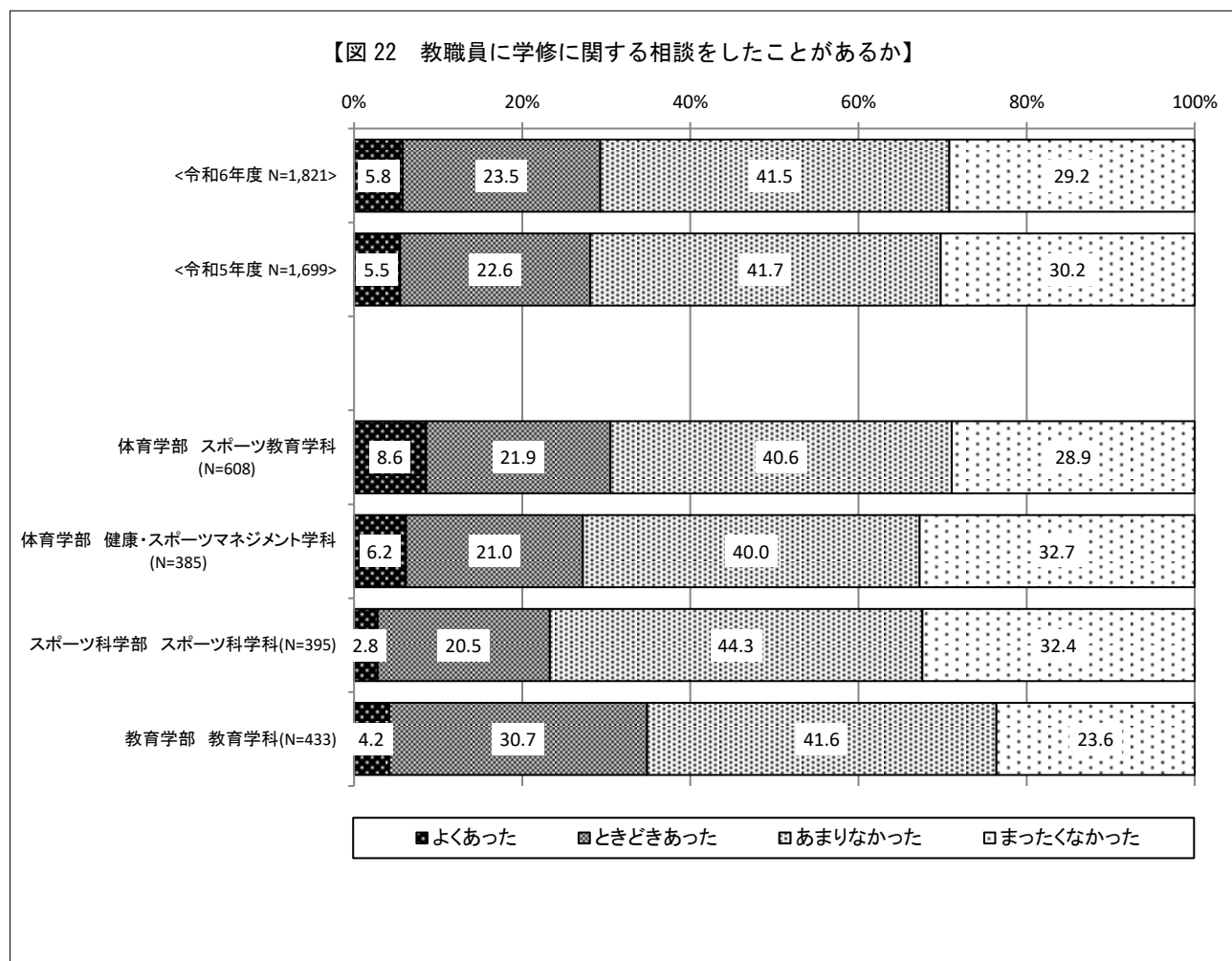
【結果概要(問 22)】

問 22. 教職員に学修に関する相談をしたことがあるかでは、「あまりなかった」が 41.5%で最も多く、「まったくなかった」が 29.2%、「ときどきあった」が 23.5%で続く。

年度別でみると、「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合は、今回調査が 29.3%、前回調査が 28.1%となっており、前回調査より 1.2 ポイントとやや増加している。

所属学部・学科別でみると、体育学部スポーツ教育学科では「よくあった」が 8.6%で他の学部・学科と比べるとやや多くなっている。＜図 22＞

■問 22. 教職員に学修に関する相談をしたことがあるか（過年度調査・学科別）



【結果概要(問 23)】

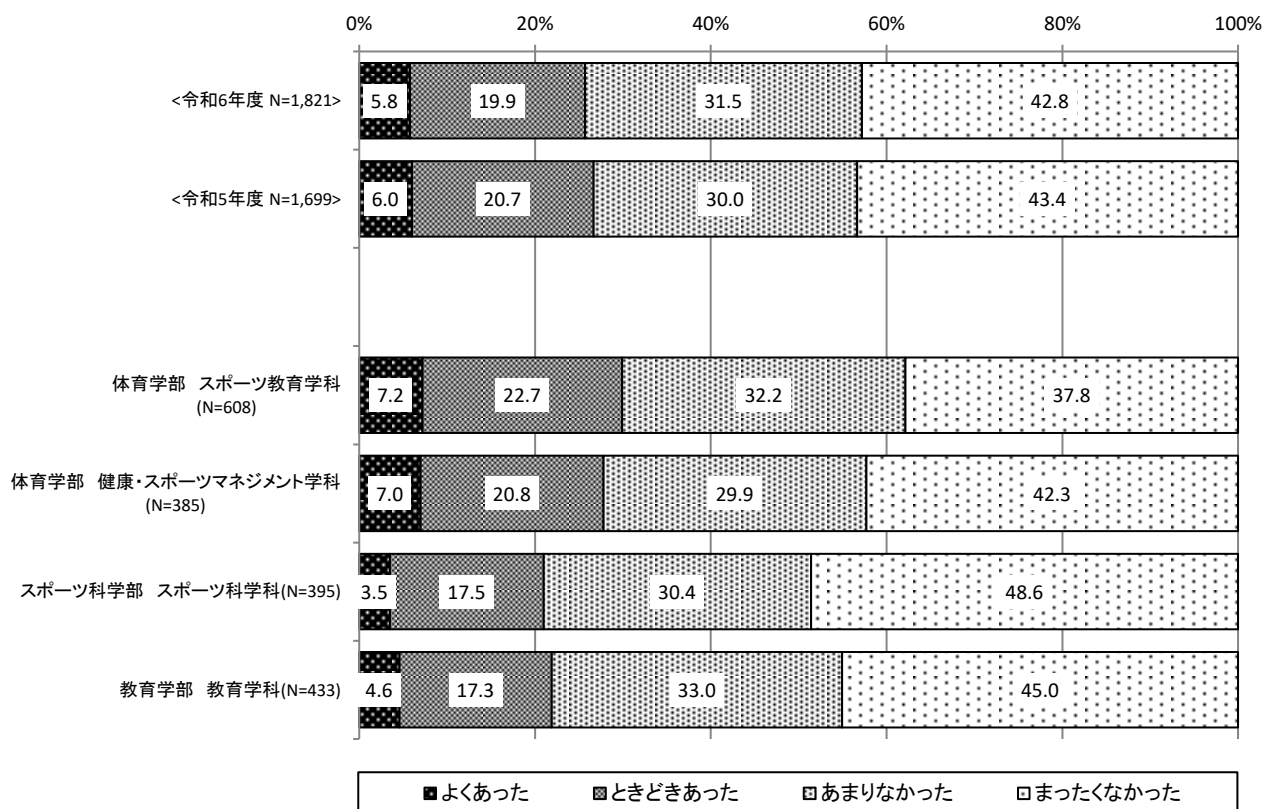
問 23. 授業や課題のために図書館で資料・文献を調べたことがあるかでは、「まったくなかった」が 42.8%で最も多く、「あまりなかった」が 31.5%、「ときどきあった」が 19.9%で続く。

年度別でみると、「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合は、今回調査が 25.7%、前回調査が 26.7%となっており、前回調査より 1.0 ポイントとやや減少している。

所属学部・学科別でみると、スポーツ科学部スポーツ科学科では「まったくなかった」が 48.6%と最も多く、「あまりなかった」の 30.4%を合わせると、79.0%の学生が図書館で資料などを調べたことがないと回答している。＜図 23＞

■ 問 23. 授業や課題のために図書館で資料・文献を調べたことがあるか（過年度調査・学科別）

【図 23 授業や課題のために図書館で資料・文献を調べたことがあるか】



【結果概要(問 24)】

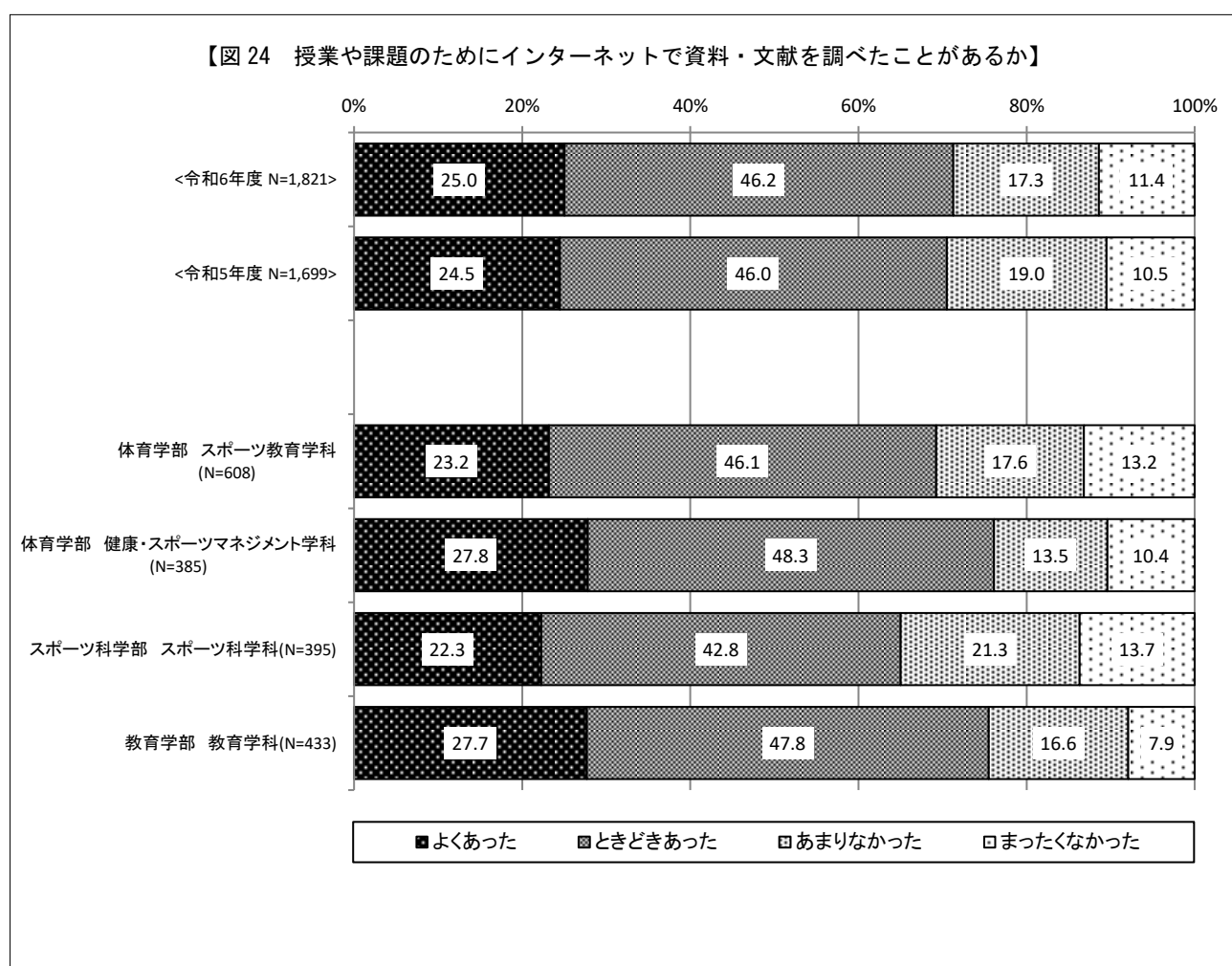
問 24 授業や課題のためにインターネットで資料・文献を調べたことがあるかでは、「ときどきあった」が46.2%で最も多く、「よくあった」が25.0%、「あまりなかった」が17.3%で続く。

年度別でみると、「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合は、今回調査が71.2%、前回調査が70.5%となっており、前回調査より0.7ポイントとやや増加している。

所属学部・学科別でみると、教育学部健康・スポーツマネジメント学科と教育学部教育学科では「よくあった」がそれぞれ27.8%、27.7%で他の学部・学科と比べると多くなっている。

<図 24>

■問 24. 授業や課題のためにインターネットで資料・文献を調べたことがあるか
(過年度調査・学科別)



【結果概要(問 25)】

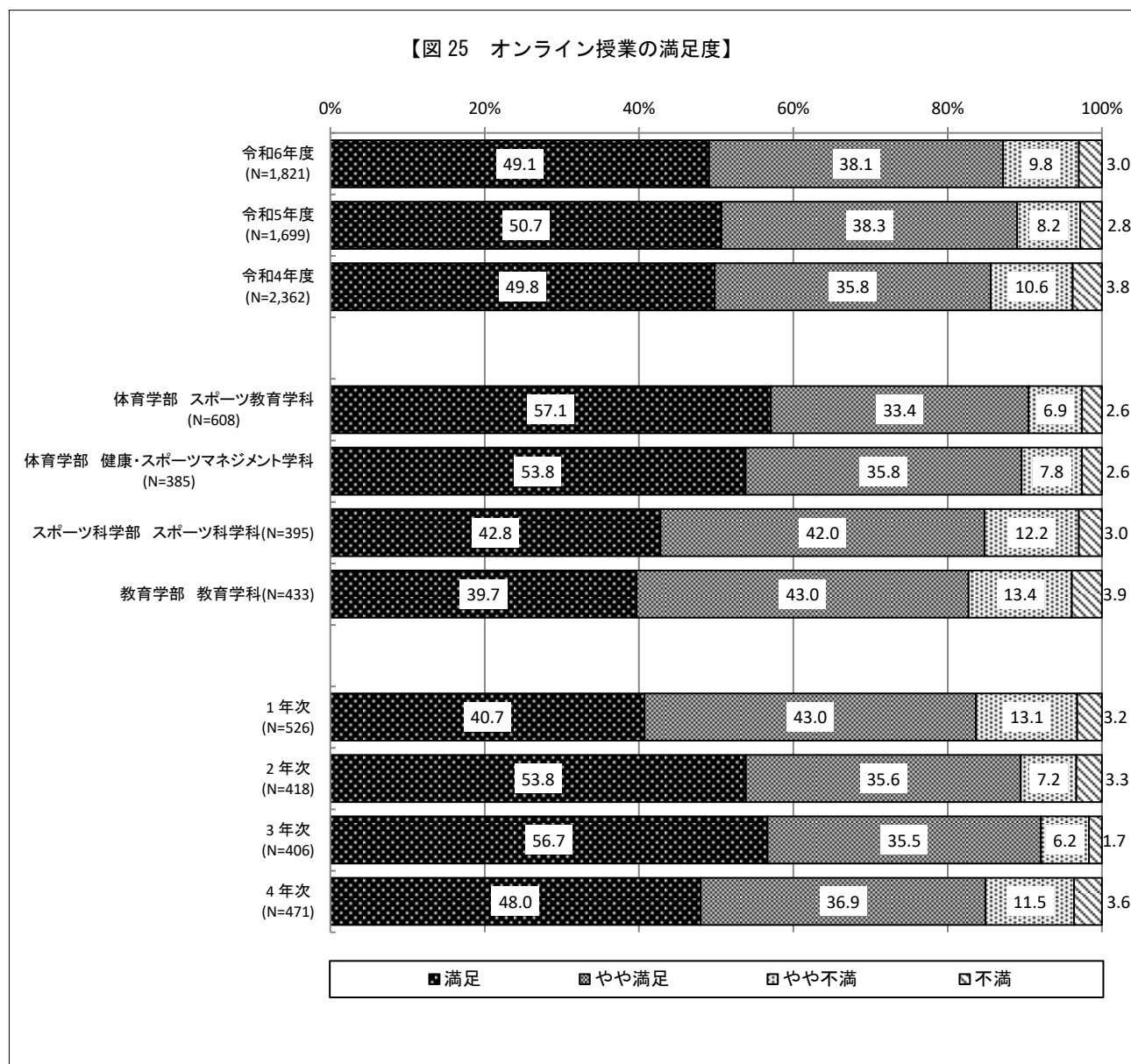
問 25. オンライン授業の満足度では、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 87.2%、「不満」と「やや不満」を合わせた割合は 12.8%と満足している学生が多い。

年度別でみると、「不満」と「やや不満」を合わせた不満度は、今回調査が 12.8%、前回調査が 11.0%となっており、前回調査より 1.8 ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、体育学部スポーツ教育学科では「満足」が 57.1%と他の学部・学科と比べてやや多くなっている。

年次別では、「満足」と「やや満足」を合わせた割合はどの年次も 8 割を超えているが、1 年次では 83.7%と最も低くなっている。＜図 25＞

■問 25. オンライン授業の満足度（過年度調査・学科別・年次別）



【結果概要(問 26)】

問 26. 増やしてほしい授業形態は、「オンデマンド」が 63.0%と最も多く、次に「実技」が 27.5%、「グループワーク」が 20.3%となっている。

年度別でみると、前年調査と比べて「グループワーク」と「オンデマンド」は横ばい傾向となっている。＜図 26-A＞

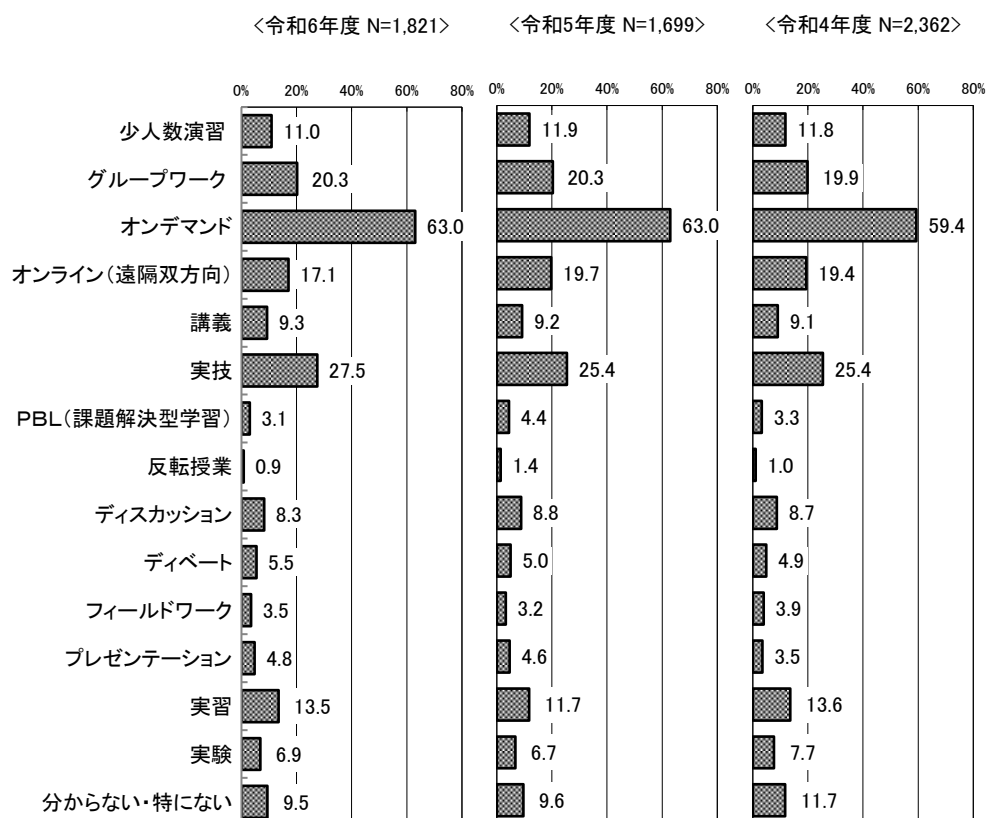
所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科では、「グループワーク」と「実技」がそれぞれ 26.6%、33.3%で、他の学部と比べると多くなっている。＜図 26-B＞

年次別でみると、4 年次は「少人数演習」や「グループワーク」が他の年次に比べてやや多く、対して「オンデマンド」が他の年次に比べて少なくなっている。

性別でみると、「オンデマンド」は、すべての学生で最も多く、男子学生では 62.8%、女子学生では 63.3%となっている。＜図 26-C＞

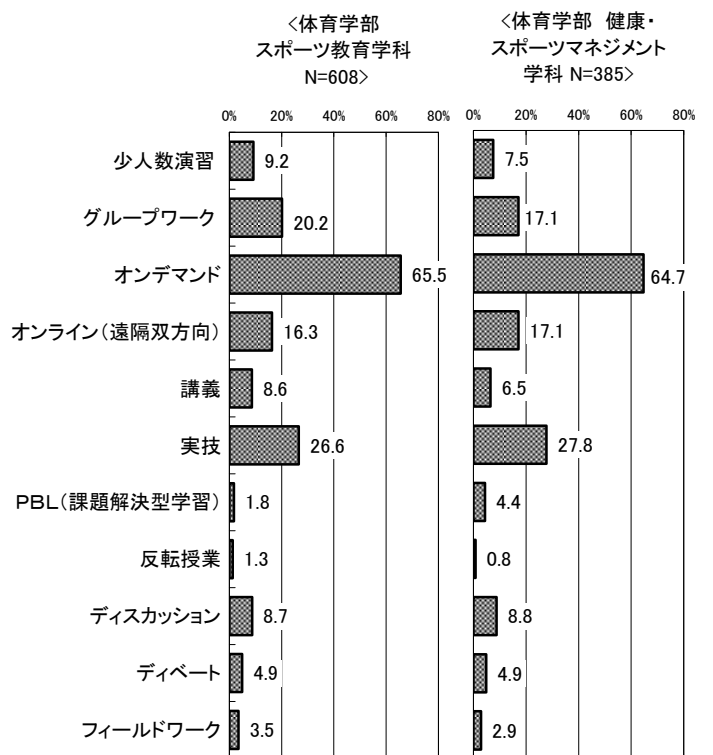
■問 26. 増やしてほしい授業形態（過年度調査）

【図 26-A 増やしてほしい授業形態】

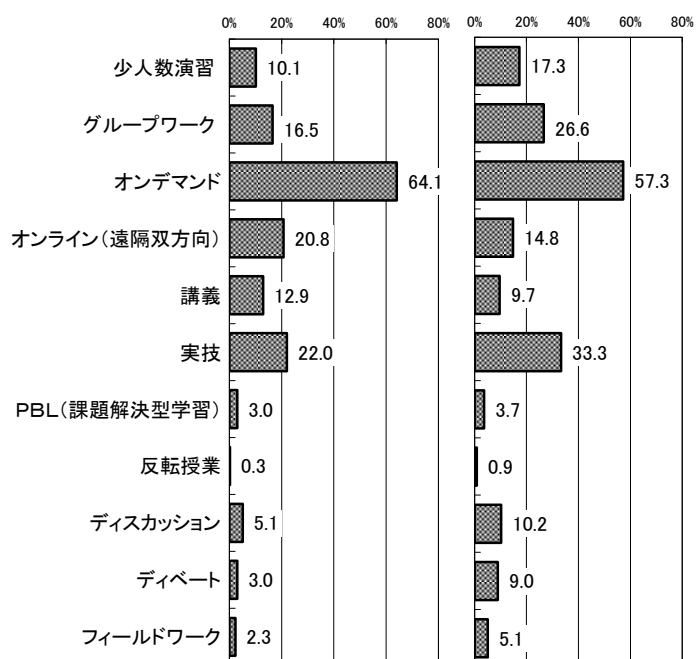


■問 26. 増やしてほしい授業形態（学科別）

【図 26-B 増やしてほしい授業形態】

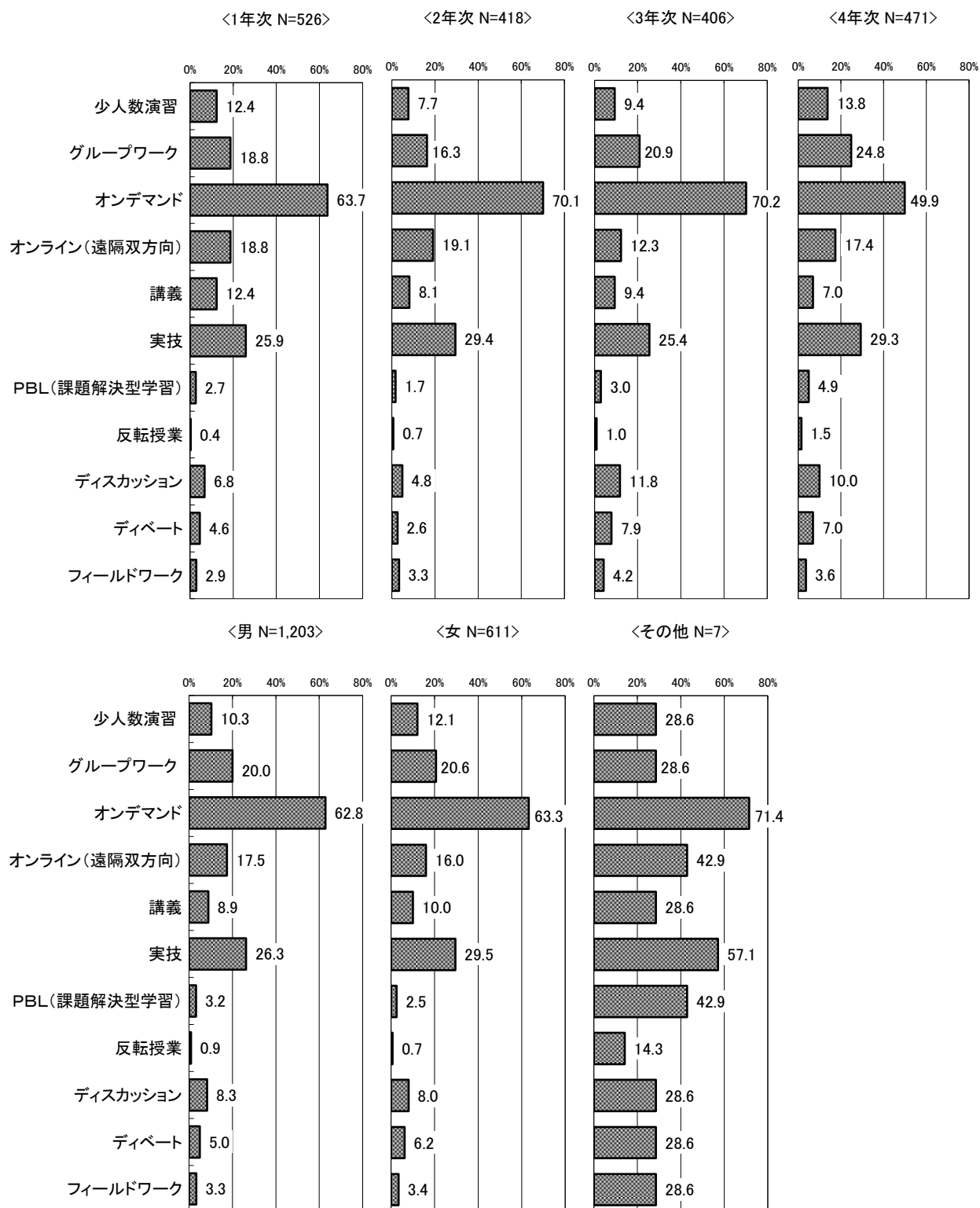


<スポーツ科学部 スポーツ科学科 N=395> <教育学部 教育学科 N=433>



■問 26. 増やしてほしい授業形態（年次別・性別）

【図 26-C 増やしてほしい授業形態】



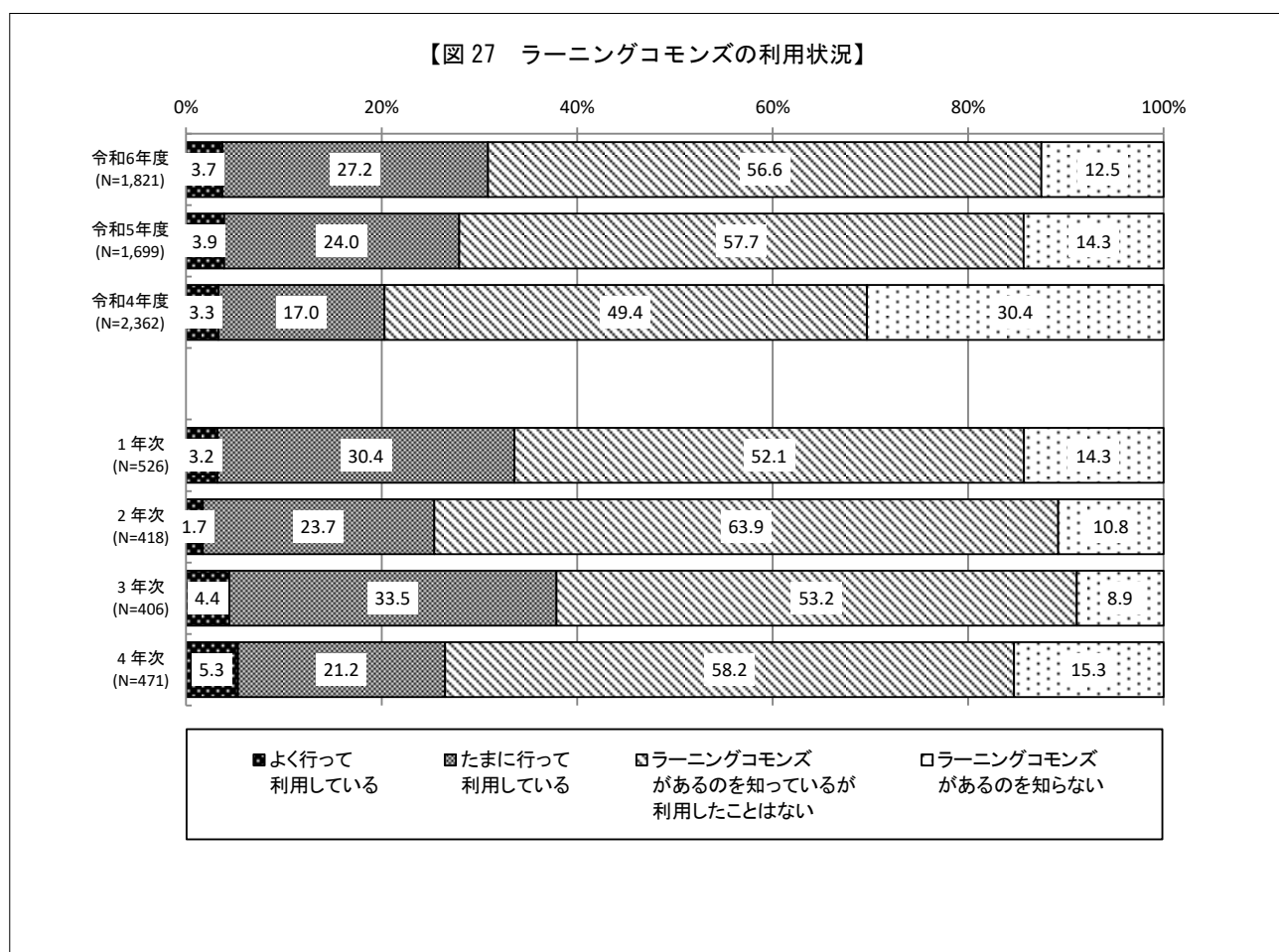
【結果概要(問 27)】

問 27. ラーニングコモンズの利用状況としては、「ラーニングコモンズがあるのを知っているが利用したことはない」が 56.6%と最も多く、「よく行って利用している」の 3.7%と「たまに行って利用している」の 27.2%を合わせた利用経験者は 30.9%となっている。

年度別でみると、利用経験者は前回調査より増加しており、「ラーニングコモンズがあるのを知らない」も前回調査の 14.3%に対し、今回調査では 12.5%と減少している。

年次別でみると、2 年次では利用経験者が 25.4%で他の年次と比べて少なく、また「ラーニングコモンズがあるのを知っているが利用したことはない」が 63.9%で他の年次と比べて多くなっている。＜図 27＞

■ 問 27. ラーニングコモンズの利用状況（過年度調査・年次別）



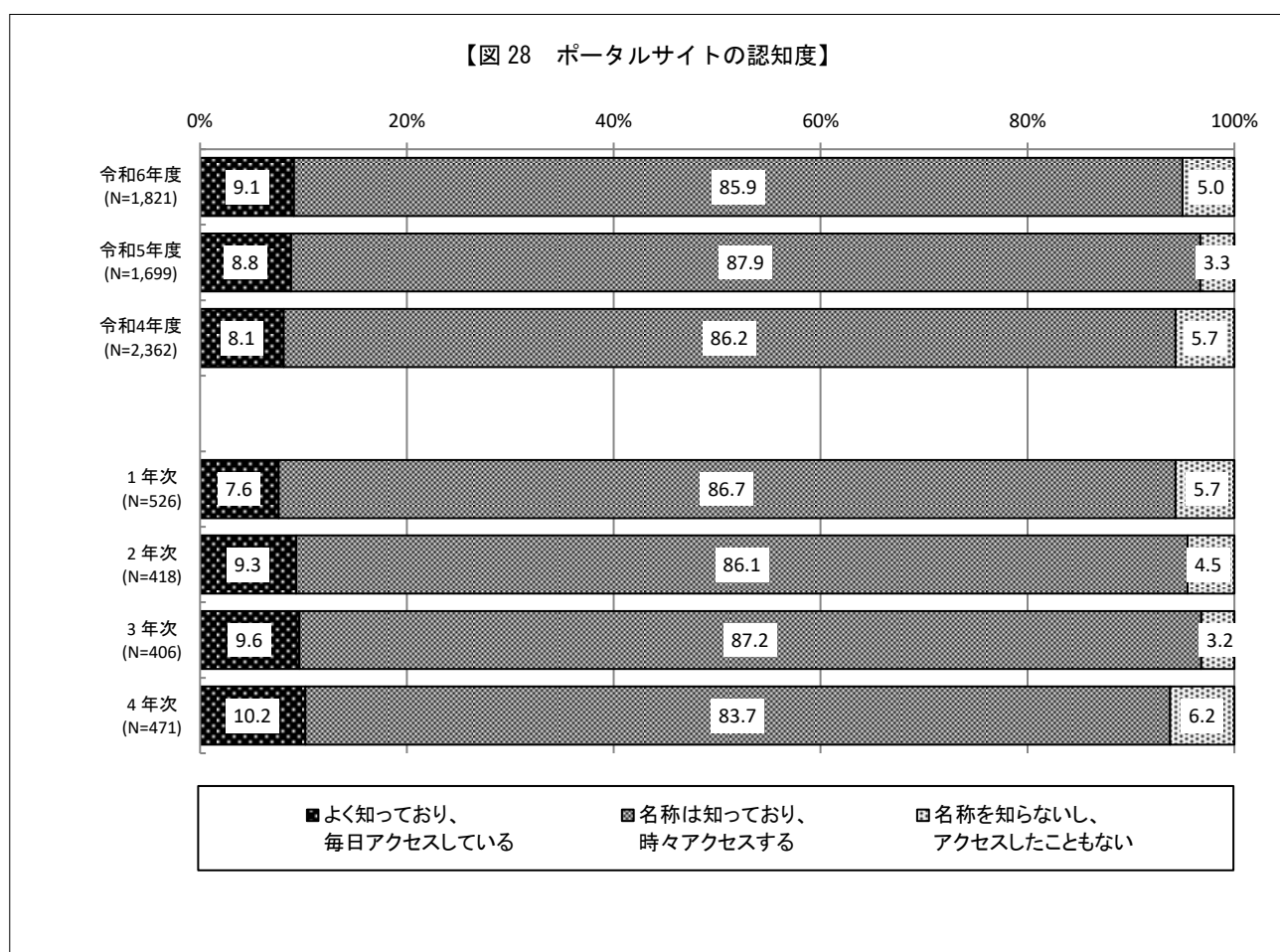
【結果概要(問 28)】

問 28. ポータルサイトの認知度では、「名称は知っており、時々アクセスする」が 85.9%と最も多く、次に「よく知っており、毎日アクセスしている」が 9.1%となっている。

年度別でみると、「名称を知らないし、アクセスしたこともない」は、前回調査では 3.3%に対し、今回調査では 5.0%と、1.7 ポイント増加している。

年次別でみると、4 年次では「よく知っており、毎日アクセスしている」「名称を知らないし、アクセスしたこともない」がともに他の年次と比べてやや多く、それぞれ 10.2%、6.2%となっている。＜図 28＞

■ 問 28. ポータルサイトの認知度（過年度調査・年次別）



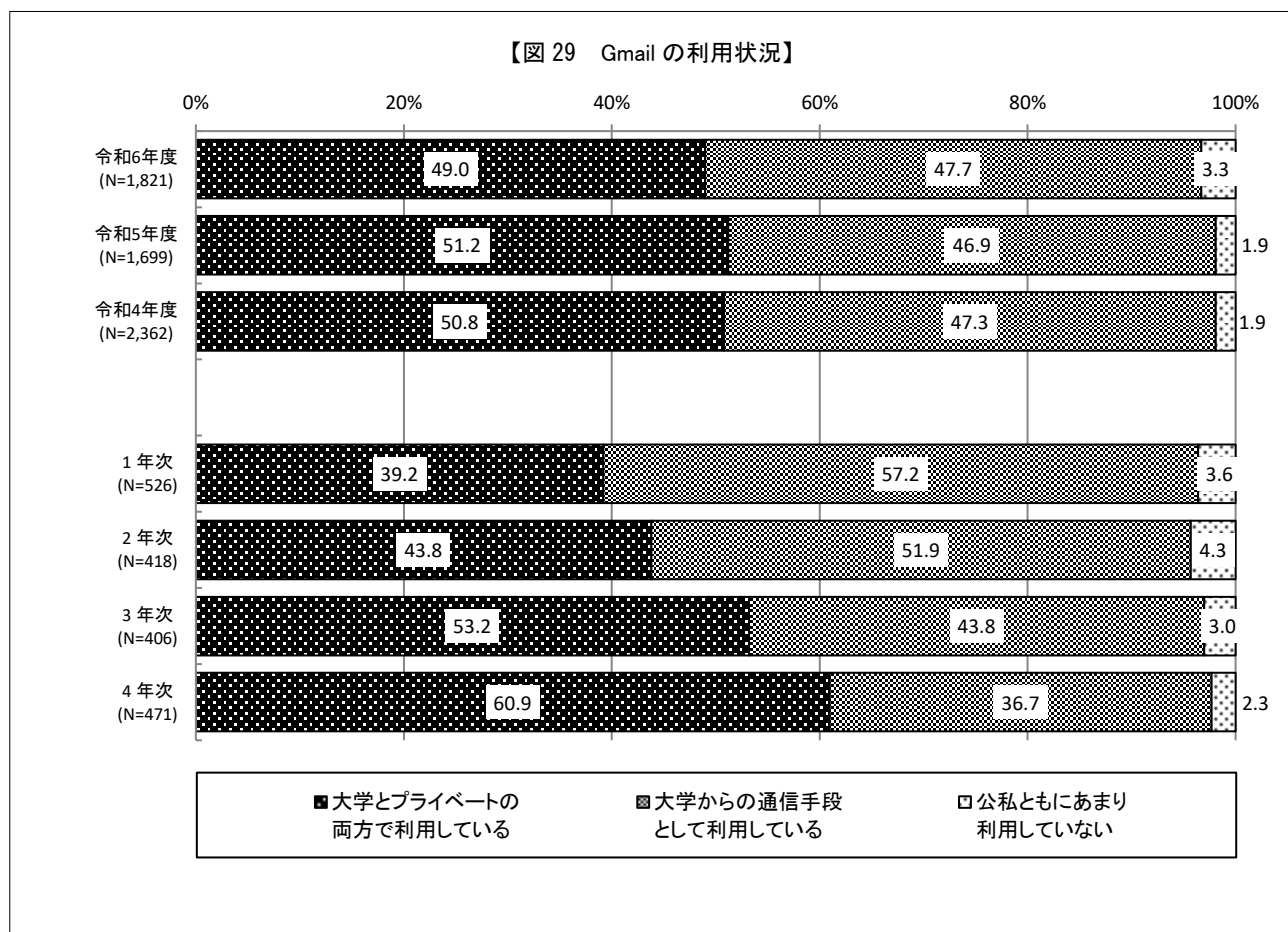
【結果概要(問 29)】

問 29. Gmail の利用状況については、「大学とプライベートの両方で利用している」が 49.0%と最も多く、次に「大学からの通信手段として利用している」が 47.7%となっている。

年度別でみると、「大学とプライベートの両方で利用している」は前回調査では 51.2%に対し、今回調査では 49.0%と、2.2 ポイント減少している。

年次別にみると、年次が上がるごとに「大学とプライベートの両方で利用している」は増加し、「大学からの通信手段として利用している」は減少している。＜図 29＞

■ 問 29. Gmail の利用状況（過年度調査・年次別）



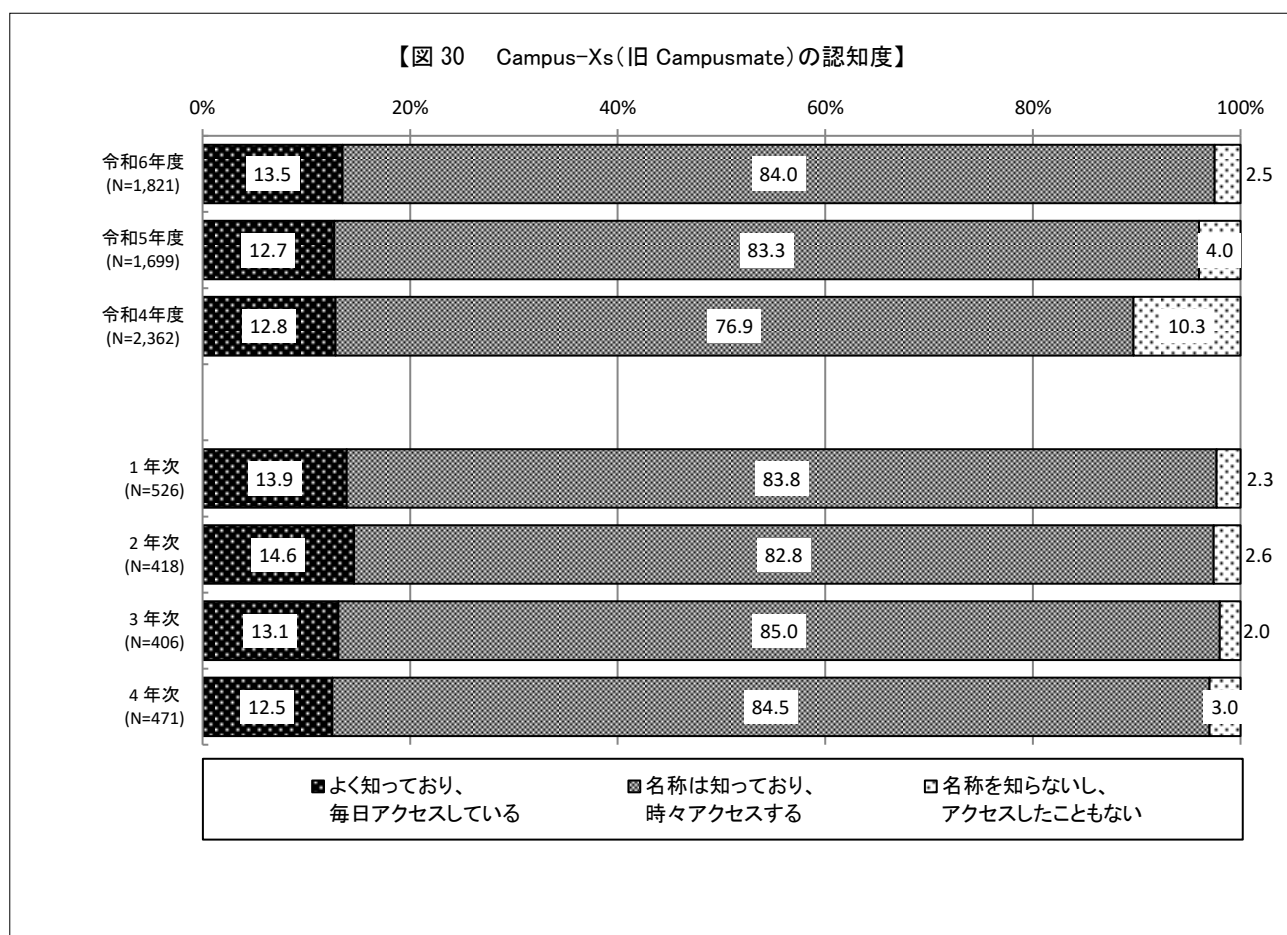
【結果概要(問 30)】

問 30. Campus-Xs (旧 Campusmate) を知っているかという問いについては、「名称は知っており、時々アクセスする」が 84.0%と最も多く、「よく知っており、毎日アクセスしている」が 13.5%、「名称を知らないし、アクセスしたこともない」が 2.5%で続く。

年度別でみると、「よく知っており、毎日アクセスしている」は前回調査の 12.7%に対し、今回調査では 13.5%と 0.8 ポイント増加し、「名称を知らないし、アクセスしたこともない」は前回調査の 4.0%に対し、今回調査では 2.5%と 1.5 ポイント減少している。

年次別にみると、「よく知っており、毎日アクセスしている」は 2 年次が 14.6%で他の年次と比べてやや多く、「名称は知っており、時々アクセスする」は 3 年次が 85.0%で最も多くなっている。＜図 30＞

■ 問 30. Campus-Xs(旧 Campusmate)の認知度 (過年度調査・年次別)



【結果概要(問 31)】

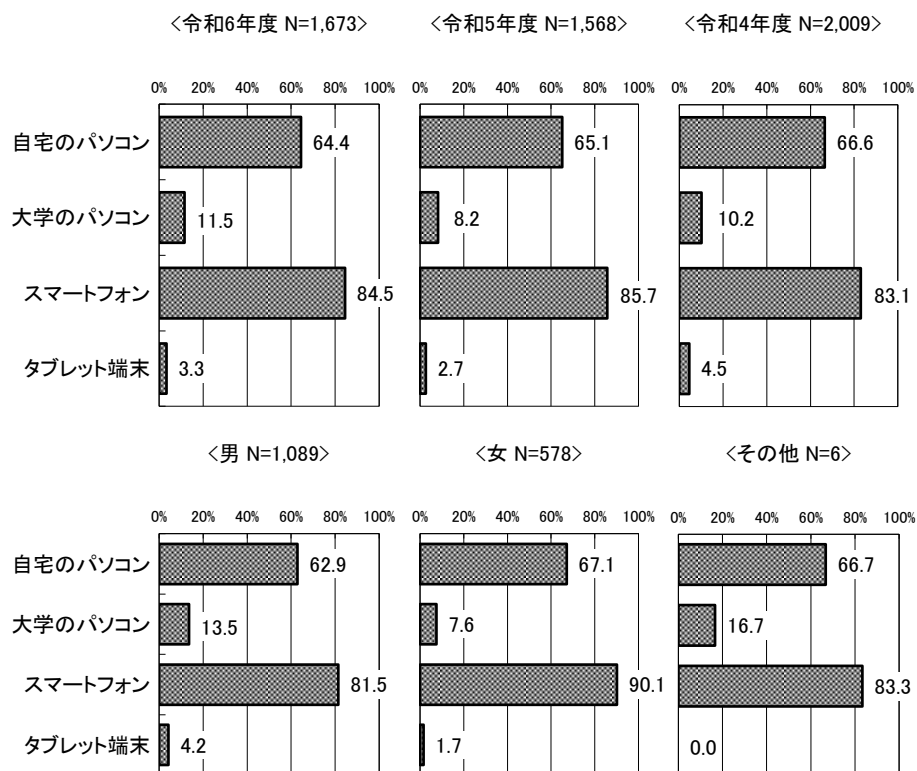
問 31. 大学の各種情報提供サイトなどにアクセスする際、どの媒体を利用しているかについては、「スマートフォン」が 84.5%と最も多く、次に「自宅のパソコン」の 64.4%となっている。

年度別でみると、「スマートフォン」は年々増加していたが、今回調査ではやや減少しているのに対して、「自宅のパソコン」は年々減少している。

性別でみると、「スマートフォン」はすべての学生で最も多く、男子学生は 81.5%、女子学生は 90.1%となっている。＜図 31＞

■問 31. 大学の情報を見るために利用している媒体（過年度調査・性別）

【図 31 大学の情報を見るために利用している媒体】



4. 課外活動等について

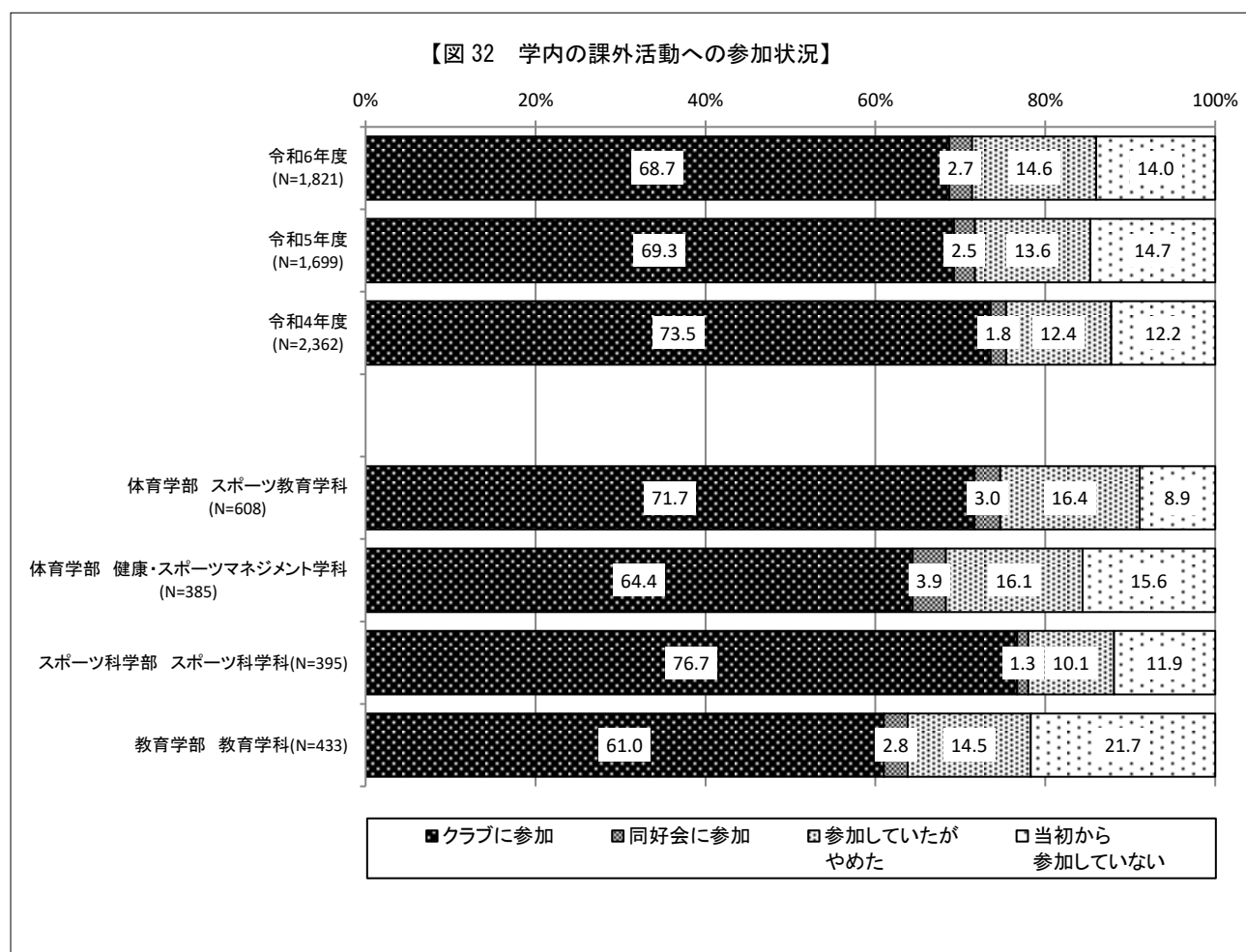
【結果概要(問 32)】

問 32. 学内の課外活動への参加状況としては、「クラブに参加」が 68.7%で最も多く、「参加していたがやめた」が 14.6%、「当初から参加していない」が 14.0%で続く。

年度別でみると、「同好会に参加」と「参加していたがやめた」は年々増加している。

所属学部・学科別でみると、スポーツ科学部スポーツ科学科では、「クラブに参加」が 76.7%、教育学部教育学科では、「当初から参加していない」が 21.7%と他の学部・学科と比べて多くなっている。＜図 32＞

■ 問 32. 学内の課外活動への参加状況（過年度調査・学科別）

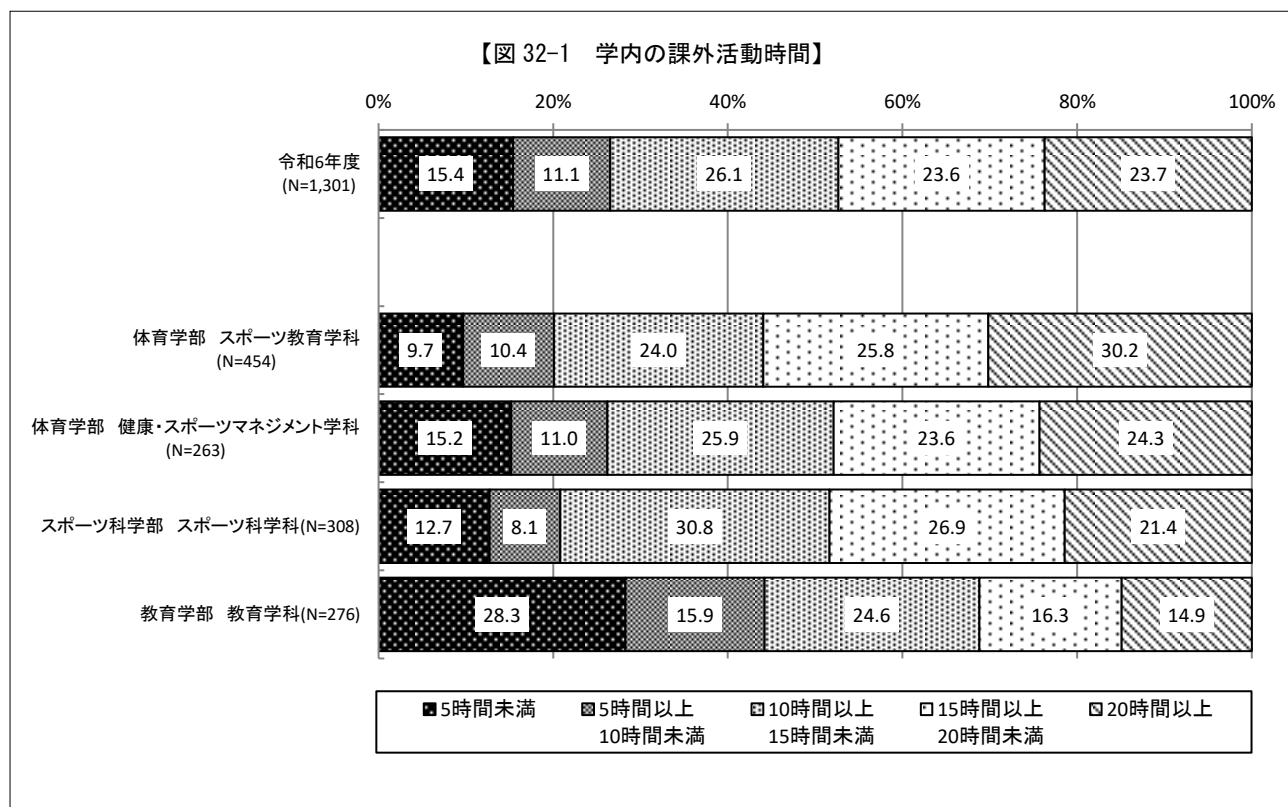


【結果概要(問 32-1)】

問 32-1. 一週間あたりの学内の課外活動時間は、「10 時間以上 15 時間未満」が 26.1%と最も多くなっており、次に「20 時間以上」が 23.7%、「15 時間以上 20 時間未満」が 23.6%となっている。

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科では「5 時間未満」が 28.3%と他の学部・学科と比べて多くなっている。＜図 32-1＞

■ 問 32-1. 学内の課外活動時間（学科別）

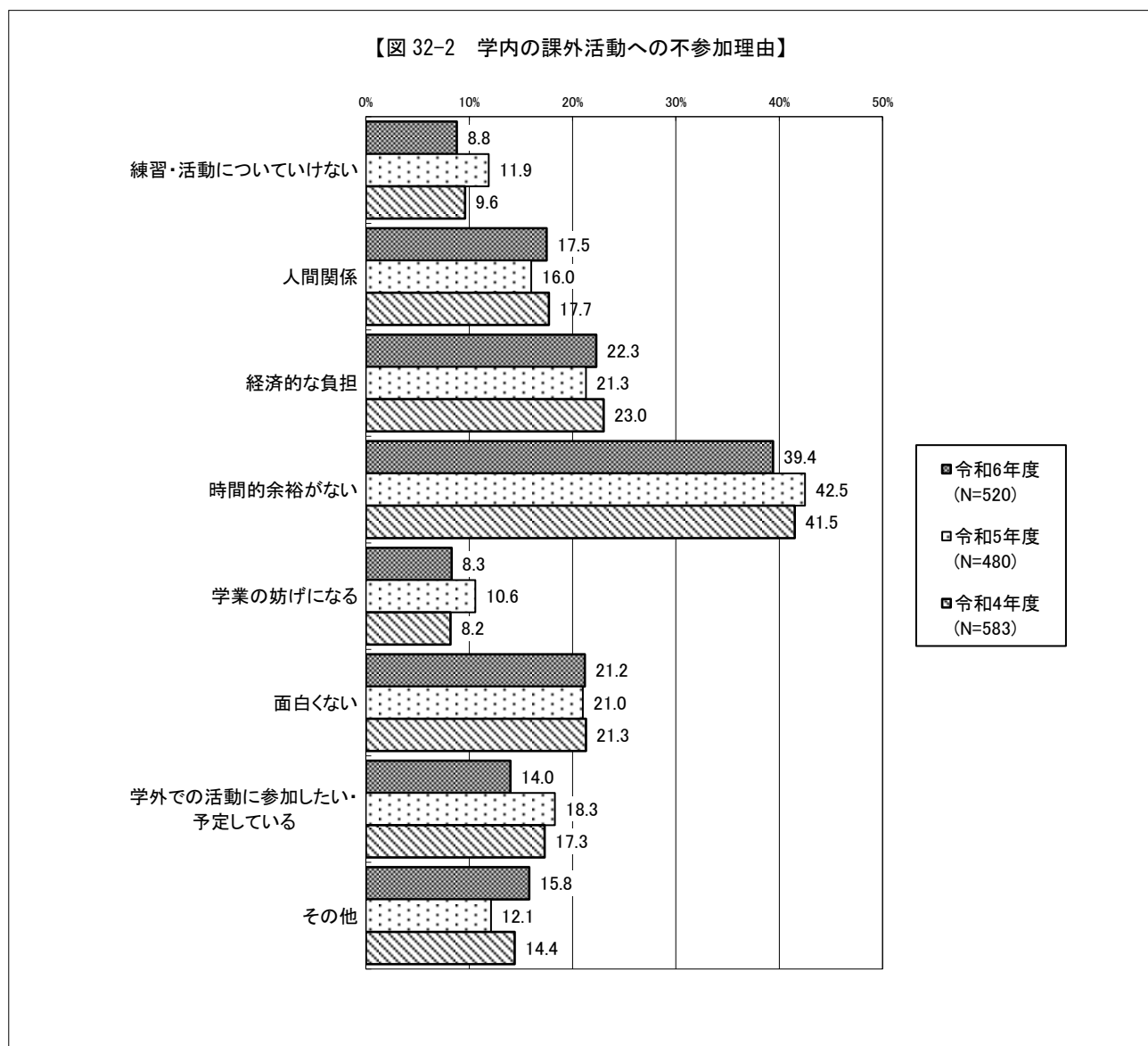


【結果概要(問 32-2)】

問 32-2. 学内の課外活動への不参加（参加していたがやめたを含む）理由としては「時間的余裕がない」が39.4%で最も多く、次に「経済的な負担」が22.3%となっている。

年度別でみると、前回調査と比べて、「人間関係」は1.5ポイント増加、「学外での活動に参加したい・予定している」は4.3ポイント、「練習・活動についていけない」、「時間的余裕がない」は3.1ポイント減少している。＜図 32-2＞

■問 32-2. 学内の課外活動への不参加理由（過年度調査）



【結果概要(問 33)】

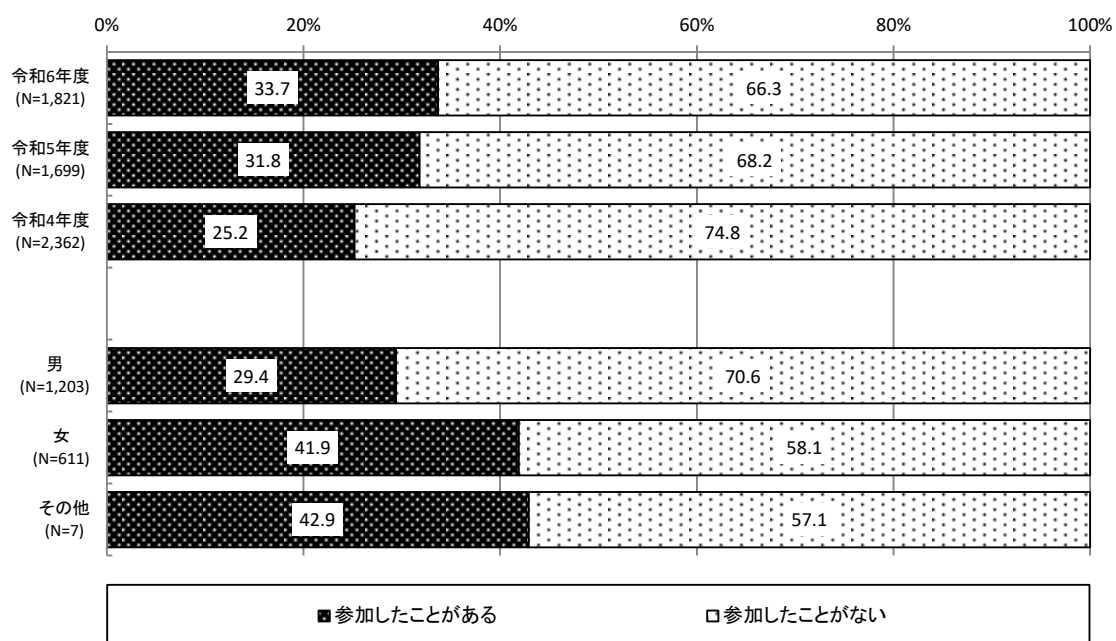
問 33. 大学祭（雨山祭）の参加状況は、「参加したことがある」は 33.7%で、「参加したことがない」（66.3%）が上回っている。

年度別でみると、「参加したことがある」は年々増加しており、前回調査から 1.9 ポイント増えている。

性別でみると、「参加したことがある」は男子学生が 29.4%、女子学生が 41.9%と女子学生の割合が多くなっている。＜図 33＞

■ 問 33. 大学祭〔雨山祭〕の参加状況（過年度調査・性別）

【図 33 大学祭〔雨山祭〕の参加状況（令和 3 年度は 2 年生以上）】



【結果概要(問 33-1)】

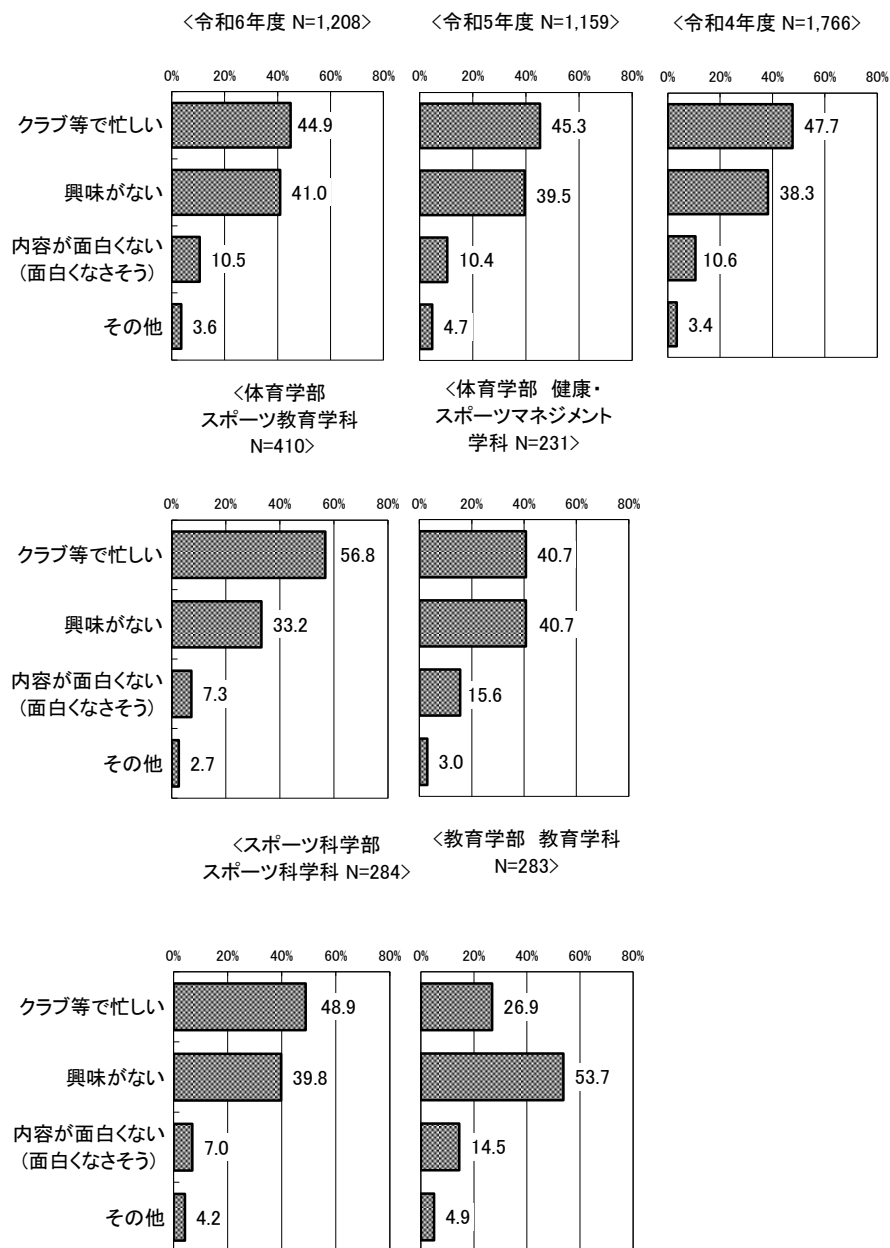
問 33-1. 大学祭（雨山祭）への不参加理由としては、「クラブ等で忙しい」が 44.9%で最も多く、次に「興味がない」が 41.0%となっている。

年度別でみると、前回調査と比べて「興味がない」が 1.5 ポイント増加し、「クラブ等で忙しい」が 0.4 ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると、体育学部スポーツ教育学科では「クラブ等で忙しい」、教育学部教育学科では「興味がない」が最も多くなっている。＜図 33-1＞

■問 33-1. 大学祭〔雨山祭〕の不参加理由（過年度調査・学科別）

【図 33-1 大学祭〔雨山祭〕の不参加理由】



5. 健康等について

【結果概要(問 34)】

問 34. 朝食の摂食状況としては、「ほとんど毎日摂る」が 56.4%と最も多く、「摂らない」は 17.7%となっている。

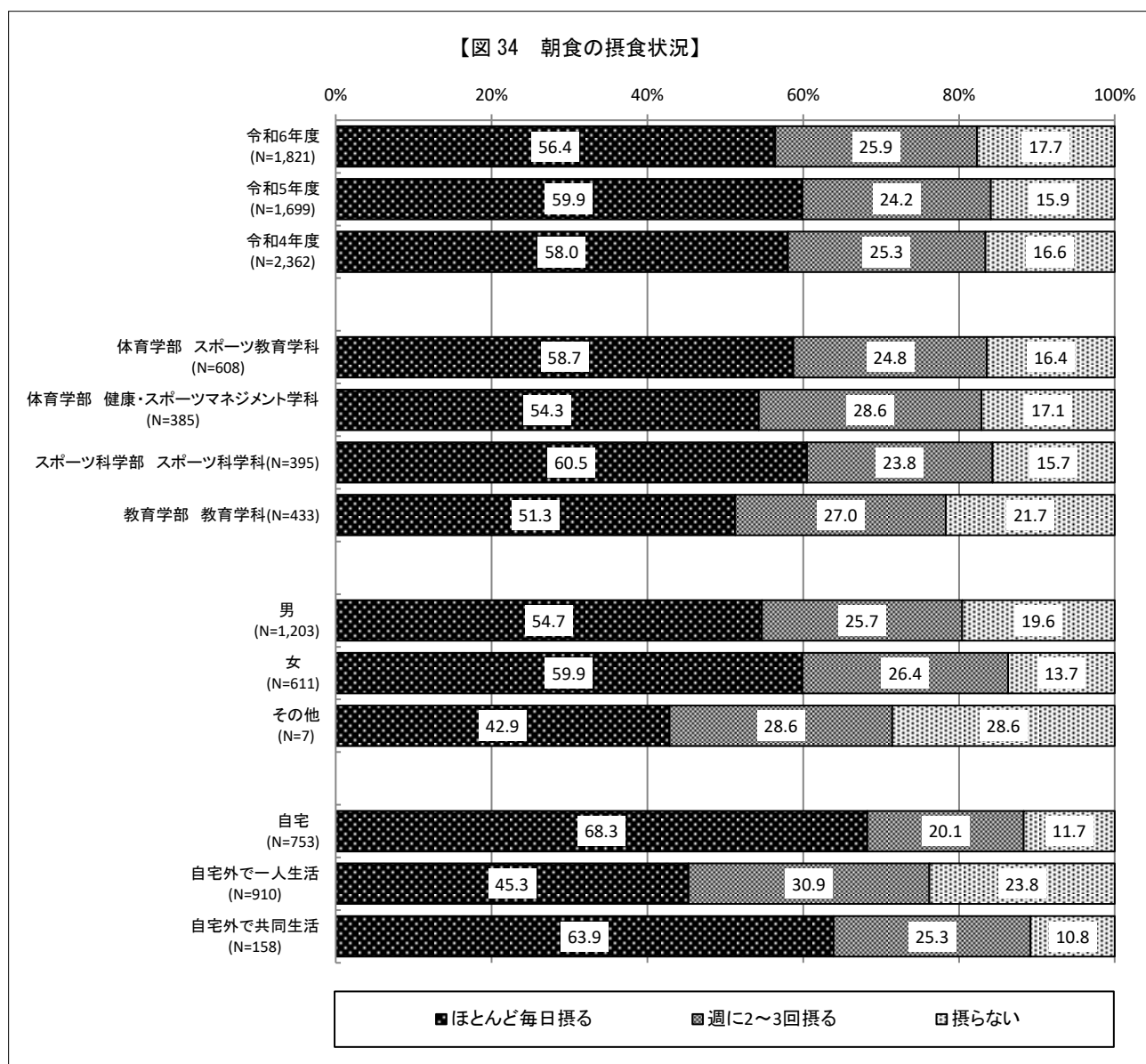
年度別でみると、前回調査と比べて「ほとんど毎日摂る」が 3.5 ポイント減少し、「週に 2～3 回摂る」が 1.7 ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、「ほとんど毎日摂る」は教育学部教育学科が 51.3%で最も少なくなっている。

性別でみると、「ほとんど毎日摂る」は女子学生で 59.9%と男子学生と比べて多くなっている。

居住形態別でみると、「ほとんど毎日摂る」は「自宅」と「自宅外で共同生活」ではともに 6 割を超えているのに対して、「自宅外で一人生活」では 4 割台にとどまっている。＜図 34＞

■ 問 34. 朝食の摂食状況（過年度調査・学科別・性別・居住形態別）



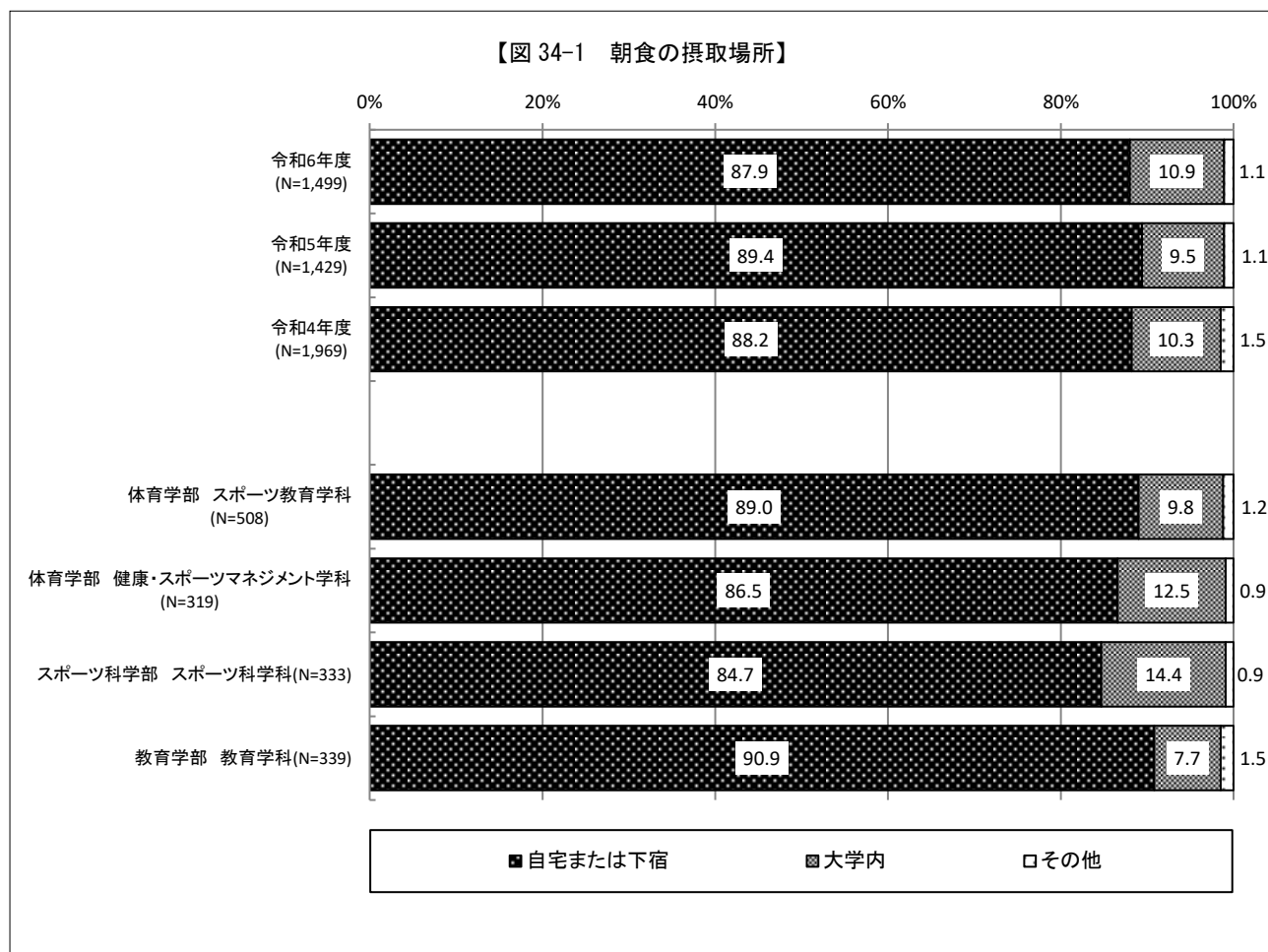
【結果概要(問 34-1)】

問 34-1. 朝食を摂る場所としては、「自宅または下宿」が 87.9%となっている。

年度別でみると、「自宅または下宿」は、前回調査と比べると 1.5 ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると、「自宅または下宿」は最も多い教育学部教育学科の学生が 90.9%、最も少ないスポーツ科学部スポーツ科学科の学生でも 84.7%と 9 割前後の学生が朝食をとる場所として「自宅または下宿」と回答している。＜図 34-1＞

■ 問 34-1. 朝食の摂取場所（過年度調査・学科別）



【結果概要(問 35)】

問 35. 朝食の食事内容（上位 3 つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が 82.2%、「卵」が 26.1%、「乳製品」が 25.6%となっている。

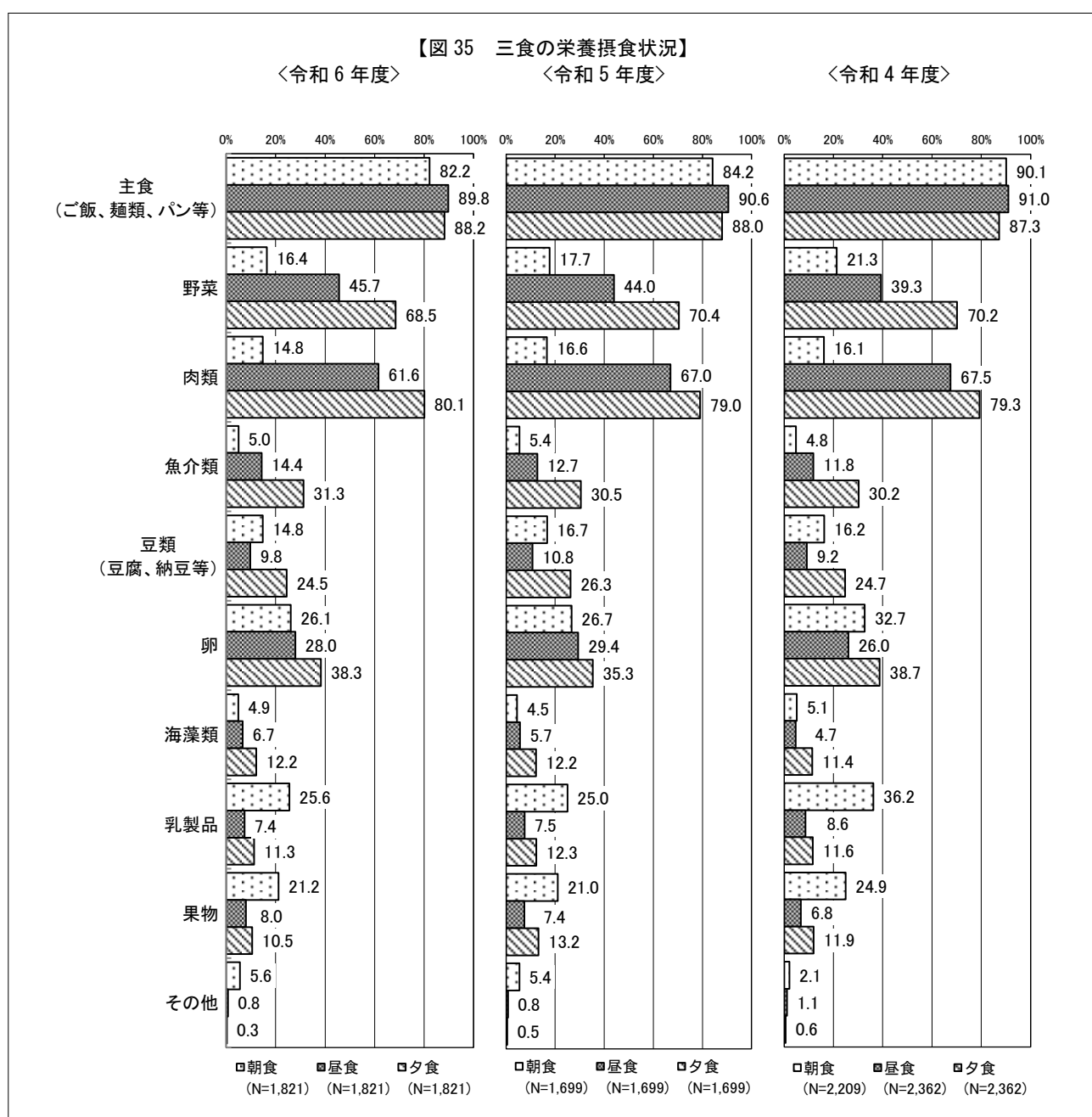
昼食の食事内容（上位 3 つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が 89.8%、「肉類」が 61.6%、「野菜」が 45.7%となっている。

夕食の食事内容（上位 3 つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が 88.2%、「肉類」が 80.1%、「野菜」が 68.5%となっている。

年度別でみると、朝食・昼食の「主食（ご飯、麺類、パン等）」の割合が年々減少している。

<図 35>

■問 35. 三食の栄養摂食状況（過年度調査）



【結果概要(問 36)】

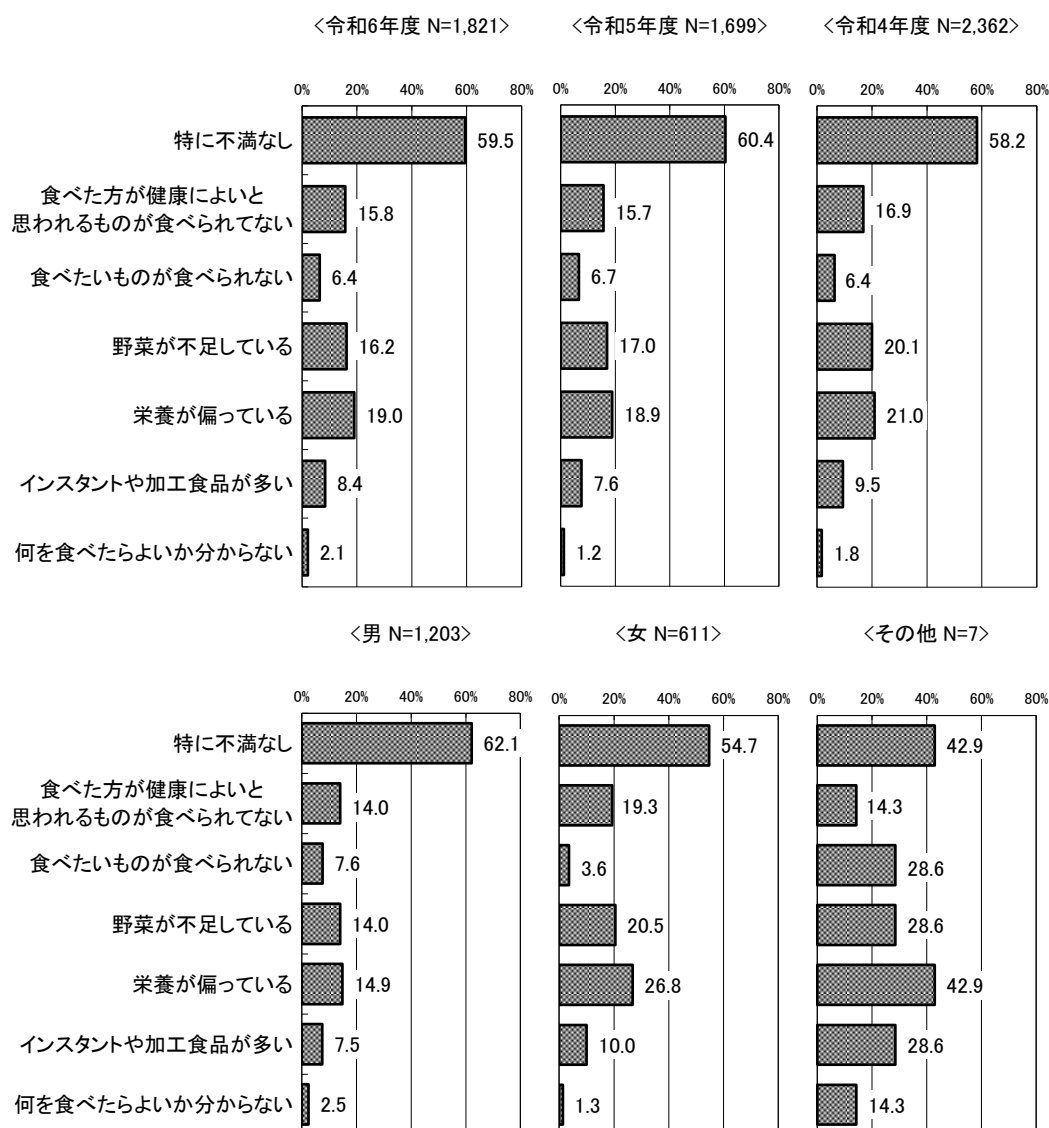
問 36. 食生活への満足度としては、「特に不満なし」が 59.5%で最も多い。不満内容としては、「栄養が偏っている」が 19.0%、「野菜が不足している」が 16.2%、「食べた方が健康によいと思われるものが食べられてない」が 15.8%となっている。

年度別でみると、「特に不満なし」はいずれの年度でも約 6 割を占めている。

性別でみると、女子学生は男子学生に比べると、「栄養が偏っている」は 11.9 ポイント、「野菜が不足している」は 6.5 ポイント多くなっている。＜図 36＞

■問 36. 食生活について（過年度調査・性別）

【図 36 食生活について】



【結果概要(問 36-1)】

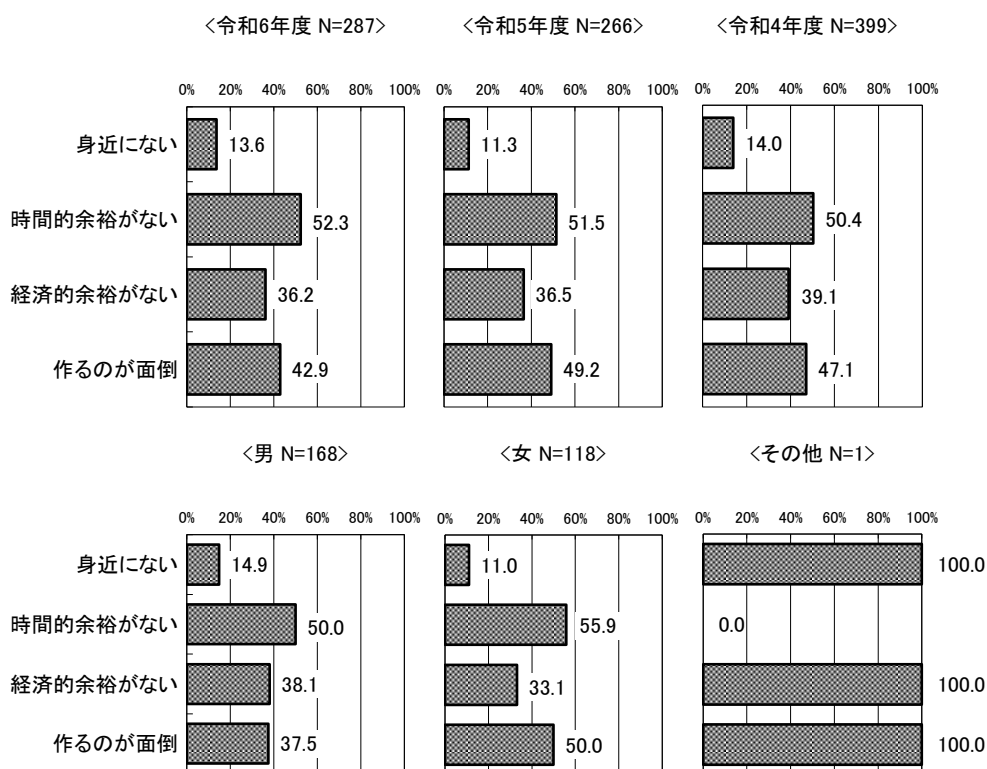
問 36-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由としては、「時間的余裕がない」が52.3%と最も多く、次に「作るのが面倒」の42.9%となっている。

年度別でみると、「経済的余裕がない」は年々減少しているが、「時間的余裕がない」は年々増加している。

性別でみると、男子学生、女子学生ともに「時間的余裕がない」が最も多くなっている。＜図 36-1＞

■問 36-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由（過年度調査・性別）

【図 36-1 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由】



【結果概要(問 37・問 37-1)】

問 37. 100 円朝食（100 円サンドウィッチ、100 円スムージー、100 円スープなど）の利用については、「ときどき利用している」が 39.2%、「たまに利用している」が 35.1%、「ほぼ毎日利用している」が 12.0%で、これらを合わせた「利用したことがある」が 86.3%である。

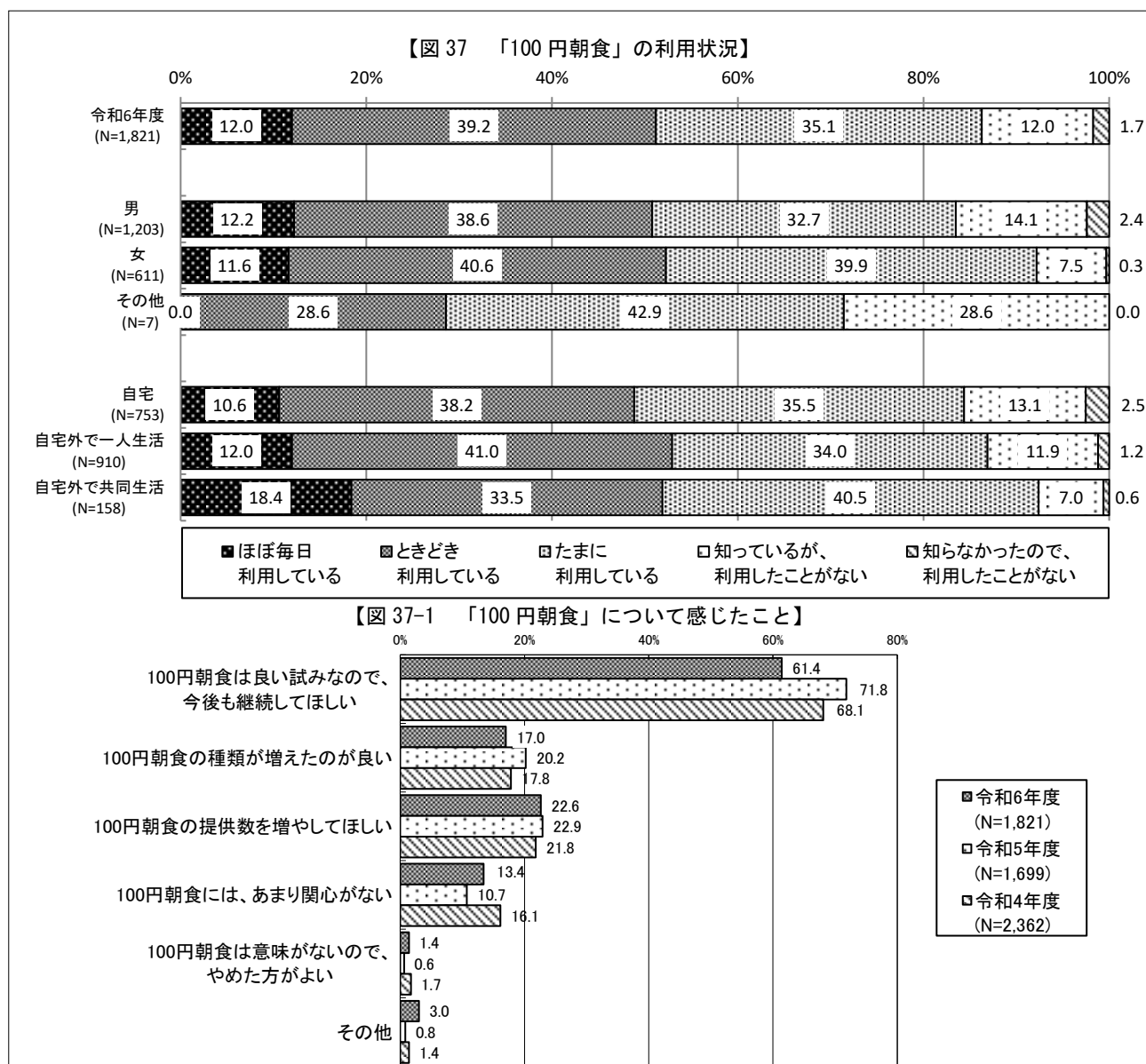
性別でみると、「利用したことがある」は男子学生が 83.5%、女子学生が 92.1%で、女子学生が 8.6 ポイント多くなっている。

居住形態別でみると、「利用したことがある」は「自宅外で共同生活」が 92.4%と最も多くなっている。＜図 37＞

問 37-1. 100 円朝食について感じたことは、「100 円朝食は良い試みなので、今後も継続してほしい」が 61.4%で最も多く、次に「100 円朝食の提供数を増やしてほしい」が 22.6%、「100 円朝食の種類が増えたのが良い」が 17.0%となっている。＜図 37-1＞

■問 37. 「100 円朝食」の利用状況（性別・居住形態別）

■問 37-1. 「100 円朝食」について感じたこと（過年度調査）



【結果概要(問 38)】

問 38. 大学で仲良くしている友人と知り合ったきっかけについては、「大学 1 年生時の授業」が 61.5%と最も多く、次に「大学のクラブ・同好会」が 48.8%、「入学後のオリエンテーション」が 28.7%となっている。＜図 38-A＞

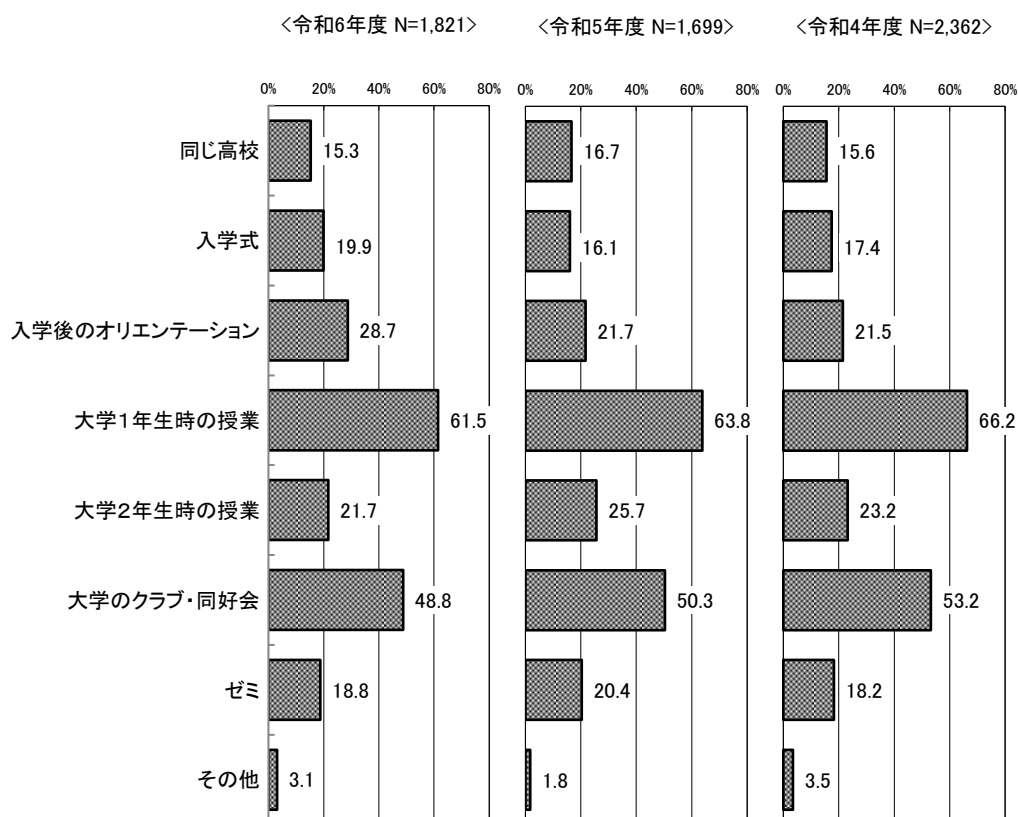
所属学部・学科別では、「大学 1 年生時の授業」については教育学部教育学科の 67.9%が最も多くなっており、「大学のクラブ・同好会」については体育学部スポーツ教育学科の 55.6%が最も多くなっている。＜図 38-B＞

年次別でみると、「大学のクラブ・同好会」は年次が上がるにつれて割合は多くなる傾向があり、1 年次では 42.2%であったが、3 年次では 55.4%まで上がっている。

性別でみると、「大学のクラブ・同好会」では男子学生が 49.1%、女子学生が 48.6%で男子学生が多く、「大学 1 年生時の授業」では男子学生が 59.7%、女子学生が 65.1%で、女子学生が多くなっている。＜図 38-C＞

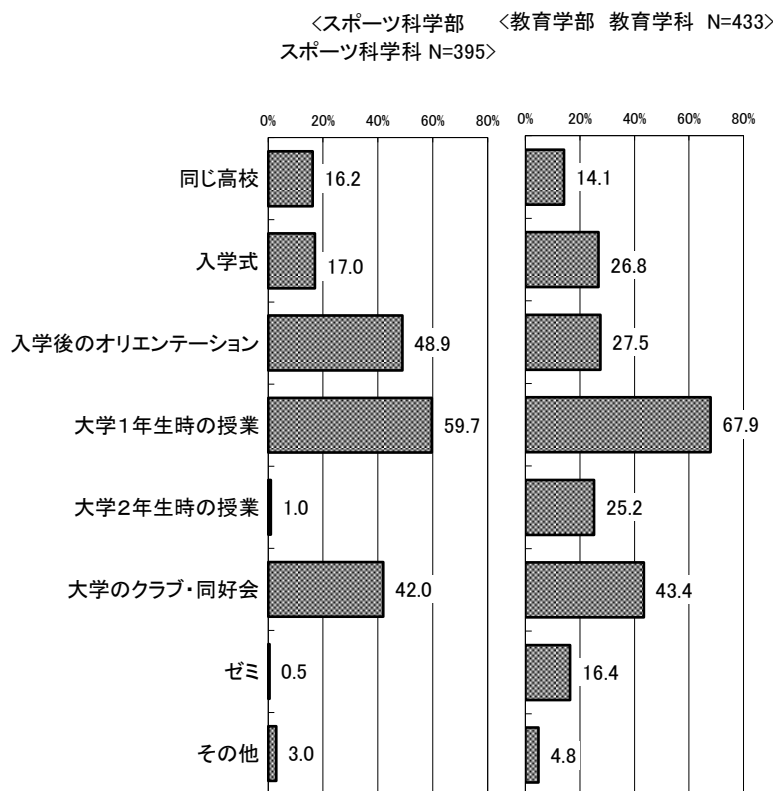
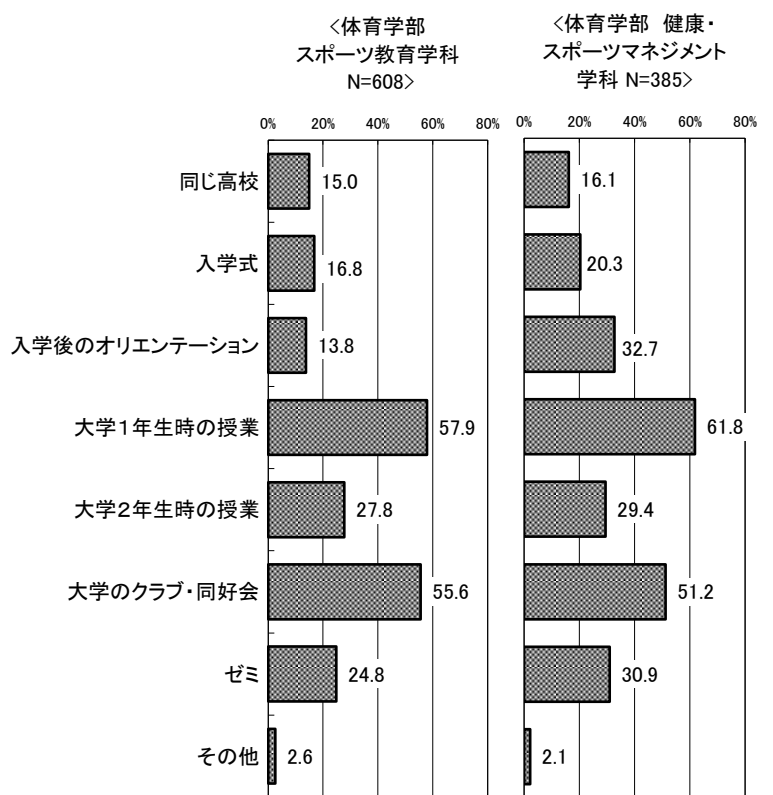
■問 38. 大学で仲良くしている友人と知り合ったきっかけ

【図 38-A 大学で仲良くしている友人と知り合ったきっかけ】



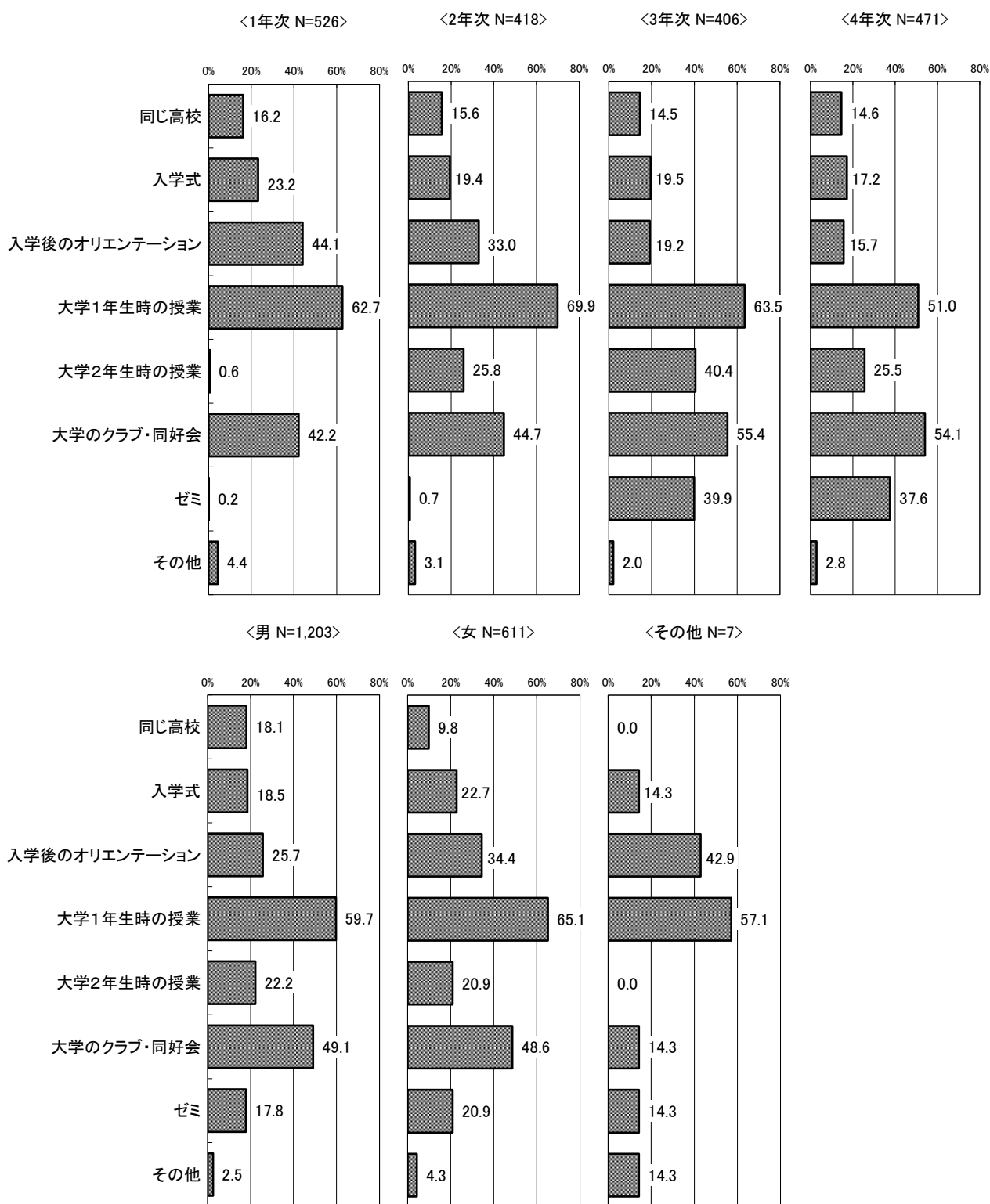
■問 38. 大学で仲良くしている友人と知り合ったきっかけ（学科別）

【図 38-B 大学で仲良くしている友人と知り合ったきっかけ】



■問 38. 大学で仲良くしている友人と知り合ったきっかけ（年次別・性別）

【図 38-C 大学で仲良くしている友人と知り合ったきっかけ】



6. 不安や悩みについて

【結果概要(問 39)】

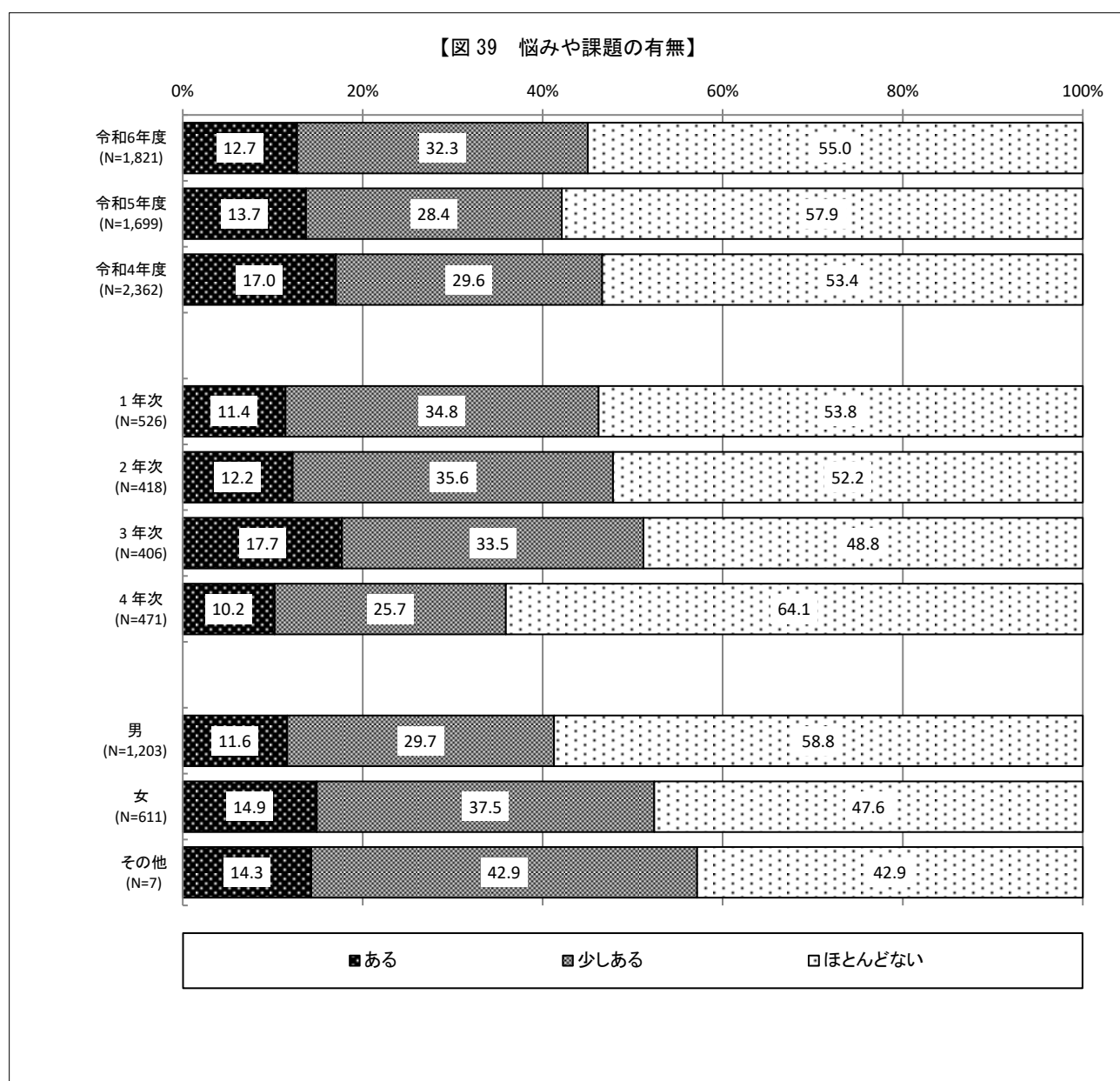
問 39. 現在、悩みや課題はあるかの質問に対しては、「ある」が 12.7%で、「少しある」の 32.3%を合わせると 45.0%となっており、学生全体の約 4 割以上が何らかの悩みや課題があると回答している。

年度別でみると、何らかの悩みや課題がある学生の割合は前回調査より増加しており、依然として 4 割を超えている。

年次別でみると、3 年次では 5 割以上が何らかの悩みや課題があると回答している。

性別でみると、何らかの悩みや課題があると回答した割合は男子学生が 41.3%、女子学生が 52.4%で女子学生の方が 11.1 ポイント多くなっている。＜図 39＞

■ 問 39. 悩みや課題の有無（過年度調査・年次別・性別）



【結果概要(問 40)】

問 40. 悩みや課題の具体的な内容としては、「就職・進路など」が 42.1%と最も多くなっており、次に「悩み・課題なし」が 27.8%、「学業」が 27.1%となっている。

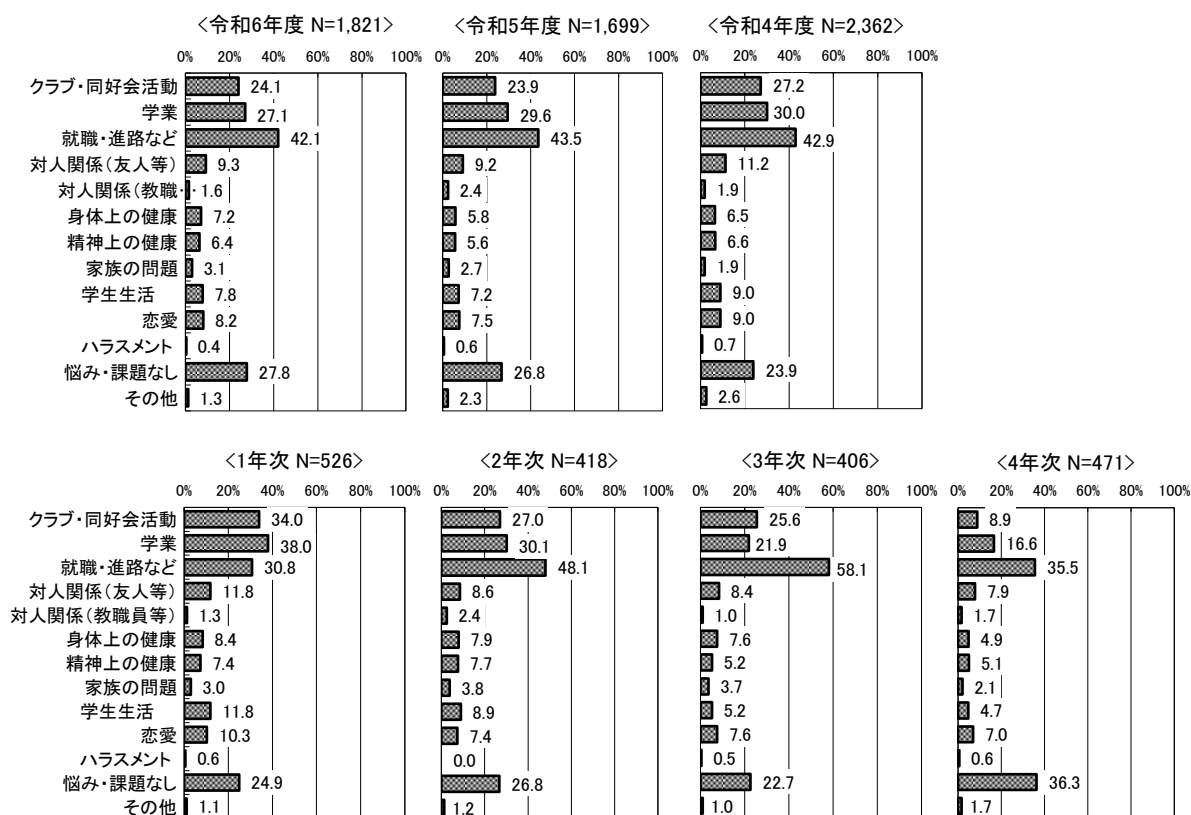
年度別でみると、「学業」が前回調査より 2.5 ポイント減少している。

年次別でみると、1 年次では「学業」が 38.0%と最も多く、2 年次以上になると「就職・進路など」が最も多くなり、3 年次では 58.1%と 5 割を超えている。＜図 40-A＞

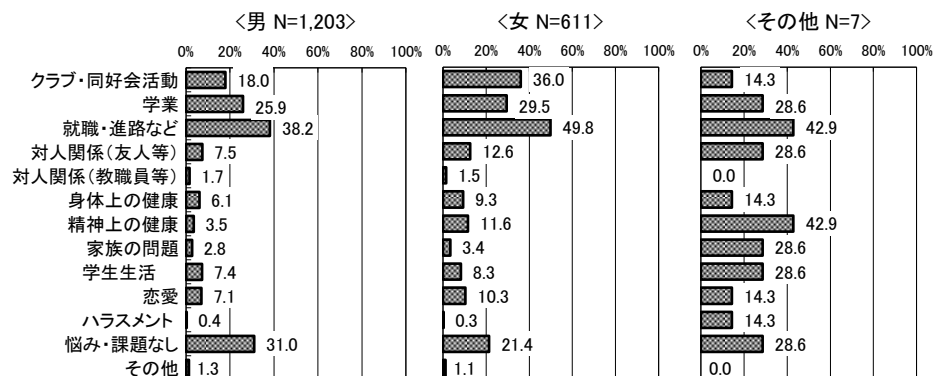
性別でみると、「就職・進路など」では男子学生が 38.2%、女子学生が 49.8%となっており、女子学生が 11.6 ポイント多くなっている。＜図 40-B＞

■問 40. 悩みや課題の具体的な内容（過年度調査・年次別・性別）

【図 40-A 悩みや課題の具体的な内容】



【図 40-B 悩みや課題の具体的な内容】



【結果概要(問 41)】

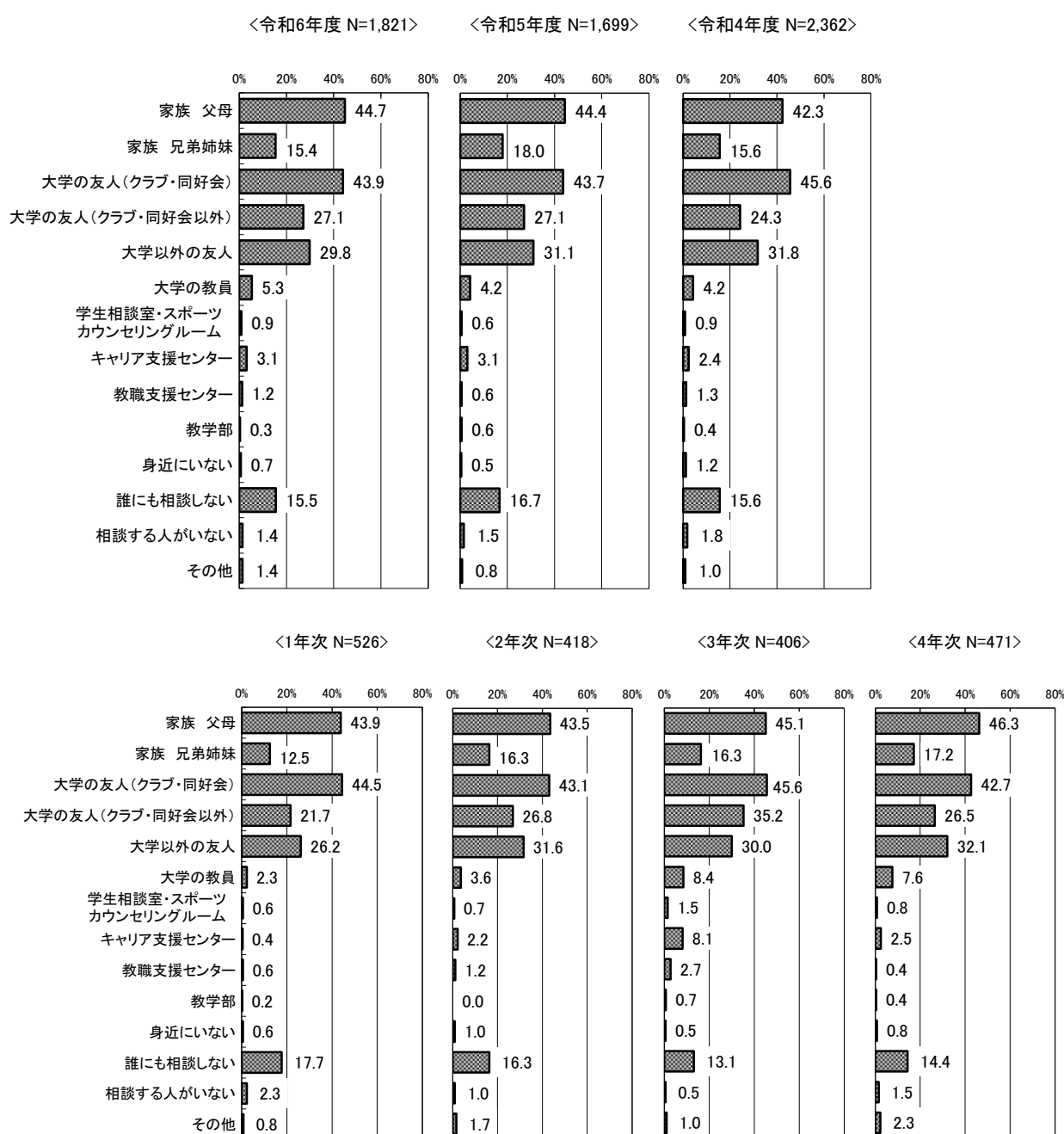
問 41. 悩みの相談相手は、「家族 父母」が 44.7%で最も多く、次に「大学の友人(クラブ・同好会)」が 43.9%、「大学以外の友人」が 29.8%となっている。大学担当部署への相談はいずれも数%と少ない。

年度別でみると、「誰にも相談しない」はすべての年度で 15.0%を超えている。

年次別でみると、3 年次の「キャリア支援センター」と「大学の教員」の割合が、他の年次と比べてやや多くなっている。＜図 41＞

■問 41. 悩みの相談相手（過年度調査・年次別）

【図 41 悩みの相談相手】



【結果概要(問 42)】

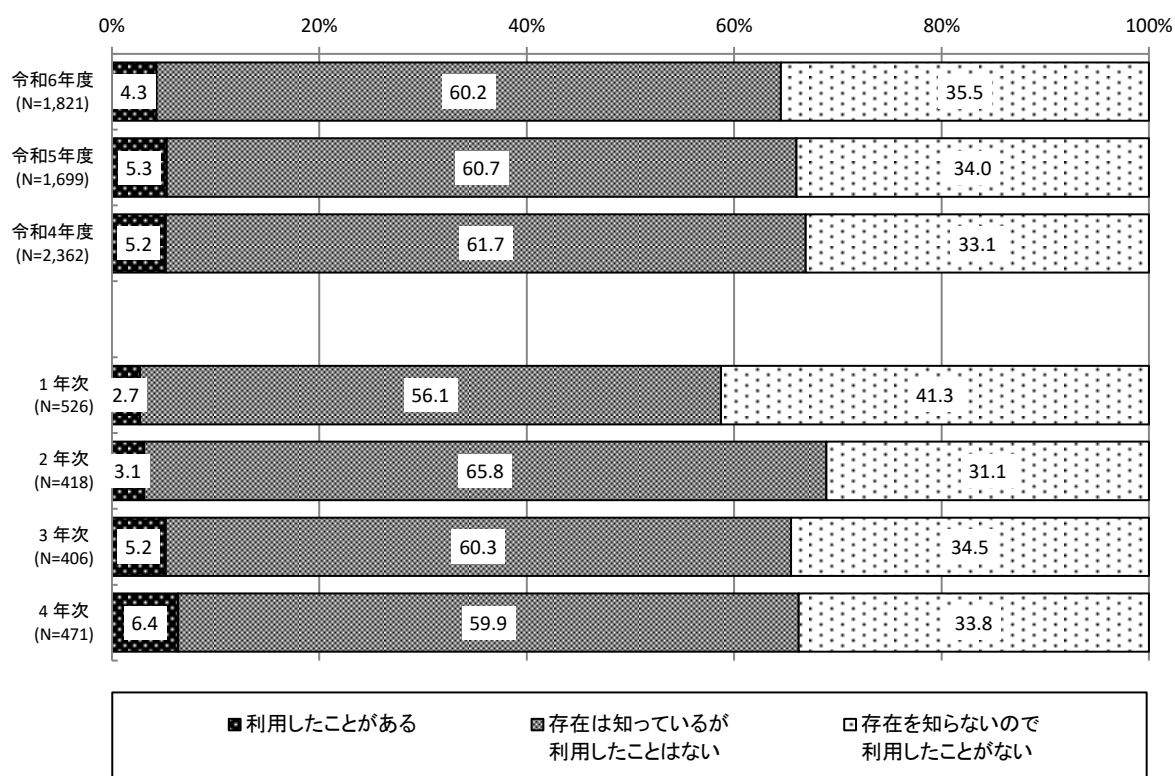
問 42. 学生相談室・スポーツカウンセリングルームの利用状況としては、「存在は知っているが利用したことはない」が 60.2%で最も多く、「利用したことがある」は 4.3%にとどまっている。また、35.5%の学生が「存在を知らないので利用したことがない」と回答している。

年度別でみると、どの年度でも「存在は知っているが利用したことはない」は 6 割を超えている。また、「存在を知らないので利用したことがない」も、どの年度でも 3 割を超えており、これらを合わせると「利用したことがない」学生が 9 割を超えている。

年次別でみると、「利用したことがある」は 4 年次で 6.4%と最も多く、次に 3 年次が 5.2%、2 年次が 3.1%、1 年次が 2.7%となっている。＜図 42＞

■ 問 42. 学生相談室・スポーツカウンセリングルームについて（過年度調査・年次別）

【図 42 学生相談室・スポーツカウンセリングルームについて】



7. マナー等について

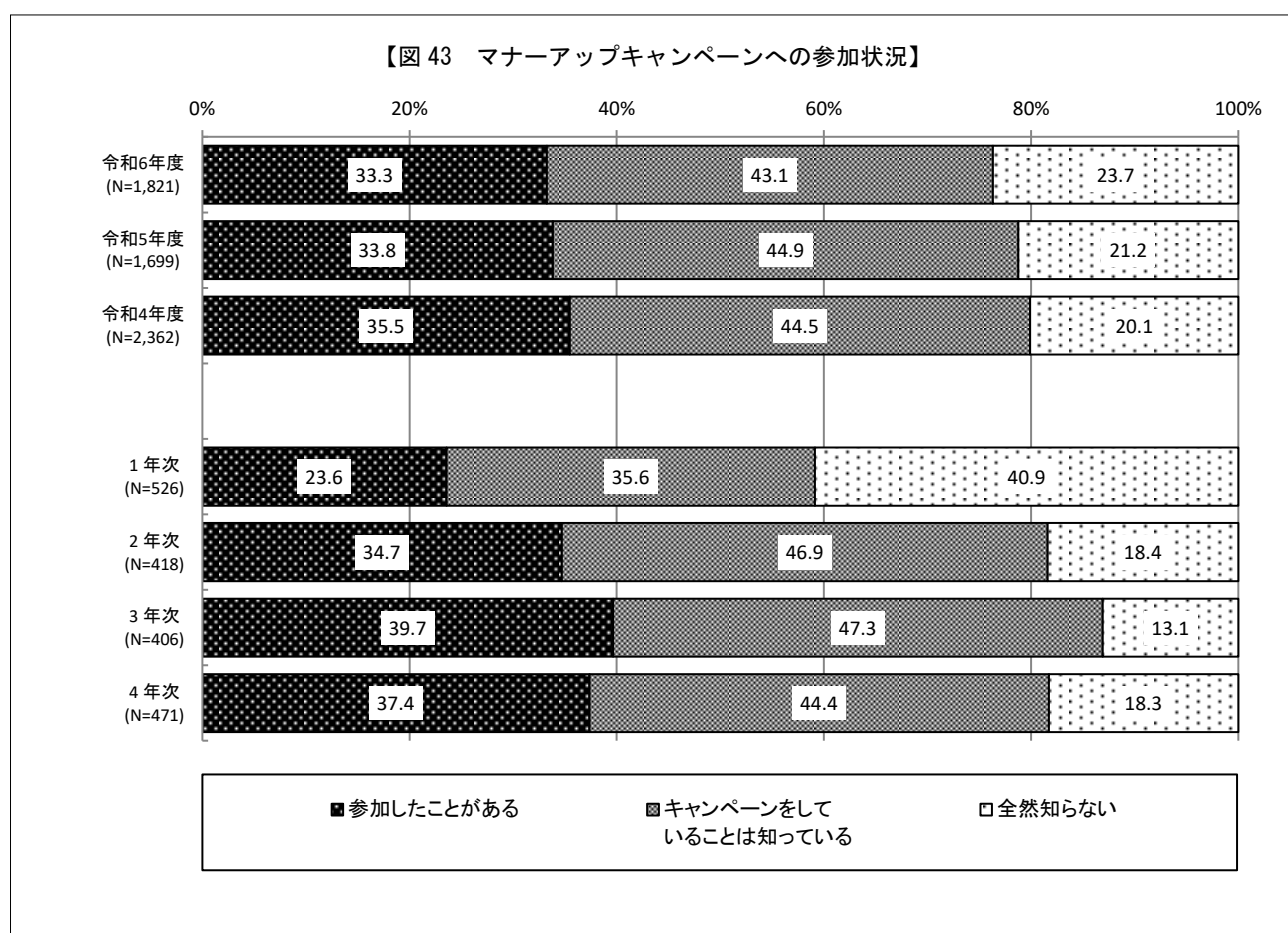
【結果概要(問 43)】

問 43. マナーアップキャンペーンについては、「キャンペーンをしていることは知っている」が 43.1%と最も多く、次に「参加したことがある」が 33.3%、「全然知らない」が 23.7%となっている。

年度別でみると、「参加したことがある」は前々回調査では 35.5%、前回調査では 33.8%、今回調査では 33.3%と毎年微減している。

年次別でみると、「参加したことがある」は 1 年次が 23.6%に対して、3 年次では 39.7%と最も多くなっている。＜図 43＞

■問 43. マナーアップキャンペーンへの参加状況（過年度調査・年次別）



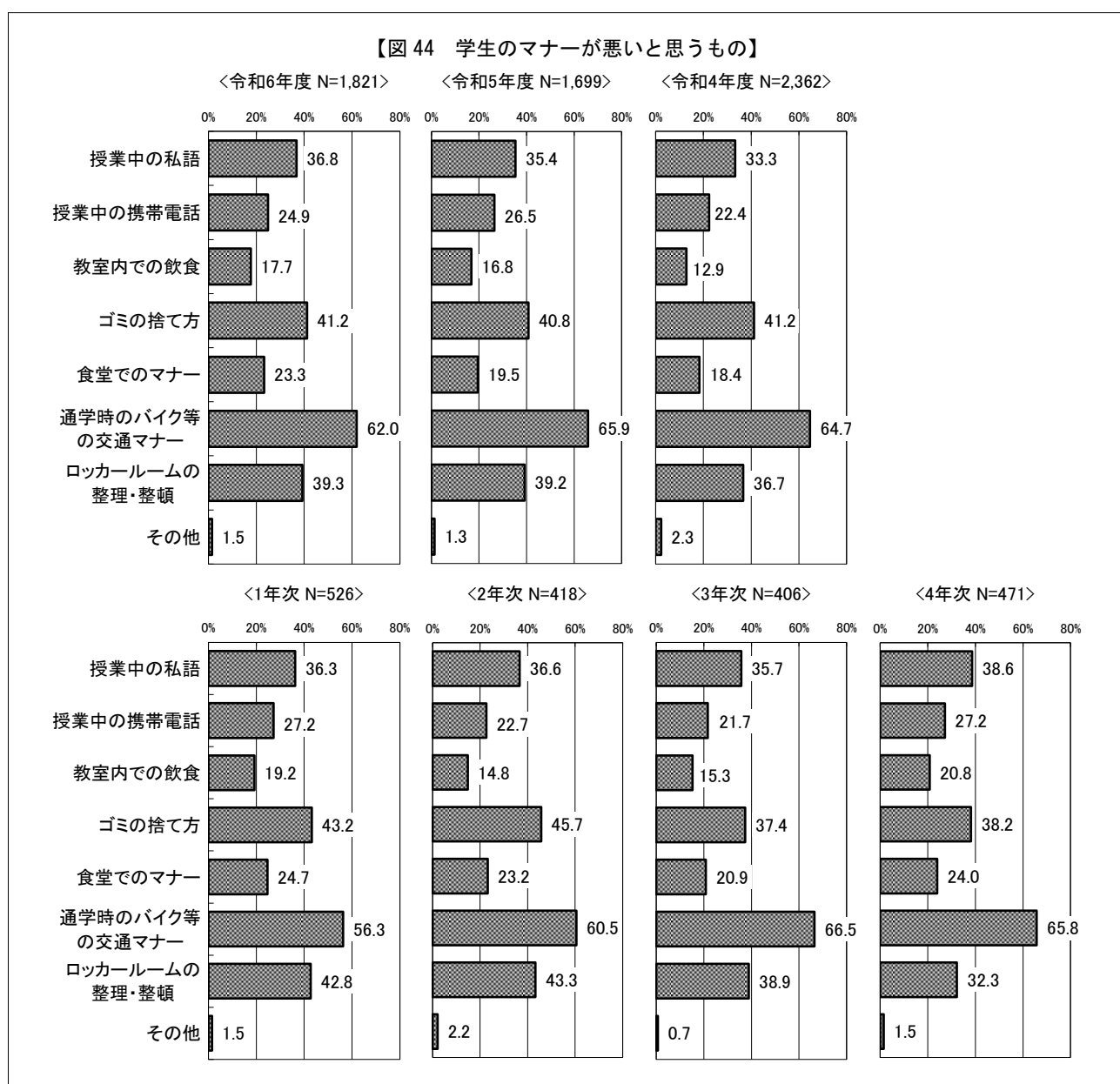
【結果概要(問 44)】

問 44. 学生のマナーが悪いと思うものとしては、「通学時のバイク等の交通マナー」が 62.0%と最も多く、次に「ゴミの捨て方」が 41.2%、「ロッカールームの整理・整頓」が 39.3%、「授業中の私語」が 36.8%、「授業中の携帯電話」が 24.9%と、以上がワースト 5 である。

年度別でみると、ワースト 5 の順位は前回・前々回調査とは変更がなかった。

年次別でみると、「通学時のバイク等の交通マナー」は各年次ともワースト 1 となっており、3 年次では 66.5%で最も多くなっている。＜図 44＞

■問 44. 学生のマナーが悪いと思うもの（過年度調査・年次別）



【結果概要(問 45)】

問 45. 学内での被害経験としては何らかの被害を受けたことがある学生は全体の 21.9%で、その内訳としては「財布・現金等の盗難被害」が 9.9%で最も多く、次に「かばん、服、靴などの盗難被害」が 8.9%、「自動車・バイク・自転車の盗難被害」が 3.9%となっている。

年度別でみると、「財布・現金等の盗難被害」が前々回調査では 2 番目に多かったが、前回調査、今回調査では最も多くなっている。＜図 45-A＞

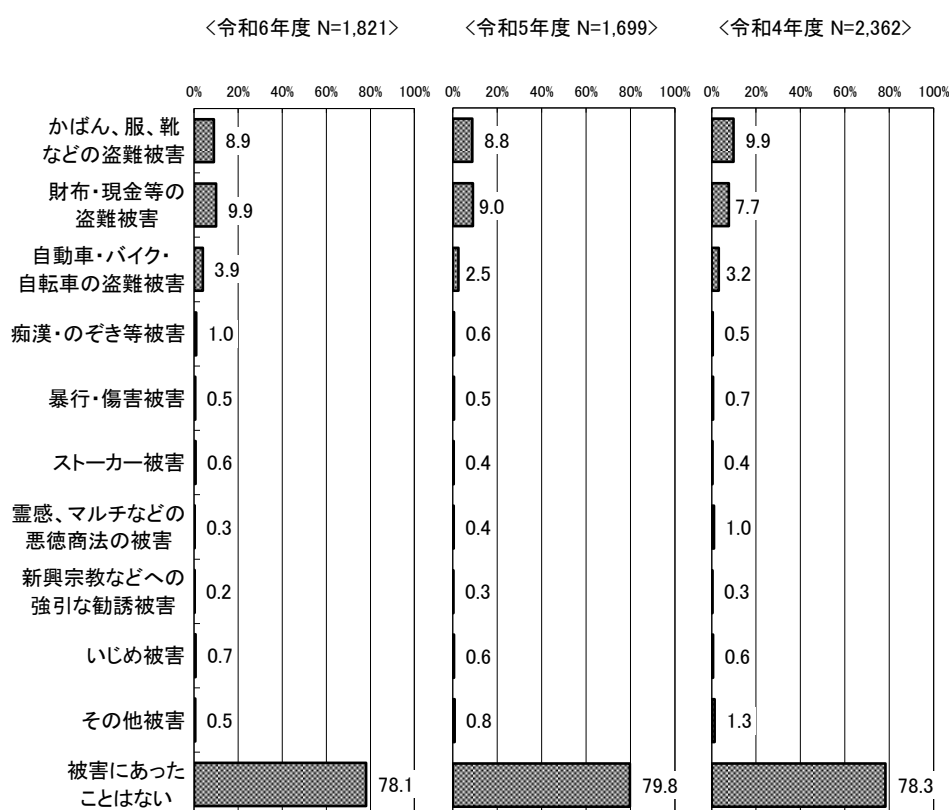
所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科は「被害にあったことはない」が 85.5%で他の学部・学科と比べると多くなっている。＜図 45-B＞

年次別でみると、「かばん、服、靴などの盗難被害」は 4 年次が 10.8%で最も多く、「財布・現金等の盗難被害」は 3 年次が 12.3%で最も多くなっている。＜図 45-C＞

性別でみると、何らかの被害を受けたことがある学生は、男子学生が 24.3%、女子学生が 17.0%で、男子学生が 7.3 ポイント多くなっている。＜図 45-D＞

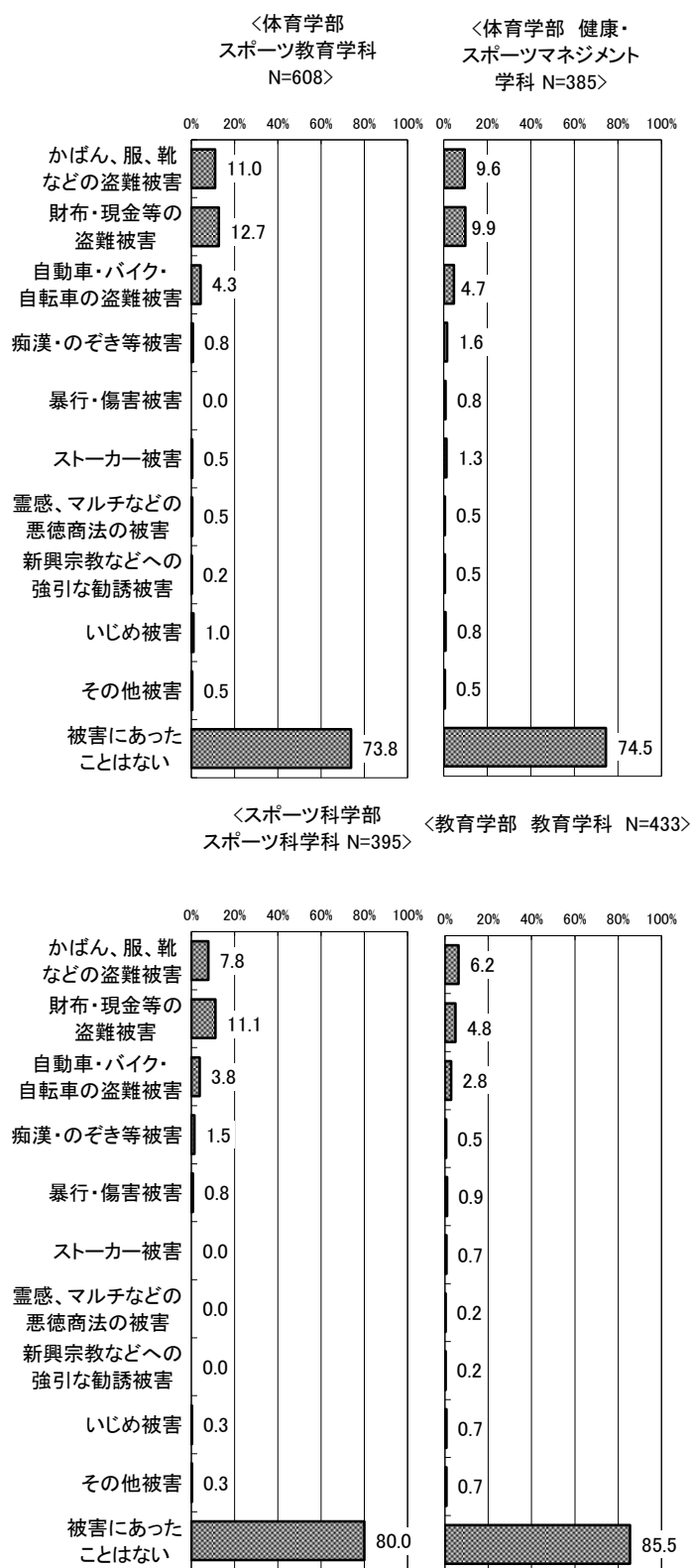
■問 45. 学内での被害の経験（過年度調査）

【図 45-A 学内での被害の経験】



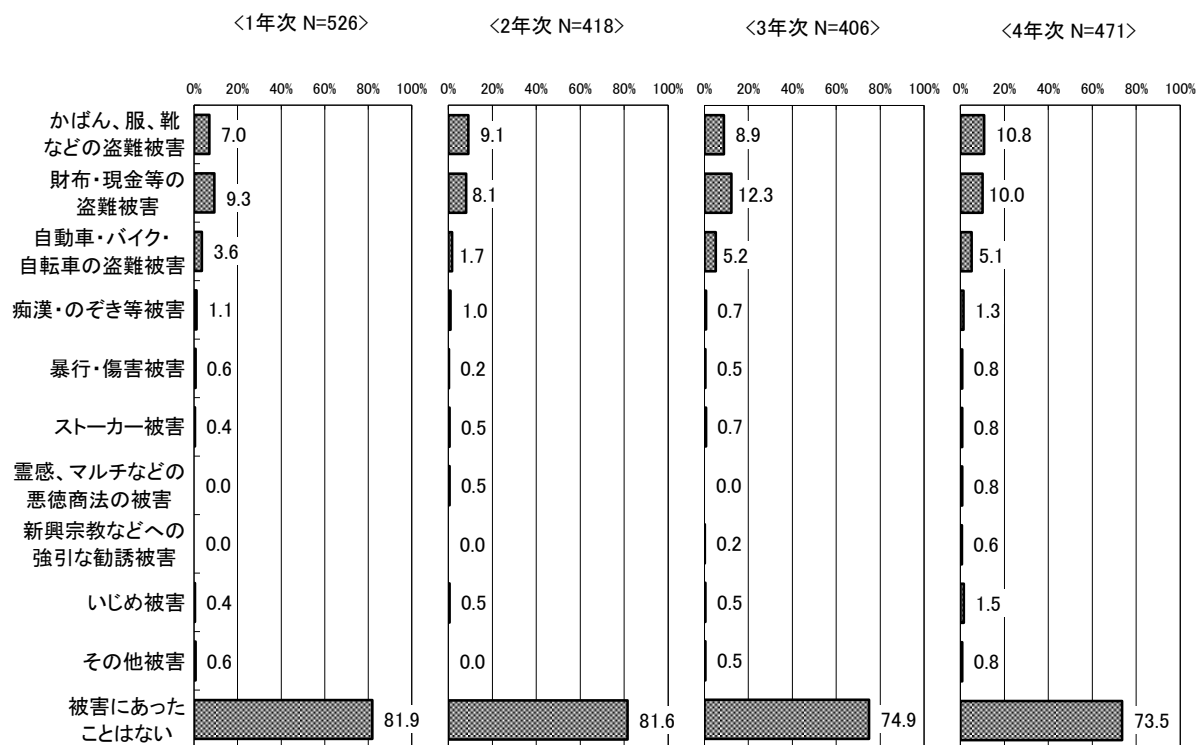
■問 45. 学内での被害の経験（学科別）

【図 45-B 学内での被害の経験】

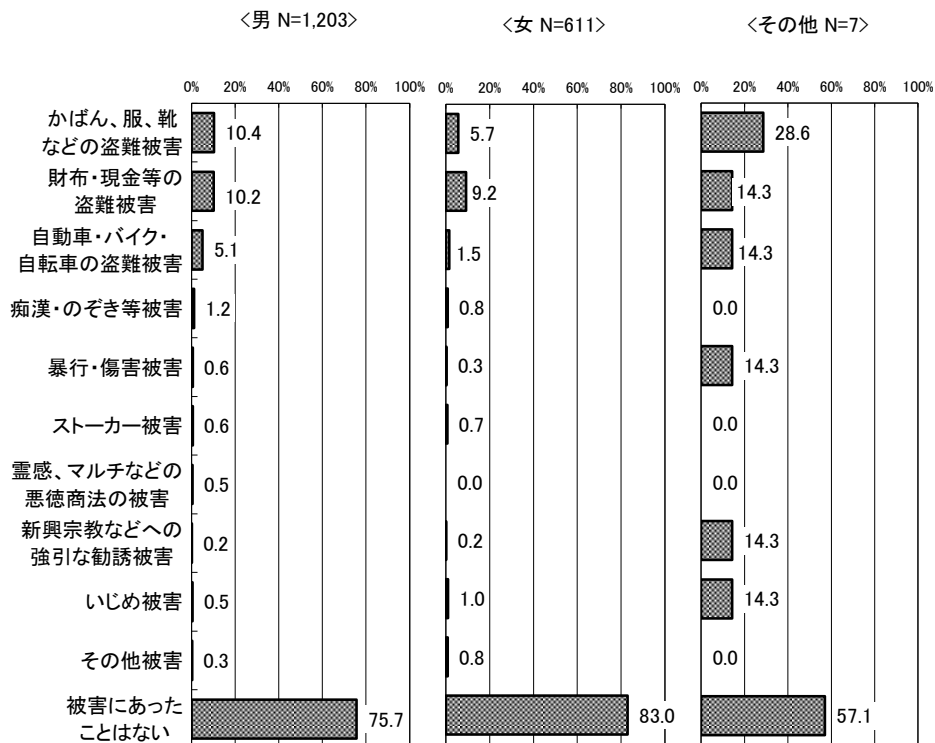


■ 問 45. 学内での被害の経験（年次別・性別）

【図 45-C 学内での被害の経験】



【図 45-D 学内での被害の経験】



8. 進路と就職について

【結果概要(問 46)】

問 46. 将来の希望職種については、「教員」が 47.2%で最も多く、次に「企業（スポーツ関係）」が 25.9%となっている。

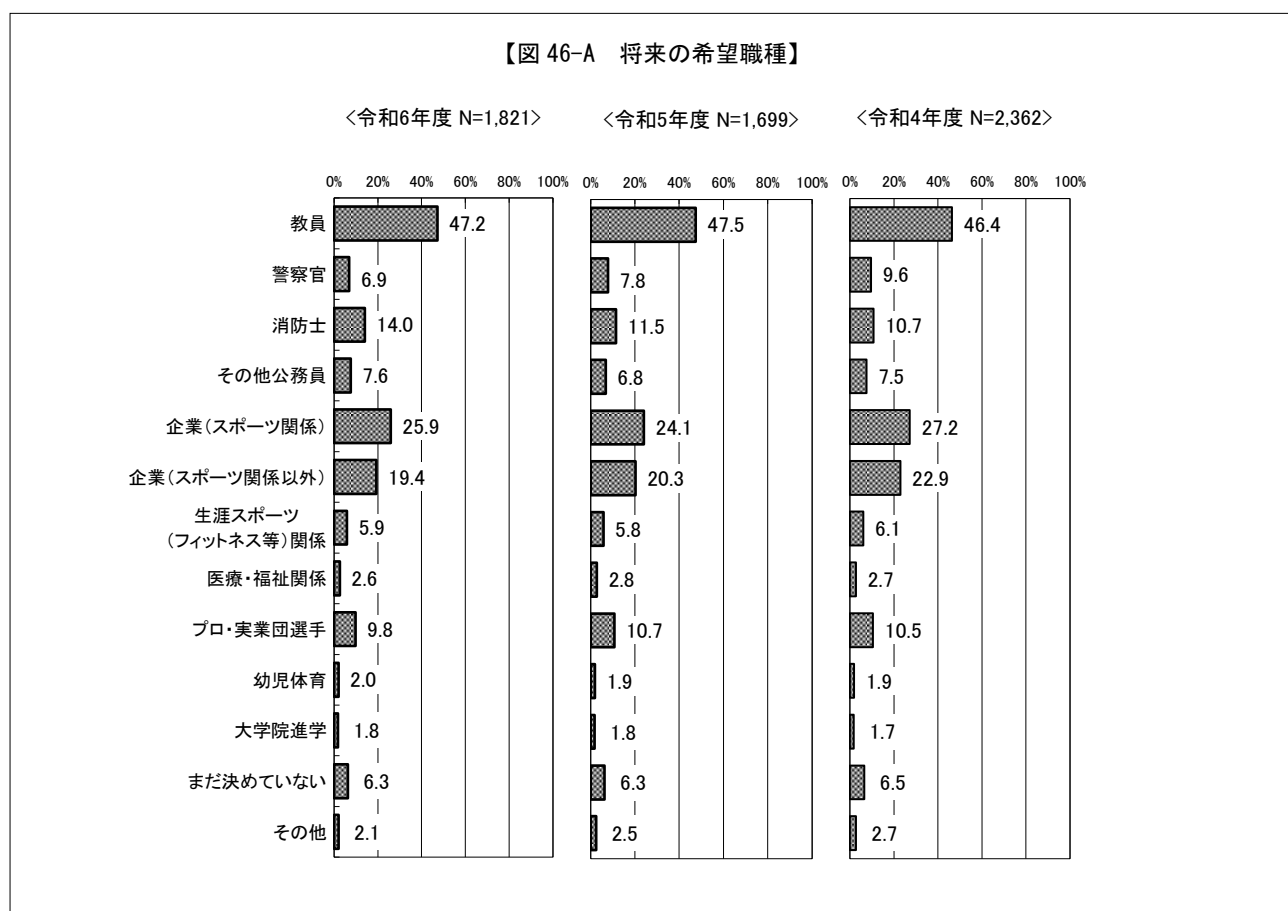
年度別でみると、「教員」は 45.0～50.0%の間を推移している。また「消防士」は年度があがるにつれて増加している。＜図 46-A＞

所属学部・学科別では、体育学部スポーツ教育学科、スポーツ科学部スポーツ科学科、教育学部教育学科では、「教員」が最も多く、体育学部健康・スポーツマネジメント学科では「企業（スポーツ関係）」が最も多くなっている。＜図 46-B＞

年次別でみると、「教員」の希望は1年次で 59.7%と最も多くなっているが、年次が上がるにつれて割合は少なくなり、4年次では 34.4%まで下がっている。＜図 46-C＞

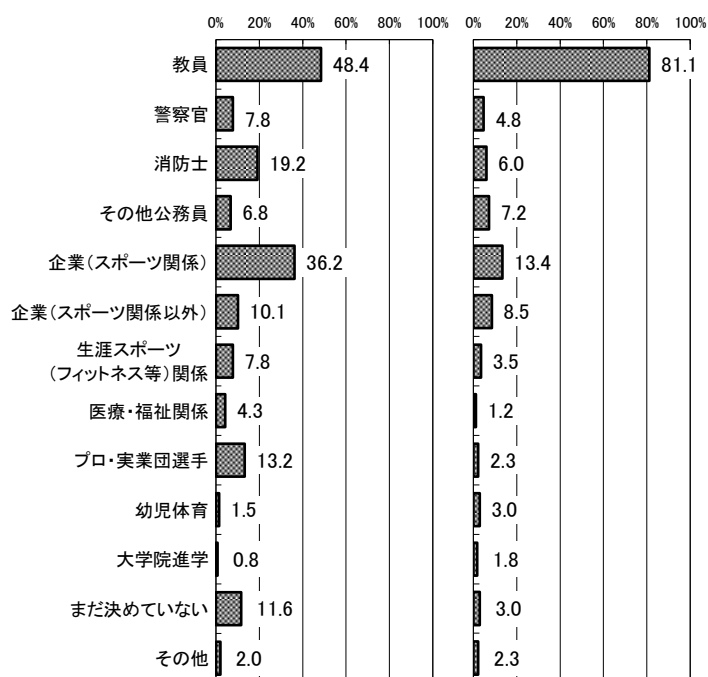
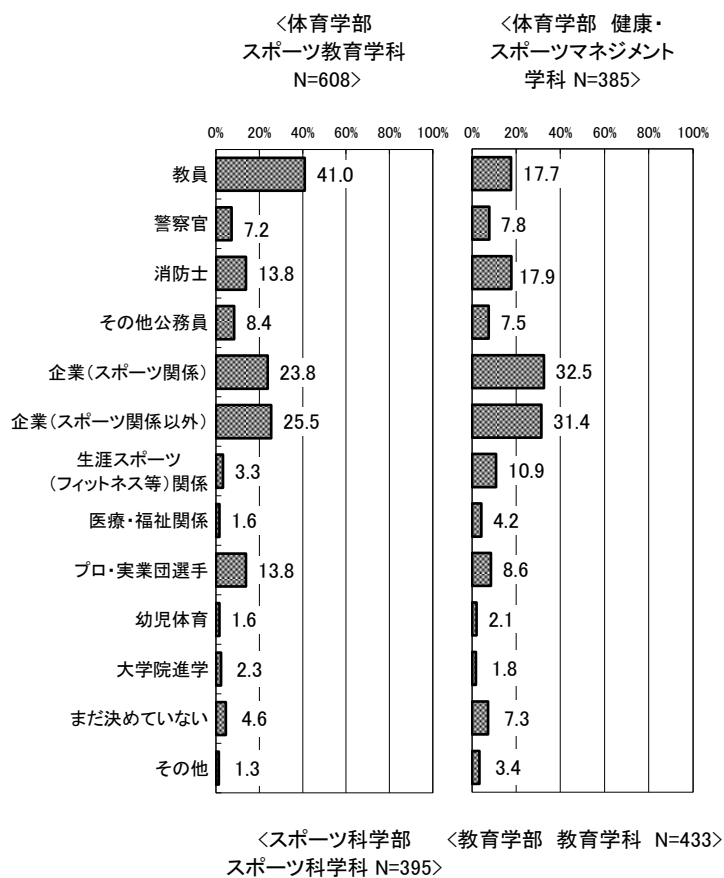
性別でみると、男子学生、女子学生とも「教員」が最も多く、それぞれ 45.5%、50.6%となっている。＜図 46-D＞

■ 問 46. 将来の希望職種（過年度調査）



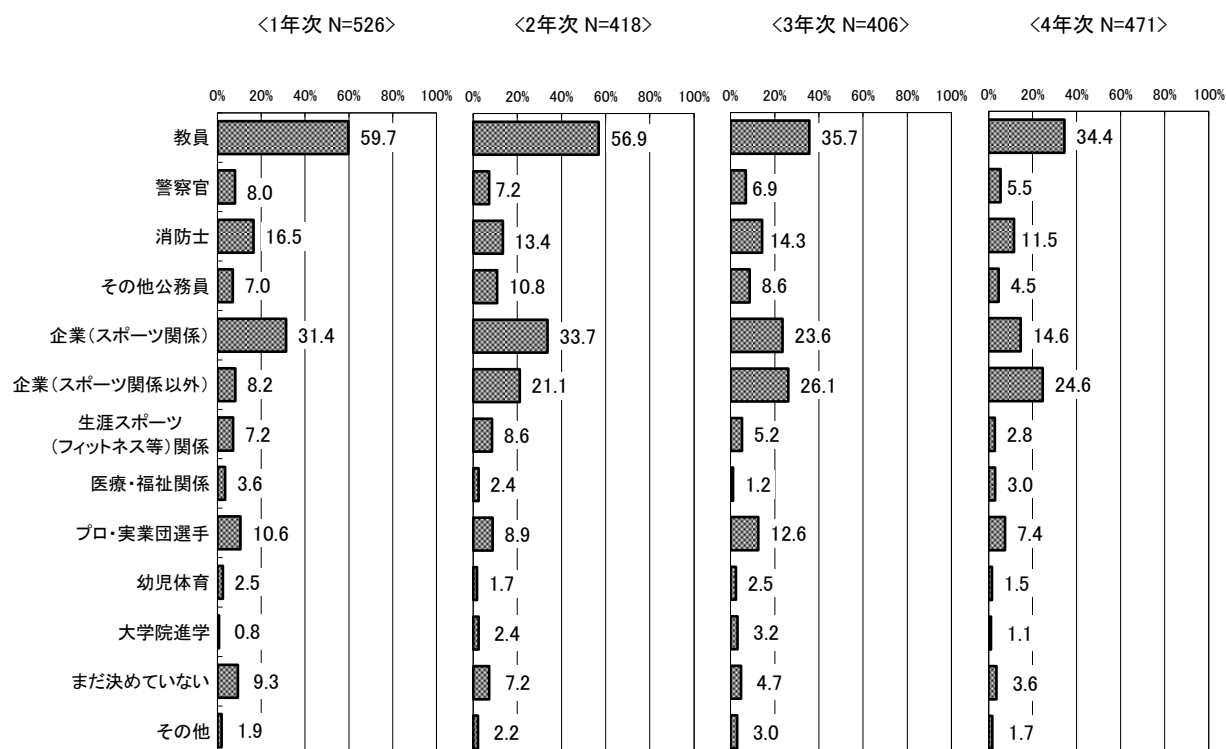
■問 46. 将来の希望職種（学科別）

【図 46-B 将来の希望職種】

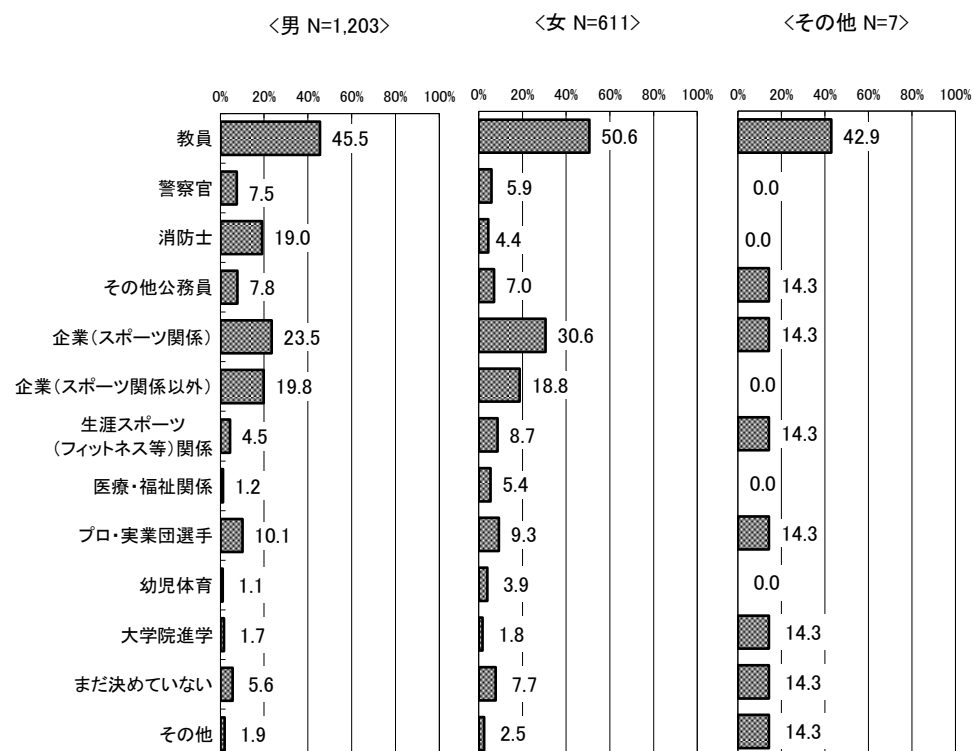


■問 46. 将来の希望職種（年次別・性別）

【図 46-C 将来の希望職種】



【図 46-D 将来の希望職種】



【結果概要(問 47)】

問 47. 進路を考える上での情報入手手段としては、「先輩・知人」が 54.5%と最も多く、次に「インターネット」が 49.6%、「指導教員（ゼミ）」が 32.9%、「家族」が 30.8%、「クラブ・同好会指導教職員」が 23.5%となっている。

年度別でみると、前回調査と比べて、「クラブ・同好会指導教職員」が 4.0 ポイント減少しているのに対して、「授業（キャリアデザイン等）」が 1.8 ポイント増加している。＜図 47-A＞

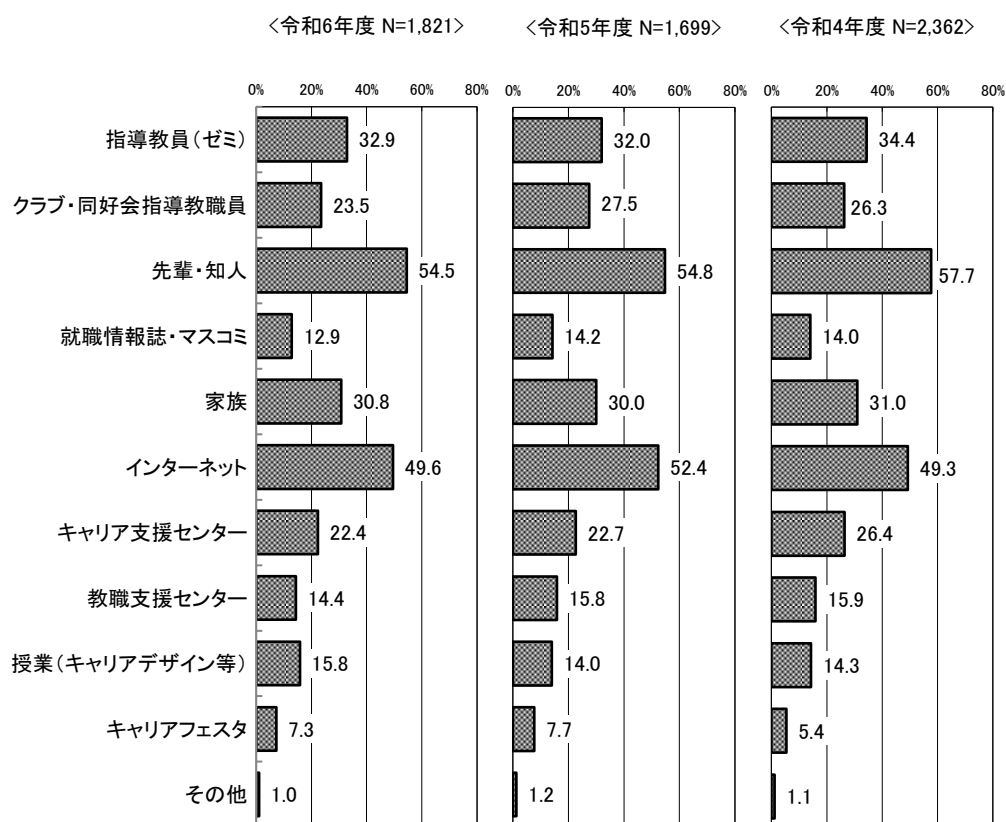
所属学部・学科別では、いずれの学科でも「先輩・知人」と「インターネット」は上位に入っており、スポーツ科学部スポーツ科学科では「先輩・知人」が 61.5%、体育学部健康・スポーツマネジメント学科では「インターネット」が 55.6%と最も多くなっている。＜図 47-B＞

年次別でみると、1、2 年次では「先輩・知人」が最も多く、「インターネット」が続いているのに対して、3、4 年次ではその順番が入れ替わっている。＜図 47-C＞

性別でみると、男子学生、女子学生とも「先輩・知人」が最も多く、「インターネット」が続いている。＜図 47-D＞

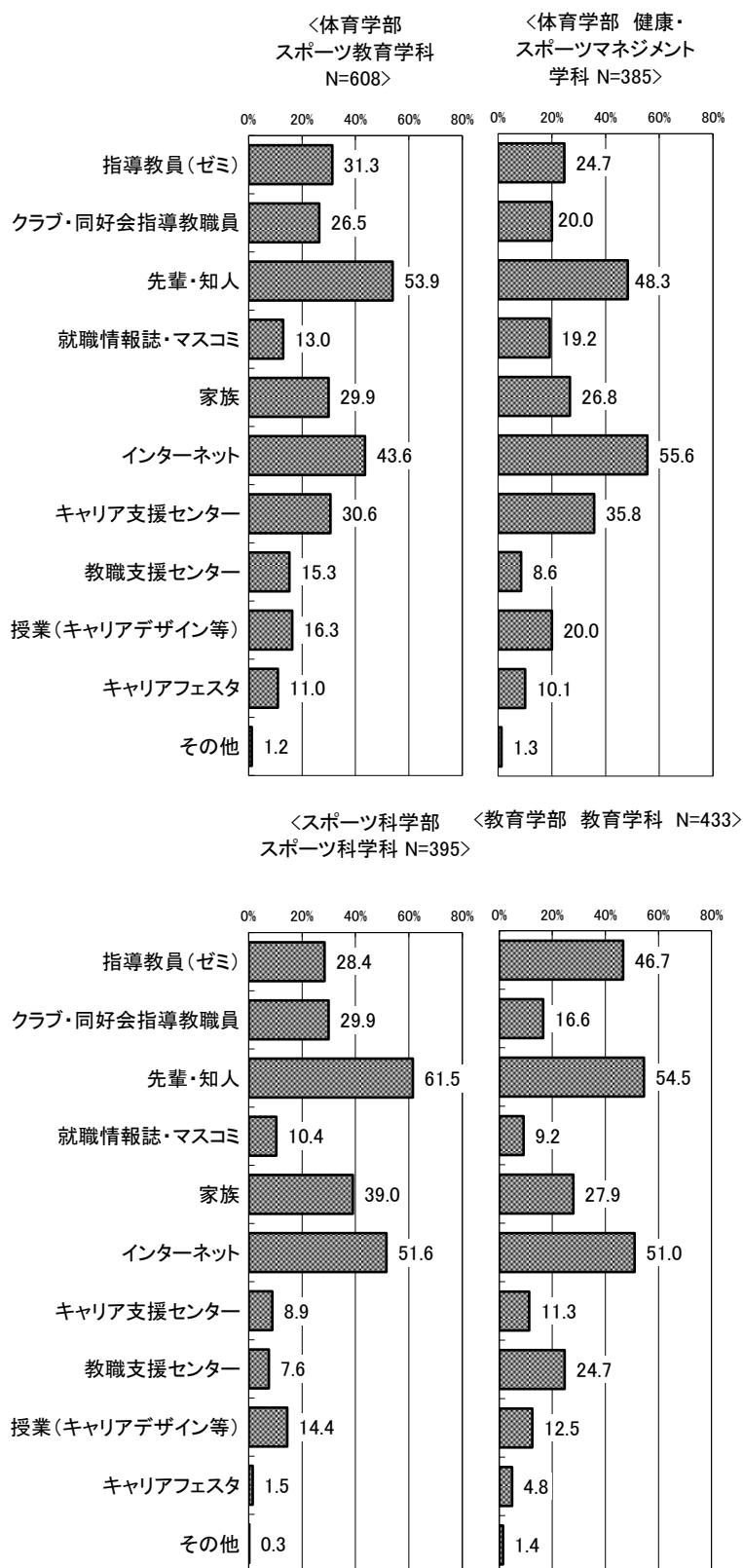
■問 47. 進路を考える上での情報入手手段（過年度調査）

【図 47-A 進路を考える上での情報入手手段】



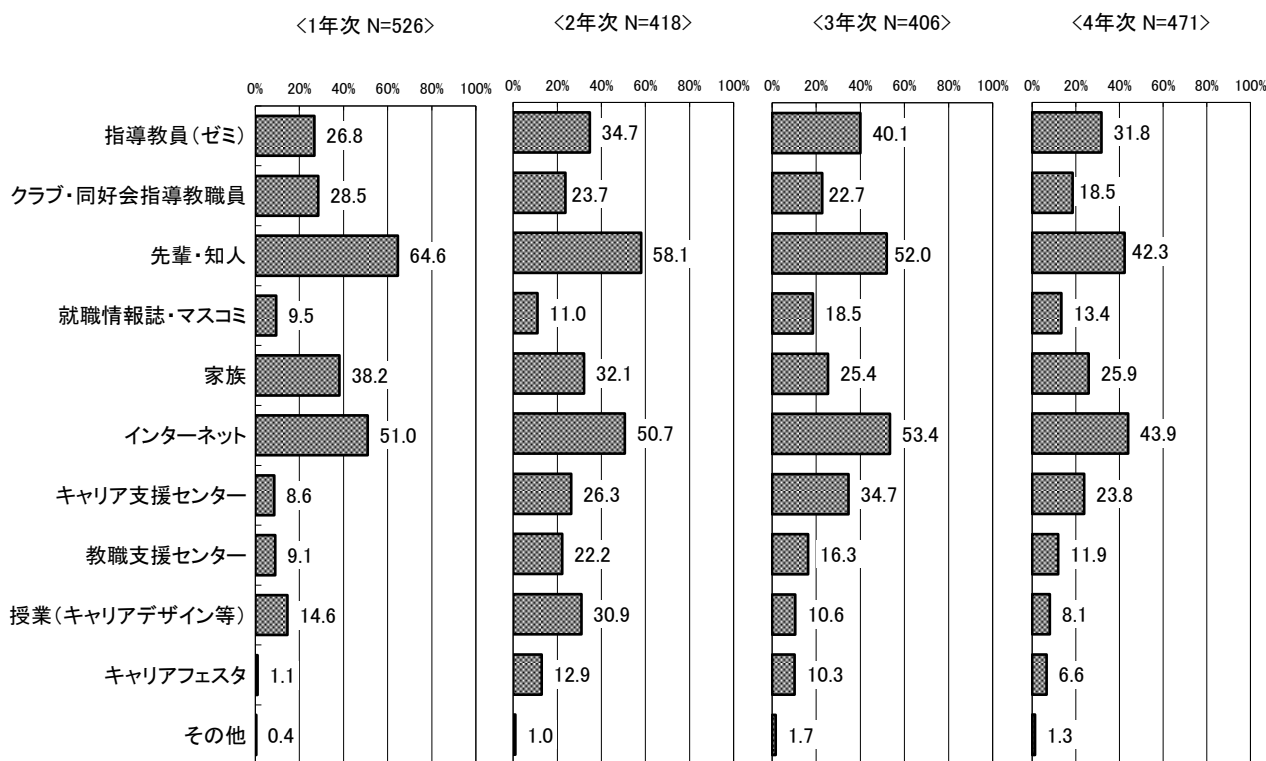
■問 47. 進路を考える上での情報入手手段（学科別）

【図 47-B 進路を考える上での情報入手手段】

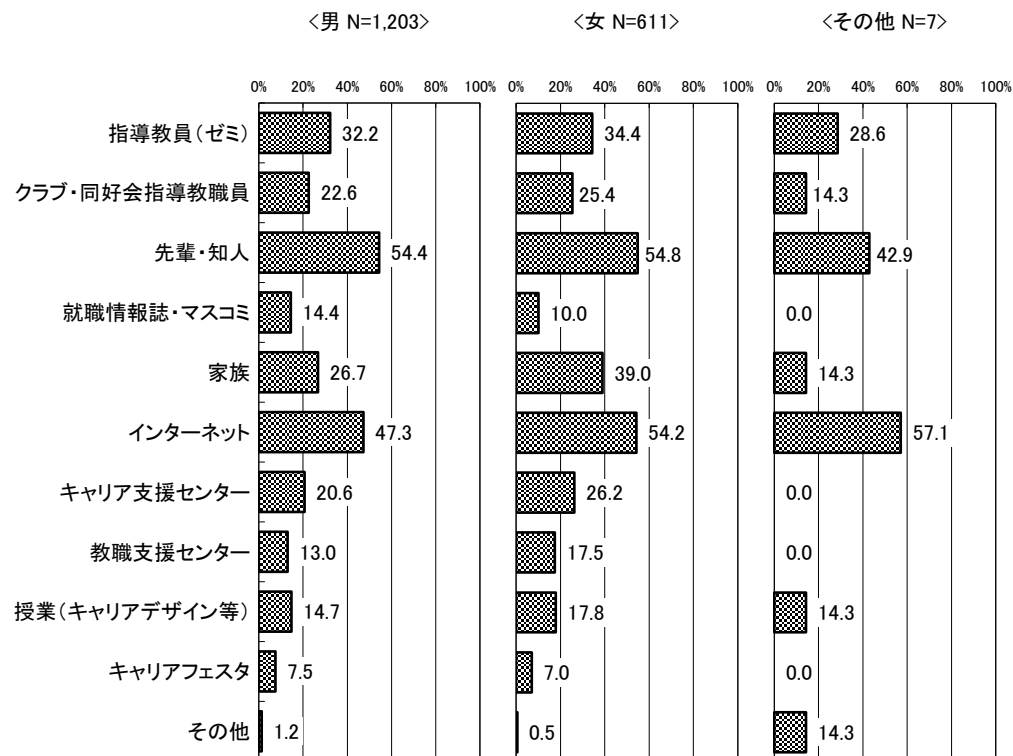


■問 47. 進路を考える上での情報入手手段（年次別・性別）

【図 47-C 進路を考える上での情報入手手段】



【図 47-D 進路を考える上での情報入手手段】



【結果概要(問 48)】

問 48. 卒業後の進路に向けた準備をいつ頃から始めるかについては、「大学 3 年生前期」が 23.9%で最も多く、次に「大学 2 年生」が 20.1%、「大学 3 年生後期」が 17.9%となっている。

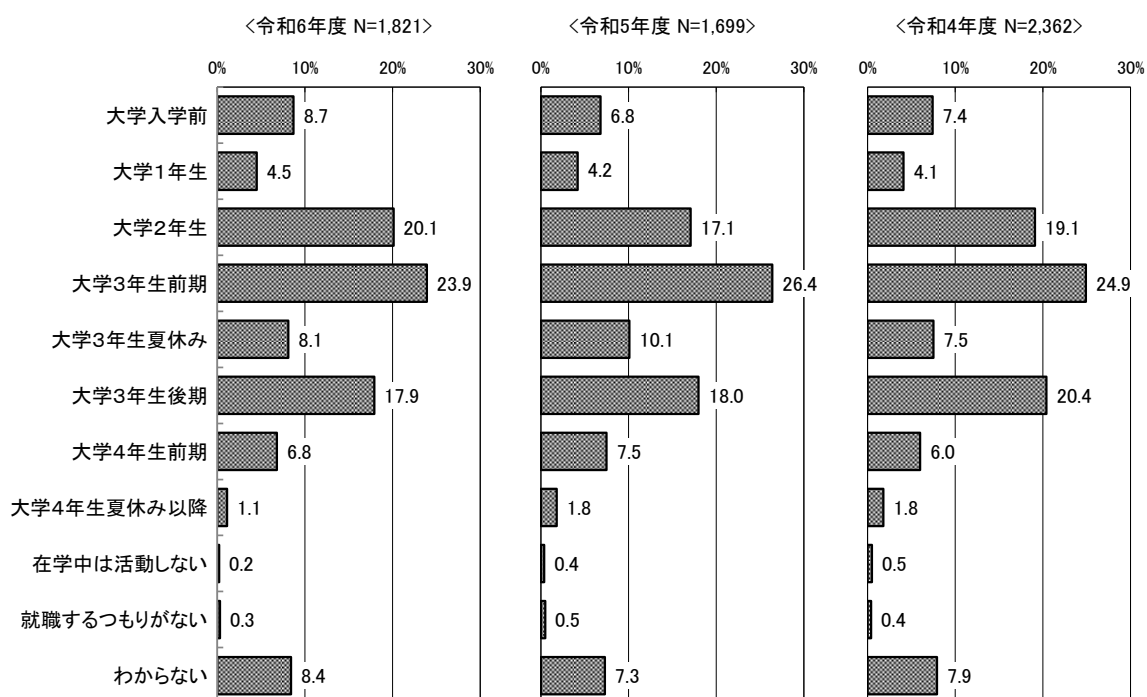
年度別でみると、「大学 3 年生後期」は年度が上がるにつれて減少している。＜図 48-A＞

所属学部・学科別では、いずれの学科でも「大学 3 年生前期」は上位に入っており、いずれも 2 割を超えている。また、スポーツ科学部スポーツ科学科、教育学部教育学科では「大学 2 年生」が最も多く、それぞれ 30.6%、30.3%となっている。＜図 48-B＞

年次別でみると、各年次で最も多い準備を始める時期は、1 年次は「大学 2 年生」、2 年次は「大学 3 年生前期」、3 年次と 4 年次は「大学 3 年生後期」となっている。＜図 48-C＞

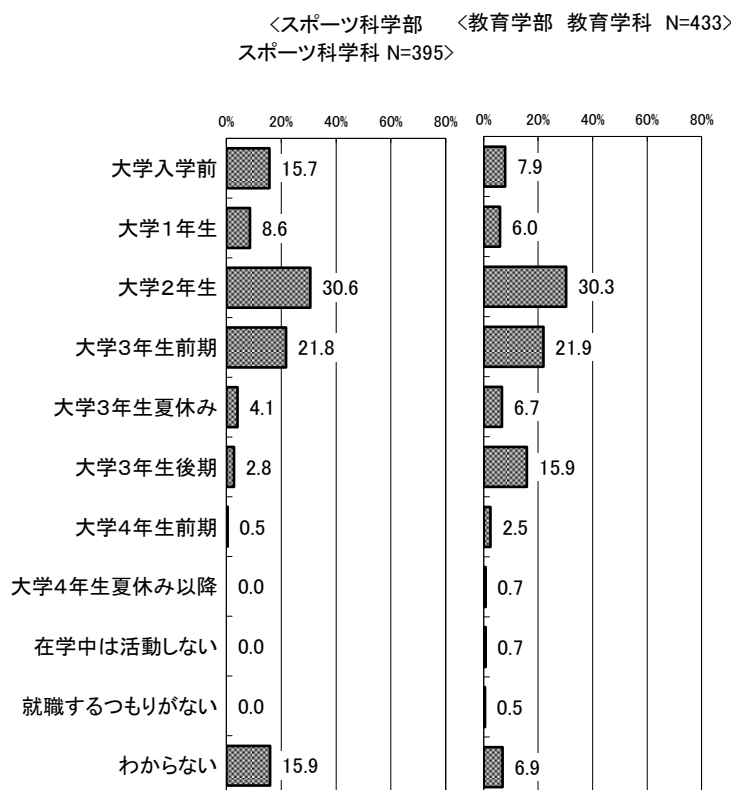
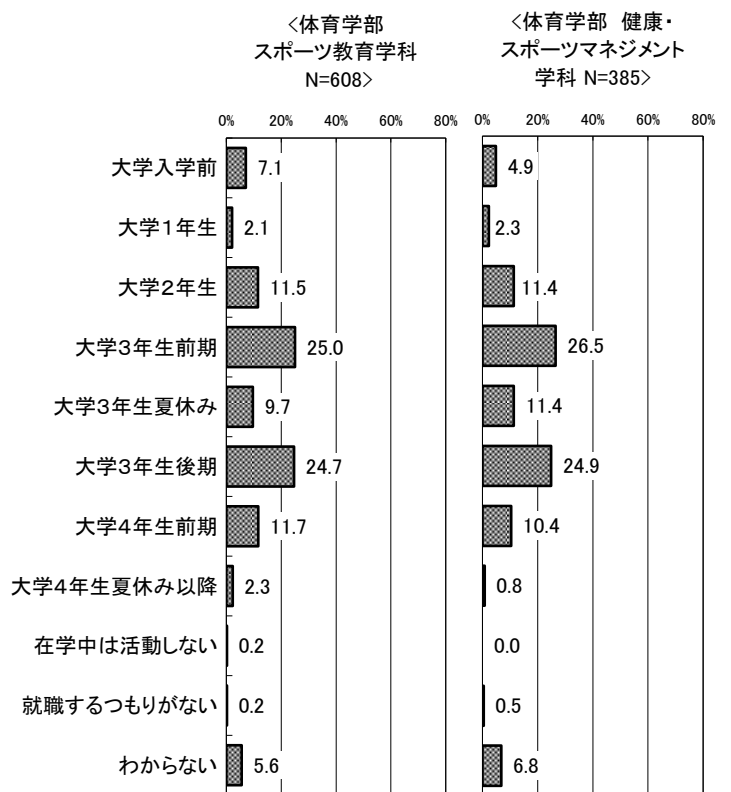
■ 問 48. 卒業後の進路に向けた準備開始時期（過年度調査）

【図 48-A 卒業後の進路に向けた準備開始時期】



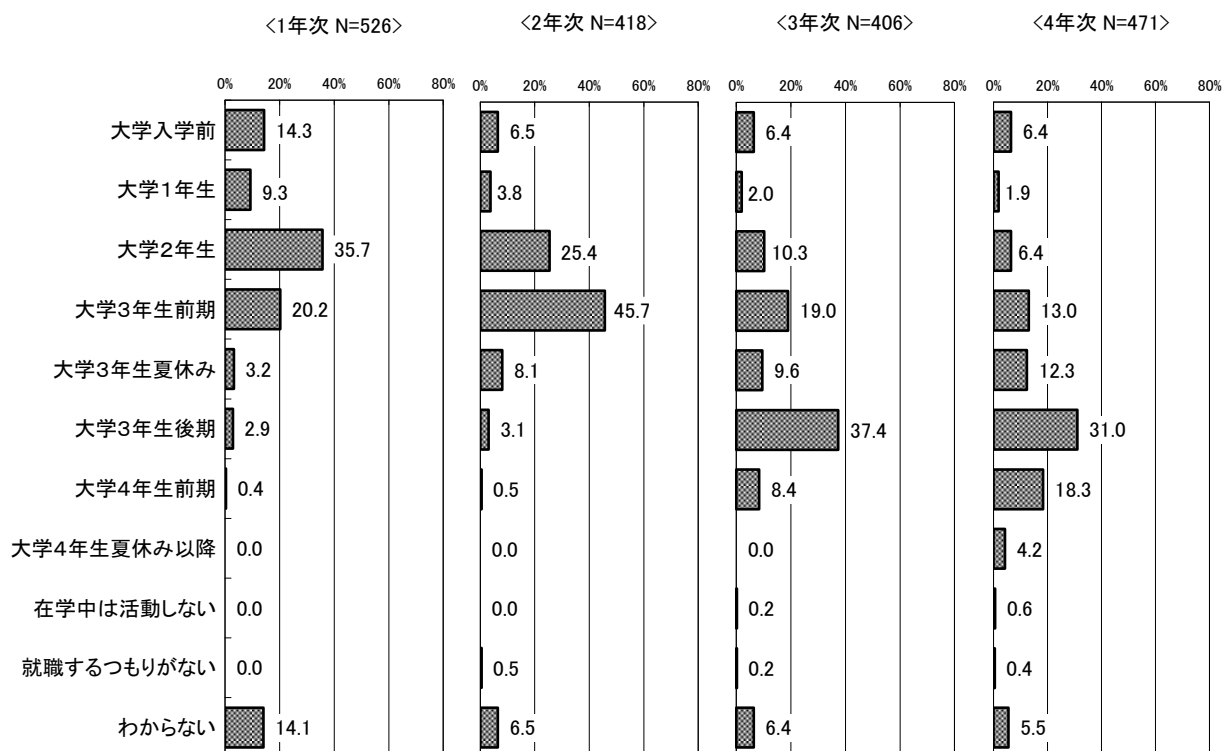
■問 48. 卒業後の進路に向けた準備開始時期（学科別）

【図 48-B 卒業後の進路に向けた準備開始時期】



■問 48. 卒業後の進路に向けた準備開始時期（年次別）

【図 48-C 卒業後の進路に向けた準備開始時期】



【結果概要(問 49)】

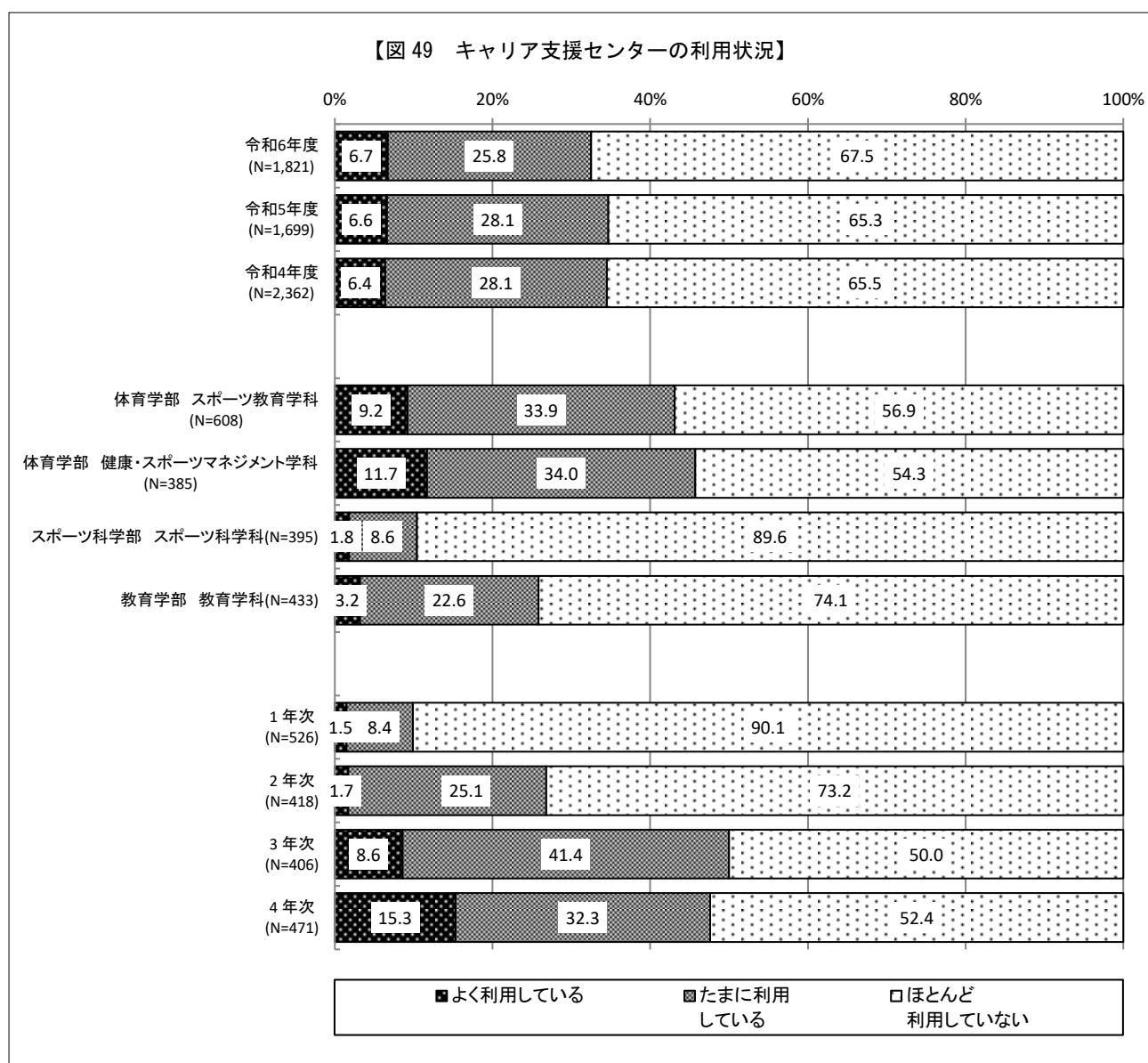
問 49. キャリア支援センターの利用状況としては、「よく利用している」が 6.7%、「たまに利用している」が 25.8%に対して、「ほとんど利用していない」が 67.5%となっている。

年度別でみると、前々回調査、前回調査とほぼ同じような傾向となっている。

所属学部・学科別でみると、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた利用率は、利用率が多い順に体育学部健康・スポーツマネジメント学科で 45.7%、体育学部スポーツ教育学科で 43.1%、教育学部教育学科で 25.8%となっている。

年次別でみると、3、4 年次では「よく利用している」がそれぞれ 8.6%、15.3%と他の年次と比べて多くなっており、「たまに利用している」を合わせた利用率はそれぞれ 50.0%、47.6%となっている。＜図 49＞

■問 49. キャリア支援センターの利用状況（過年度調査・学科別・年次別）



【結果概要(問 49-1)】

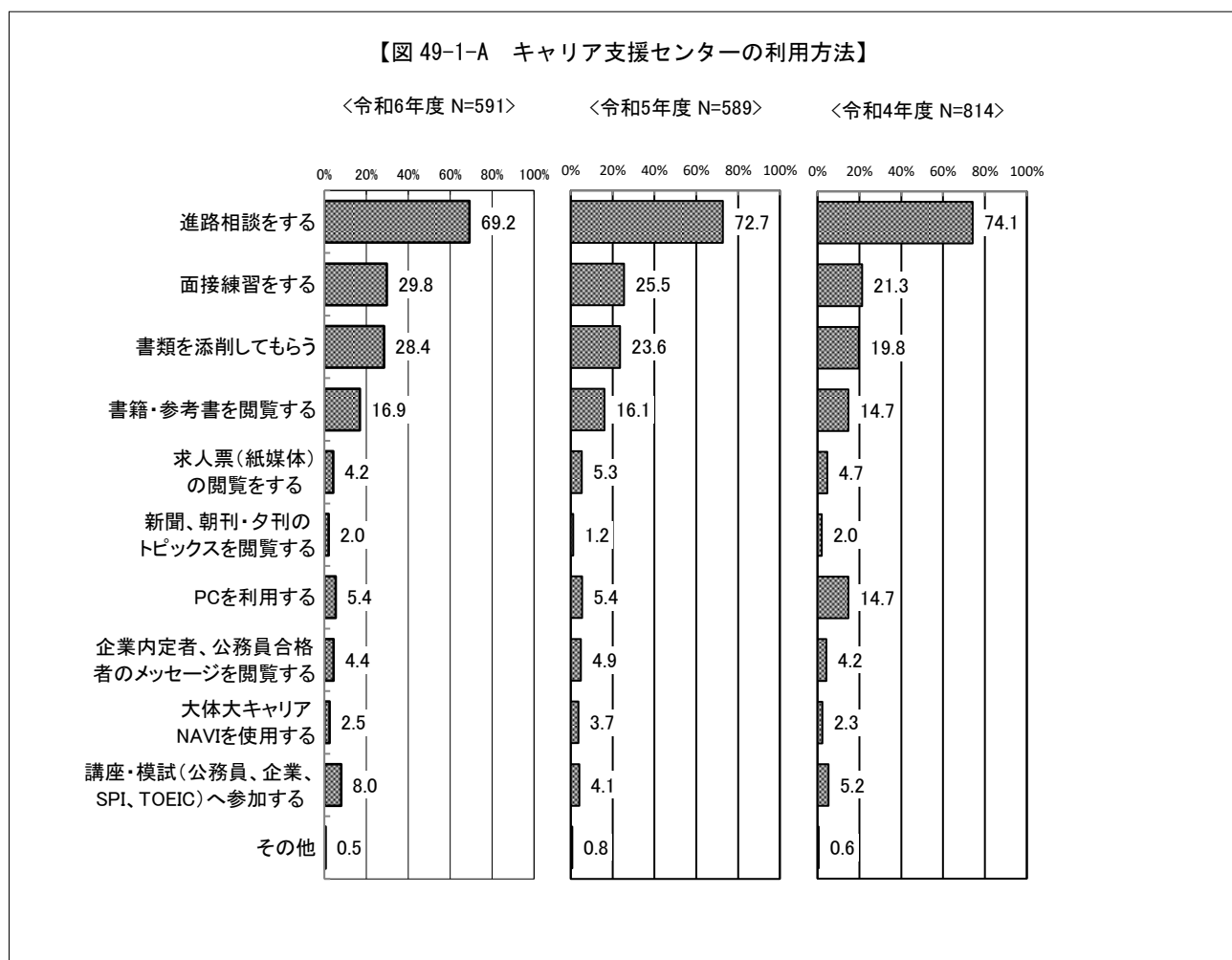
問 49-1. キャリア支援センターの利用方法としては、「進路相談をする」が 69.2%と最も多く、次に「面接練習をする」(29.8%)、「書類を添削してもらう」(28.4%)、「書籍・参考書を閲覧する」(16.9%)となっている。

年度別でみると、「進路相談する」は年々減少しており、前回調査と比べると 3.5 ポイント減少している。＜図 49-1-A＞

年次別でみると、1 年次では「進路相談する」が 38.5%と他の年次と比べるとかなり少なくなっている。また、4 年次は「面接練習をする」(58.5%)と「書類を添削してもらう」(46.0%)が多くなっている。

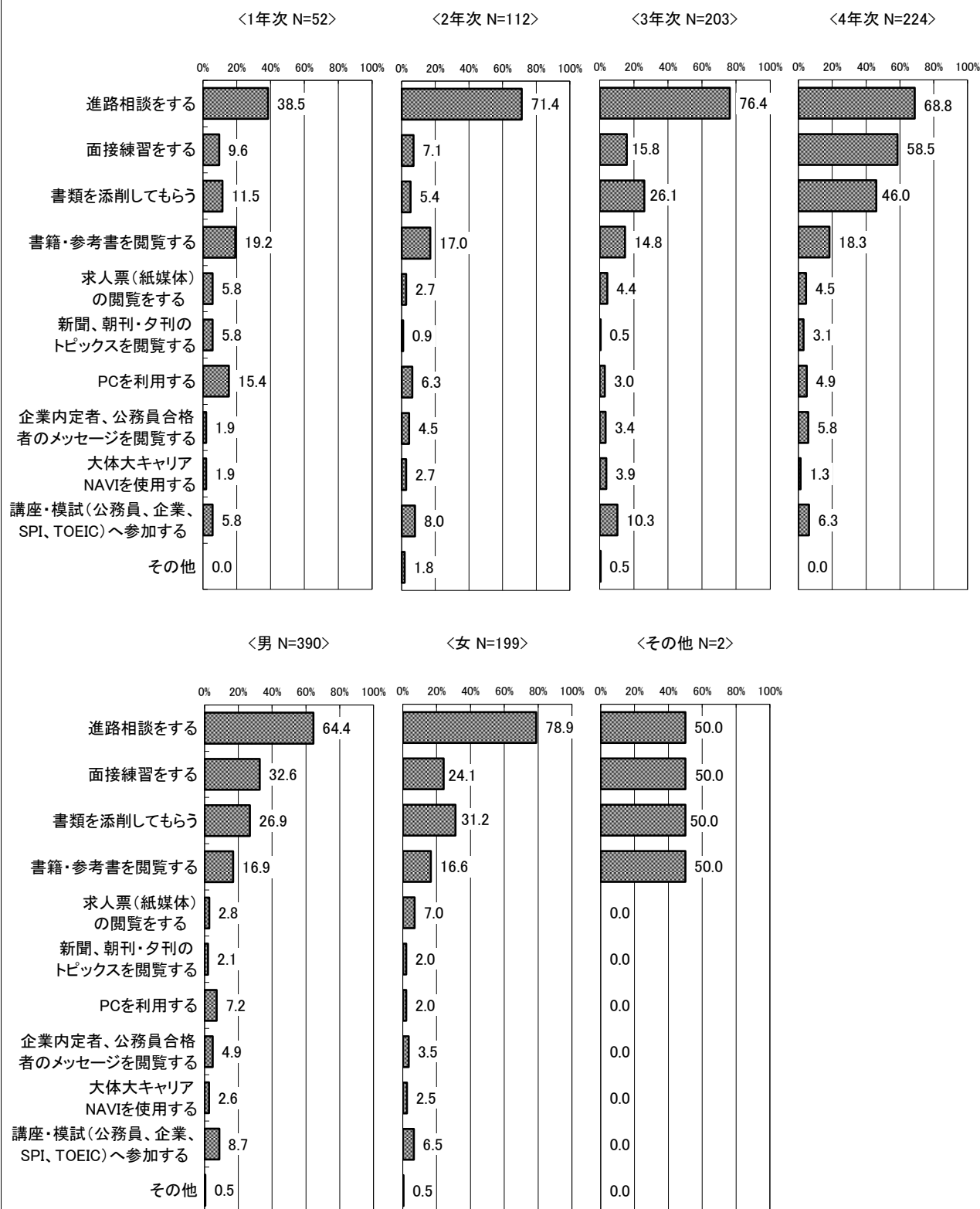
性別でみると、「進路相談をする」はすべての学生で最も多く、男子学生より女子学生が 14.5 ポイント多くなっている。＜図 49-1-B＞

■問 49-1. キャリア支援センターの利用方法（過年度調査）



■問 49-1. キャリア支援センターの利用方法（年次別・性別）

【図 49-1-B キャリア支援センターの利用方法】



【結果概要(問 49-2)】

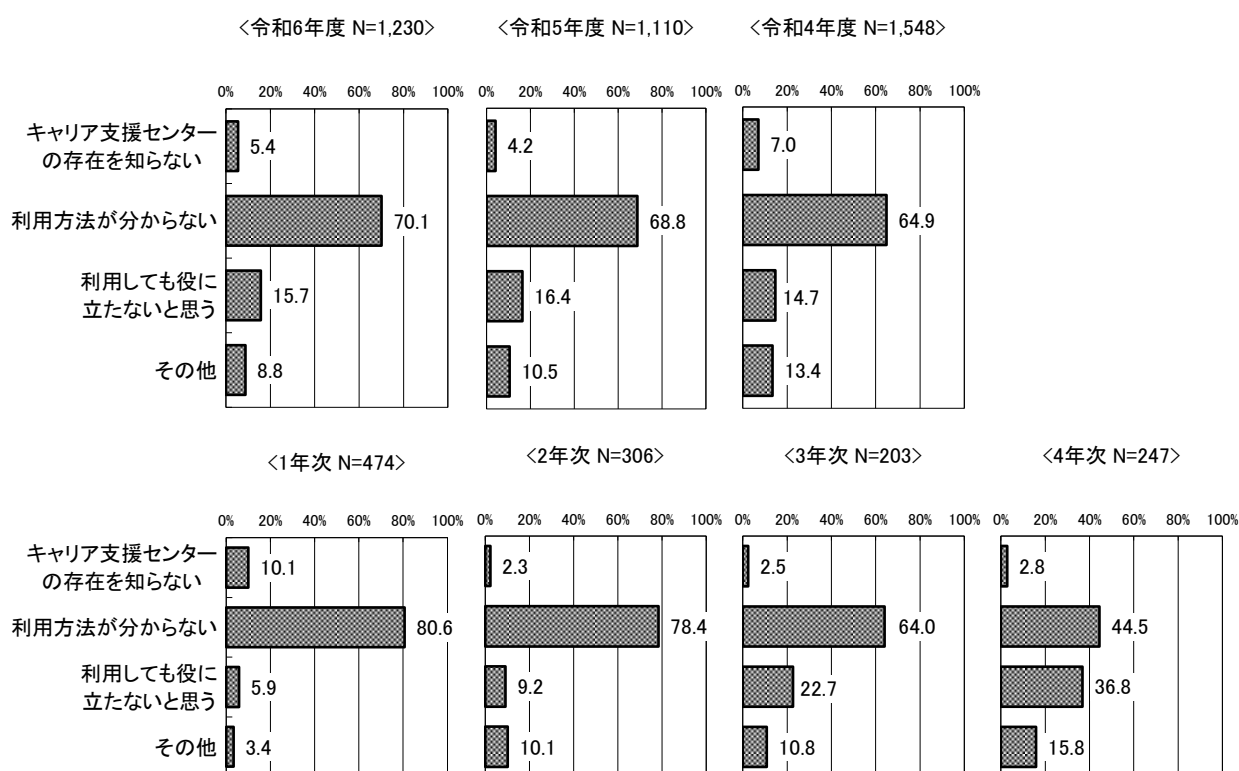
問 49-2. キャリア支援センターを利用していない理由としては、「利用方法が分からない」が 70.1%と利用していない理由の 7 割を占めている。

年度別でみると、「利用方法が分からない」学生は年々増加している。

年次別でみると、4 年次では「利用しても役に立たないと思う」が 36.8%で他の年次と比べて多くなっている。＜図 49-2＞

■ 問 49-2. キャリア支援センターを利用していない理由（過年度調査・年次別）

【図 49-2 キャリア支援センターを利用していない理由】



【結果概要(問 50)】

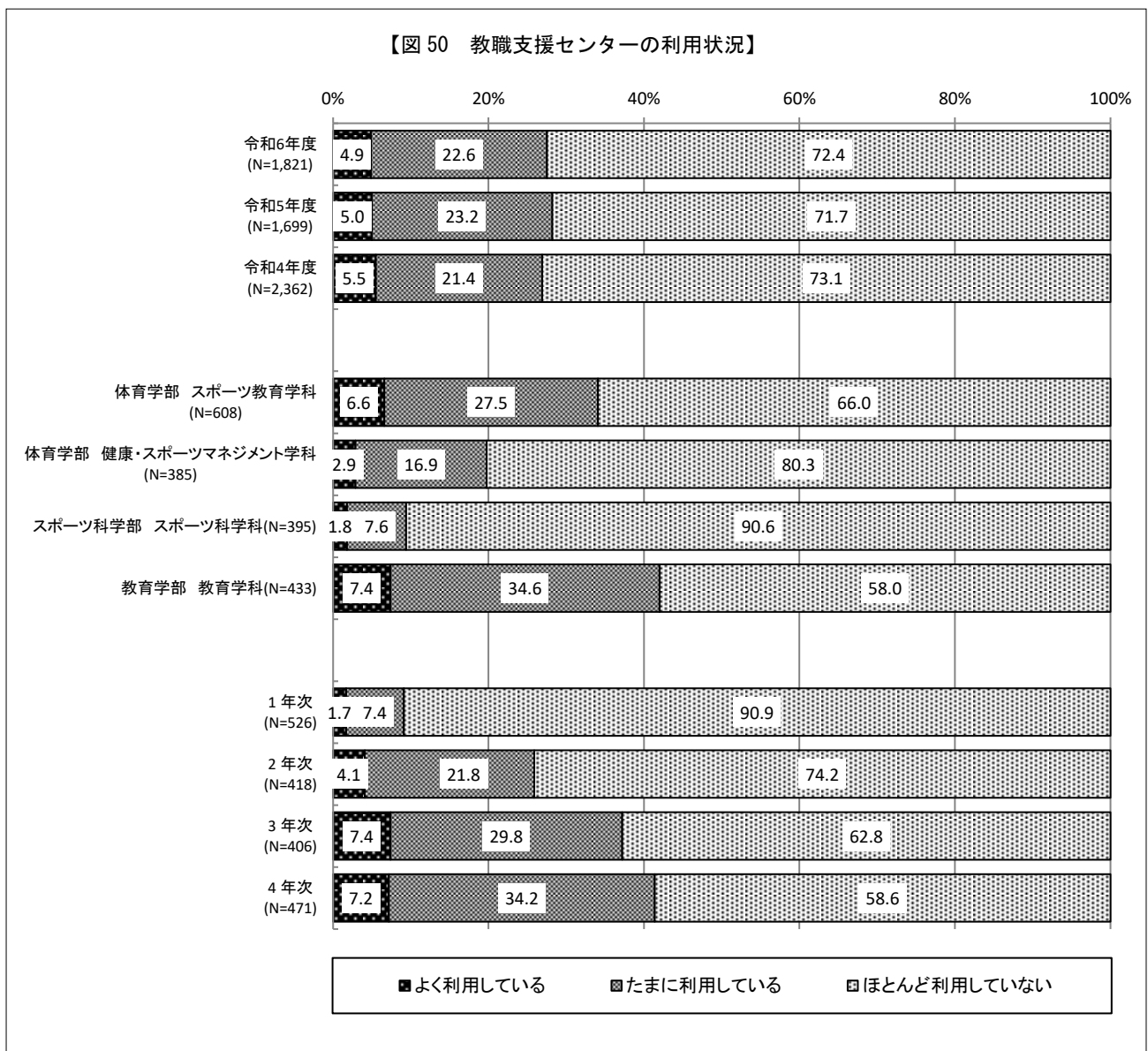
問 50. 教職支援センターの利用について、「ほとんど利用していない」が 72.4%となっており、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた利用率は 27.5%となっている。

年度別でみると、利用率は前回調査と比べると 0.7 ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると「よく利用している」、「たまに利用している」とともに体育学部スポーツ教育学科と教育学部教育学科が他の学部・学科と比べて多くなっている。

年次別では、3 年次の「よく利用している」(7.4%) が他の年次と比べて多くなっており、利用率は年次が上がるごとに増加している。＜図 50＞

■ 問 50. 教職支援センターの利用状況（過年度調査・学科別・年次別）



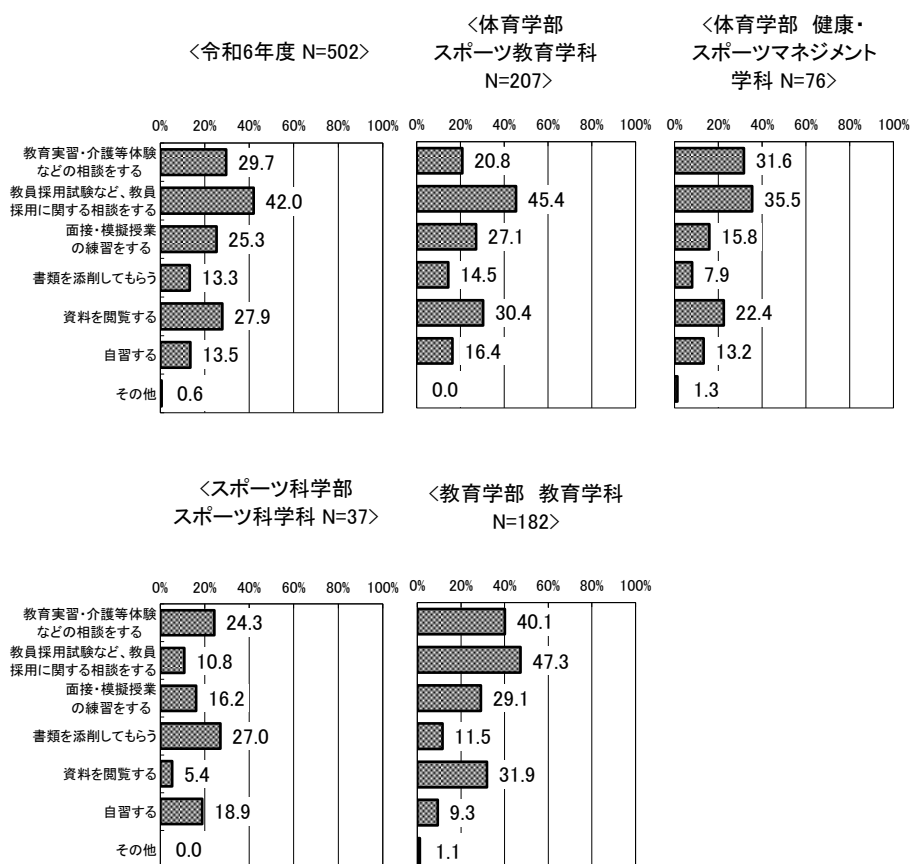
【結果概要(問 50-1)】

問 50-1. 教職支援センターの利用方法については、「教員採用試験など、教員採用に関する相談をする」が 42.0%と最も多く、次に「教育実習・介護等体験などの相談をする」が 29.7%となっている。

所属学部・学科別では、「教員採用試験など、教員採用に関する相談をする」が体育学部と教育学部の学科で最も多い。＜図 50-1-A＞

■ 問 50-1. 教職支援センターの利用方法（学科別）

【図 50-1-A 教職支援センターの利用方法】

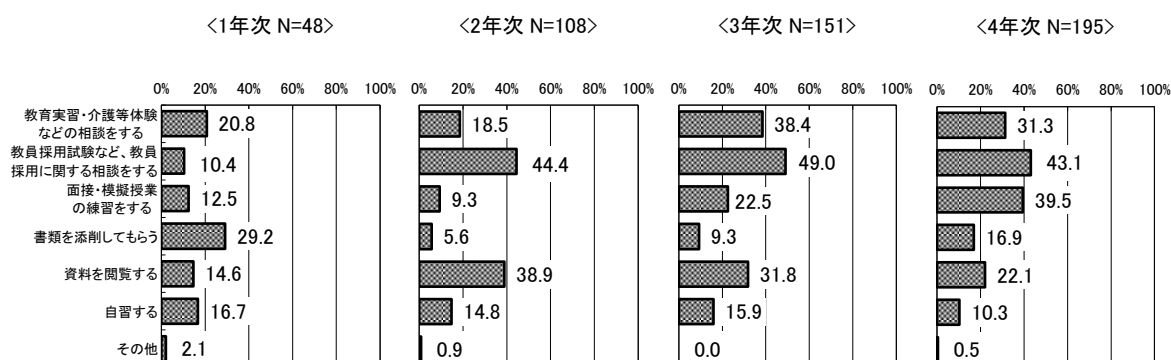


問 50-1. 年次別でみると、2～4 年次は「教員採用試験など、教員採用に関する相談をする」が最も多いが、1 年次は「書類を添削してもらう」が最も多くなっている。＜図 50-1-B＞

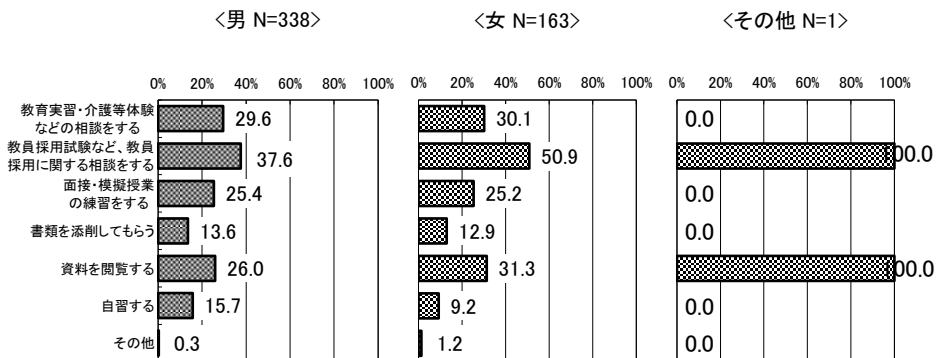
性別でみると、男子学生、女子学生ともに「教員採用試験など、教員採用に関する相談をする」が最も多く、男子学生より女子学生が 13.3 ポイント多くなっている。＜図 50-1-C＞

■ 問 50-1. 教職支援センターの利用方法について（年次別・性別）

【図 50-1-B 教職支援センターの利用方法】



【図 50-1-C 教職支援センターの利用方法】

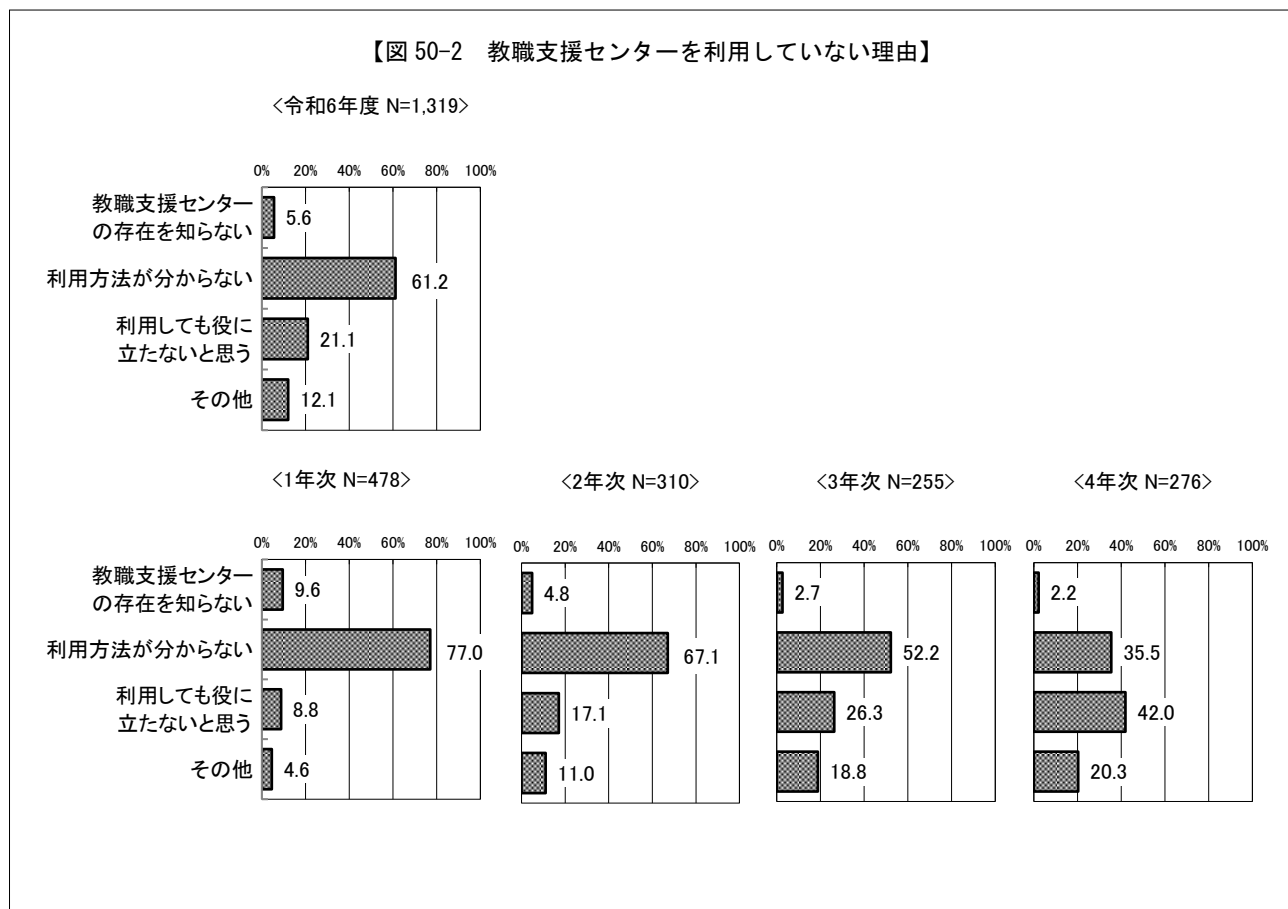


【結果概要(問 50-2)】

問 50-2. 教職支援センターを利用していない理由については、「利用方法が分からない」が 61.2%と最も多く、次に「利用しても役に立たないと思う」が 21.1%となっている。

年次別でみると、「利用方法が分からない」は 1 年次、2 年次、3 年次でそれぞれ 77.0%、67.1%、52.2%と最も多くなっている。また、「利用しても役に立たないと思う」は年次が上がるごとに増加しており、1 年次の 8.8%に対し 4 年次では 42.0%となっている。＜図 50-2＞

■ 問 50-2. 教職支援センターを利用していない理由（年次別）



9. ボランティア活動について

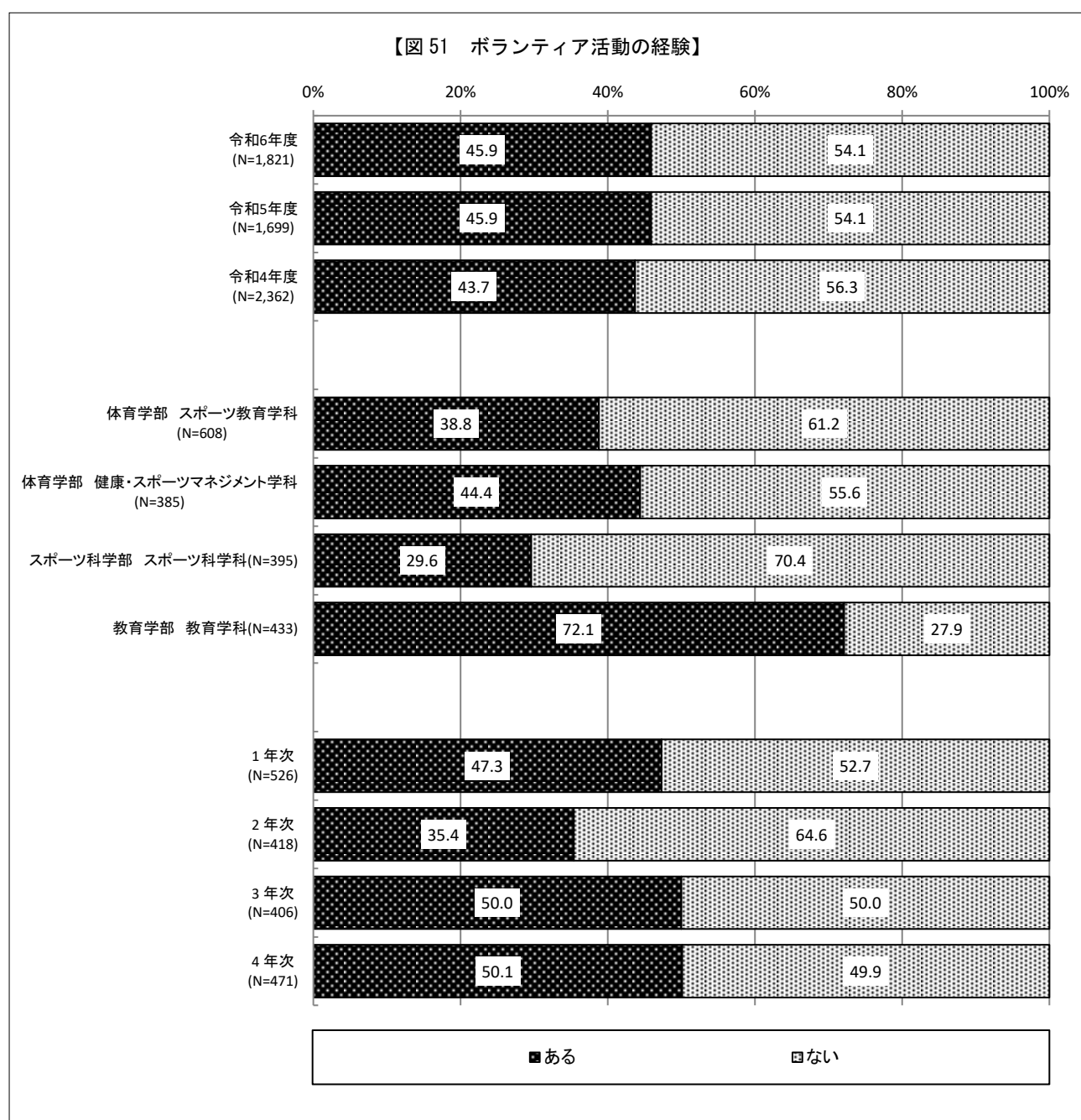
【結果概要(問 51)】

問 51. ボランティア活動の経験としては、「ある」が 45.9%、「ない」が 54.1%となっている。
年度別でみると、前回調査と同じ傾向となっている。

所属学部・学科別では、教育学部教育学科で「ある」が 72.1%と最も多く、次に体育学部健康・スポーツマネジメント学科が 44.4%となっている。

年次別では、4 年次で「ある」が 50.1%で最も多く、次に 3 年次が 50.0%、1 年次が 47.3%、2 年次が 35.4%となっている。＜図 51＞

■ 問 51. ボランティア活動の経験（過年度調査・学科別・年次別）



【結果概要(問 51-1)】

問 51-1. ボランティア活動に参加した理由としては、「社会勉強」(51.8%)が最も多く、「就職に役立てる」(29.9%)が続いている。

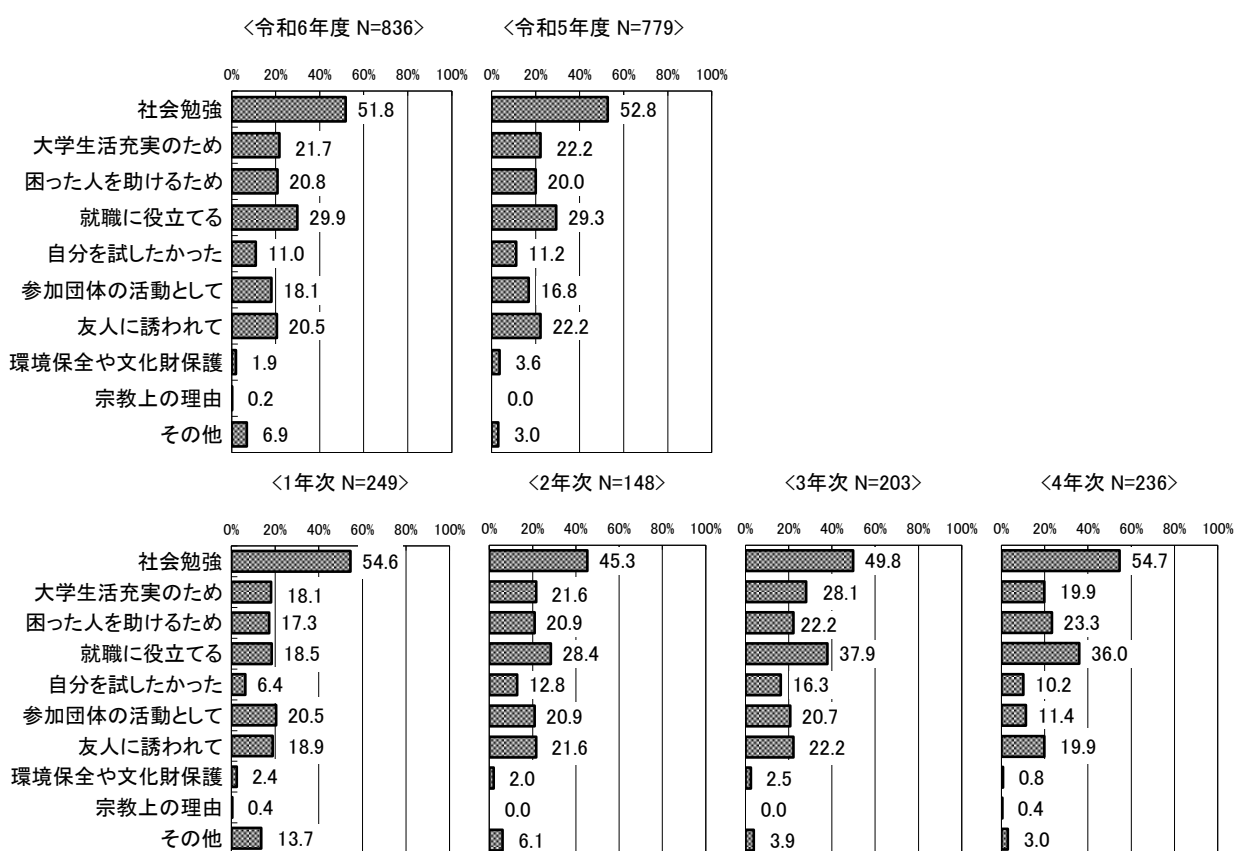
年度別でみると、前年調査で3位の「友人に誘われて」は今回調査では5位となっている。

年次別でみると、すべての年次で「社会勉強」が最も多くなっている。＜図 51-1-A＞

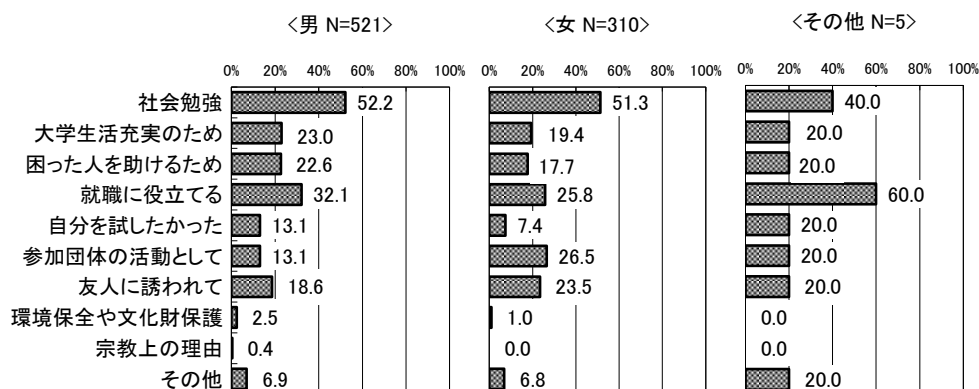
性別でみると、年次別同様、「社会勉強」が最も多くなっている。＜図 51-1-B＞

■問 51-1. ボランティア活動に参加した理由（過年度調査・年次別・性別）

【図 51-1-A ボランティア活動に参加した理由】



【図 51-1-B ボランティア活動に参加した理由】



【結果概要(問 51-2)】

問 51-2. ボランティア活動の経験がない理由としては、「時間がない」が 53.7%で最も多く、次に「きっかけがない」が 43.8%となっている。

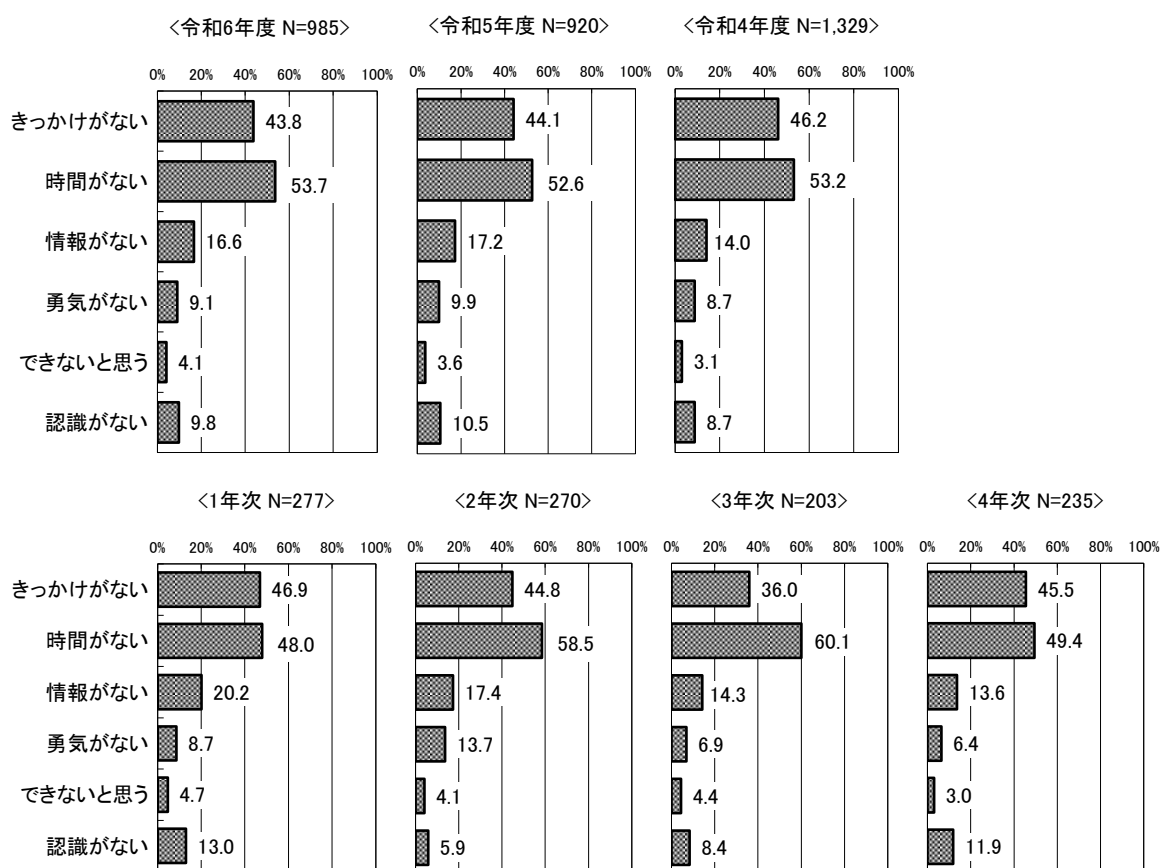
年度別でみると「きっかけがない」は年々減少している。

年次別でみると、すべての年次で「時間がない」が最も多くなっている。＜図 51-2-A＞

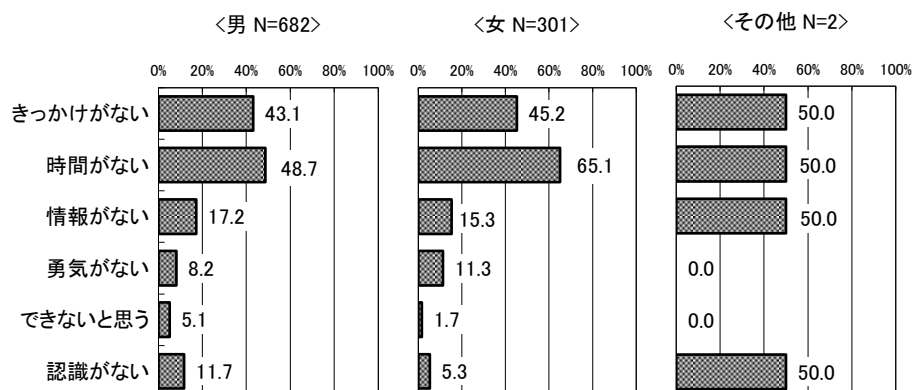
性別でみると、男子学生、女子学生ともに「時間がない」、「きっかけがない」が多くなっている。＜図 51-2-B＞

■問 51-2. ボランティア活動の経験がない理由（過年度調査・年次別・性別）

【図 51-2-A ボランティア活動の経験がない理由】



【図 51-2-B ボランティア活動の経験がない理由】



【結果概要(問 52)】

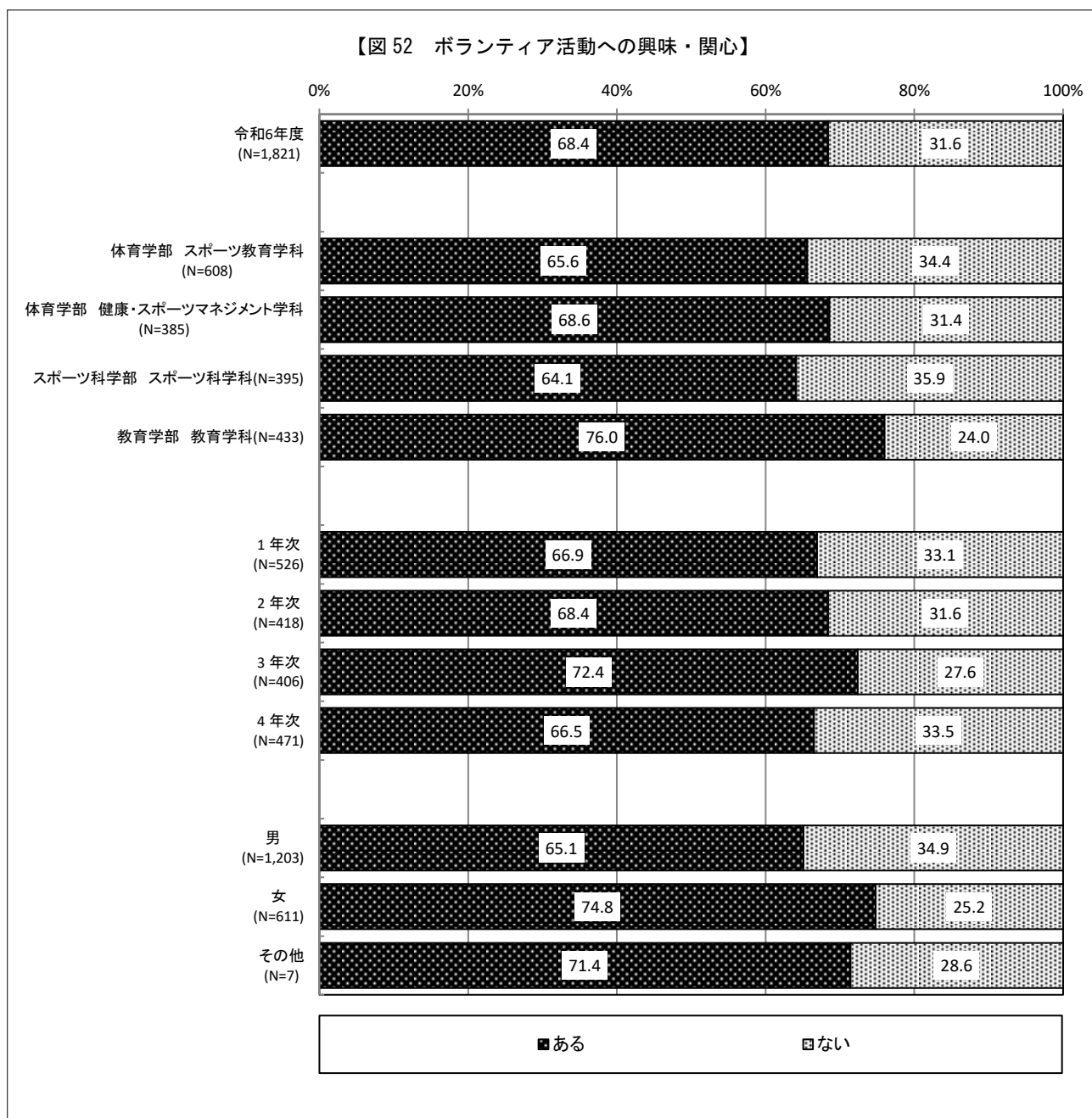
問 52. ボランティア活動への興味・関心が「ある」と回答した学生は 68.4%となっている。

所属学部・学科別でみると、興味・関心が「ある」の回答は、教育学部が 76.0%で最も多く、体育学部、スポーツ科学部より多くなっている。

年次別でみると、興味・関心が「ある」は3年次が 72.4%と最も多くなっている。

性別でみると、興味・関心が「ある」は男子学生が 65.1%、女子学生が 74.8%となり、男子学生より女子学生が 9.7 ポイント多くなっている。＜図 52＞

■ 問 52. ボランティア活動への興味・関心（学科別・年次別・性別）



【結果概要(問 52-1)】

問 52-1. 参加を希望するボランティア活動内容としては、「スポーツ指導」が 74.6%と最も多く、次に「地域活動（まちづくり活動）」が 31.1%、「幼児・児童支援」と「災害復興支援」がそれぞれ 30.3%となっている。

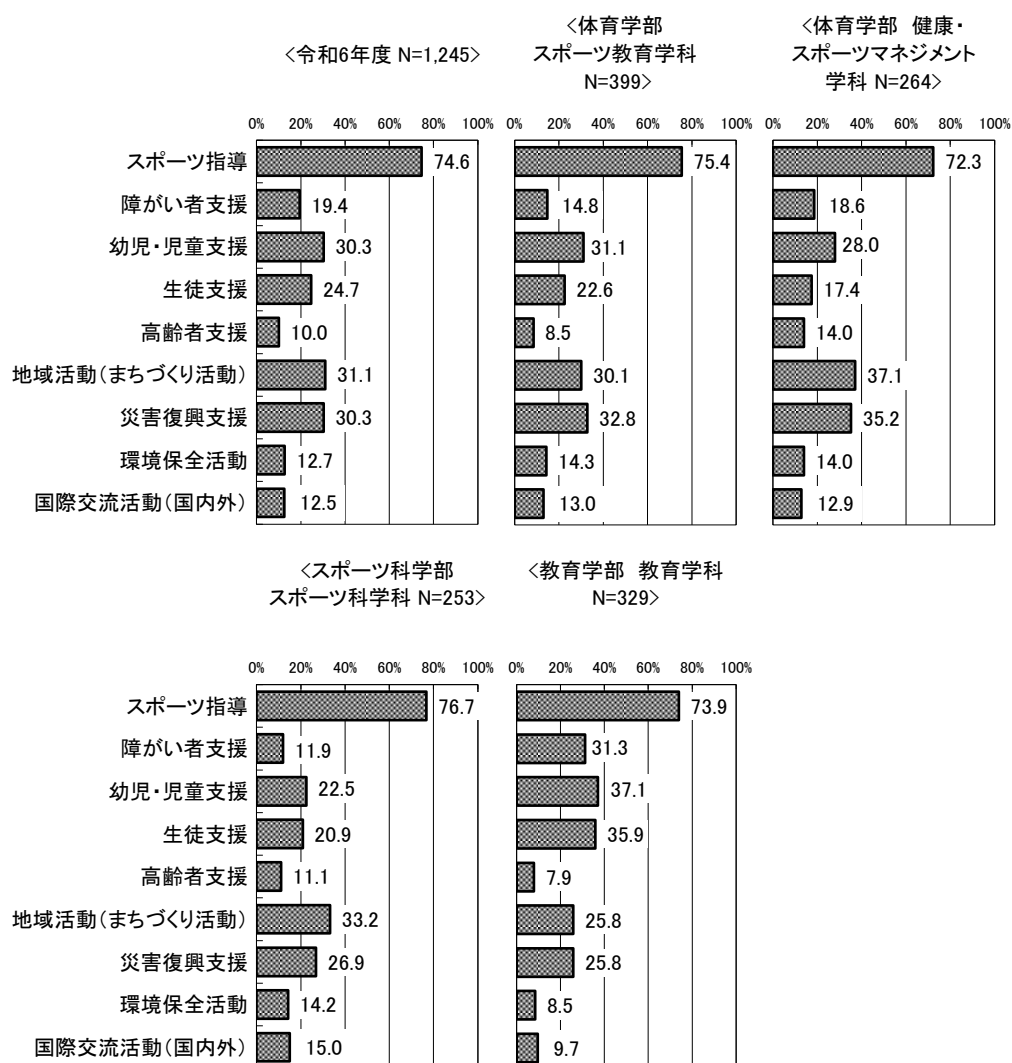
所属学部・学科別でみると、いずれの学科でも「スポーツ指導」が最も多く、教育学部教育学科では「幼児・児童支援」や「生徒支援」も多くなっている。＜図 52-1-A＞

年次別でみると、すべての年次で「スポーツ指導」が最も多くなっている。

性別でみると、男子学生、女子学生ともに「スポーツ指導」が最も多く、次いで男子学生では「災害復興支援」（30.3%）、女子学生では「幼児・児童支援」（47.9%）となっている。＜図 52-1-B＞

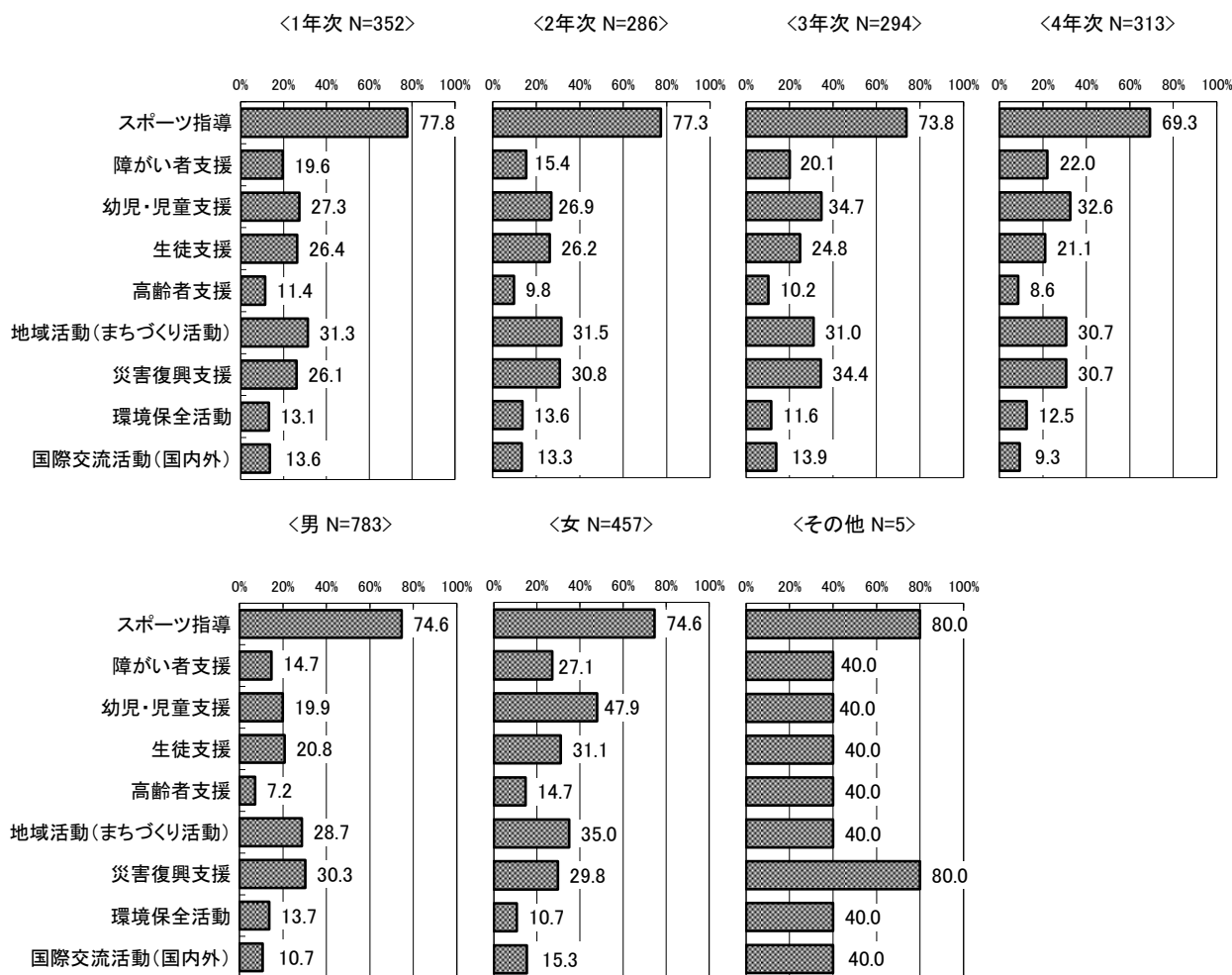
■ 問 52-1. 参加を希望するボランティア活動内容（学科別）

【図 52-1-A 参加を希望するボランティア活動内容】



■問 52-1. 参加を希望するボランティア活動内容（年次別・性別）

【図 52-1-B 参加を希望するボランティア活動内容】



【結果概要(問 53)】

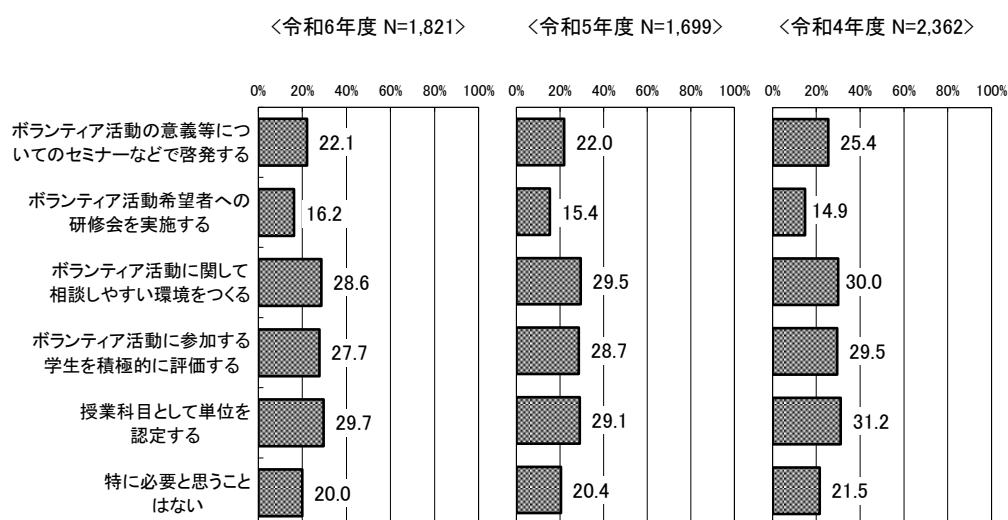
問 53. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて必要なことは、「授業科目として単位を認定する」が 29.7%で最も多く、次に「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」が 28.6%となっている。

年度別でみると、「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」と「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」、「特に必要と思うことはない」は年々減少している。

<図 53-A>

■ 問 53. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（過年度調査）

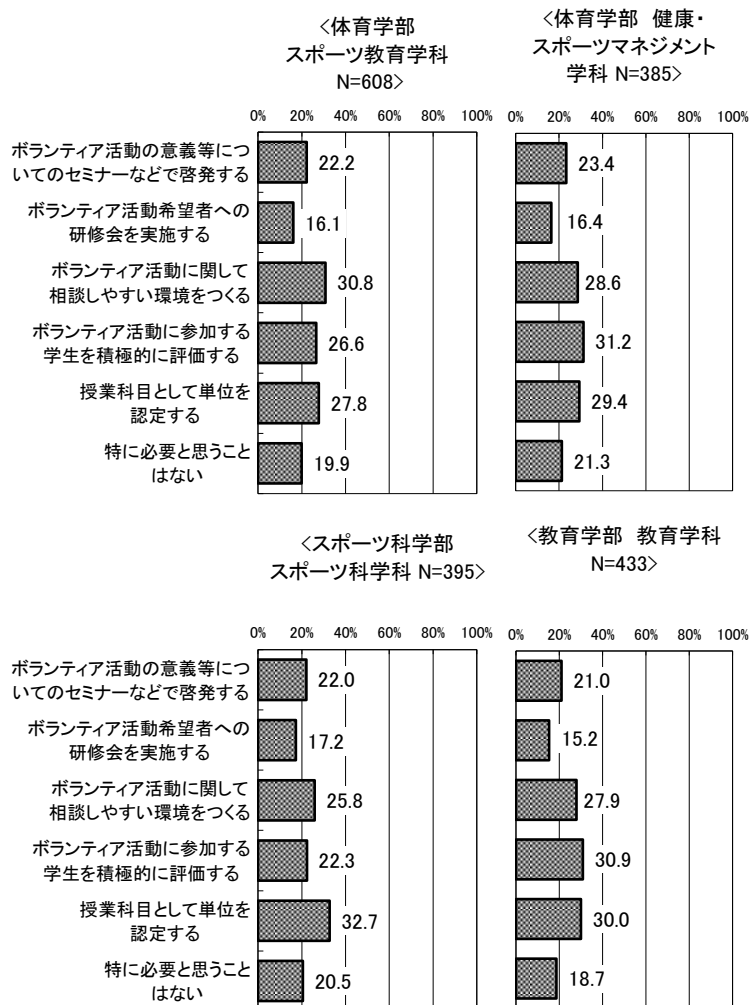
【図 53-A ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて】



問 53. 所属学部・学科別でみると、「授業科目として単位を認定する」については、スポーツ科学部スポーツ科学科が 32.7%と他の学部・学科と比べると多くなっている。＜図 53-B＞

■問 53. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（学科別）

【図 53-B ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて】

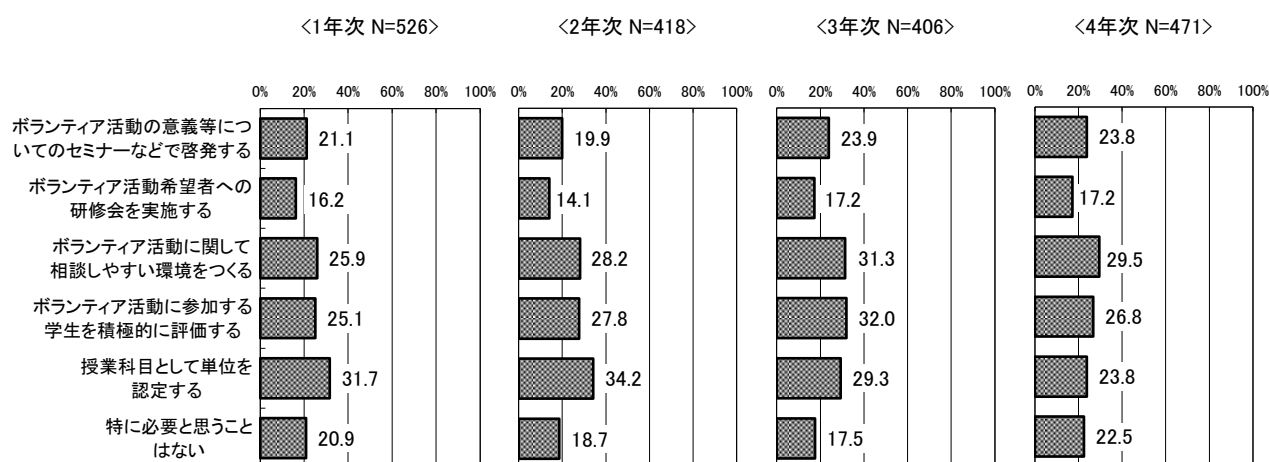


問 53. 年次別でみると、1、2 年次では「授業科目として単位を認定する」、3 年次では「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」、4 年次では「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」が最も多くなっている。＜図 53-C＞

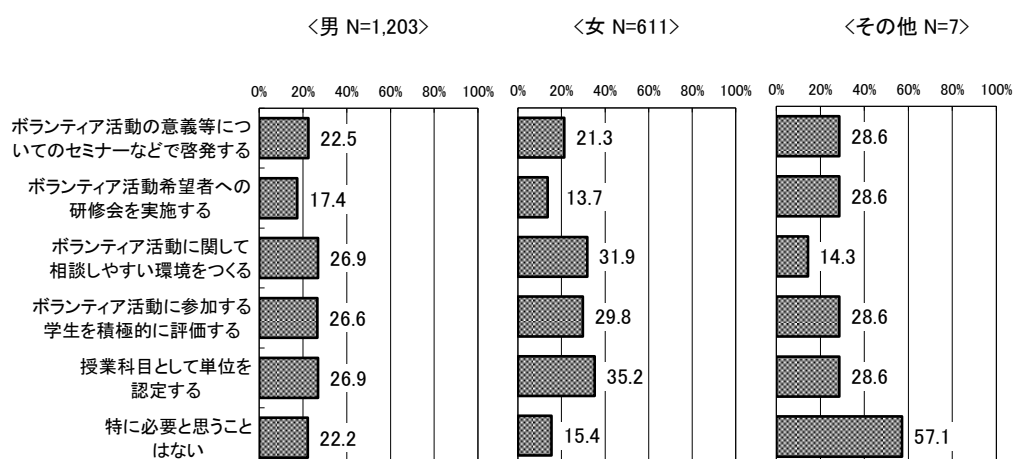
性別でみると、男子学生では「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」と「授業科目として単位を認定する」、女子学生では「授業科目として単位を認定する」が最も多くなっている。＜図 53-D＞

■問 53. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（年次別・性別）

【図 53-C ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて】



【図 53-D ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて】



10. 大学施設等について

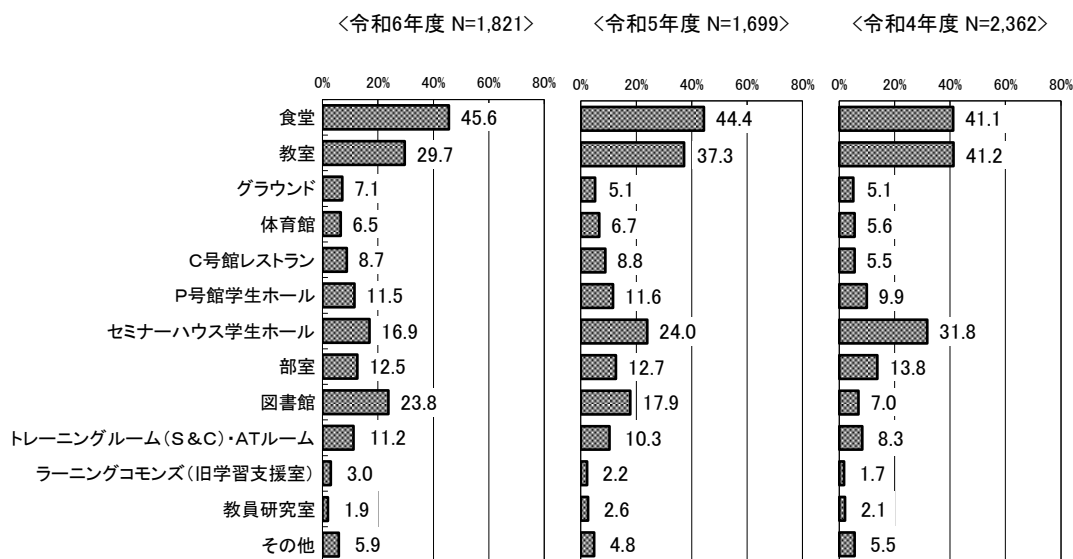
【結果概要(問 54)】

問 54. 大学内で空き時間に利用（滞在）する施設としては、「食堂」が 45.6%で最も多く、次に「教室」が 29.7%、「図書館」が 23.8%となっている。

年度別でみると、「セミナーハウス学生ホール」は年々減少しており、前回調査と比べると 7.1 ポイントの減少となっている。＜図 54-A＞

■問 54. 大学内で空き時間に利用（滞在）する施設（過年度調査）

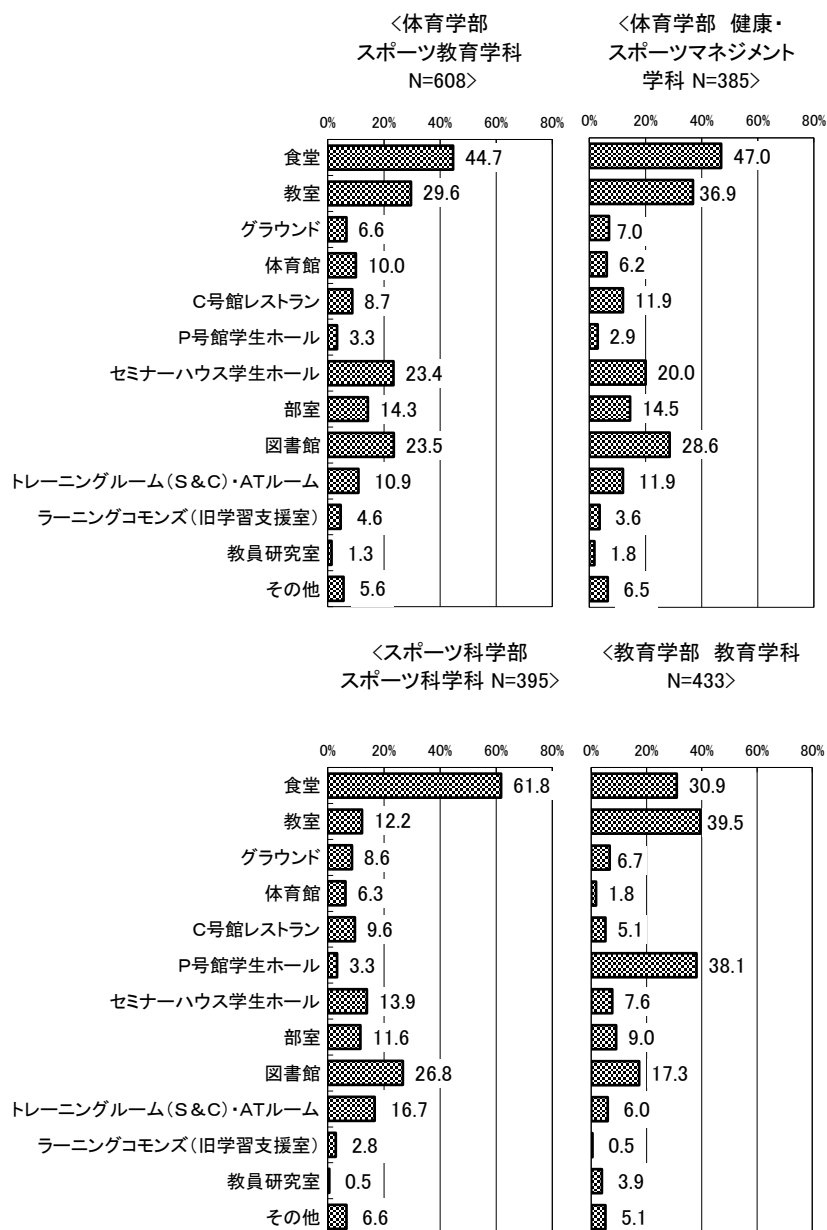
【図 54-A 大学内で空き時間に利用（滞在）する施設】



問 54. 所属学部・学科別では、体育学部とスポーツ科学部では「食堂」が最も多くなっている。それに対して、教育学部教育学科では「教室」の利用が最も多くなっている。＜図 54-B＞

■問 54. 大学内で空き時間に利用（滞在）する施設（学科別）

【図 54-B 大学内で空き時間に利用（滞在）する施設】

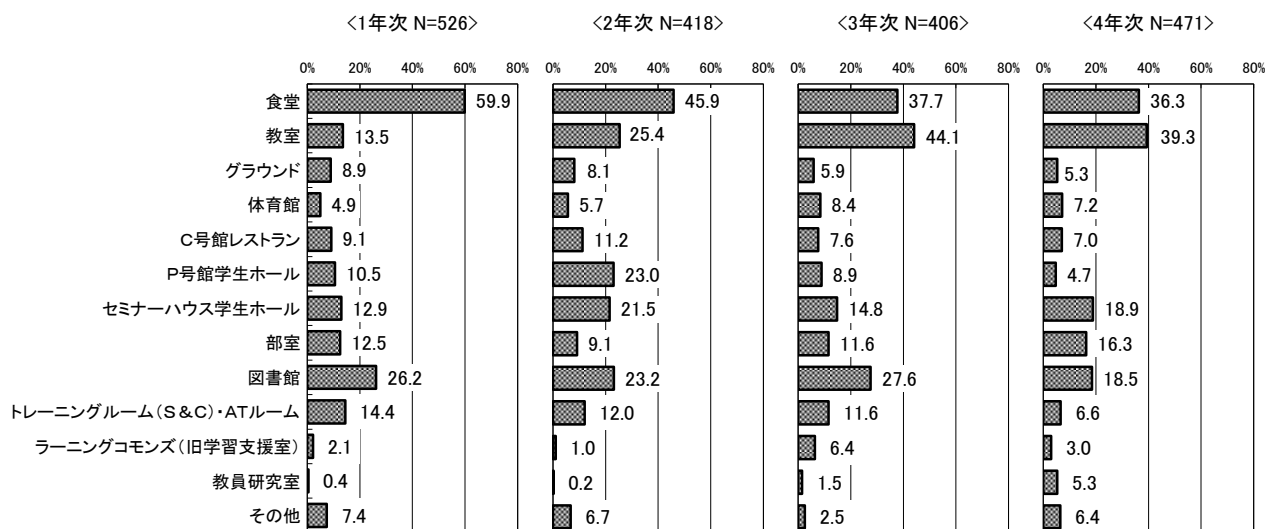


問 54. 年次別でみると、1 年次と 2 年次では「食堂」、3 年次と 4 年次では「教室」の利用が最も多くなっている。＜図 54-C＞

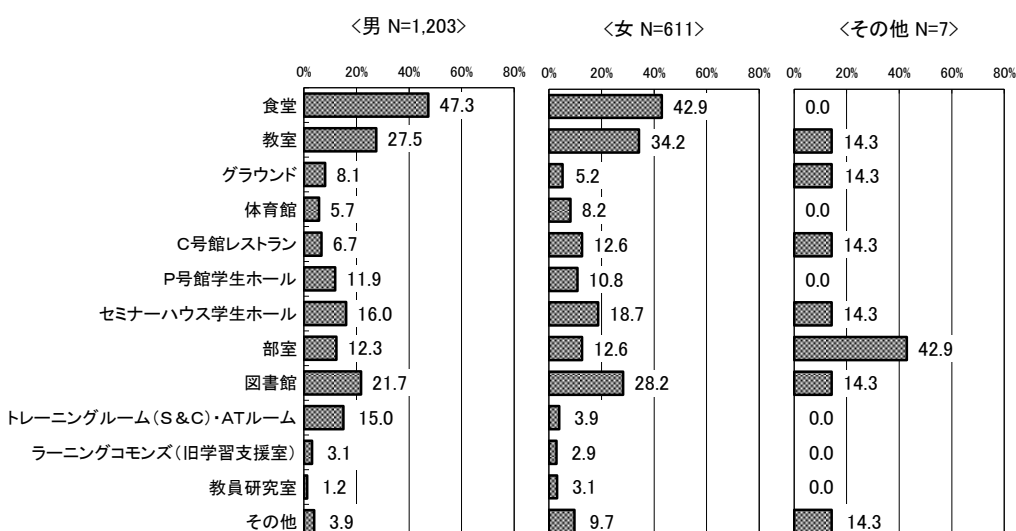
性別でみると、男子学生、女子学生とも「食堂」が最も多くなっている。＜図 54-D＞

■問 54. 大学内で空き時間に利用（滞在）する施設（年次別・性別）

【図 54-C 大学内で空き時間に利用（滞在）する施設】



【図 54-D 大学内で空き時間に利用（滞在）する施設】



【結果概要(問 55)】

問 55. 図書館の利用状況としては、「いつも利用している」と「たまに利用している」を合わせた図書館の利用率は 51.3%となっている。

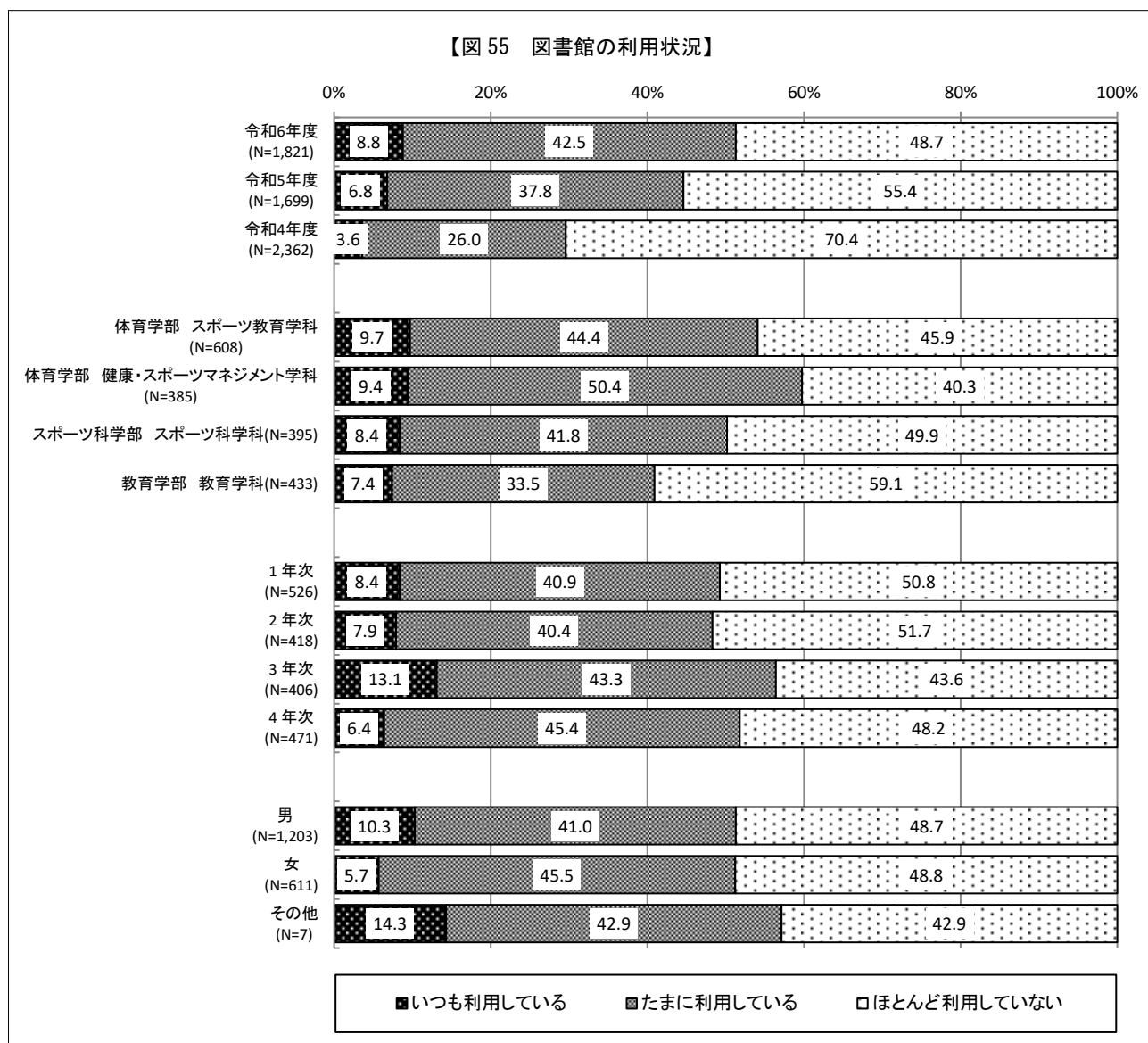
年度別でみると、図書館の利用率は、前回調査から 6.7 ポイント増加した。

所属学部・学科別では、図書館の利用率は、体育学部健康・スポーツマネジメント学科が 59.8%で最も多く、次に体育学部スポーツ教育学科が 54.1%となっており、体育学部がスポーツ科学部や教育学部より多くなっている。

年次別でみると、図書館の利用率は最も多い 3 年次が 56.4%であるのに対して、最も少ない 2 年次が 48.3%と 8.1 ポイントの差がみられる。

性別でみると、図書館の利用率は男子学生が 51.3%、女子学生が 51.2%となり、性別による差はほぼみられない。＜図 55＞

■問 55. 図書館の利用状況（過年度調査・学科別・年次別・性別）



【結果概要(問 55-1・55-2)】

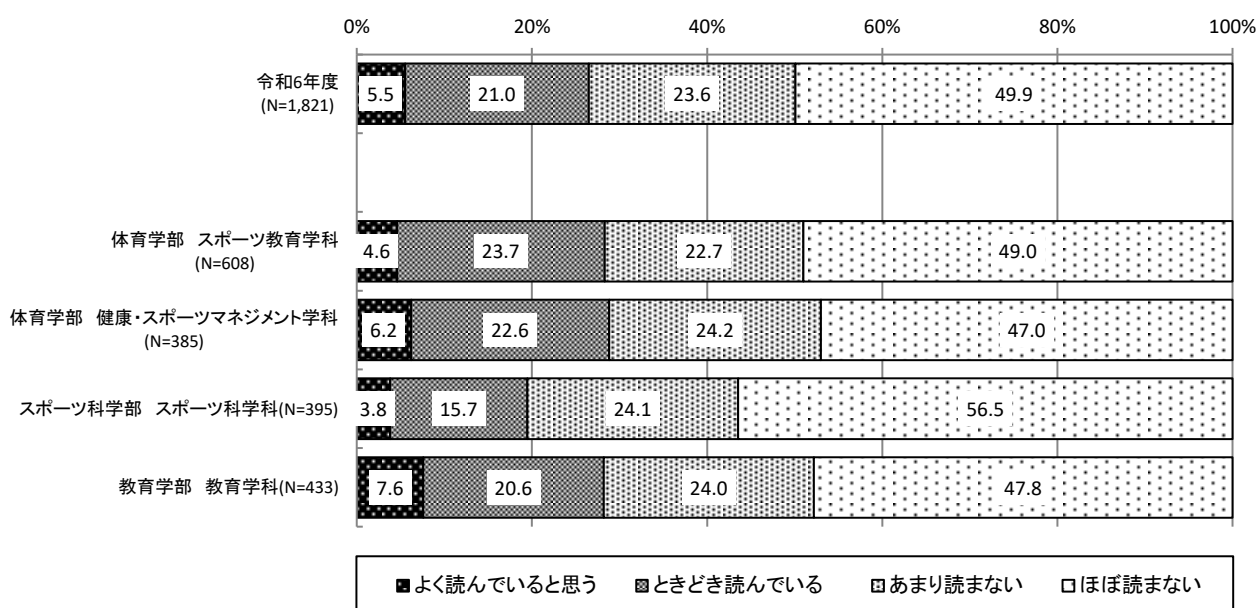
問 55-1. 新聞の閲読としては、「ほぼ読まない」が 49.9%で最も多くなっている。「よく読んでいると思う」(5.5%)、「ときどき読んでいる」(21.0%)を合わせた「読んでいる」割合は 26.5%となっている。＜図 55-1＞

問 55-2. 読書については、「ほぼ読まない」が 42.0%で最も多くなっている。「よく読んでいると思う」(6.6%)、「ときどき読んでいる」(22.7%)を合わせた「読んでいる」割合は 29.3%となっている。＜図 55-2＞

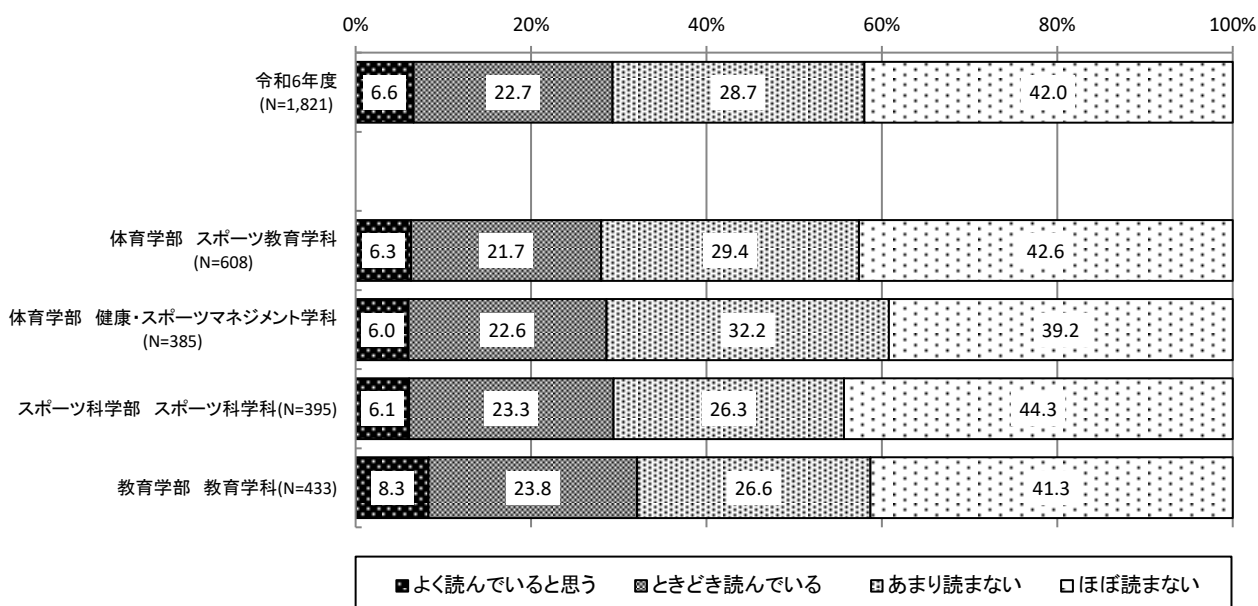
■問 55-1 新聞の閲読（学科別）

■問 55-2 読書について（学科別）

【図 55-1 新聞の閲読】



【図 55-2 読書について】



【結果概要(問 56・56-1)】

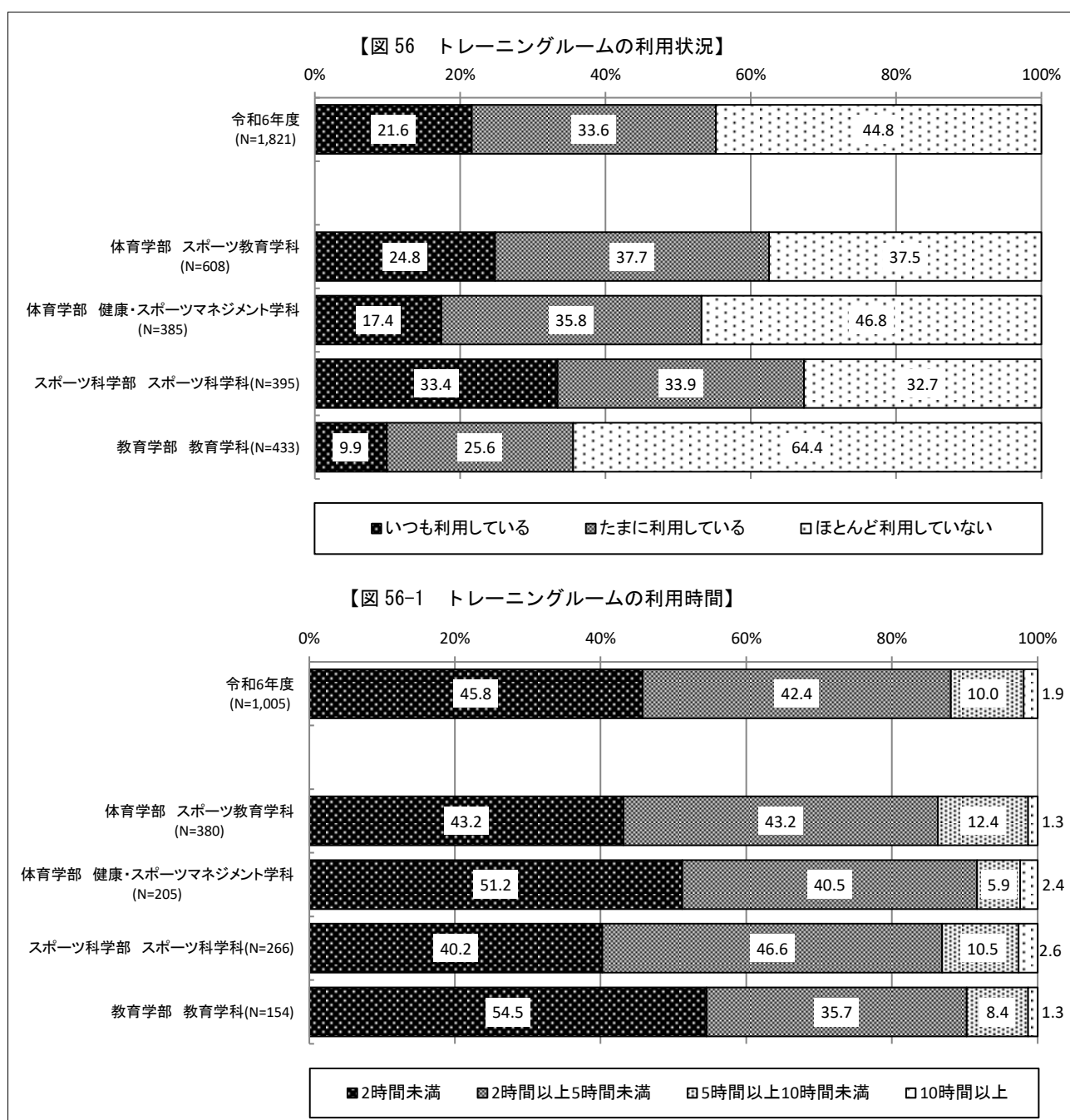
問 56. トレーニングルーム (S&C)・AT ルームの利用については、「ほとんど利用していない」が 44.8%で最も多く、次に「たまに利用している」が 33.6%となっている。

所属学部・学科別でみると、スポーツ科学部スポーツ科学科は「いつも利用している」が 33.4%と最も多い。＜図 56＞

問 56-1. トレーニングルームの一週間あたりの利用時間については、「2 時間未満」が 45.8%と最も多い。

所属学部・学科別でみると、体育学部健康・スポーツマネジメント学科と教育学部教育学科では「2 時間未満」が他の学部・学科と比べて多くなっている。＜図 56-1＞

■問 56・問 56-1 トレーニングルームの利用状況・利用時間について（学科別）



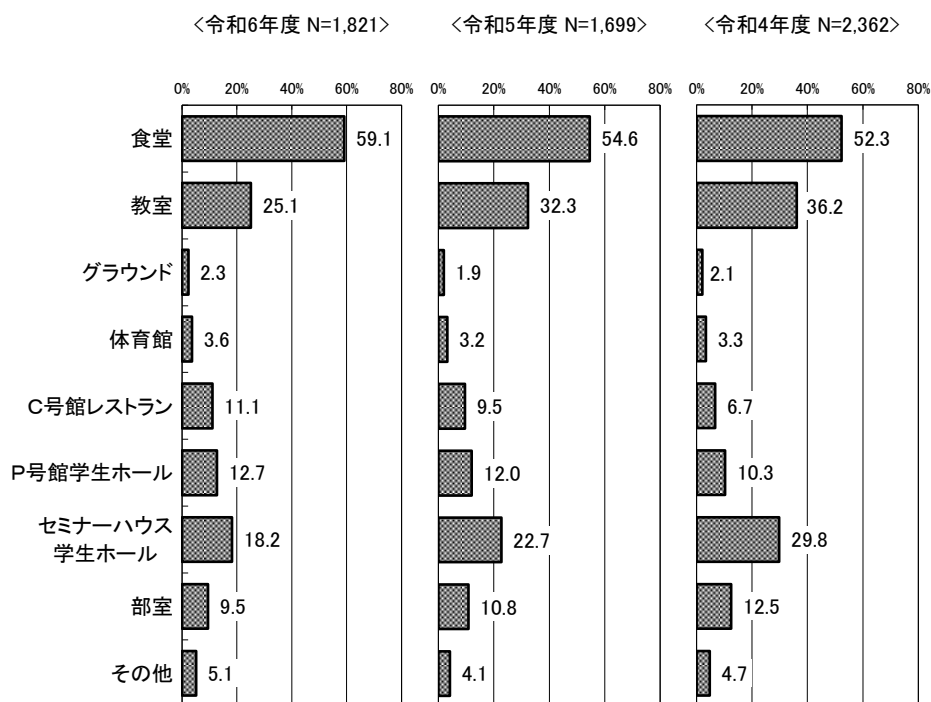
【結果概要(問 57)】

問 57. 大学内で昼食時に利用する施設は、「食堂」が 59.1%と最も多く、次に「教室」が 25.1%、「セミナーハウス学生ホール」が 18.2%となっている。

年度別でみると、どの年度でも「食堂」、「教室」、「セミナーハウス学生ホール」が上位に入っている。そのうちの「セミナーハウス学生ホール」は、年々減少している。＜図 57-A＞

■問 57. 大学内で昼食時に利用する施設（過年度調査）

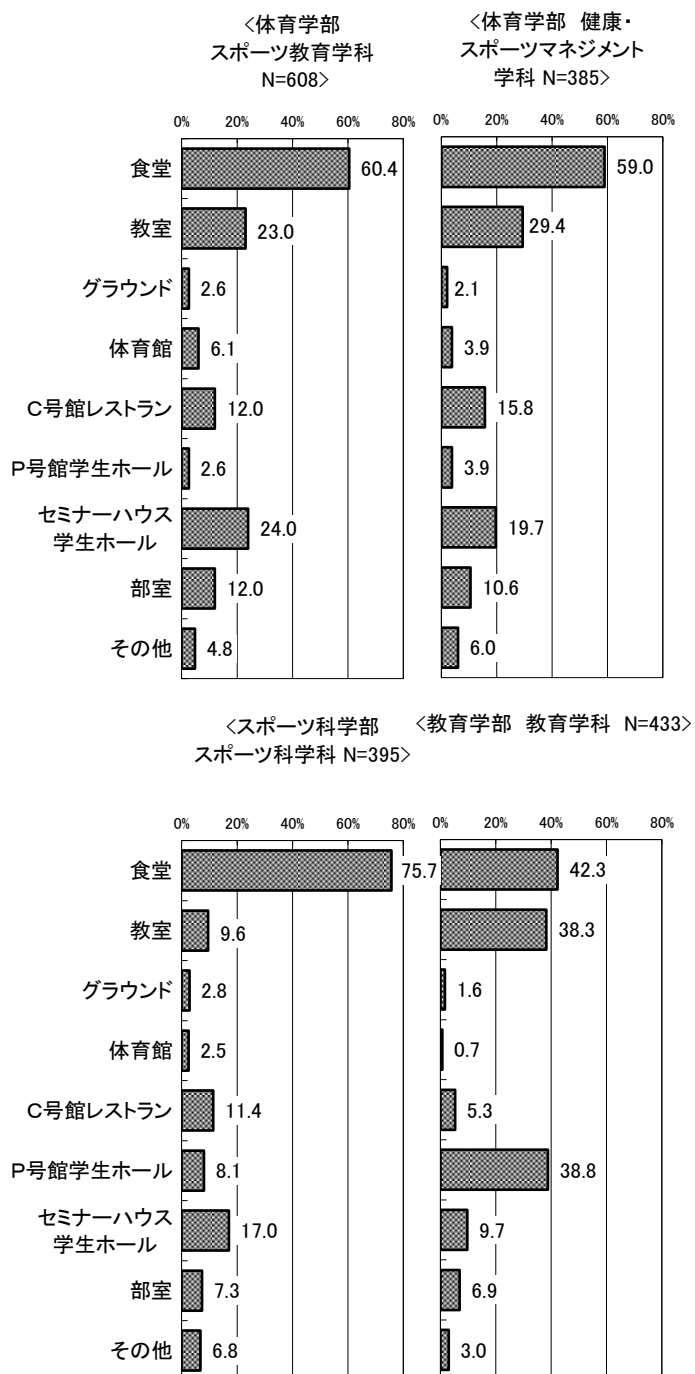
【図 57-A 大学内で昼食時に利用する施設】



問 57. 所属学部・学科別でみると、体育学部とスポーツ科学部では教育学部と比べて「セミナーハウス学生ホール」の利用が多く、対して教育学部では「P 号館学生ホール」の利用が多くなっている。＜図 57-B＞

■問 57. 大学内で昼食時に利用する施設（学科別）

【図 57-B 大学内で昼食時に利用する施設】

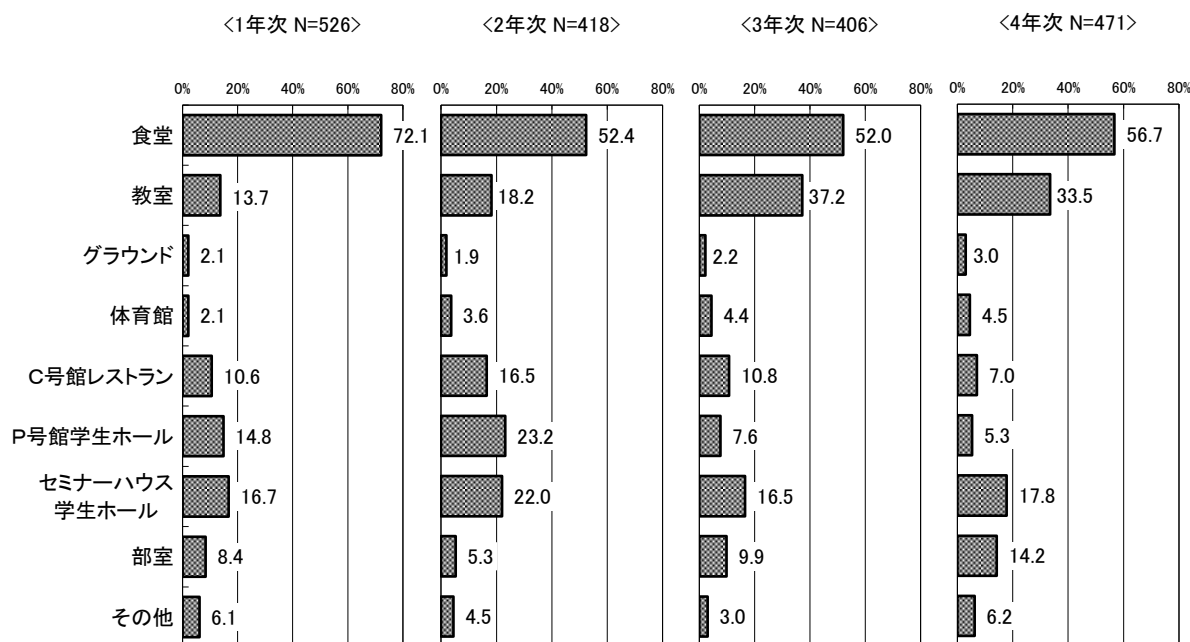


問 57. 年次別では、すべての年次で「食堂」が最も多く、次に1年次では「セミナーハウス学生ホール」、2年次では「P号館学生ホール」、3年次、4年次では「教室」の利用が多い。＜図 57-C＞

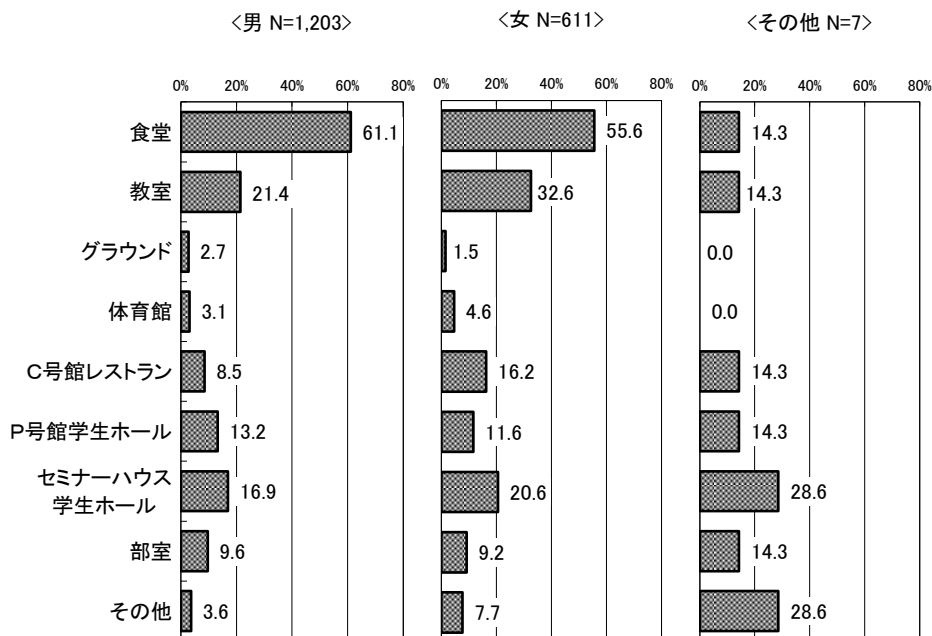
性別でみると、すべての学生で「食堂」が最も多く、次に男子学生と女子学生ともに「教室」の利用が多いが、女子学生の方が11.2ポイント多くなっている。＜図 57-D＞

■問 57. 大学内で昼食時に利用する施設（年次別・性別）

【図 57-C 大学内で昼食時に利用する施設】



【図 57-D 大学内で昼食時に利用する施設】



【結果概要(問 58)】

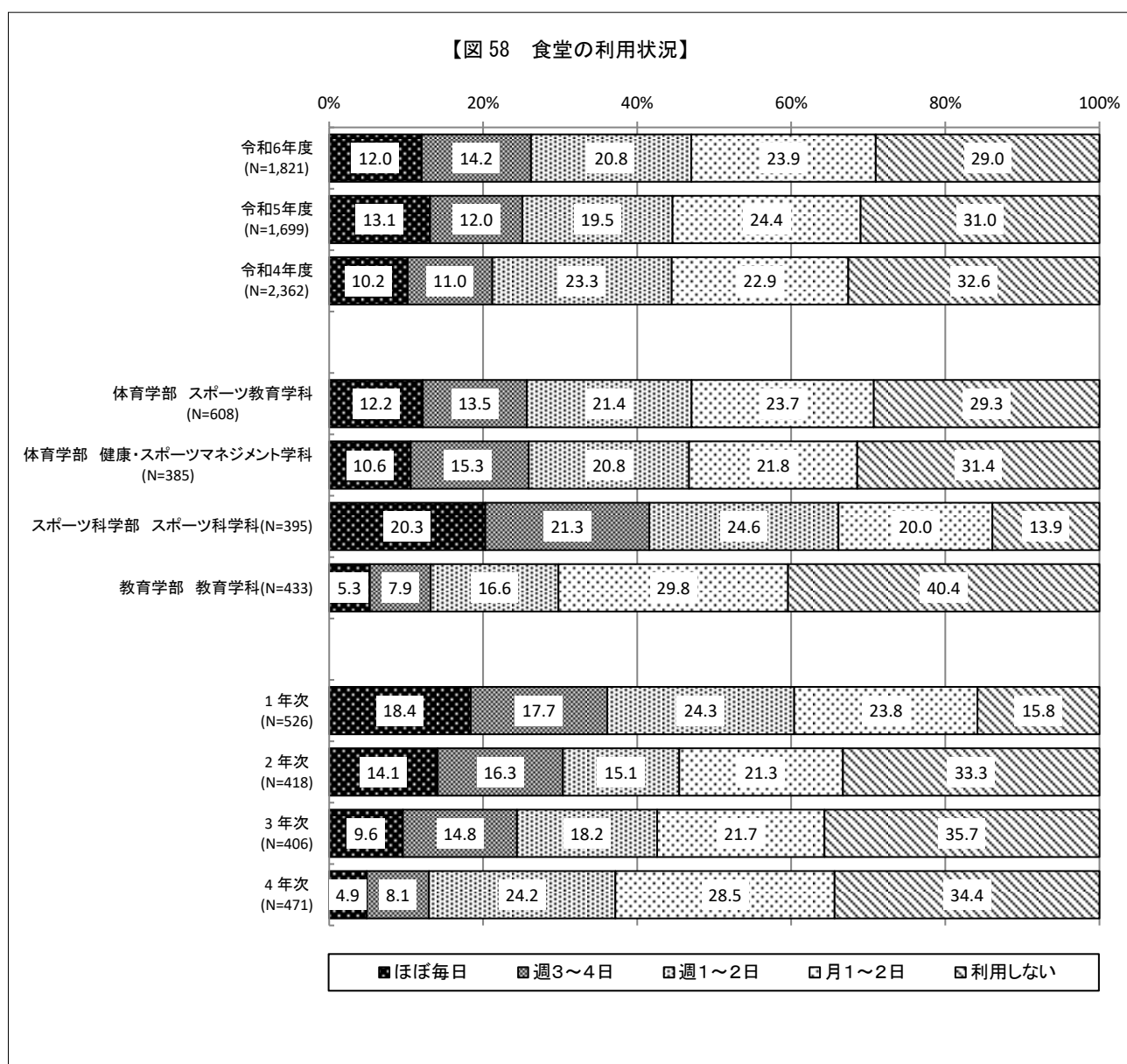
問 58. 食堂の利用については、「利用しない」が 29.0%で最も多く、次に「月 1～2 日」が 23.9%となっている。

年度別でみると、週 3～4 日以上利用している層の割合は、今回調査では 26.2%となっており、前々回調査から年々増加している。

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科では「利用しない」が 40.4%と最も多く、最も少ないのはスポーツ科学部スポーツ科学科（13.9%）となっている。一方、体育学部は両学科とも 30%前後であった。

年次別でみると、「ほぼ毎日」は 1 年次が 18.4%と他の年次と比べて多くなっており、年次が増えるにつれ減少している。＜図 58＞

■ 問 58. 食堂の利用状況（過年度調査・学科別・年次別）



【結果概要(問 58-1)】

問 58-1. 食堂を利用していない理由については、「弁当を持参している」が 42.2%で最も多く、次に「混雑している」が 39.7%、「価格が高い」が 28.4%となっている。

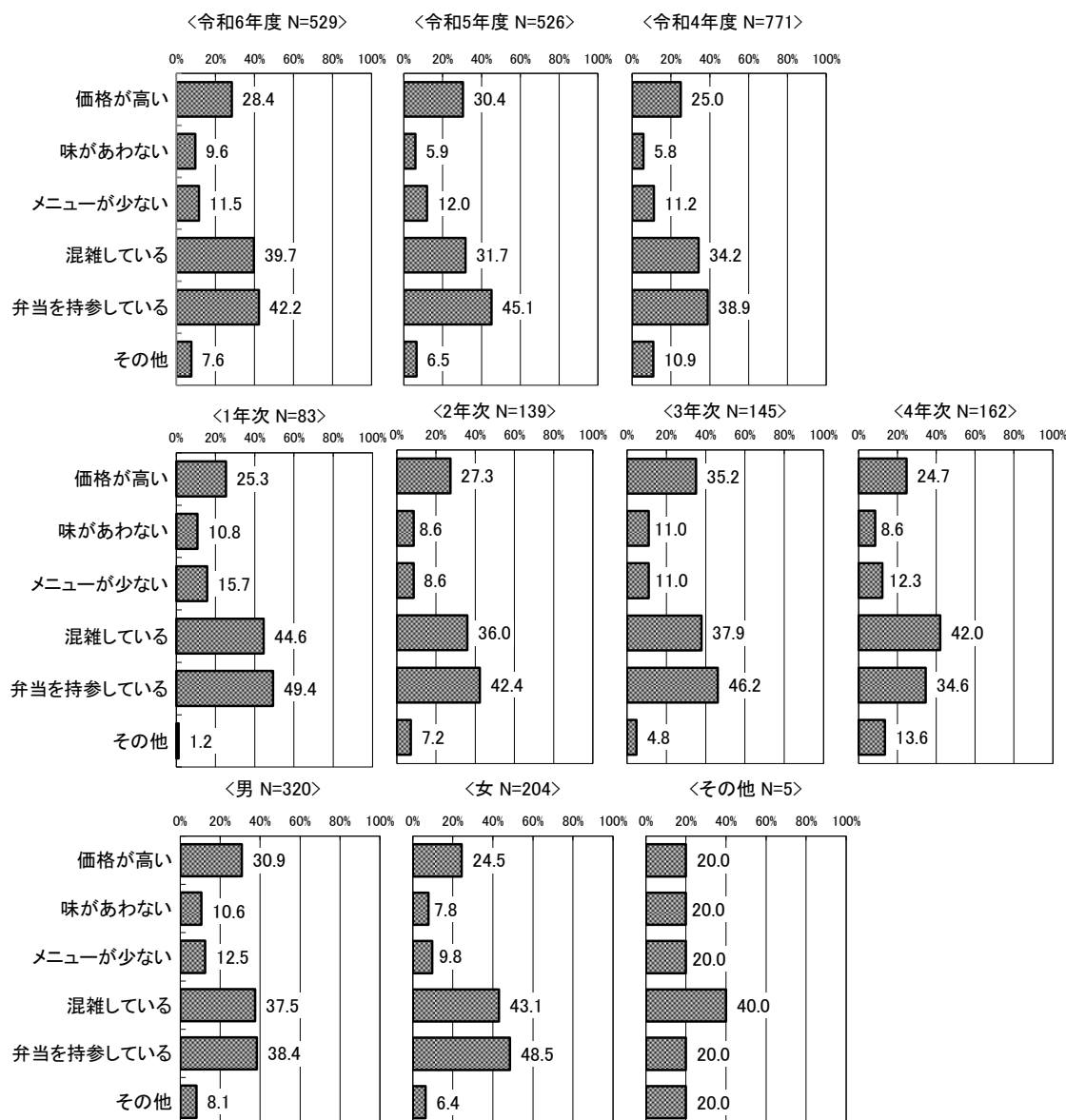
年度別でみると、「味があわない」が年々増加している。

年次別でみると、「混雑している」は 1 年次と 4 年次が 4 割を超えて多く、「弁当を持参している」は 1～3 年次は 4 割台であるが、4 年次のみ 3 割台と減少している。

性別でみると、男子学生と女子学生では「弁当を持参している」が最も多く、男子学生より女子学生が 10.1 ポイント多くなっている。＜図 58-1＞

■ 問 58-1. 食堂を利用しない理由（過年度調査・年次別・性別）

【図 58-1 食堂を利用しない理由】



【結果概要(問 59)】

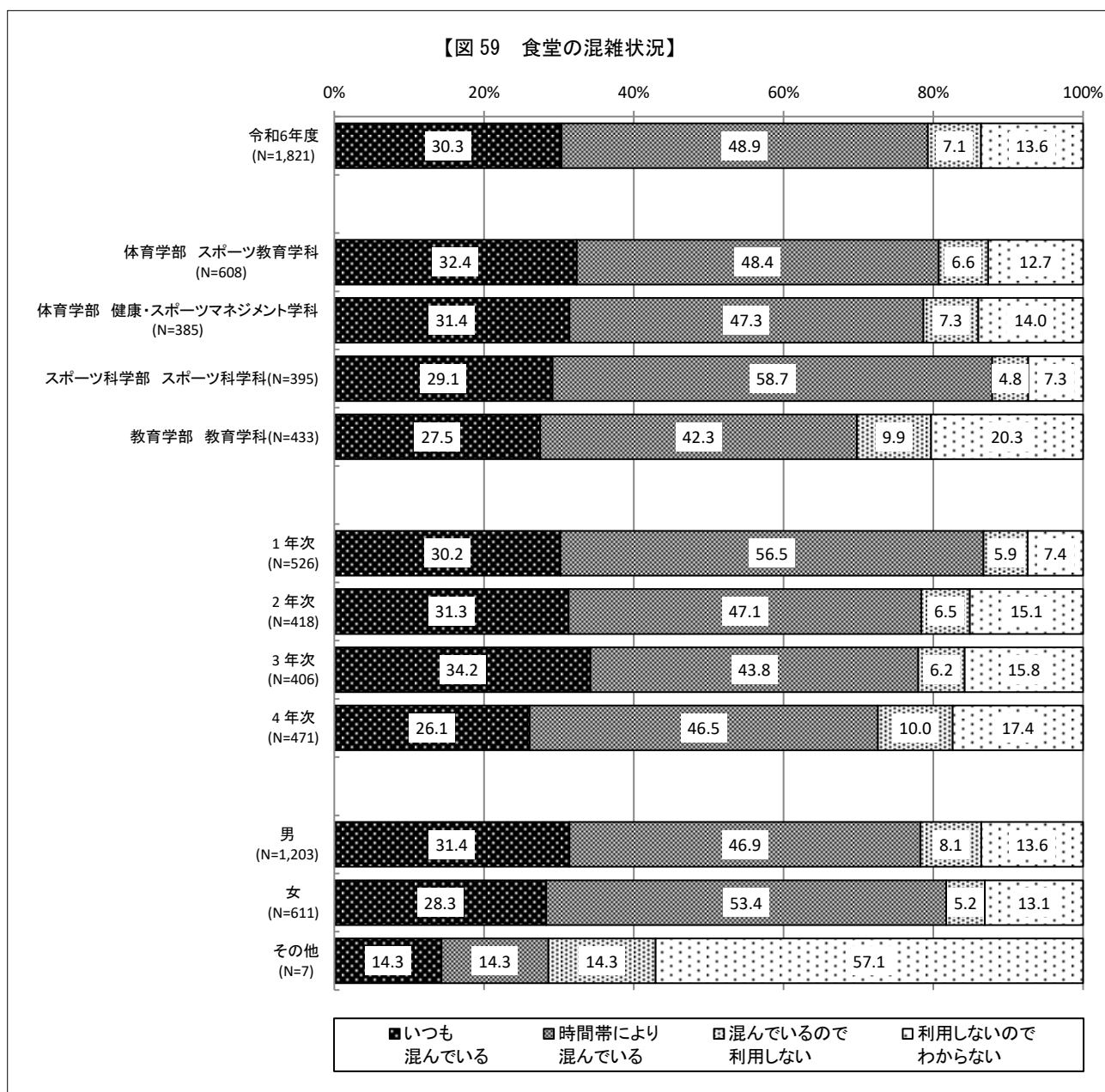
問 59. 食堂の混雑状況については、「時間帯により混んでいる」が 48.9%と最も多く、次に「いつも混んでいる」が 30.3%、「利用しないのでわからない」が 13.6%、「混んでいるので利用しない」が 7.1%となっている。

所属学部・学科別でみると、すべての学科で「時間帯により混んでいる」が最も多くなっている。

年次別でみると、すべての年次で「時間帯により混んでいる」が4割を超えている。

性別でみると、すべての学生で「時間帯により混んでいる」が最も多くなっている。＜図 59＞

■問 59 食堂の混雑状況（学科別・年次別・性別）



【結果概要(問 60)】

問 60. 食堂の利用時間や営業時間については、「今のままでよい」が 53.6%で最も多く、次に「夏休みや春休みなど授業がない日も営業してほしい」が 27.5%となっている。

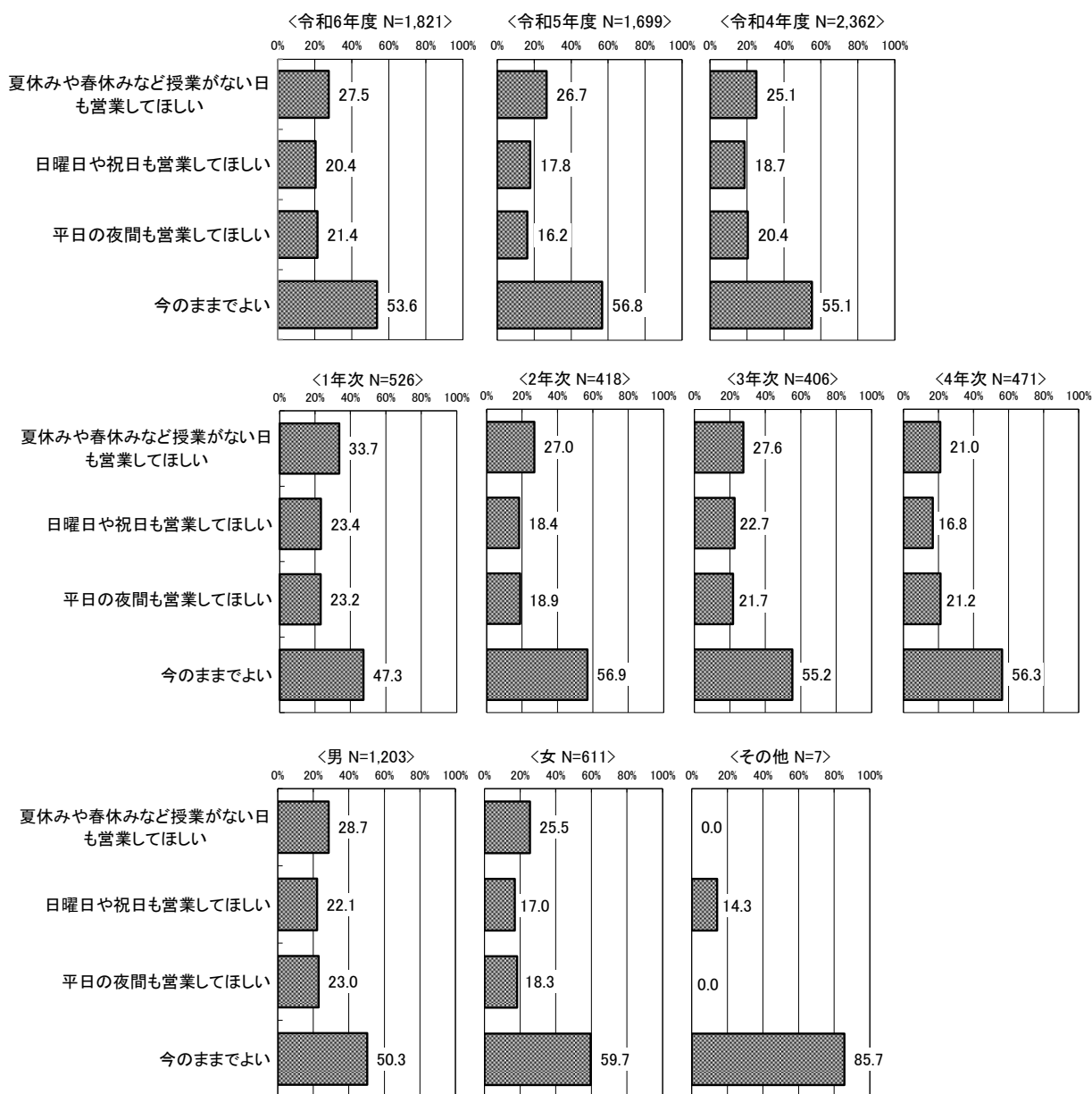
年度別でみると、「夏休みや春休みなど授業がない日も営業してほしい」は年々増加している。

年次別でみると、すべての年次で「今のままでよい」が最も多く、2年次以上は5割を超えている。中でも2年次は56.9%と最も多くなっている。

性別でみると、「今のままでよい」は、女子学生が 59.7%で、男子学生の 50.3%よりも 9.4ポイント多くなっている。＜図 60＞

■問 60. 食堂の利用時間や営業時間について（過年度調査・年次別・性別）

【図 60 食堂の利用時間や営業時間について】



【結果概要(問 61)】

問 61. 普段 1 回で使う昼食代については、「400 円以上 500 円未満」が 28.1%と最も多く、次に「500 円以上 600 円未満」が 25.0%、「300 円以上 400 円未満」が 18.7%となっている。

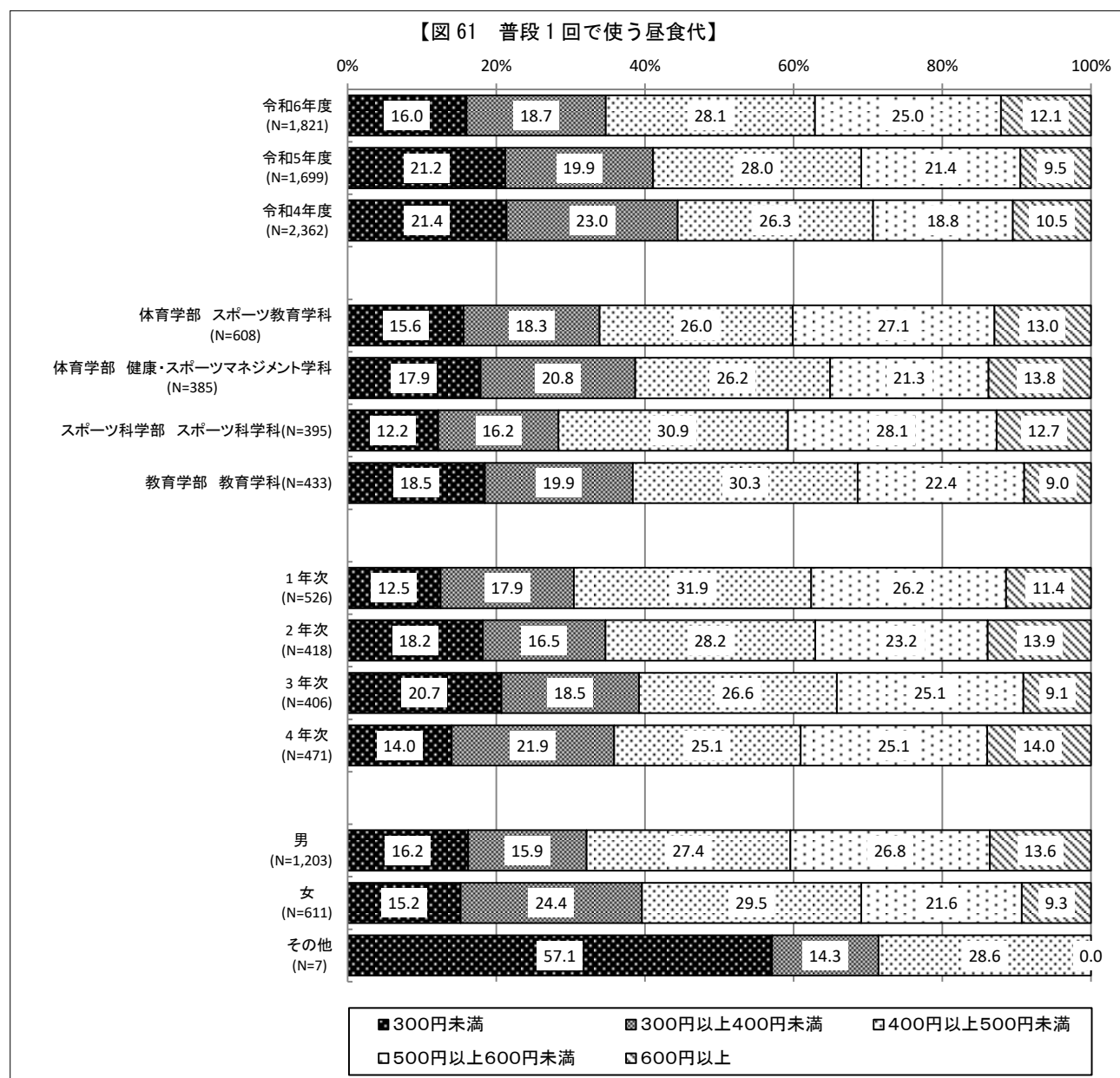
年度別でみると、「500 円以上 600 円未満」は年々増加しており、前年調査から 3.6 ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、体育学部スポーツ教育学科では「500 円以上 600 円未満」が最も多く、それ以外の学部・学科では「400 円以上 500 円未満」が最も多い。

年次別では、すべての年次で「400 円以上 500 円未満」が最も多くなっており、4 年次は「500 円以上 600 円未満」も同率で 1 位となっている。

性別でみると、男子学生と女子学生では「400 円以上 500 円未満」が最も多くなっている。＜図 61＞

■問 61. 普段 1 回で使う昼食代（過年度調査・学科別・年次別・性別）



【結果概要(問 62)】

問 62. 食べたいメニュー（新メニュー）は、記入者 430 名、総意見数として 476 件であった。メニューとして回答が最も多かったのは「丼」で 89 件、内訳としては「かつ丼」が 22 件、「牛丼」が 11 件。次に「洋食」が 83 件、「和食」が 70 件、「麺類」が 35 件、「中華料理」が 26 件と続いている。

丼	89
かつ丼	22
牛丼	11
からマヨ丼	9
海鮮丼	6
天丼	6
親子丼	5
ロコモコ丼	5
豚キムチ丼	4
丼	3
唐揚げ丼	2
そばろ丼	2
天津飯	2
豚丼	2
ローストビーフ丼	2
あんかけ丼	1
角煮丼	1
韓国丼	1
筋肉丼	1
他人丼	1
ばくだん丼	1
回鍋肉丼	1
具の多い丼系	1

洋食	83
チキン南蛮	21
ハンバーグ	9
カツカレー	7
オムライス	6
ハンバーガー	6
ハヤシライス	5
チーズINハンバーグ	4
シチュー	3
ドリア	2
ホットドッグ	2
ボトフ	2
カツサンド	1
唐揚げ付きのカレー	1
きな粉揚げパン	1
熊コロ	1
グラタン	1
コロッケ	1
鮭のムニエル	1
ドライカレー	1
パン	1
ハンバーグ定食	1
ブリトー	1
フレンチ	1
ポテト	1
ポテト復活	1
メンチカツ	1
手長海老のボワレとサフランソゾット	1

和食	70
焼肉・ステーキ	13
唐揚げ定食	6
唐揚げ弁当	4
生姜焼き	4
寿司	4
焼肉定食	3
おでん	2
唐揚げ	2
筋肉弁当	2
肉じゃが	2
揚げ物	1
クジラの竜田揚げ	1
鯖の塩焼き	1
しじみ汁	1
汁物	1
すき焼き	1
ステーキ定食	1
惣菜	1
大根の煮物	1
ちくわ	1
冷たいそば	1
天ぷら	1
天ぷら定食	1
豆腐	1
鳥の照り焼き	1
トンカツ	1
豚汁	1
肉じゃが	1
ネギトロ	1
豚キムチ	1
ホッケの西京焼き	1
味噌カツ定食	1
みそ汁	1
焼きおにぎり	1
焼鳥	1
ロースカツ定食	1
和食	1
南蛮漬	1

麺類	35
ラーメン	12
カレーうどん	3
油そば	2
うどん大盛	2
ちゃんぽん	2
まぜそば	2
焼きうどん	2
麻婆麺	2
ざるそば	1
担々麺	1
つけ麺	1
豚骨	1
鍋焼きうどん	1
肉うどん	1
麺系	1
冷麺	1

中華料理	26
チャーハン	13
餃子	5
麻婆豆腐	4
油淋鶏	1
エビチリ	1
中華セット	1
中華料理	1

韓国料理	15
ビビンバ	8
韓国料理	3
トッポギ	2
スンドゥブ	1
ヤンニョムチキン	1

フルーツ・スイーツ	15
フルーツ	6
アサイボール	2
スイーツ	2
デザート	2
アイス	1
クレープ	1
パフェ	1

粉もん	10
たこ焼き	3
お好み焼き	1
もんじゃ	1
焼きそば	5

パスタ・ピザ	9
パスタ	4
ピザ	4
たらこソースシシリー風	1

エスニック	6
タコライス	4
ガバオライス	2

その他	118
魚系	7
安い	6
定食	5
鶏肉系	5
肉類	5
ボリュームがある	5
身体にいいもの	3
とにかく量を増やして欲しい	3
海鮮料理	2
卵料理	2
鍋	2
ヘルシーなメニュー	2
脂質の少ないメニュー	2
その他	69

【結果概要(問 63)】

問 63. 食堂の改善点や要望・感想等では、記入者 315 名、総意見数として 379 件であった。

「料理」については「安くして欲しい」が 71 件で最も多く、次に「メニューを増やして欲しい、メニューの復活」が 53 件、「量が少ない、量を増やす」が 51 件、「施設／設備」では「席が少ない／増やして欲しい」が 23 件、「接遇」については「営業時間の延長」が 12 件となっている。

料理	223
値段が高い／値段を安くしてほしい	71
メニューを増やす／メニューの復活	53
量が少ない／量を増やす	51
美味しくない	19
値段と量が合っていない	5
美味しくいただいている	4
値段とクオリティ	2
栄養バランスの取れた食事の提供	1
お米だけ持っていけば食堂で惣菜が買えるようにして欲しい。	1
その日のメニューを作って置いてあるけど、それは後々どうしているのか気になります。	1
デイリーセットなど人気なメニューの提供時間が遅い時がある。	1
ワンコインでいっぱい食べたい	1
栄養面が終わっている。	1
塩分が多いものが多い	1
作り置きされていて冷めているものはやめてほしい	1
親子丼に親がない時がある	1
前述した通り、物価が高騰していることはわかるがだからこそ学校が学生の味方となってリーズナブルな値段で食事を提供しても良いのではないかと思った。食堂もセミナーハウスのコンビニも同様、まだお金稼ぎに頭が回っているのではないかと感じた。	1
早めに行かないと売り切れるものがあるのでもう少し在庫を増やして欲しい	1
大盛りも無料にしてほしい	1
唐揚げ丼など人気のメニューの提供場所を増やして欲しい	1
揚げ丼の唐揚げが大きすぎて中まで揚げられていない時があった	1
夕食のメニューがほぼ一緒	1
頼んだ時にトッピングしてもらえるのはありがたいがソースなどで苦手なものもあるので各自でかけられたら良いかなと思う	1
量と質が落ちたので改善してほしい	1
冷凍食品を使っている。	1

施設／設備	43
座席が少ない／増やして欲しい	23
食堂が狭すぎる	10
混雑しているので行きづらい	3
券売機を増やしてほしい	1
清潔な台拭きが欲しい	1
清潔にしてほしい	1
席が狭い	1
体育学部だけでなく教育学部にも設置	1
電子レンジを追加してほしい	1
食堂をリフォームしてほしい	1

接遇	34
営業時間の延長	12
以前の業者に戻す	6
昼の時間帯は人が多くて使えない	4
席の入れ替わり	3
時間制にしてほしい	1
食事の提供までの待ち時間が長い時がある	1
食堂のスタッフの印象が良い	1
特になし	1
昼時間以外も食券を買えるようにしてほしい	1
部活の日に開いていない	1
待ち時間を減らしてほしい	1
利用できない日を明確にしてほしい	1
列の並び方が変	1

その他	79
学生のマナー向上	2
特になし	72
その他	5

【結果概要(問 64)】

問 64. 大学事務局の窓口の対応に対して、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足」は 55.2%、「不満足である」と「やや不満足である」を合わせた「不満足」は 4.2%と「満足」が上回っている。しかし、「どちらともいえない」は 40.6%を占めている。

年度別でみると、前回調査と比べて「満足」は 0.5 ポイント増加、「不満足」は 1.4 ポイント減少している。

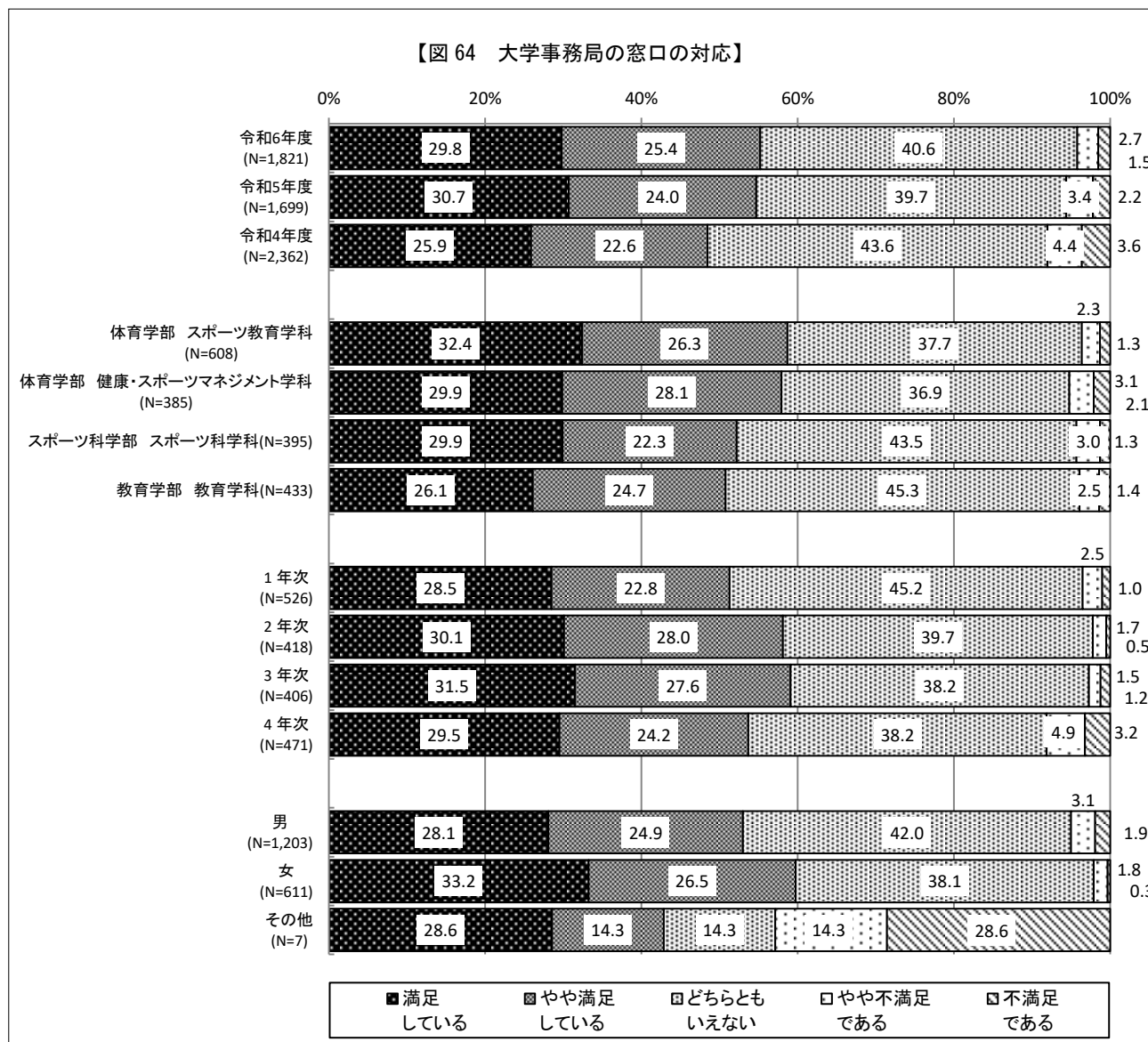
所属学部・学科別でみると、「満足」は体育学部スポーツ教育学科が 58.7%と最も多く、次に体育学部健康・スポーツマネジメント学科が 58.0%、スポーツ科学部スポーツ科学科が 52.2%、教育学部教育学科が 50.8%となっている。

年次別では、「満足」と回答した割合は 3 年次で 59.1%と最も多くなっている。

性別でみると、「満足」と回答した男子学生が 53.0%、女子学生が 59.7%となっている。

<図 64>

■問 64. 大学事務局の窓口の対応（過年度調査・学科別・年次別・性別）



【結果概要(問 65)】

問 65. 大学での学生生活の満足度としては、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足」は 76.5%であるのに対し、「不満足である」と「やや不満足である」を合わせた「不満足」は 5.0%となっており、「満足」が大きく上回っている。

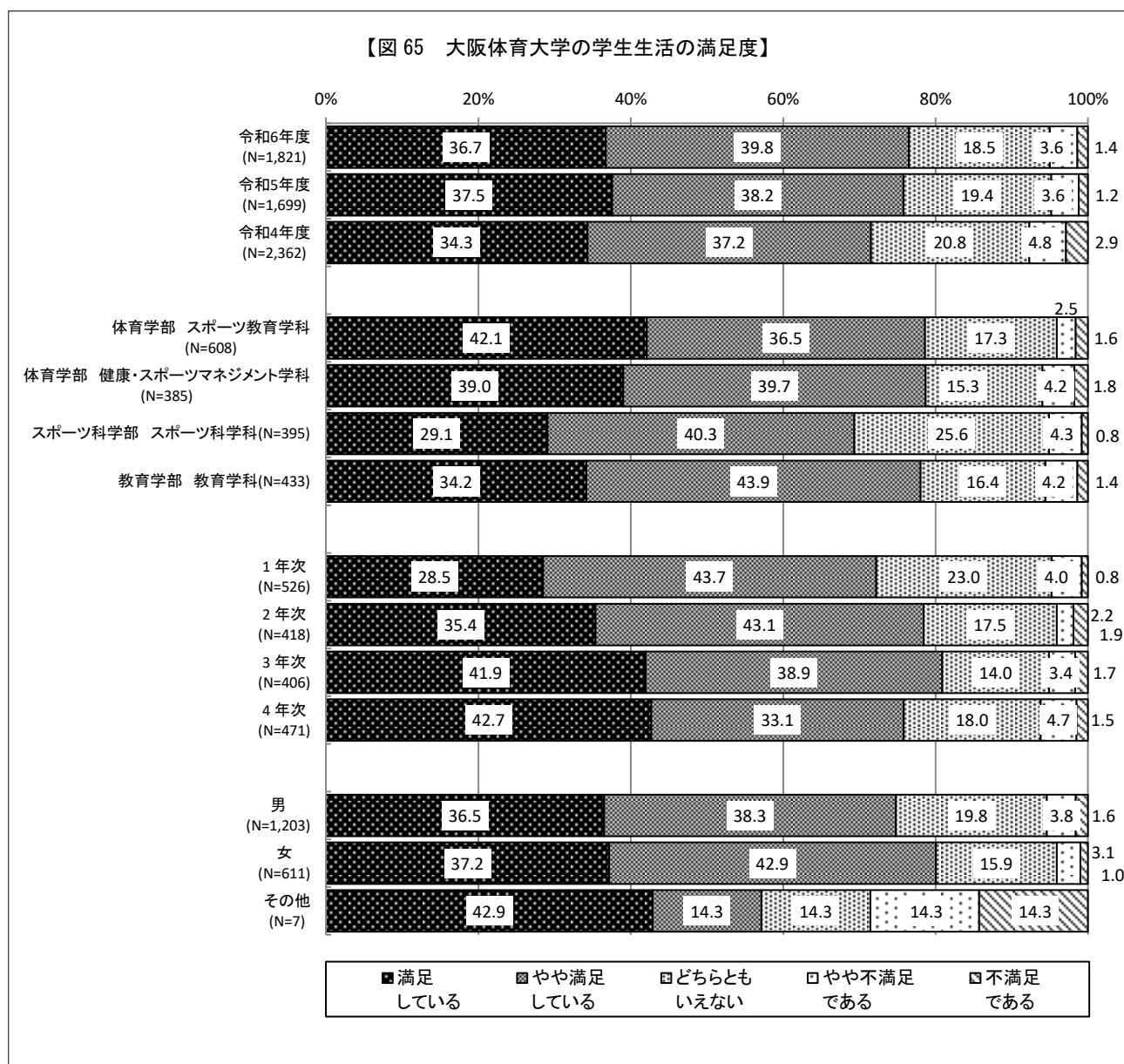
年度別でみると、前回調査と比べて「満足」は 0.8 ポイント増加しているが、「満足している」は 0.8 ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると、スポーツ科学部スポーツ科学科では「満足」が 69.4%と他の学部・学科と比べて少なくなっている。

年次別では、「満足」は 3 年次が 80.8%で最も多く、1 年次が 72.2%で最も少なくなっている。

性別でみると、「満足」は男子学生が 74.8%、女子学生が 80.1%となっている。＜図 65＞

■ 問 65. 大阪体育大学の学生生活の満足度（過年度調査・学科別・年次別・性別）



11. 大学への意見・要望

大学への意見・要望の記入数は143人、総数152件でした。

主な項目としては、「施設・設備」関係が54件、「学生生活」関係が41件、「授業・教育」関係40件、「その他」が17件となっており、「施設・設備」関係の意見・要望が最も多くなっていました。以下に主な内容を記載します。

□「施設・設備」関係 54件

「施設・設備」関係で最も意見・要望が多かったのは、「金銭面、設備面での改善」に関する意見が23件あり、「学費が高い、安くしてほしい」や「1人の時間を過ごせる空間を作してほしい」などの意見・要望がありました。次に多かったのが「運動施設・更衣室の改善」が13件で「ロッカー室の使用規定の作成、部屋が汚すぎる」や「学生たちが自由に気軽に使える施設を増やしてほしい」などの意見・要望が出ています。また、「食堂に関する改善要望」が12件で「食堂の充実」、「Yショップの品数（特におにぎりやお弁当系）を豊富にする、営業時間の延長」などが挙げられています。その他に「駐輪場・駐車場の改善」が4件、「大学の立地や周辺環境について」が2件の意見・要望がありました。

□「学生生活」関係 41件

「学生生活」関係で最も多かったのは、「学生マナー・防犯への取組」、「大学送迎バスの要望」「教職員の対応」がともに10件で多くなっている。「学生マナー・防犯への取組」としては「交通マナーが悪い」、「盗難が多い、対策検討」が挙げられている。「大学送迎バスの要望」としては「バスの運行本数を増やしてほしい」、「大体大専用（シャトルバス）の運行」が挙げられている。

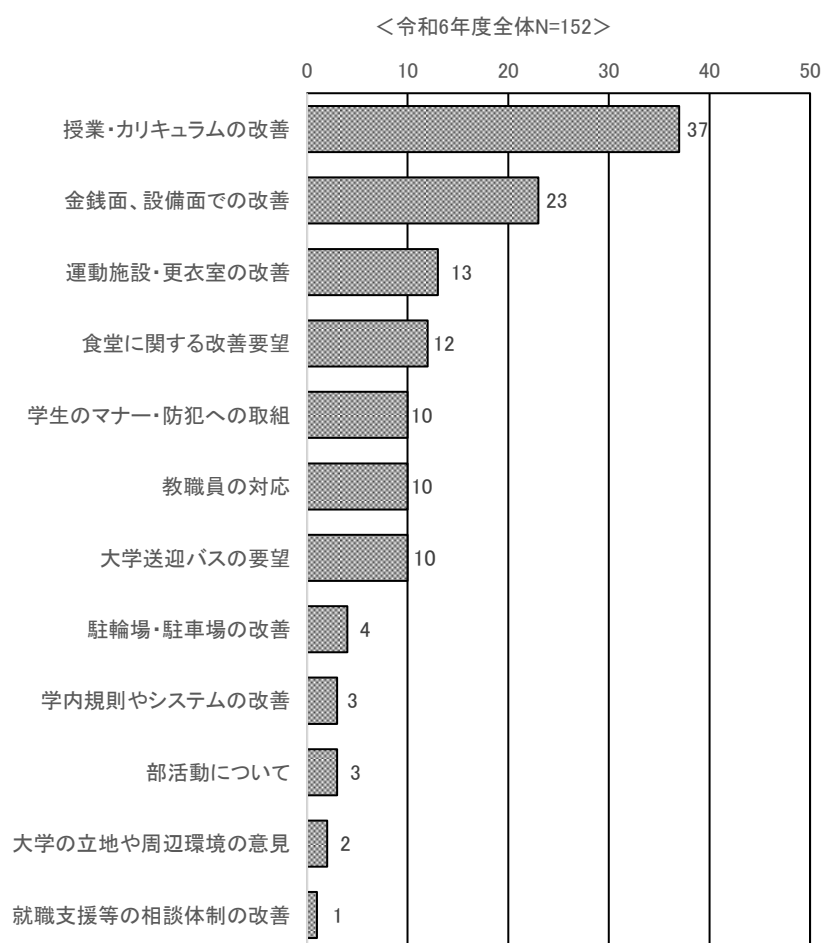
また「学内規則やシステムの改善」が9件、「部活動について」が3件の意見・要望がありました。

□「授業・教育」関係 40件

「授業・教育」関係では、「授業・カリキュラムの改善」の意見・要望が37件あり、「祝日の授業をやめてほしい」や「公欠制度を取り入れてほしい」などの意見・要望がありました。

「オンデマンド授業を増やしてほしい」や「対面授業を増やしてほしい」など相反する意見も多数あり、要望は一方向ではないことがわかります。

【大学への意見・要望の主要な13項目】



Ⅲ 令和 6 年度 全国学生調査 (第 4 回試行実施)

問1. 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか

【結果概要(4)】

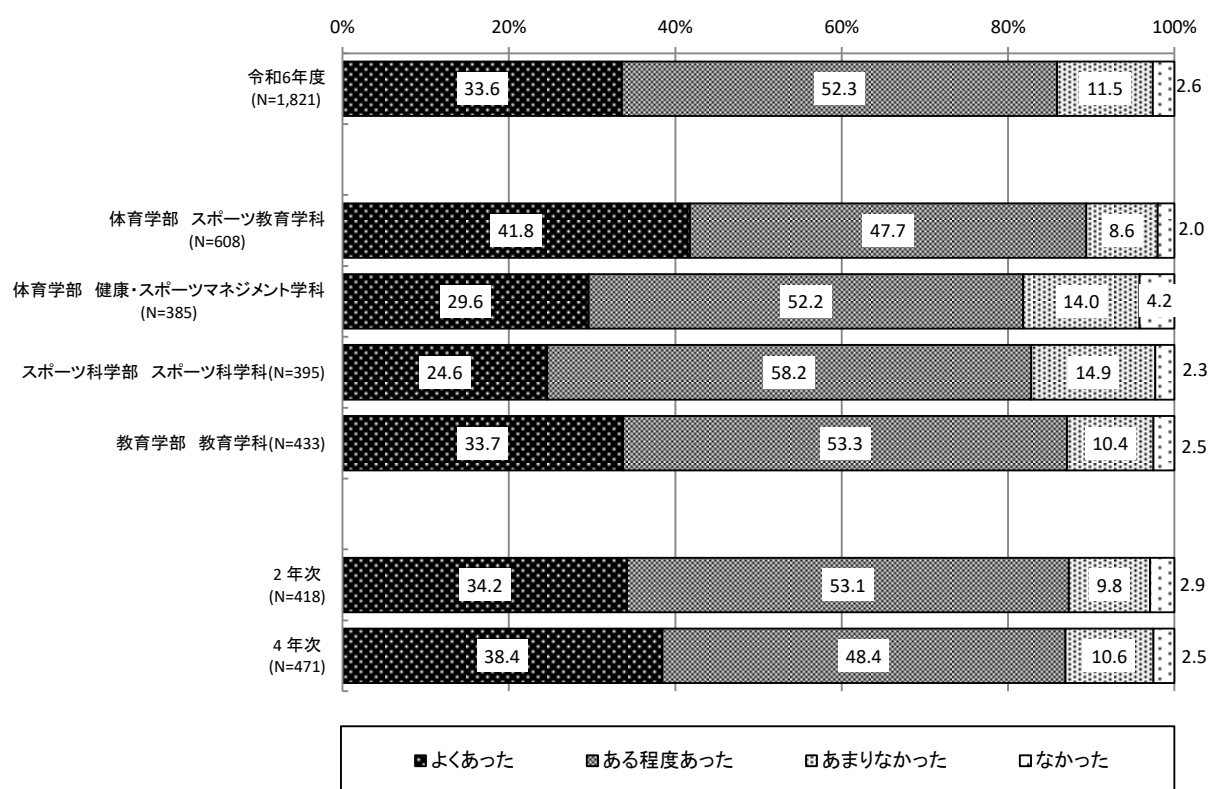
4. 理解がしやすいように教え方が工夫されていたかについては、「ある程度あった」が52.3%と最も多く、「よくあった」の33.6%を合わせると、85.9%の学生が教え方の工夫がされていたと回答している。

所属学部・学科別でみると、「よくあった」は体育学部スポーツ教育学科（41.8%）と教育学部教育学科（33.7%）は3割以上であるが、体育学部健康・スポーツマネジメント学科（29.6%）とスポーツ科学部スポーツ科学科（24.6%）は2割台と低くなっている。

年次別でみると、「よくあった」と「ある程度あった」を合わせた割合は、2年次が87.3%、4年次が86.8%となっている。＜図4＞

■4. 理解がしやすい教え方の工夫がされていたか（学科別）

【図4 理解がしやすい教え方の工夫がされていたか】



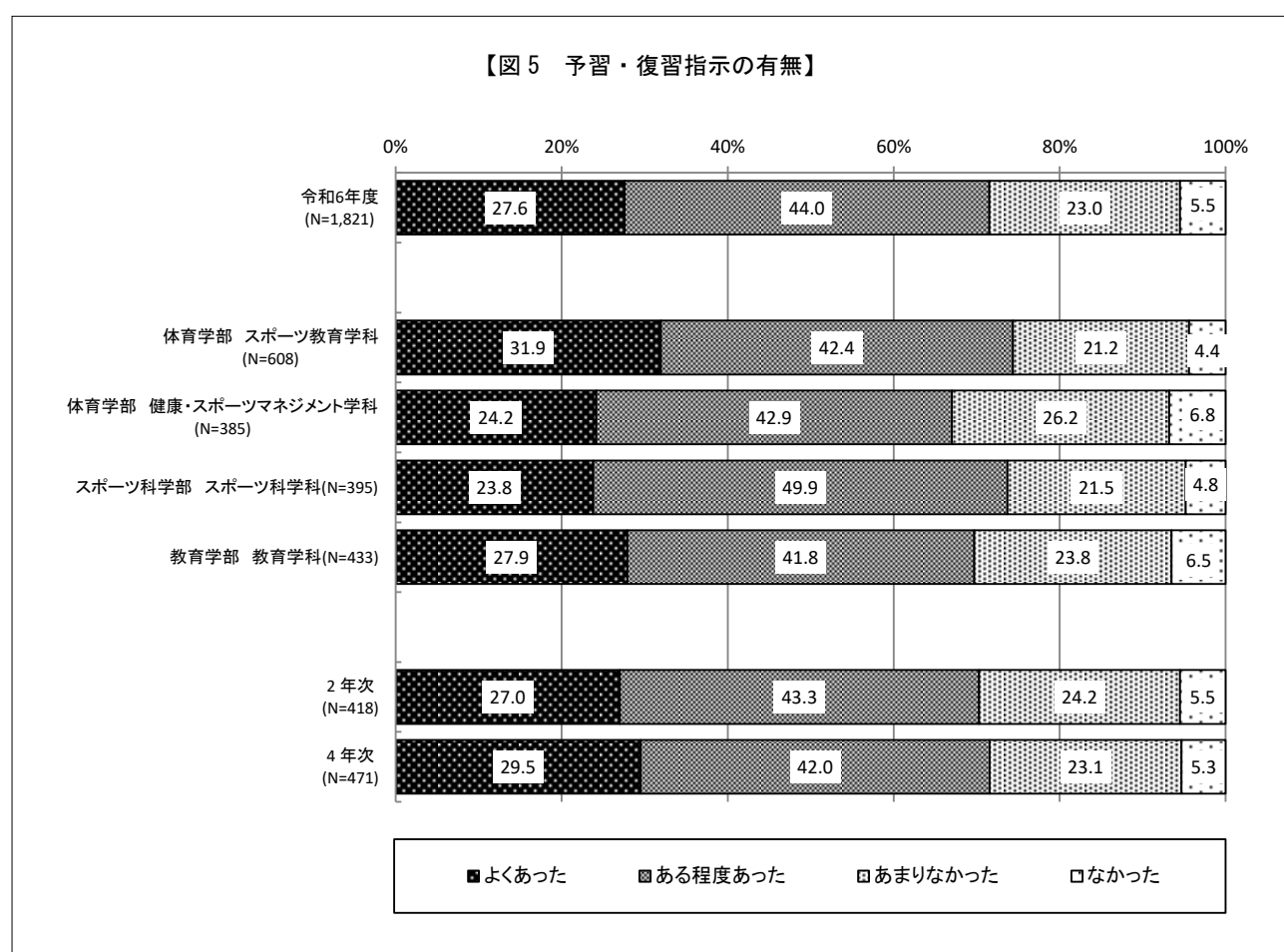
【結果概要(問 5)】

5. 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示されていたかについては、「ある程度あった」が 44.0%と最も多く、「よくあった」の 27.6%を合わせると、71.6%の学生が予習・復習の指示があったと回答している。

所属学部・学科別でみると、「よくあった」は体育学部スポーツ教育学科（31.9%）で3割以上と最も多く、その他の学部・学科では25%前後で推移している。

年次別でみると、「よくあった」と「ある程度あった」を合わせた割合は、2年次が70.3%、4年次が71.5%となっている。＜図5＞

■5. 予習・復習指示の有無（学科別）



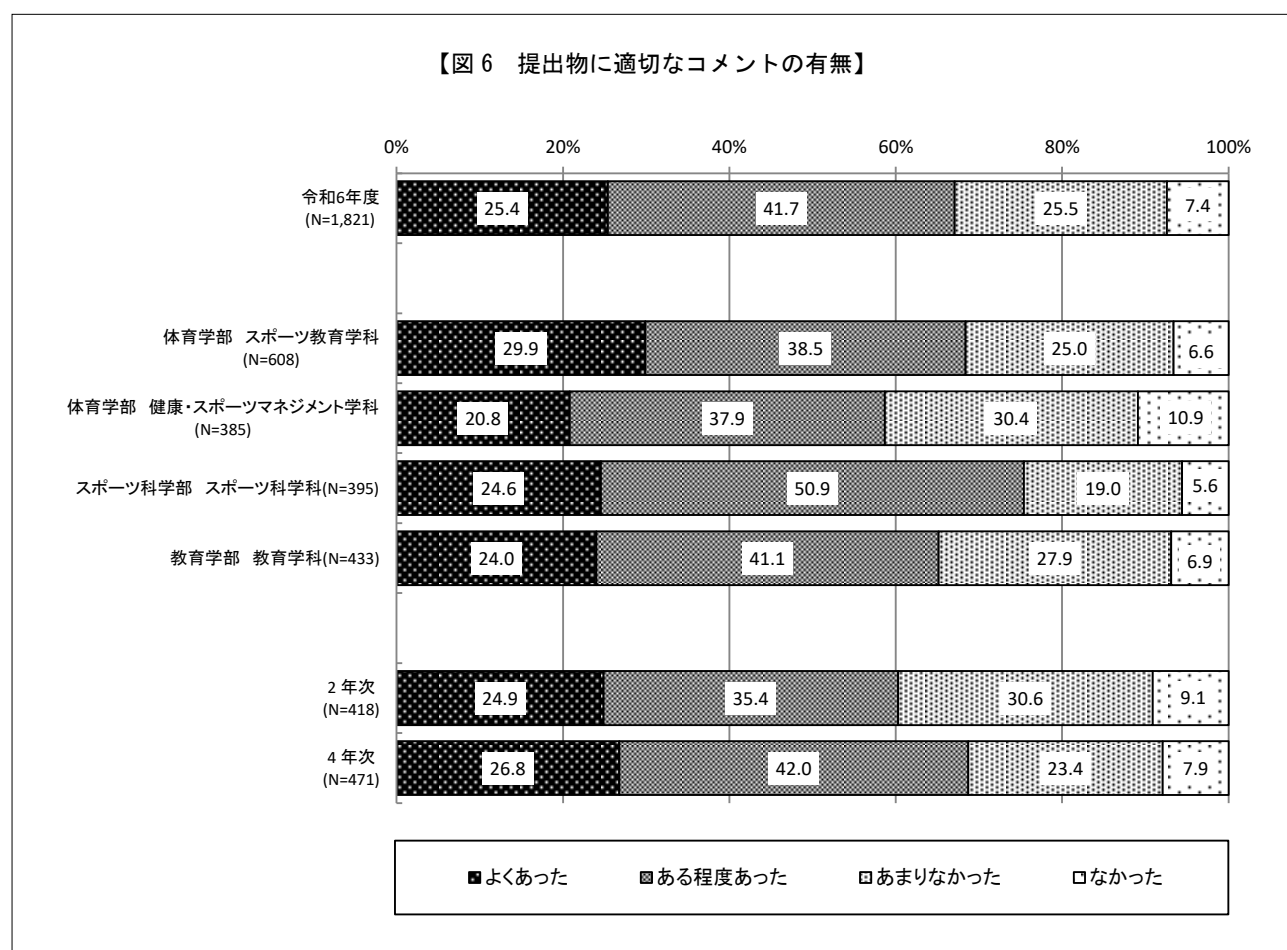
【結果概要(問 6)】

6. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却されていたかについては、「ある程度あった」が 41.7%と最も多く、「よくあった」の 25.4%を合わせると、67.1%の学生が適切なコメントの返却があったと回答している。

所属学部・学科別でみると、「よくあった」は体育学部スポーツ教育学科が 29.9%と最も多く、体育学部健康・スポーツマネジメント学科では 20.8%と最も少なくなっている。また、「ある程度あった」まで合わせると、スポーツ科学部スポーツ科学科は 75.5%と最も多く、唯一 7 割を超える学部・学科となっている。

年次別でみると、「よくあった」と「ある程度あった」を合わせた割合は、2 年次が 60.3%、4 年次が 68.8%となっている。＜図 6＞

■ 6. 提出物に適切なコメントの有無（学科別）



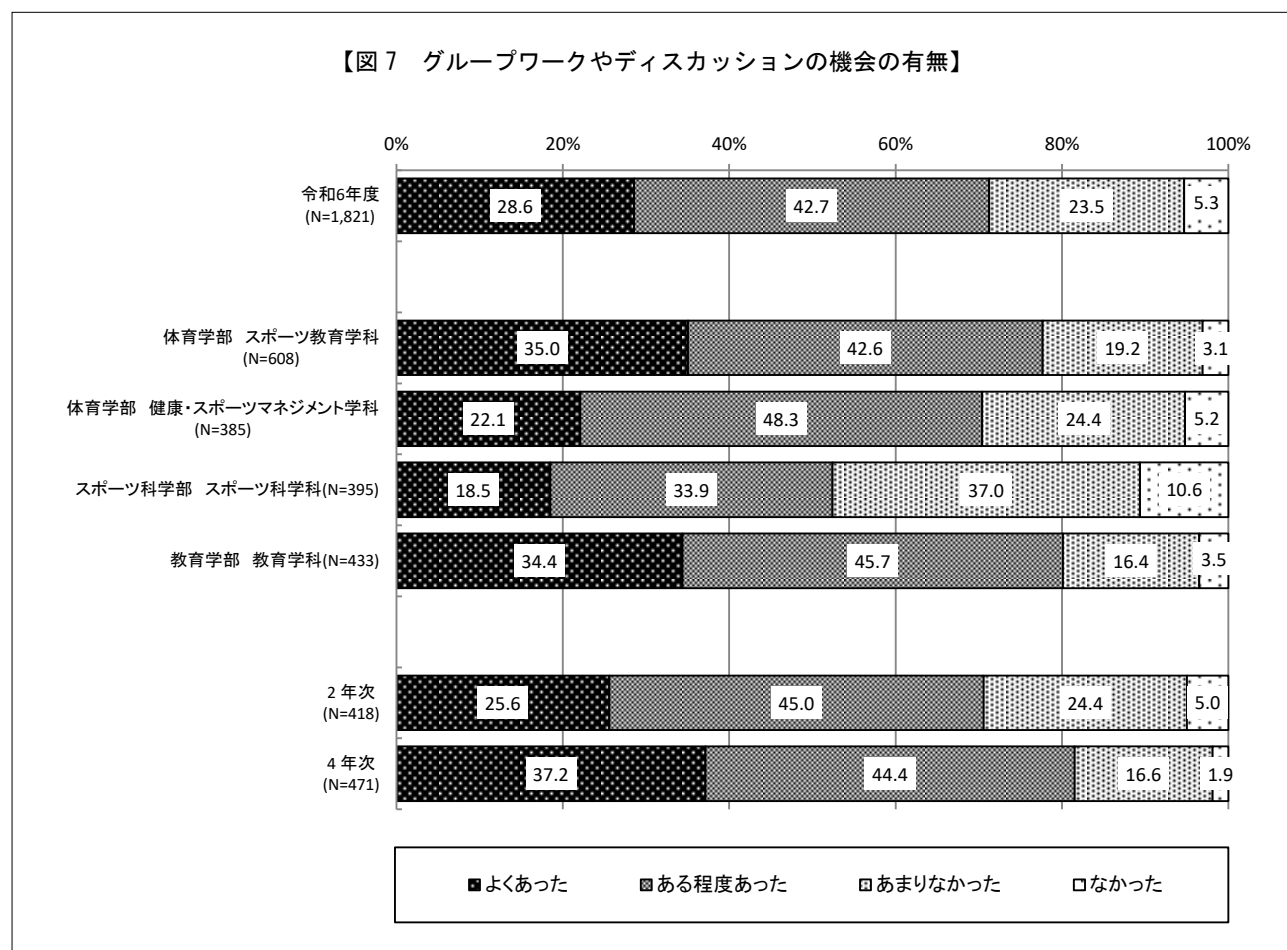
【結果概要(問 7)】

7. グループワークやディスカッションの機会があったかについては、「ある程度あった」が42.7%と最も多く、「よくあった」の28.6%を合わせると、71.3%の学生がグループワークやディスカッションができたと回答している。

所属学部・学科別でみると、「よくあった」と「ある程度あった」を合わせた割合は、教育学部教育学科が80.1%と最も多く、スポーツ科学部スポーツ科学科は52.4%と最も少なくなっている。また、スポーツ科学部スポーツ科学科は「あまりなかった」が37.0%で最も多いが、その他の学部・学科では「ある程度あった」が最も多くなっている。

年次別でみると、「よくあった」と「ある程度あった」を合わせた割合は、2年次が70.6%、4年次が81.6%となっている。＜図7＞

■7. グループワークやディスカッションの機会の有無（学科別）



【結果概要(問 8)】

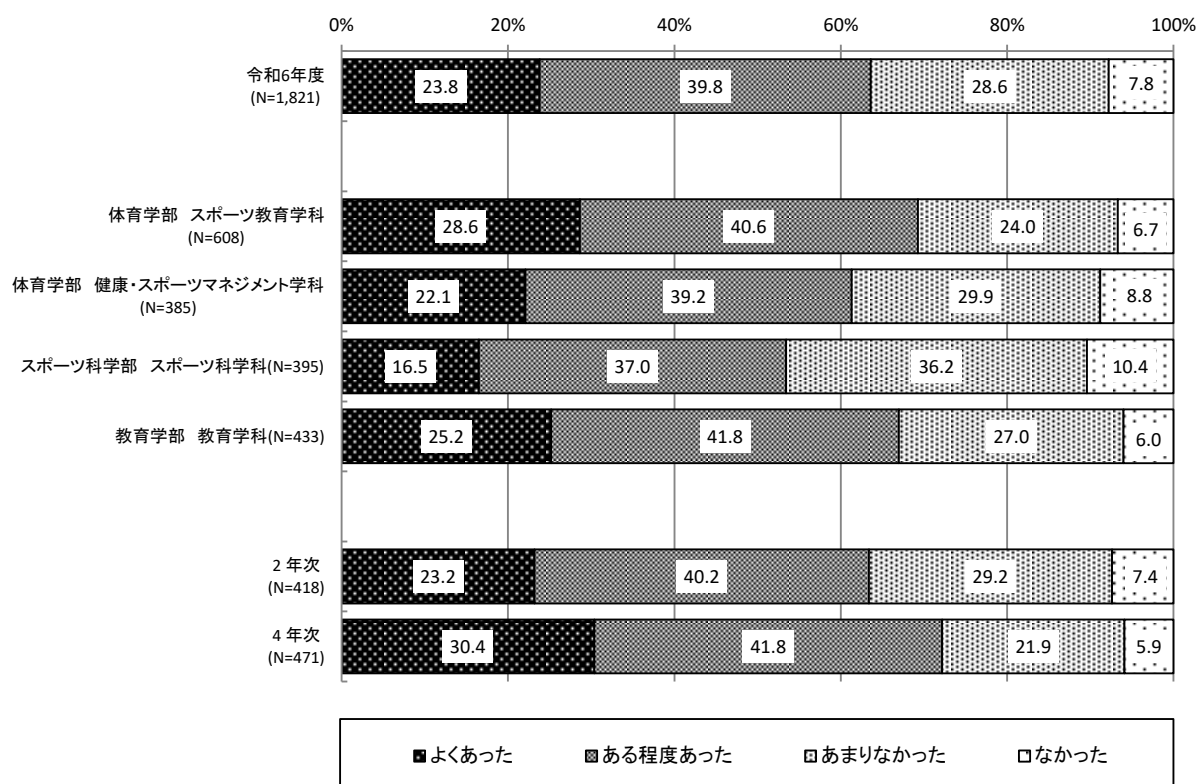
8. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会があったかについては、「ある程度あった」が39.8%と最も多く、「よくあった」の23.8%を合わせると、63.6%の学生が教員等との意見交換ができたと回答している。

所属学部・学科別でみると、「よくあった」と「ある程度あった」を合わせた割合は、体育学部スポーツ教育学科が69.2%と最も多く、スポーツ科学部スポーツ科学科では53.5%と最も少なくなっている。

年次別でみると、「よくあった」と「ある程度あった」を合わせた割合は、2年次が63.4%、4年次が72.2%となっている。＜図8＞

■8. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会の有無（学科別）

【図8 質疑応答など、教員等との意見交換の機会の有無】



【結果概要(問 9)】

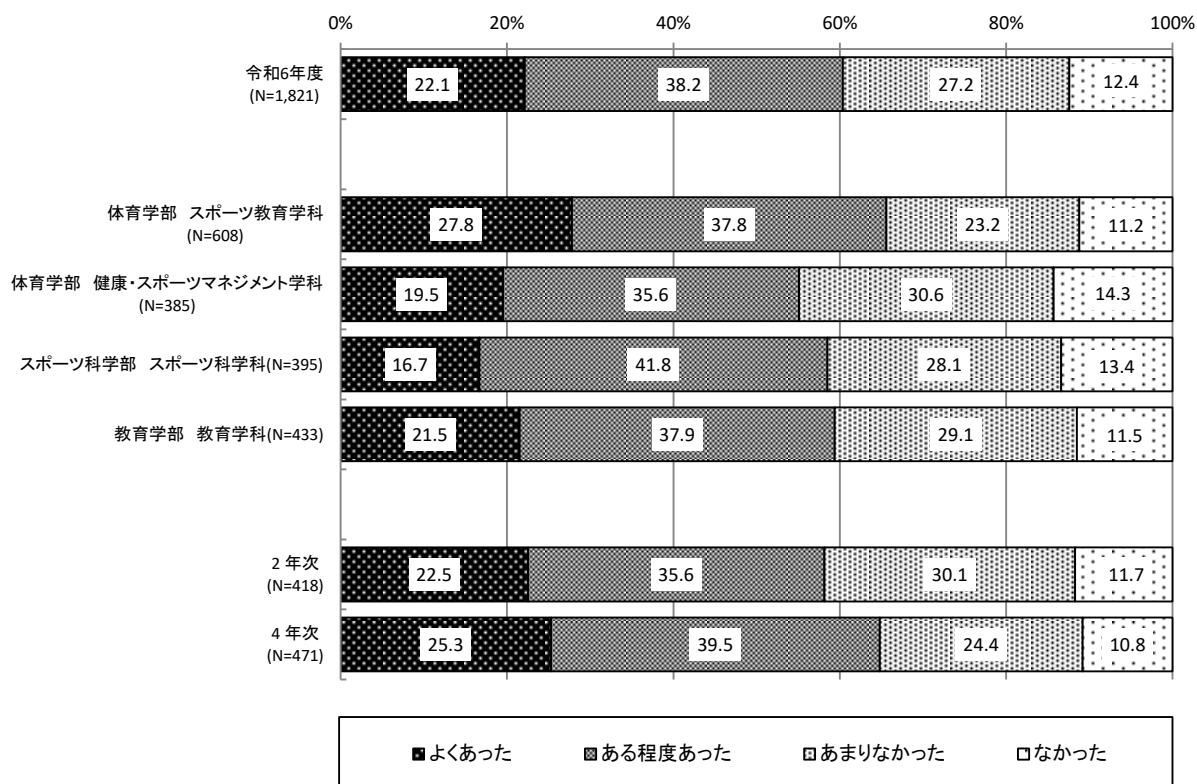
9. ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導があったかについては、「ある程度あった」が 38.2%と最も多く、「よくあった」の 22.1%を合わせると、60.3%の学生がティーチングアシスタントの指導があったと回答している。

所属学部・学科別でみると、「よくあった」と「ある程度あった」を合わせた割合は、体育学部スポーツ教育学科が唯一 6 割を超えて 65.6%と最も多く、体育学部健康・スポーツマネジメント学科では 55.1%と最も少なくなっている。

年次別でみると、「よくあった」と「ある程度あった」を合わせた割合は、2 年次が 58.1%、4 年次が 64.8%となっている。＜図 9＞

■9. ティーチングアシスタントなどによる補助的指導の有無（学科別）

【図 9 ティーチングアシスタントなどによる補助的指導の有無】



問 2. 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は⑤を選択してください。

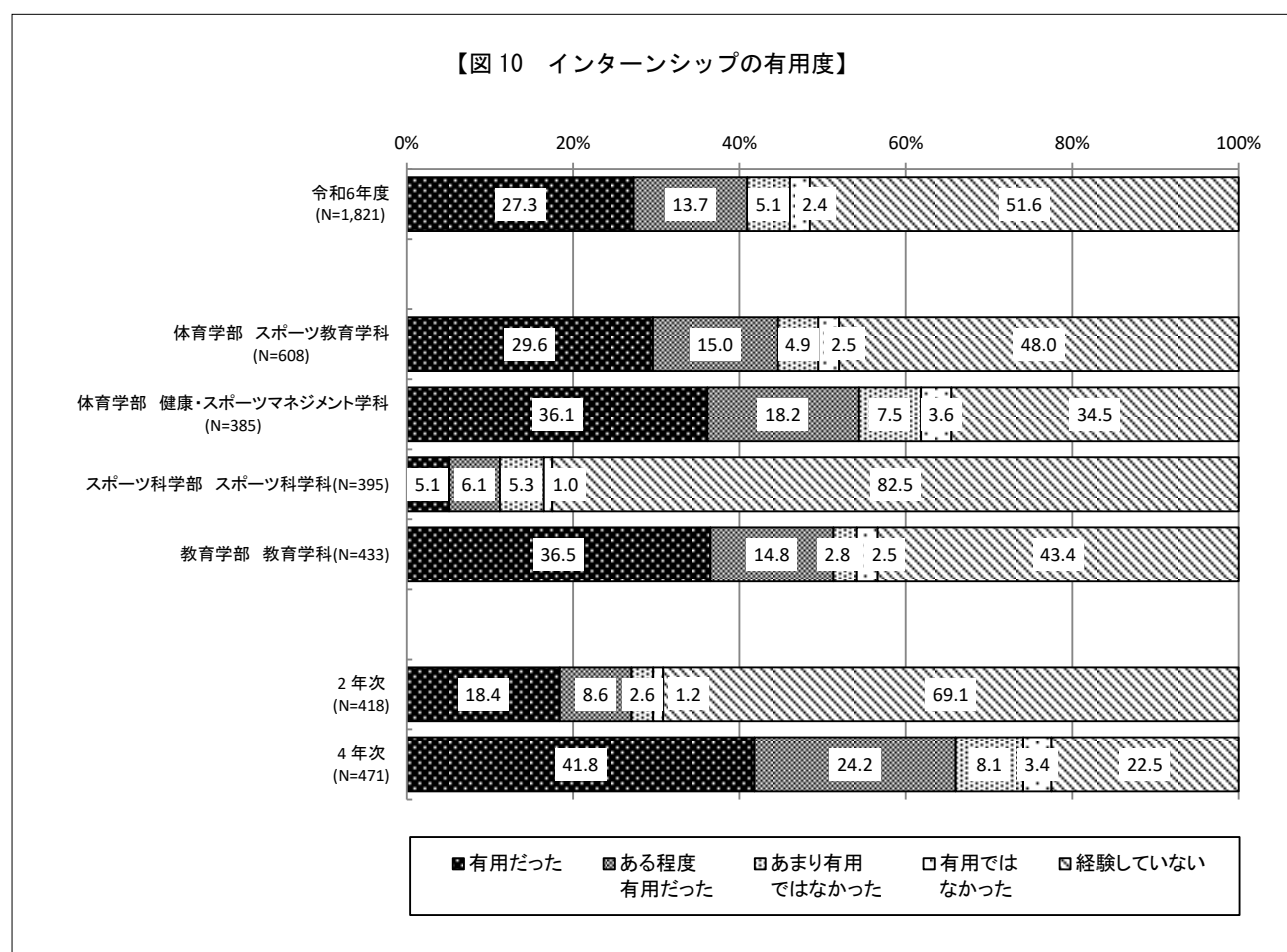
【結果概要(問 10)】

10. インターンシップ（5 日間以上）については、「経験していない」を除くと「有用だった」が 27.3%と最も多く、「ある程度有用だった」の 13.7%を合わせると、41.0%の学生がインターンシップは役立ったと回答している。

所属学部・学科別でみると、「有用だった」と「ある程度有用だった」を合わせた割合は、体育学部健康・スポーツマネジメント学科（54.3%）と教育学部教育学科（51.3%）は 5 割以上を占めているが、体育学部スポーツ教育学科（44.6%）は 4 割台と少なくなっている。

年次別でみると、「有用だった」と「ある程度有用だった」を合わせた割合は、2 年次が 27.0%、4 年次が 66.0%となっている。＜図 10＞

■10. インターンシップの有用度（学科別）



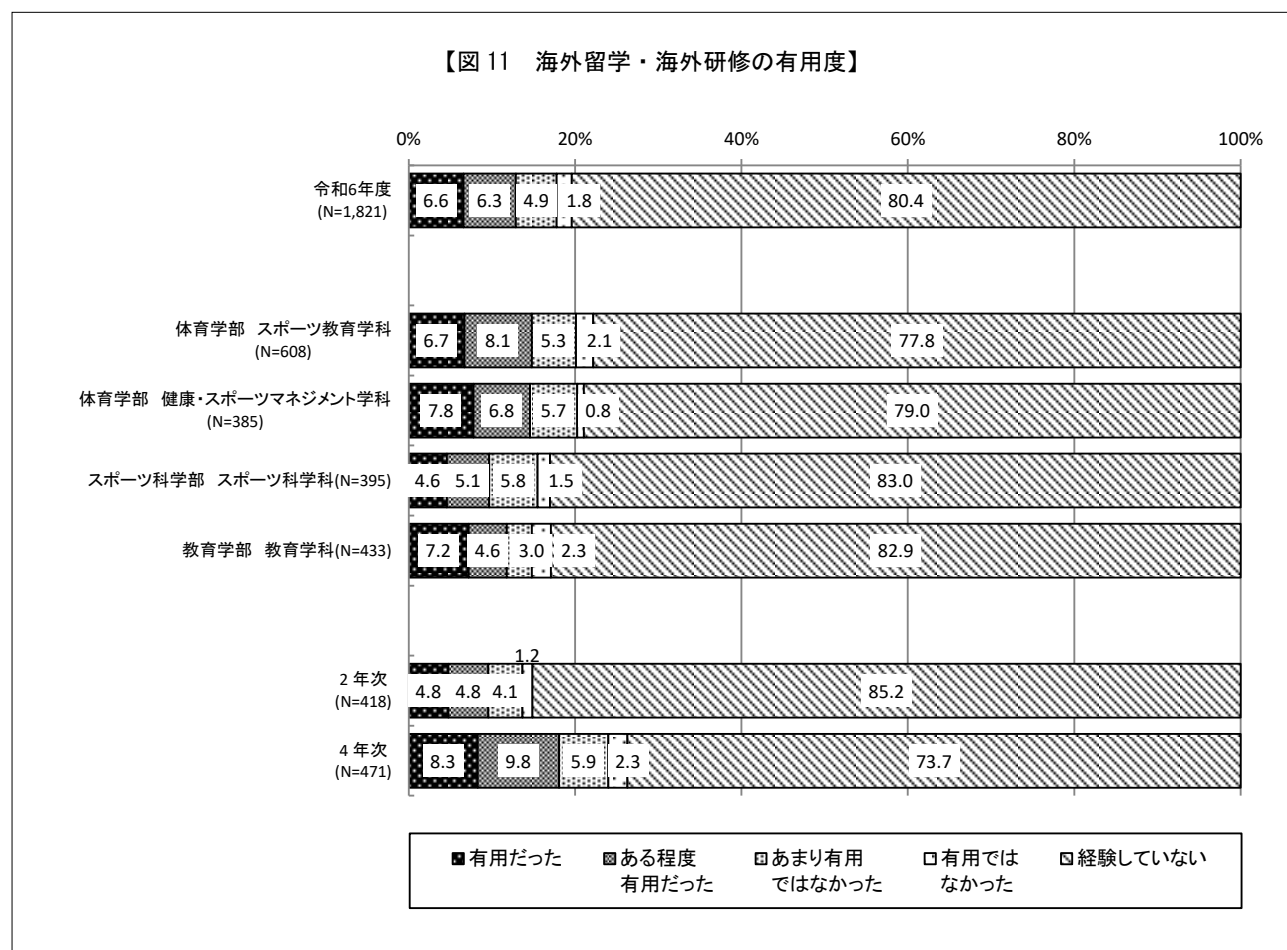
【結果概要(問 11)】

11. 海外留学・海外研修（短期も含む）については、「経験していない」を除くと「有用だった」が 6.6%と最も多く、「ある程度有用だった」の 6.3%を合わせると、12.9%の学生が海外留学・海外研修は役立ったと回答している。

所属学部・学科別でみると、「有用だった」と「ある程度有用だった」を合わせた割合は、体育学部スポーツ教育学科（14.8%）と体育学部健康・スポーツマネジメント学科（14.6%）、教育学部教育学科（11.8%）は1割を超えているが、スポーツ科学部スポーツ科学科は9.7%と最も少なくなっている。

年次別でみると、「有用だった」と「ある程度有用だった」を合わせた割合は、2年次が9.6%、4年次が18.1%となっている。＜図 11＞

■11. 海外留学・海外研修の有用度（学科別）



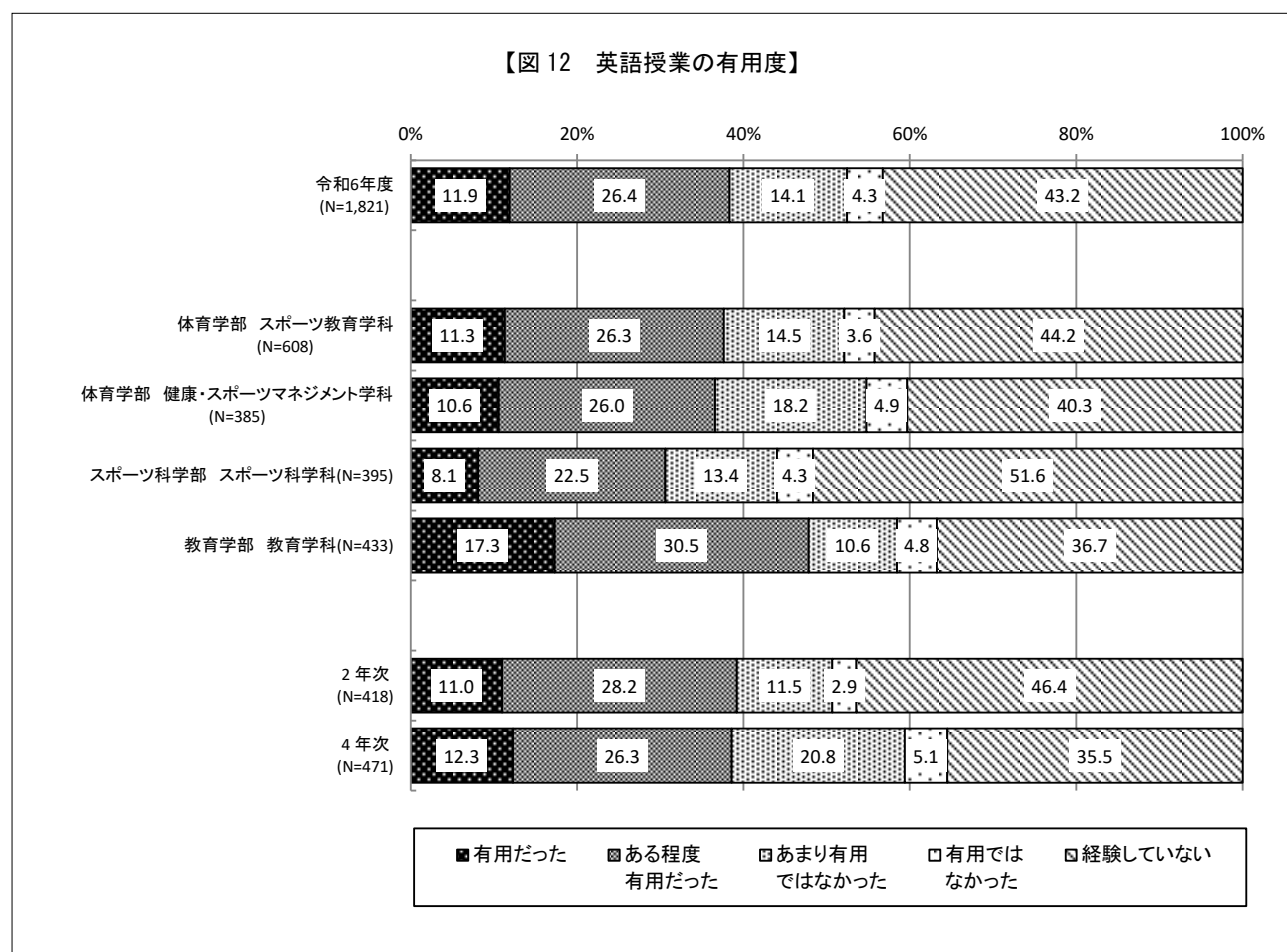
【結果概要(問 12)】

12. 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）については、「経験していない」を除くと「ある程度有用だった」が 26.4%と最も多く、「有用だった」の 11.9%を合わせると、38.3%の学生が英語で行われる授業は役立ったと回答している。

所属学部・学科別でみると、「有用だった」、「ある程度有用だった」ともに教育学部教育学科が他の学部・学科と比べると多くなっており、「有用だった」と「ある程度有用だった」を合わせた割合も 47.8%と最も多くなっている。

年次別でみると、「有用だった」と「ある程度有用だった」を合わせた割合は、2 年次が 39.2%、4 年次が 38.6%となっている。＜図 12＞

■12. 英語授業の有用度（学科別）



問 3. 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

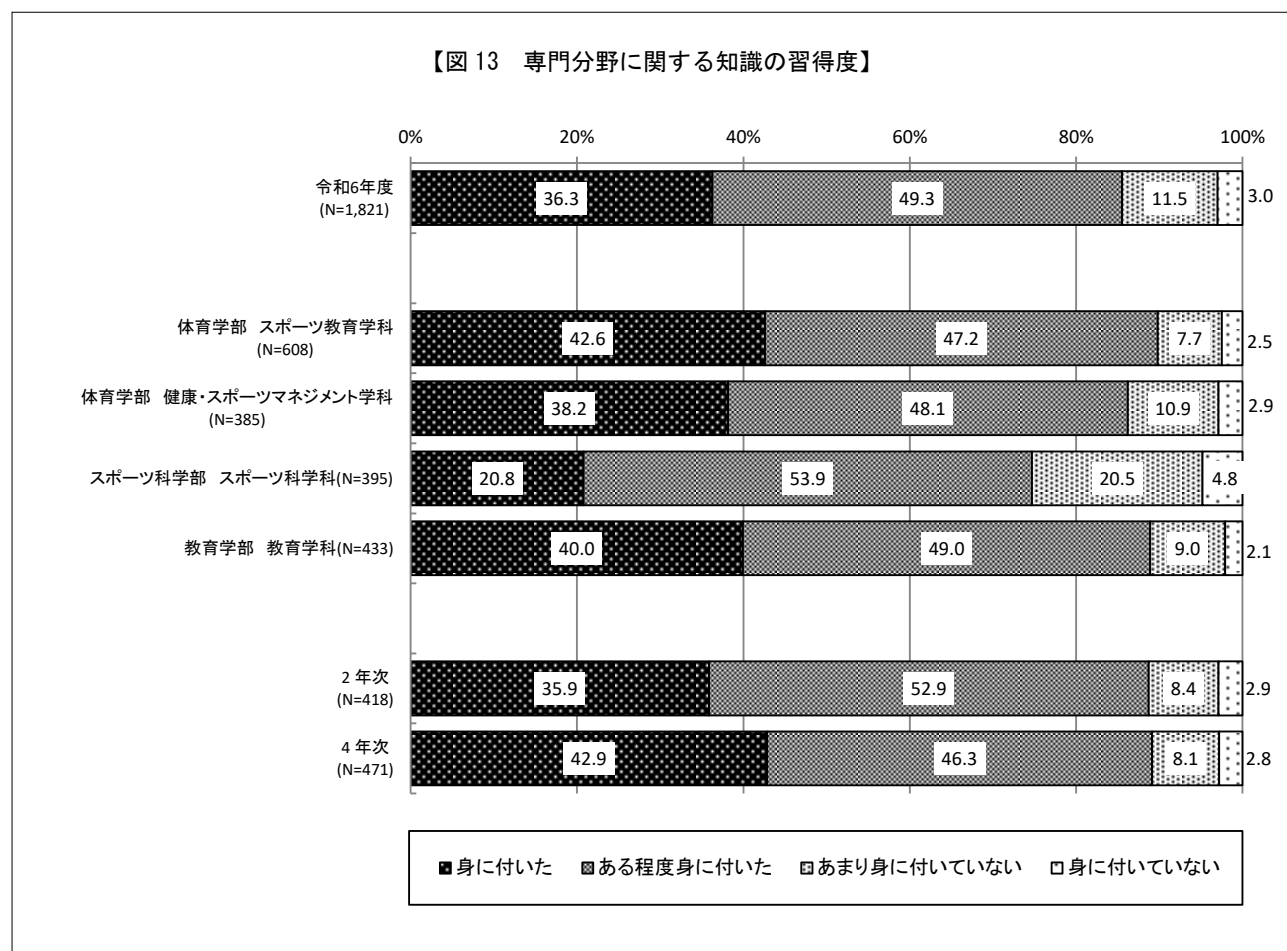
【結果概要(問 13)】

13. 専門分野に関する知識・理解については、「ある程度身に付いた」が 49.3%と最も多く、「身に付いた」の 36.3%を合わせると、85.6%の学生が専門分野の知識を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、スポーツ科学部スポーツ科学科以外のすべての学部・学科で8割以上を占めている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2 年次が 88.8%、4 年次が 89.2%となっている。＜図 13＞

■ 13. 専門分野に関する知識の習得度（学科別）



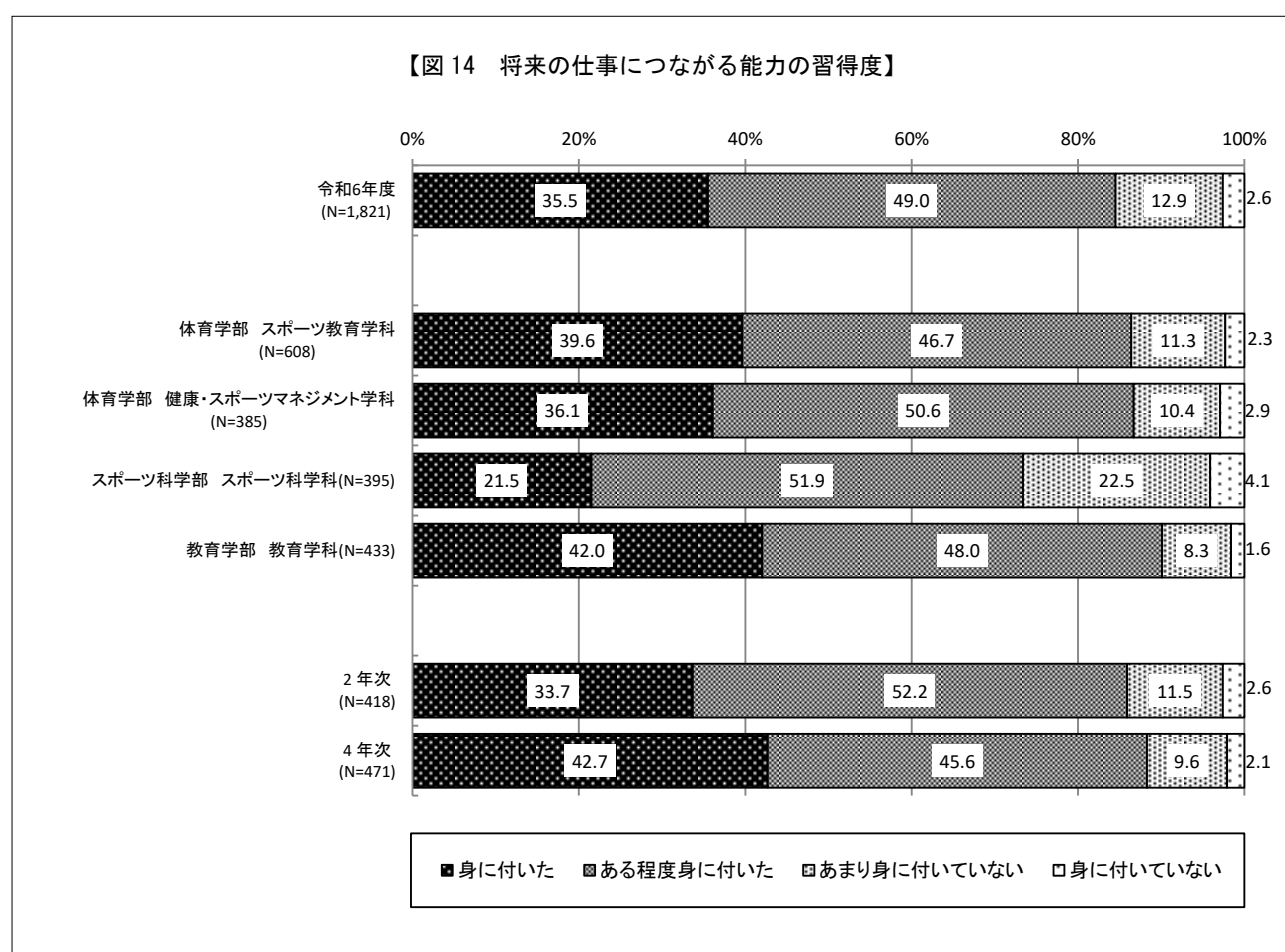
【結果概要(問 14)】

14. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観については、「ある程度身に付いた」が 49.0%と最も多く、「身に付いた」の 35.5%を合わせると、84.5%の学生が将来の仕事につながる能力を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、教育学部教育学科が 90.0%で最も多く、体育学部の 2 学科が 86%台で続いている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2 年次が 85.9%、4 年次が 88.3%となっている。＜図 14＞

■ 14. 将来の仕事につながる能力の習得度（学科別）



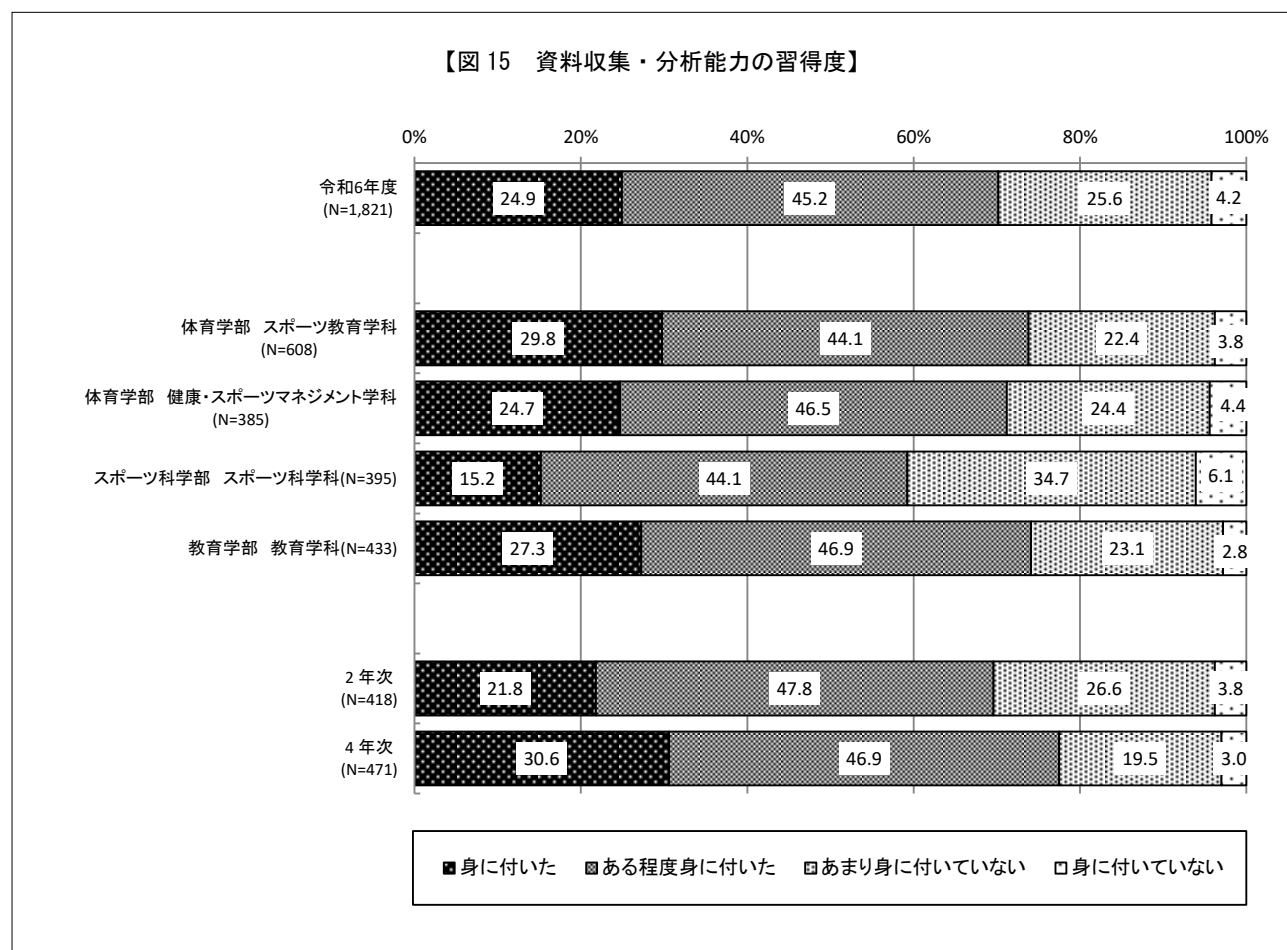
【結果概要(問 15)】

15. 文献・資料を収集・分析する力については、「ある程度身に付いた」が45.2%と最も多く、「身に付いた」の24.9%を合わせると、70.1%の学生が資料収集や分析する能力を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、教育学部教育学科が74.2%で最も多く、次に体育学部スポーツ教育学科(73.9%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科(71.2%)、スポーツ科学部スポーツ科学科(59.3%)となっている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2年次が69.6%、4年次が77.5%となっている。＜図15＞

■ 15. 資料収集・分析能力の習得度（学科別）



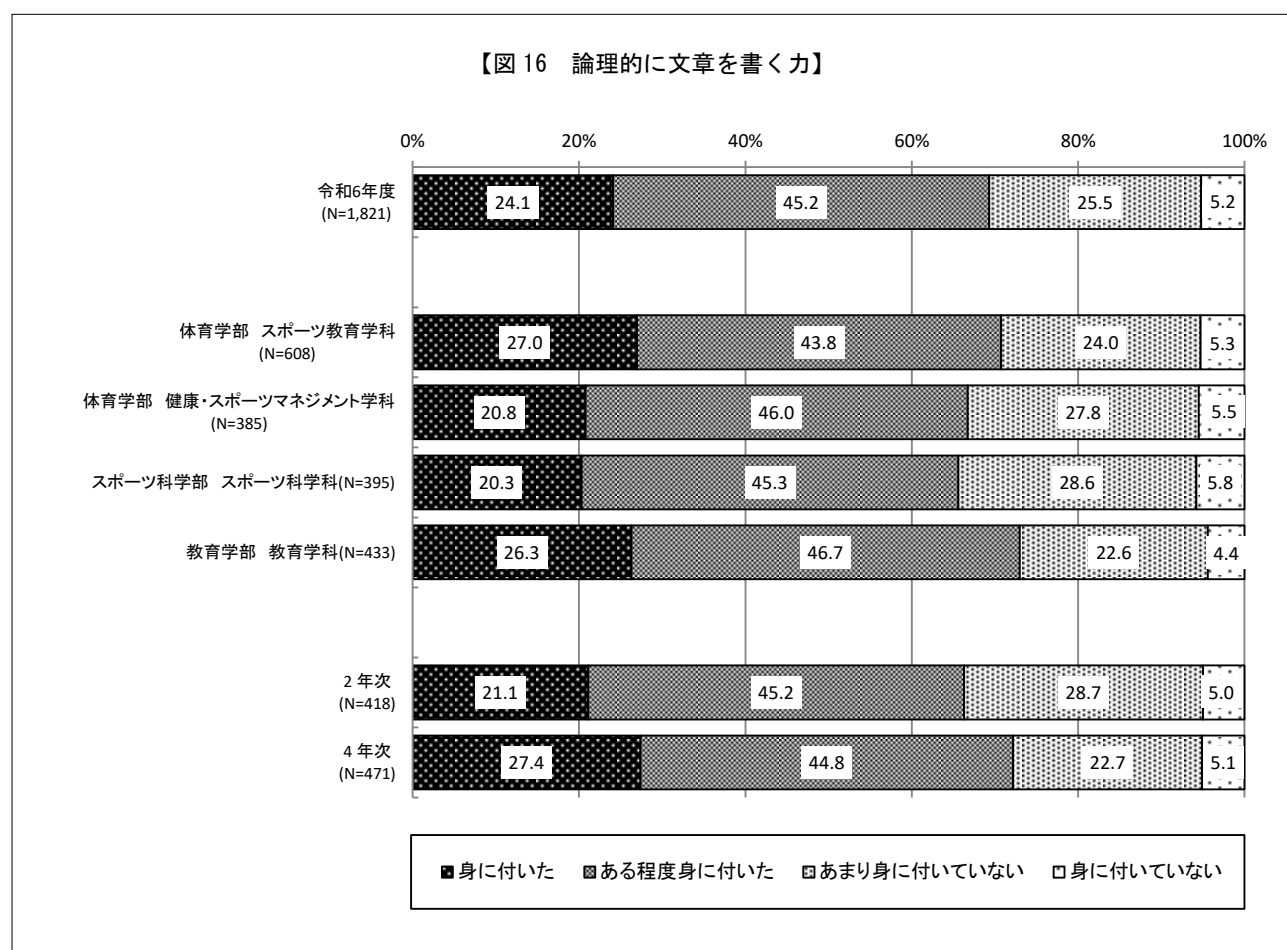
【結果概要(問 16)】

16. 論理的に文章を書く力については、「ある程度身に付いた」が 45.2%と最も多く、「身に付いた」の 24.1%を合わせると、69.3%の学生が論理的に文章を書く能力を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、教育学部教育学科が 73.0%で最も多く、次に体育学部スポーツ教育学科 (70.8%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科 (66.8%)、スポーツ科学部スポーツ科学科 (59.3%) となっている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2 年次が 66.3%、4 年次が 72.2%となっている。＜図 16＞

■ 16. 論理的に文章を書く力（学科別）



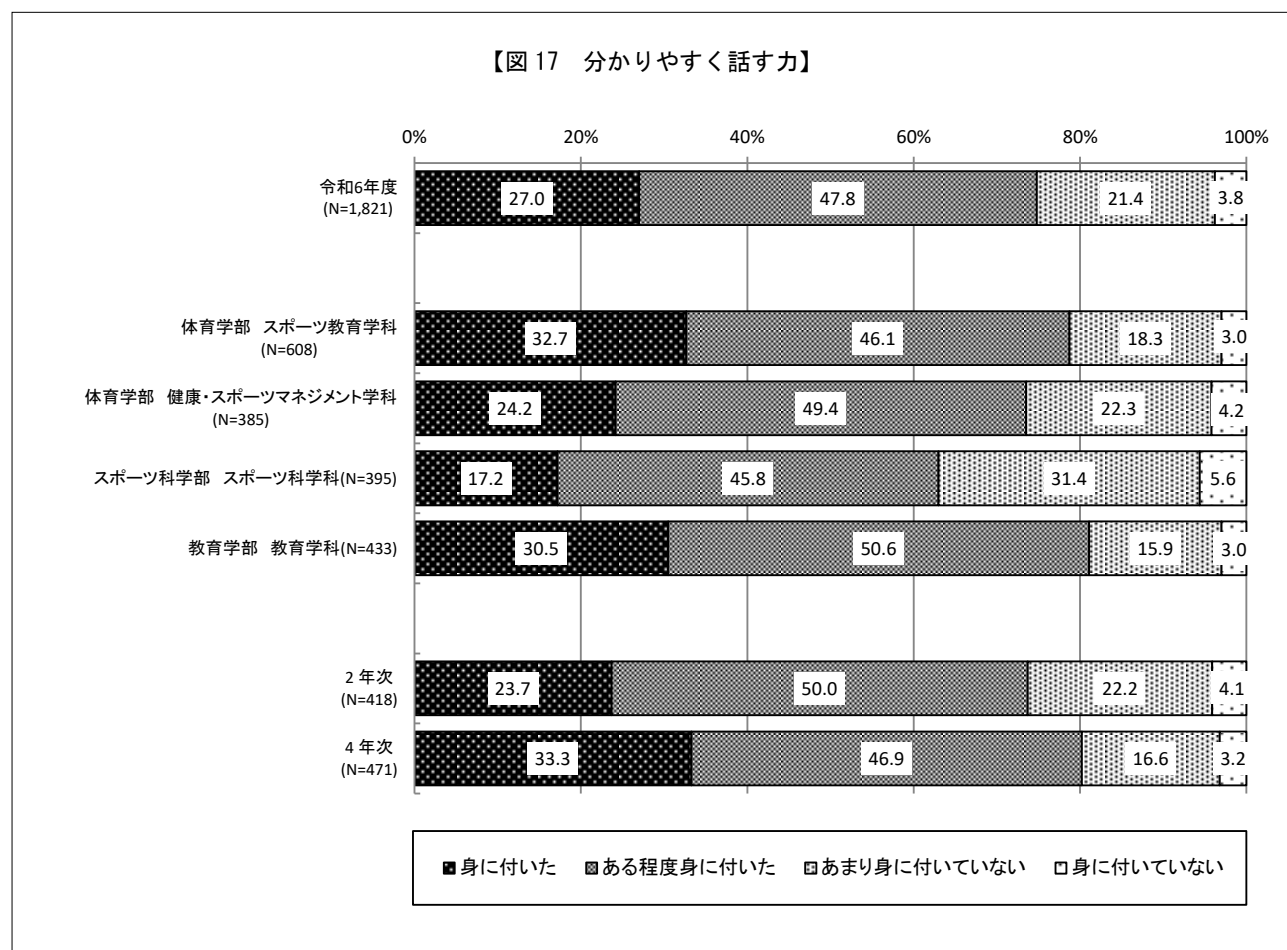
【結果概要(問 17)】

17. 人に分かりやすく話す力については、「ある程度身に付いた」が 47.8%と最も多く、「身に付いた」の 27.0%を合わせると、74.8%の学生が分かりやすく話す能力を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、教育学部教育学科が 81.1%で最も多く、次に体育学部スポーツ教育学科 (78.8%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科 (73.6%)、スポーツ科学部スポーツ科学科 (63.0%) となっている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2 年次が 73.7%、4 年次が 80.2%となっている。＜図 17＞

■17. 分かりやすく話す力（学科別）



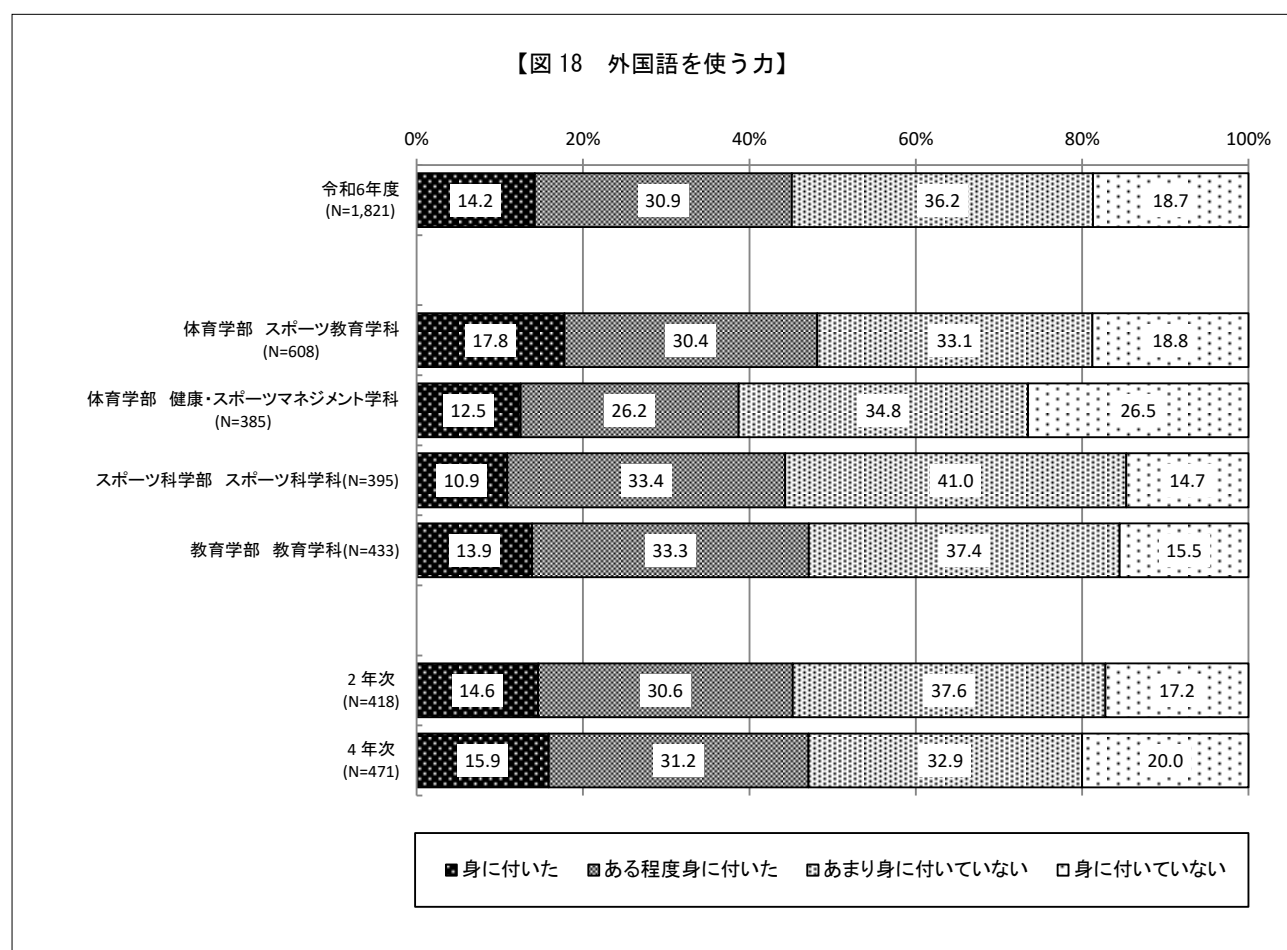
【結果概要(問 18)】

18. 外国語を使う力については、「あまり身に付いていない」が 36.2%と最も多く、「身に付いていない」の 18.7%を合わせると、54.9%の学生が外国語を使う能力を得ていないと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いていない」と「あまり身に付いていない」を合わせた割合は、体育学部健康・スポーツマネジメント学科が 61.3%で最も多く、次にスポーツ科学部スポーツ科学科（55.7%）、体教育学部教育学科（52.9%）、体育学部スポーツ教育学科（51.9%）となっている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2 年次が 45.2%、4 年次が 47.1%となっている。＜図 18＞

■18. 外国語を使う力（学科別）



【結果概要(問 19)】

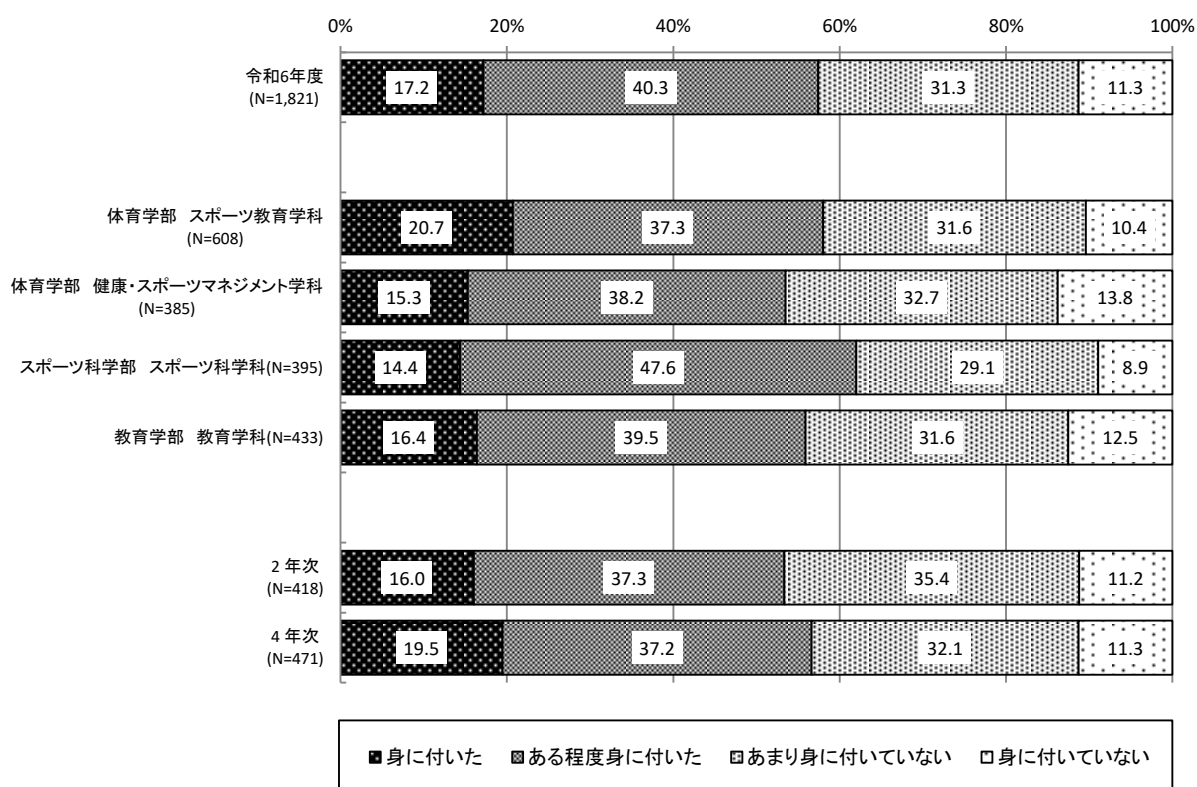
19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能については、「ある程度身に付いた」が 40.3%と最も多く、「身に付いた」の 17.2%を合わせると、57.5%の学生が数理・統計・データサイエンスに関する能力を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、スポーツ科学部スポーツ科学科が 62.0%で最も多く、次に体育学部スポーツ教育学科（58.0%）、教育学部教育学科（55.9%）、体育学部健康・スポーツマネジメント学科（53.5%）となっている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2 年次が 53.3%、4 年次が 56.7%となっている。＜図 19＞

■ 19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能（学科別）

【図 19 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能】



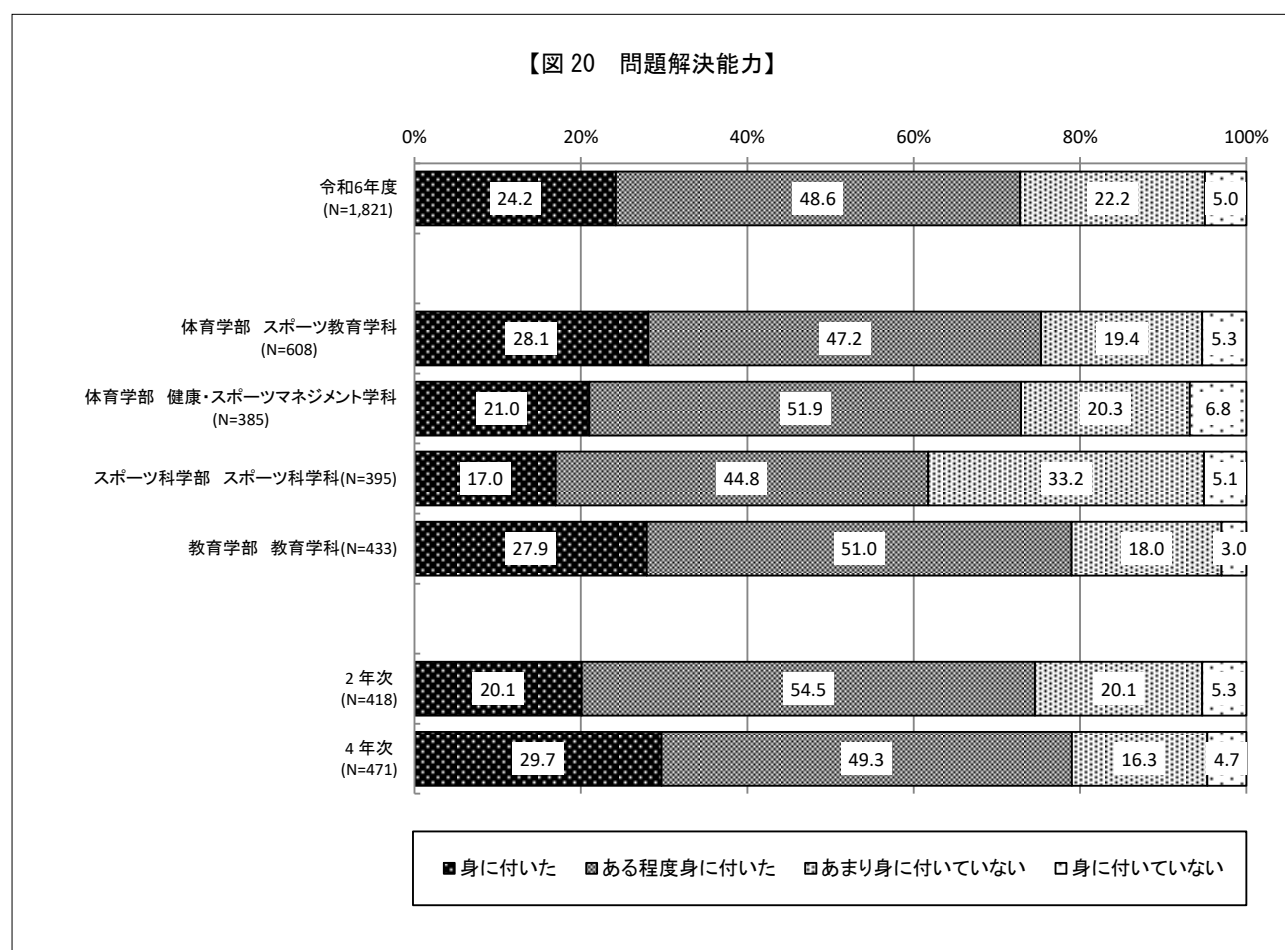
【結果概要(問 20)】

20. 問題を見つけて解決方法を考える力については、「ある程度身に付いた」が48.6%と最も多く、「身に付いた」の24.2%を合わせると、72.8%の学生が問題解決能力を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、教育学部教育学科が78.9%で最も多く、次に体育学部スポーツ教育学科(75.3%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科(72.9%)、スポーツ科学部スポーツ科学科(61.8%)となっている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2年次が74.6%、4年次が79.0%となっている。＜図20＞

■20. 問題解決能力(学科別)



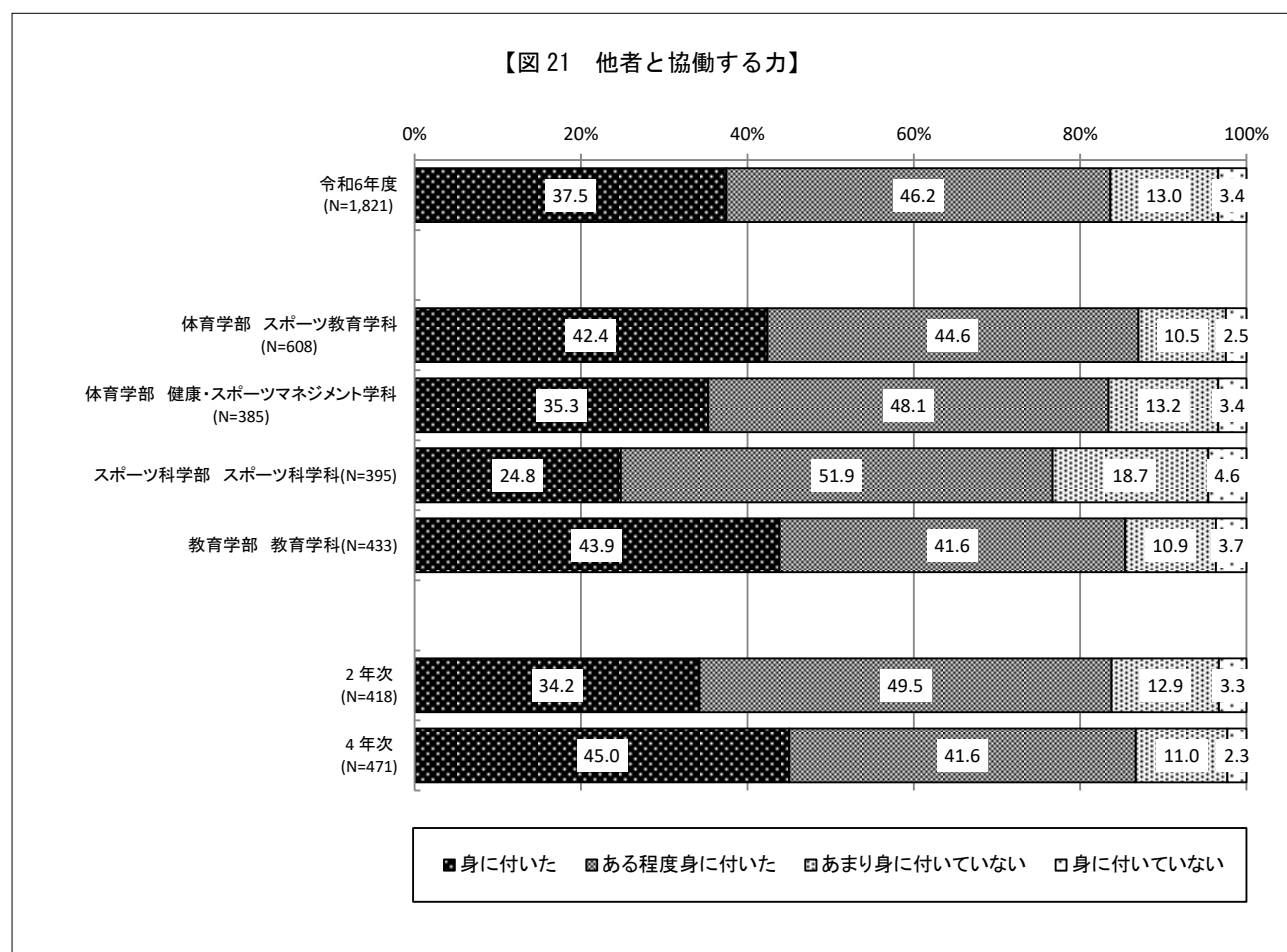
【結果概要(問 21)】

21. 他者と協働する力については、「ある程度身に付いた」が 46.2%と最も多く、「身に付いた」の 37.5%を合わせると、83.7%の学生が協働する力を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、体育学部スポーツ教育学科が 87.0%で最も多く、次に教育学部教育学科 (85.5%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科 (83.4%)、スポーツ科学部スポーツ科学科 (76.7%) となっている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2 年次が 83.7%、4 年次が 86.6%となっている。＜図 21＞

■21. 他者と協働する力（学科別）



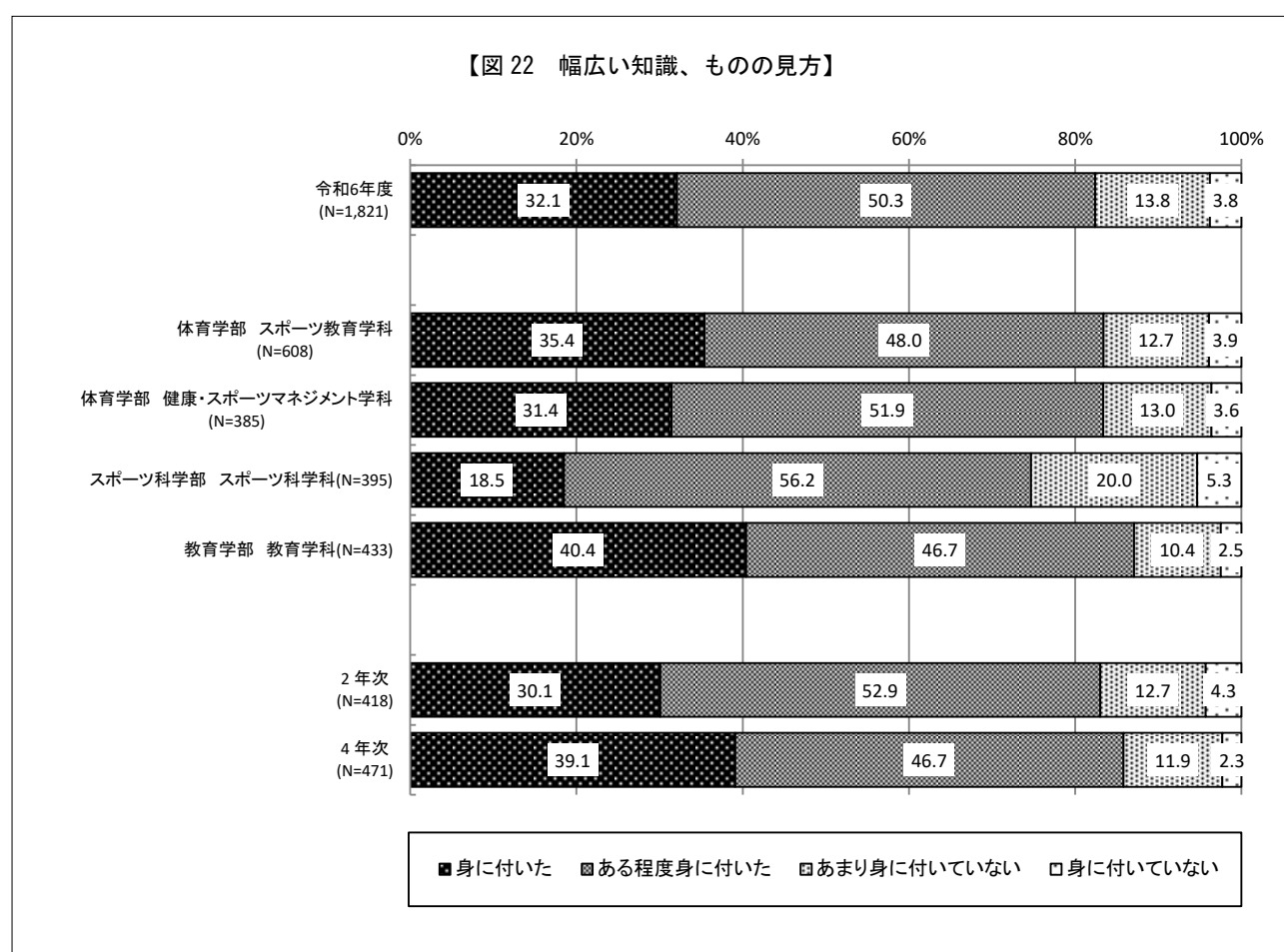
【結果概要(問 22)】

22. 幅広い知識、ものの見方については、「ある程度身に付いた」が 50.3%と最も多く、「身に付いた」の 32.1%を合わせると、82.4%の学生が能力を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、教育学部教育学科が 87.1%で最も多く、次に体育学部スポーツ教育学科 (83.4%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科 (83.3%)、スポーツ科学部スポーツ科学科 (74.7%) となっている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2 年次が 83.0%、4 年次が 85.8%となっている。＜図 22＞

■22. 幅広い知識、ものの見方（学科別）



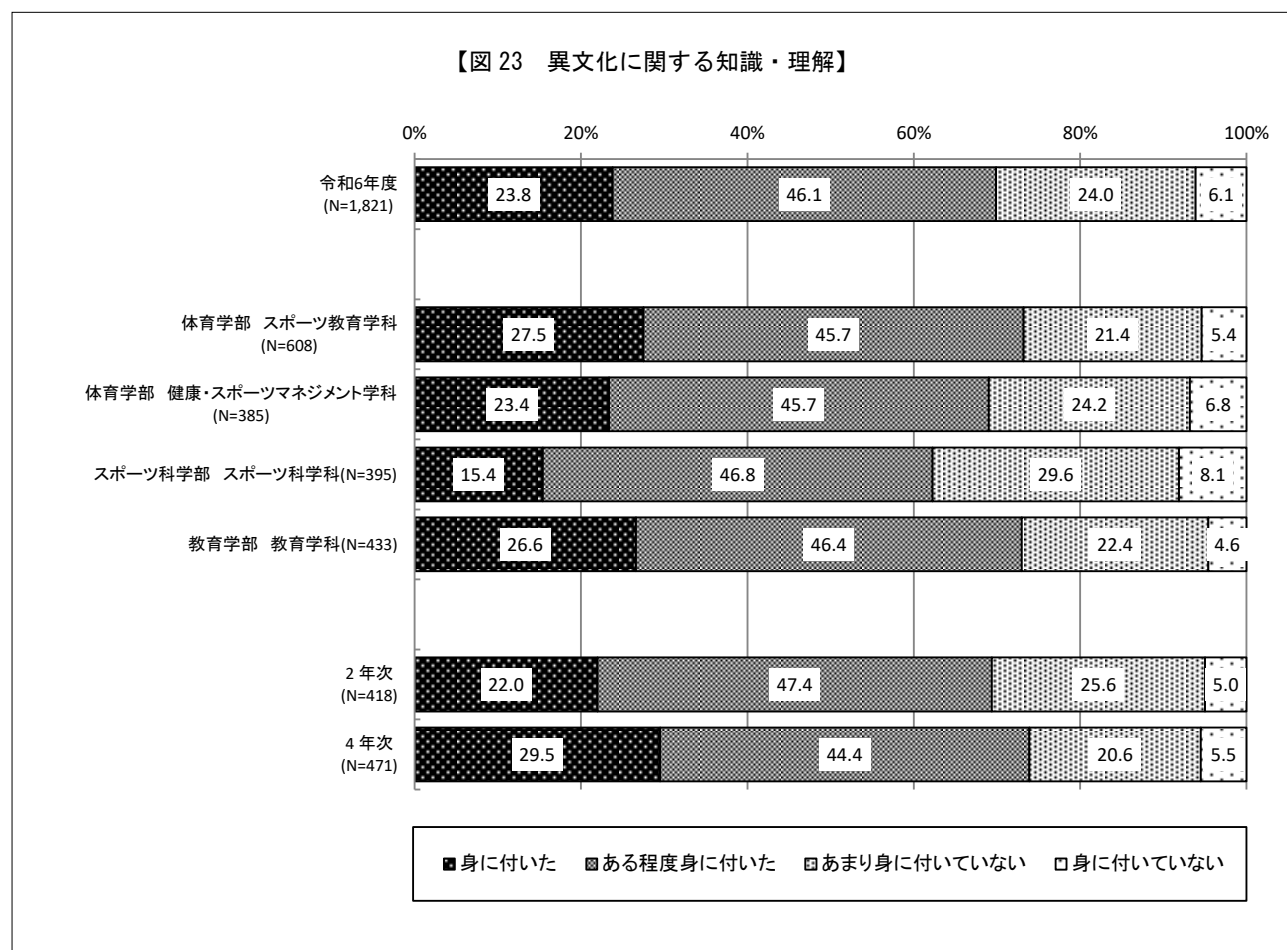
【結果概要(問 23)】

23. 異なる文化に関する知識・理解については、「ある程度身に付いた」が46.1%と最も多く、「身に付いた」の23.8%を合わせると、69.9%の学生が異文化に関する知識を得たと回答している。

所属学部・学科別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、体育学部スポーツ教育学科が73.2%で最も多く、次に教育学部教育学科(73.0%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科(69.1%)、スポーツ科学部スポーツ科学科(62.2%)となっている。

年次別でみると、「身に付いた」と「ある程度身に付いた」を合わせた割合は、2年次が69.4%、4年次が73.9%となっている。＜図23＞

■23. 異文化に関する知識・理解（学科別）



問 4. これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

【結果概要(問 24)】

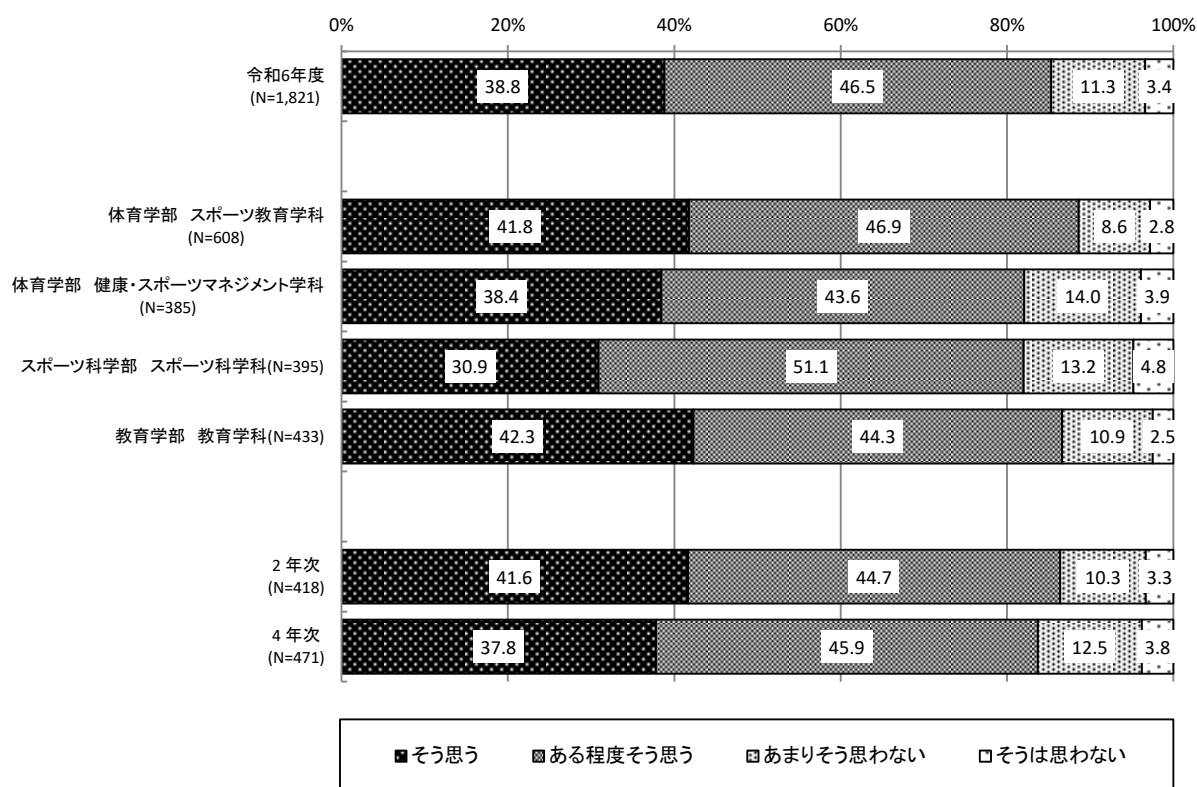
24. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修しているかについては、「ある程度そう思う」が 46.5%と最も多く、「そう思う」の 38.8%を合わせると、85.3%の学生が意識して学修していると回答している。

所属学部・学科別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合は、体育学部スポーツ教育学科が 88.7%で最も多く、次に教育学部教育学科 (86.6%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科とスポーツ科学部スポーツ科学科は同率の 82.0%となっている。

年次別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合は、2 年次が 86.3%、4 年次が 83.7%となっている。＜図 24＞

■ 24. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識した学修 (学科別)

【図 24 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識した学修】



【結果概要(問 25)】

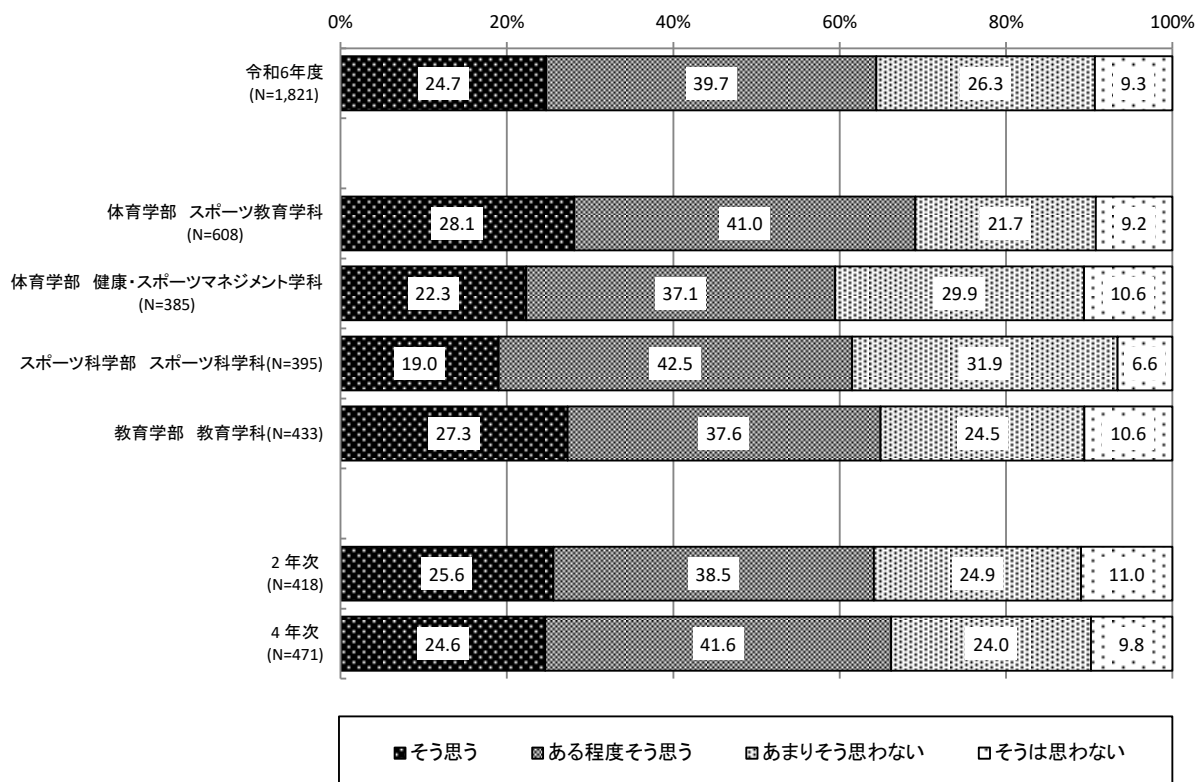
25. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっているかについては、「ある程度そう思う」が 39.7%と最も多く、「そう思う」の 24.7%を合わせると、64.4%の学生が大学教育が良くなっていると回答している。

所属学部・学科別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合は、体育学部スポーツ教育学科が 69.1%で最も多く、次に教育学部教育学科 (64.9%)、スポーツ科学部スポーツ科学科 (61.5%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科 (59.4%) となっている。

年次別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合は、2 年次が 64.1%、4 年次が 66.2%となっている。＜図 25＞

■ 25. 学生の意見による大学教育の改善度（学科別）

【図 25 学生の意見による大学教育の改善度】



【結果概要(問 26)】

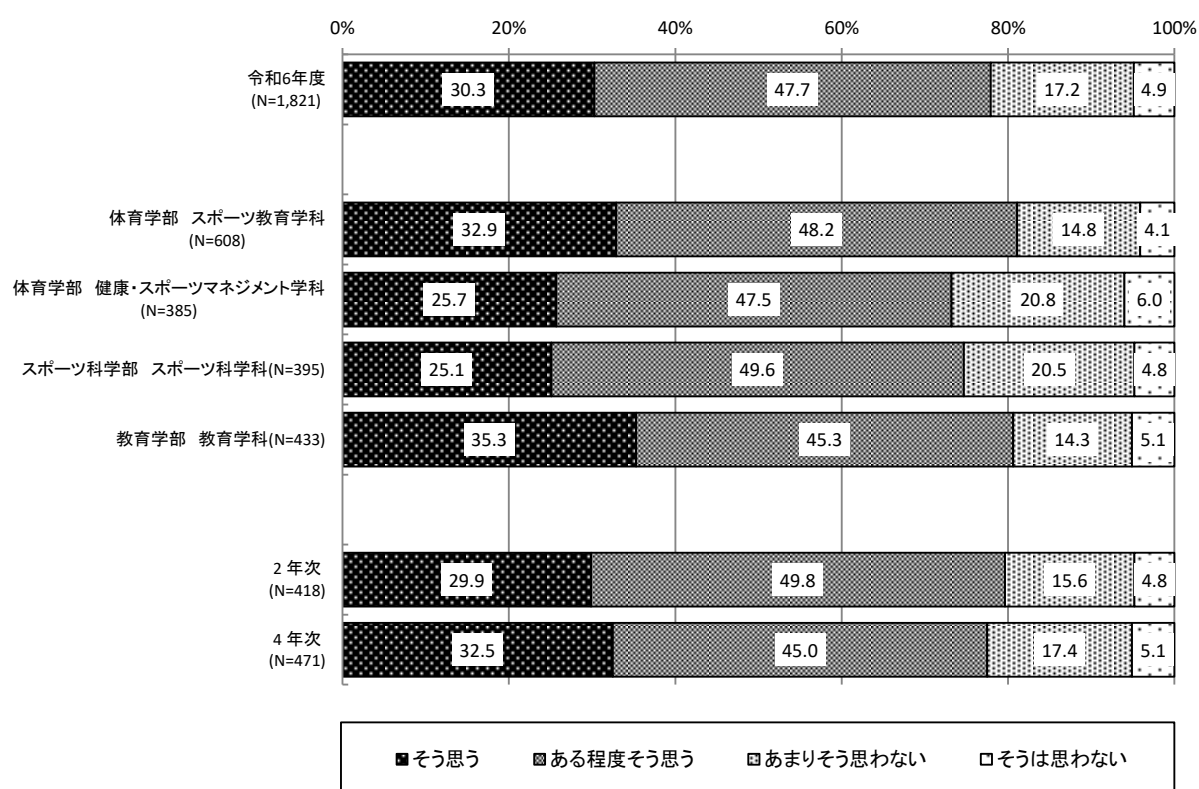
26. 教職員が熱心に教育に取り組んでいるかについては、「ある程度そう思う」が 47.7%と最も多く、「そう思う」の 30.3%を合わせると、78.0%の学生が教職員は熱心だと回答している。

所属学部・学科別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合は、体育学部スポーツ教育学科が 81.1%で最も多く、次に教育学部教育学科（80.6%）、スポーツ科学部スポーツ科学科（74.7%）、体育学部健康・スポーツマネジメント学科（73.2%）となっている。

年次別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合は、2 年次が 79.7%、4 年次が 77.5%となっている。＜図 26＞

■ 26. 教職員が熱心に教育に取り組んでいるか（学科別）

【図 26 教職員が熱心に教育に取り組んでいるか】



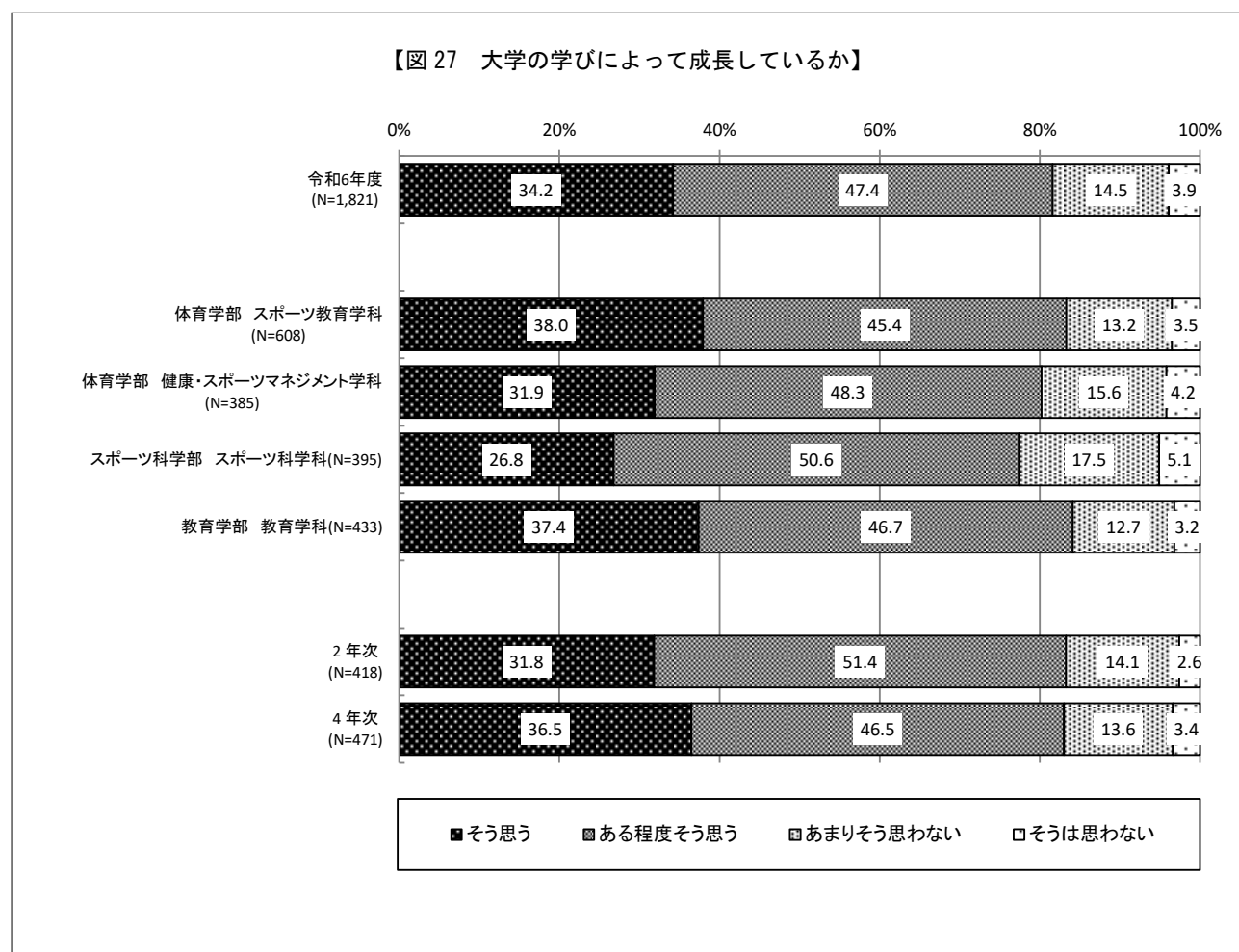
【結果概要(問 27)】

27. 大学の学びによって成長を実感しているかについては、「ある程度そう思う」が 47.4%と最も多く、「そう思う」の 34.2%を合わせると、81.6%の学生が成長を実感している。

所属学部・学科別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合は、教育学部教育学科が 84.1%で最も多く、次に体育学部スポーツ教育学科（83.4%）、体育学部健康・スポーツマネジメント学科（80.2%）、スポーツ科学部スポーツ科学科（77.4%）となっている。

年次別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合は、2 年次が 83.2%、4 年次が 83.0%となっている。＜図 27＞

■27. 大学の学びによって成長しているか（学科別）



問 5. 今年度後期の授業期間中の平均的な 1 週間(7 日間)の生活時間は、それぞれのくらいですか。

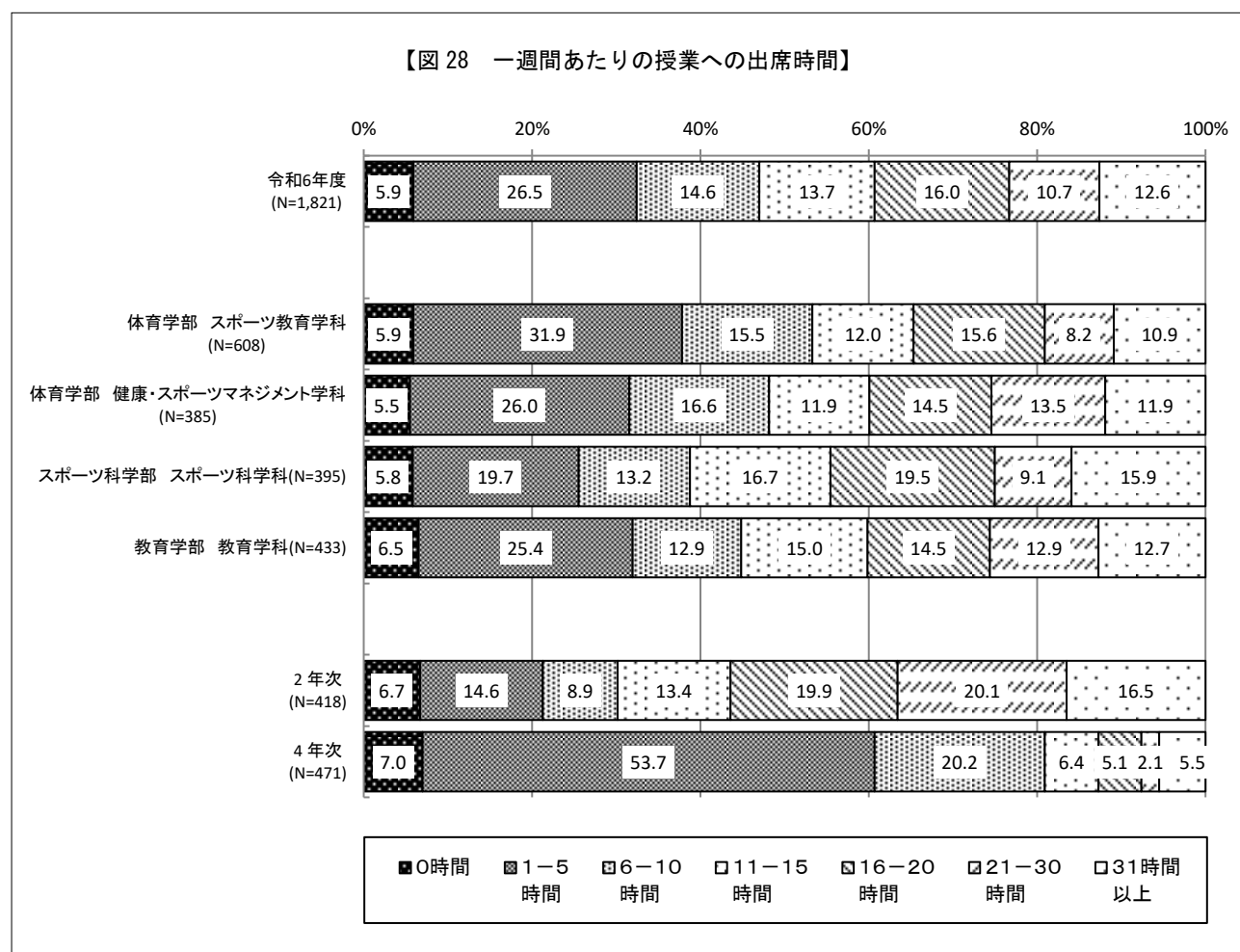
【結果概要(問 28)】

28. 一週間あたりの授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）時間については、「1－5 時間」が 26.5%と最も多くなっており、次に「16－20 時間」が 16.0%、「6－10 時間」が 14.6%となっている。

所属学部・学科別でみると、体育学部スポーツ教育学科は「1－5 時間」が 31.9%、スポーツ科学部スポーツ科学科は「16－20 時間」が 19.5%と他の学部・学科より多くなっている。

年次別でみると、2 年次は「21－30 時間」が 20.1%、4 年次は「1－5 時間」が 53.7%で最も多くなっている。＜図 28＞

■ 28. 一週間あたりの授業への出席時間（学科別）

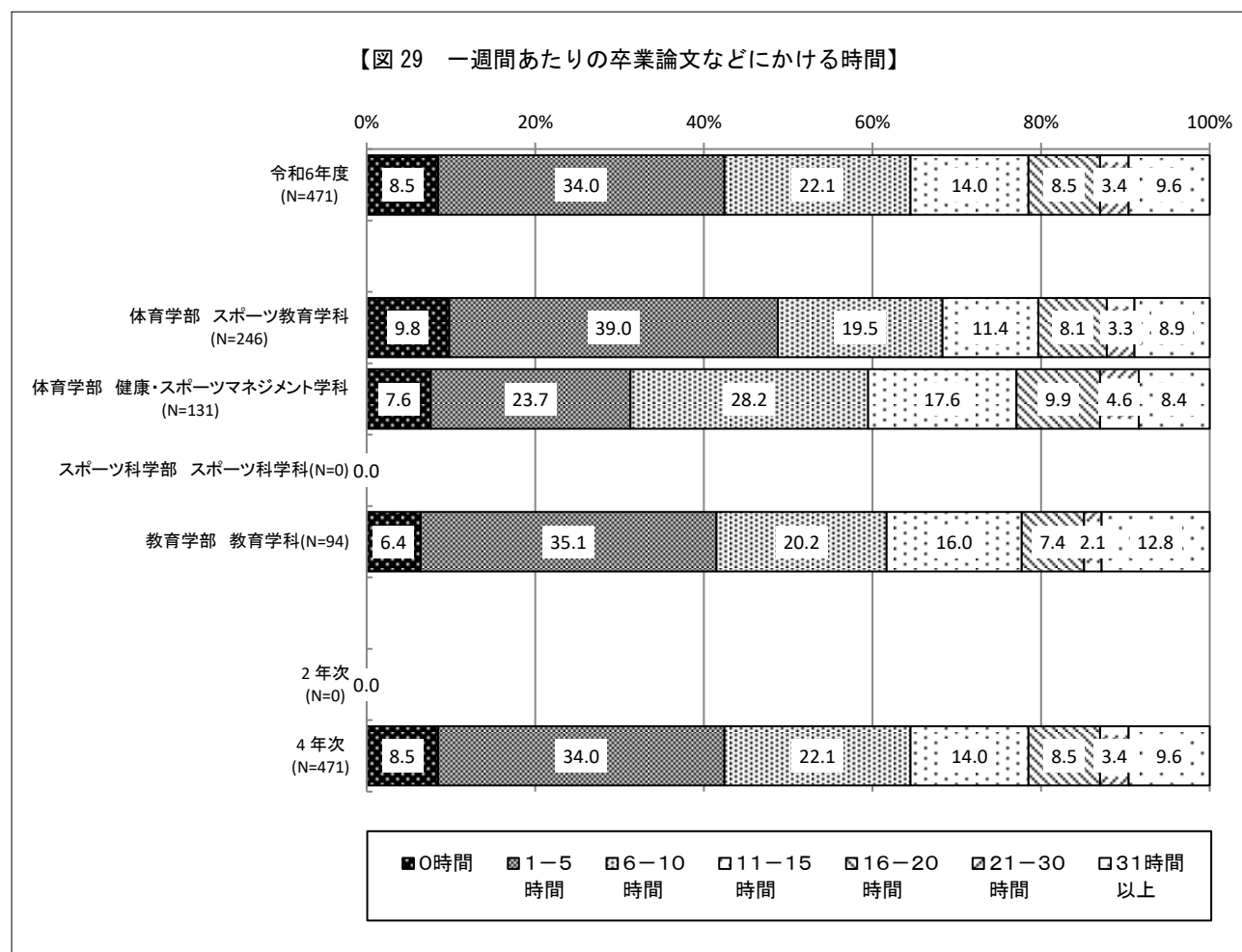


【結果概要(問 29)】

29. 一週間あたりの卒業論文・卒業研究・卒業制作（4年次のみ回答）にかかる時間については、「1－5 時間」が 34.0%と最も多くなっており、次に「6－10 時間」が 22.1%、「11－15 時間」が 14.0%となっている。

所属学部・学科別でみると、体育学部スポーツ教育学科は「1－5 時間」が 39.0%、体育学部健康・スポーツマネジメント学科は「6－10 時間」が 28.2%と他の学部・学科より多くなっている。＜図 29＞

■ 29. 一週間あたりの卒業論文などにかかる時間（学科別）



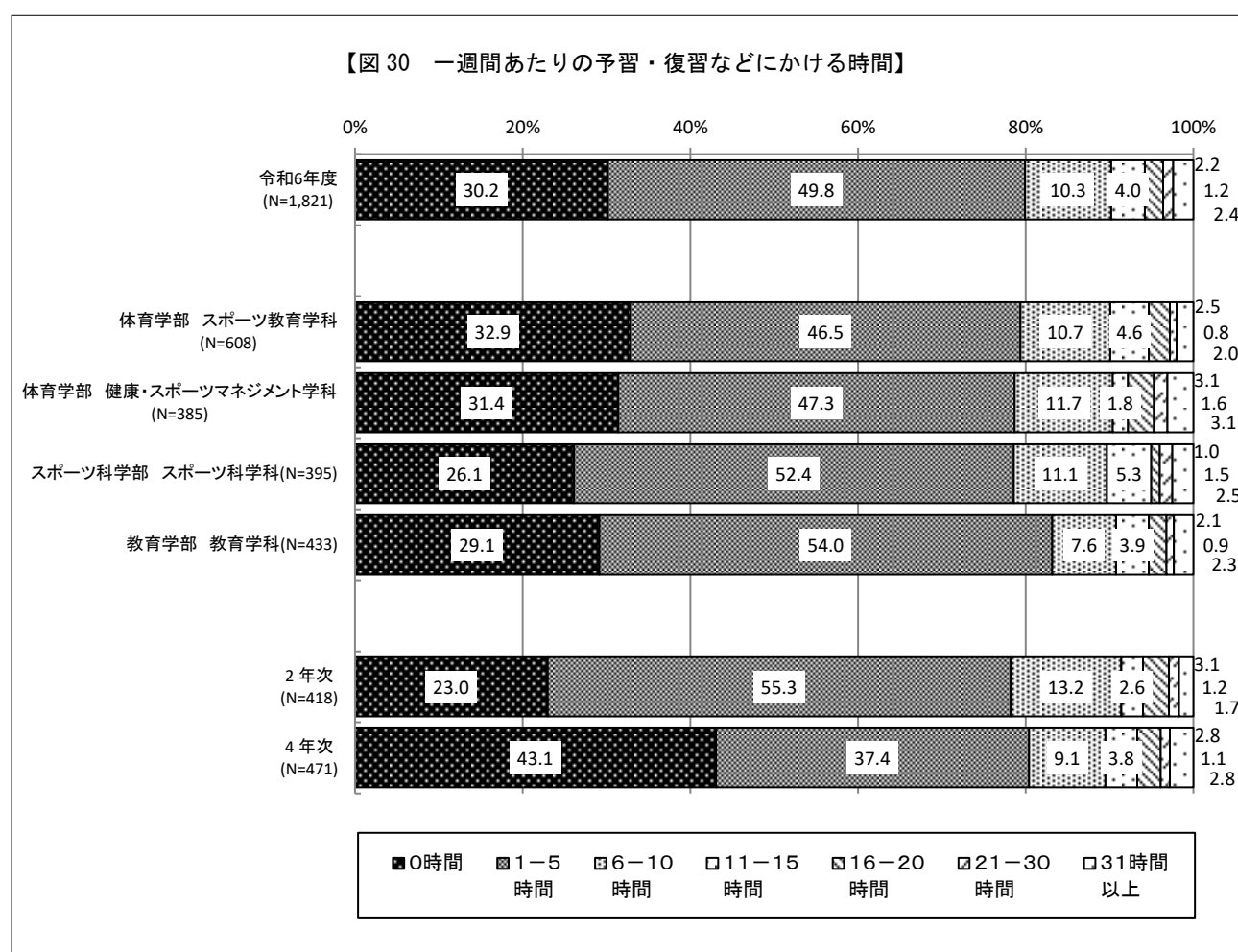
【結果概要(問 30)】

30. 一週間あたりの予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）にかかる時間については、「1－5 時間」が 49.8%と最も多くなっており、次に「0 時間」が 30.2%、「6－10 時間」が 10.3%となっている。

所属学部・学科別でみると、体育学部スポーツ教育学科は「0 時間」が 32.9%、教育学部教育学科は「1－5 時間」が 54.0%と他の学部・学科より多くなっている。

年次別でみると、2 年次は「1－5 時間」が 55.3%、4 年次は「0 時間」が 43.1%で最も多くなっている。＜図 30＞

■ 30. 一週間あたりの予習・復習などにかかる時間（学科別）



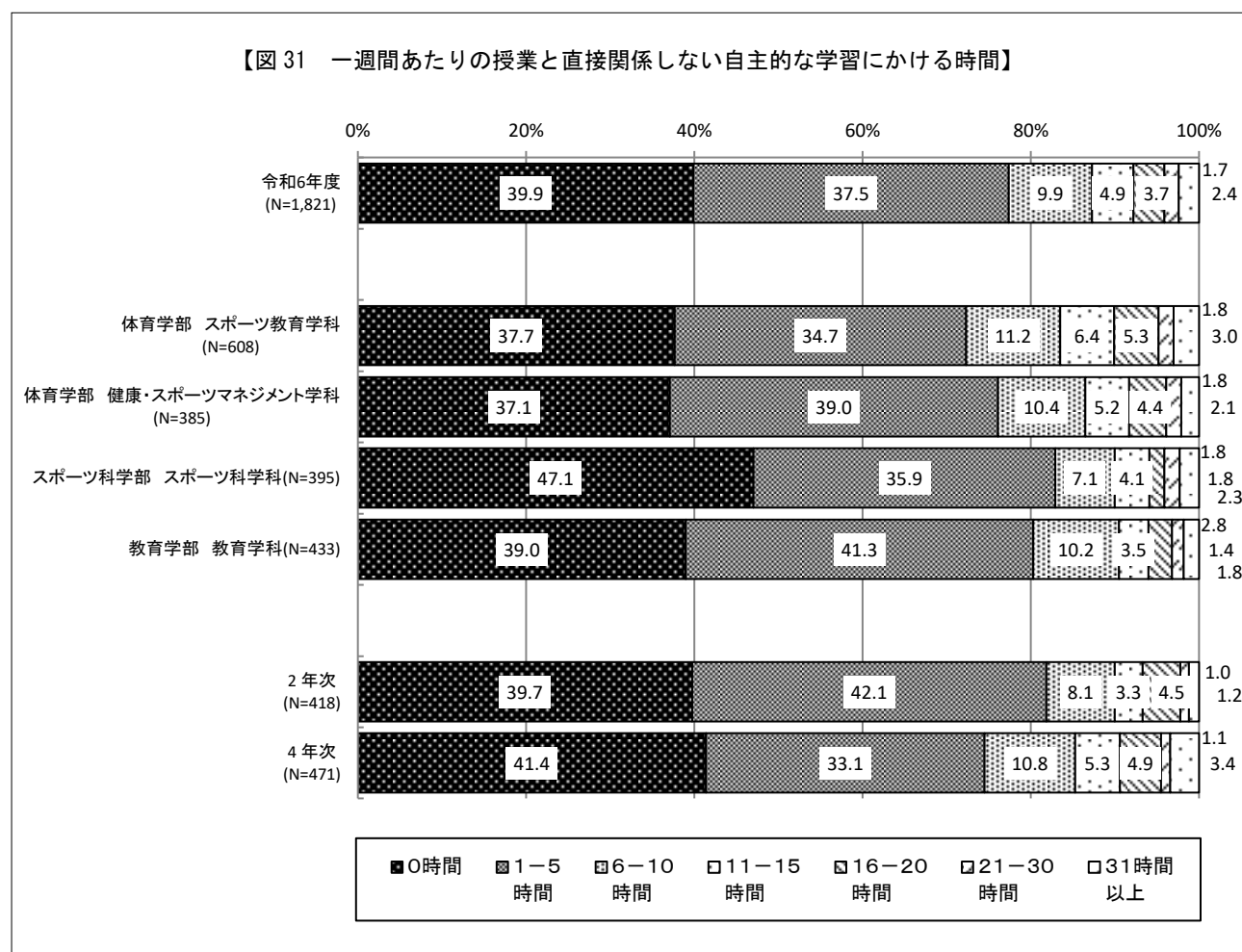
【結果概要(問 31)】

31. 一週間あたりの授業と直接関係しない自主的な学習（学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）にかかる時間については、「0 時間」が 39.9%と最も多くなっており、次に「1－5 時間」が 37.5%、「6－10 時間」が 9.9%となっている。

所属学部・学科別でみると、スポーツ科学部スポーツ科学科は「0 時間」が 47.1%、教育学部教育学科は「1－5 時間」が 41.3%と他の学部・学科より多くなっている。

年次別でみると、2 年次は「1－5 時間」が 42.1%、4 年次は「0 時間」が 41.4%で最も多くなっている。＜図 31＞

■31. 一週間あたりの授業と直接関係しない自主的な学習にかかる時間（学科別）



【結果概要(問 32)】

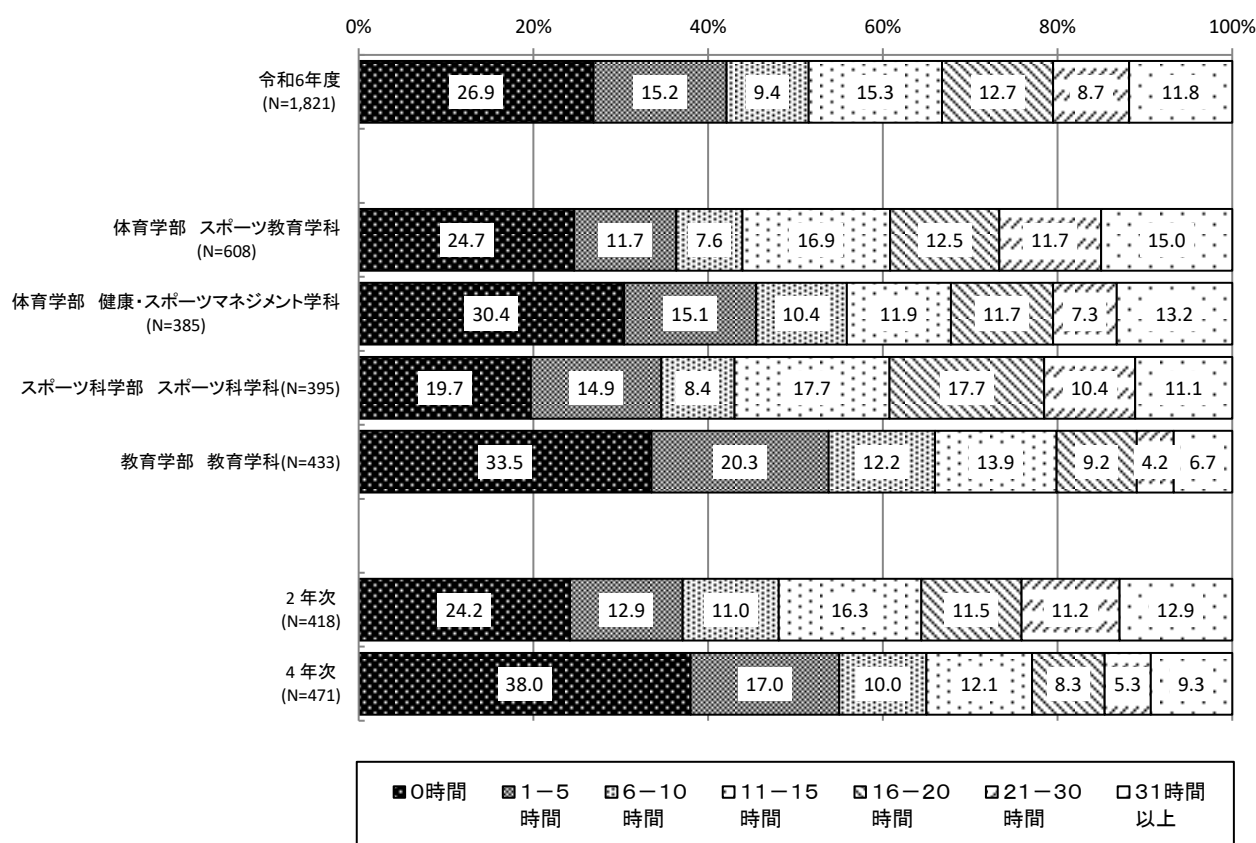
32. 一週間あたりの部活動／サークル活動にかかる時間については、「0 時間」が 26.9%と最も多くなっており、次に「11－15 時間」が 15.3%、「1－5 時間」が 15.2%となっている。

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科は「0 時間」(33.5%)と「1－5 時間」(20.3%)、スポーツ科学部スポーツ科学科は「11－15 時間」と「16－20 時間」(各 17.7%)、体育学部スポーツ教育学科は「21－30 時間」(11.7%)と「31 時間以上」(15.0%)で他の学部・学科より多くなっている。

年次別でみると、2 年次、4 年次ともに「0 時間」が最も多くなっており、それぞれ 24.2%、38.0%となっている。＜図 32＞

■ 32. 一週間あたりの部活動／サークル活動にかかる時間（学科別）

【図 32 一週間あたりの部活動／サークル活動にかかる時間】



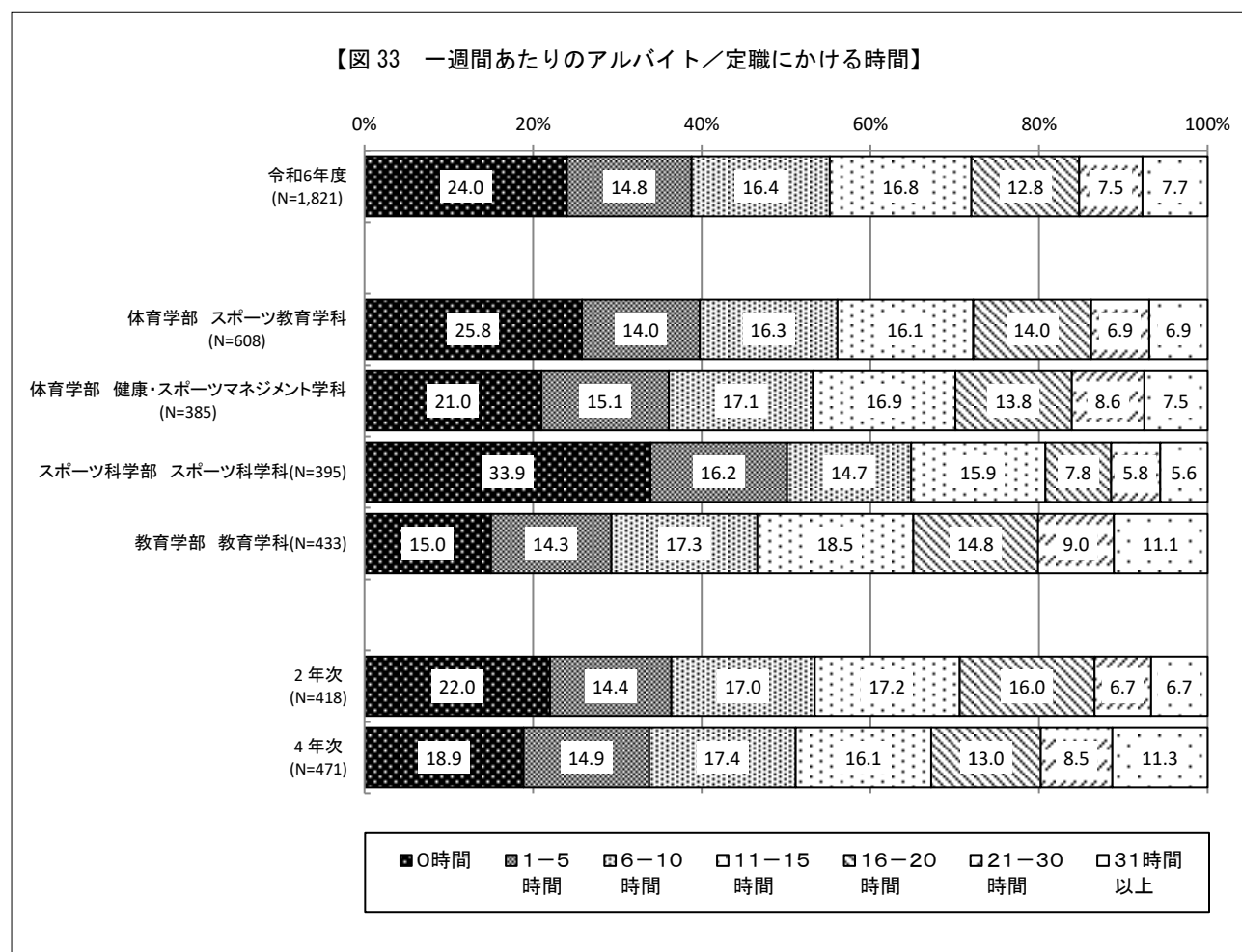
【結果概要(問 33)】

33. 一週間あたりのアルバイト／定職にかかる時間については、「0 時間」が 24.0%と最も多くなっており、次に「11－15 時間」が 16.8%、「6－10 時間」が 16.4%となっている。

所属学部・学科別でみると、スポーツ科学部スポーツ科学科は「0 時間」が 33.9%で最も多く、教育学部教育学科は「6－10 時間」以上の選択肢で、他の学部・学科より多くなっている。

年次別でみると、2 年次、4 年次ともに「0 時間」が最も多くなっており、それぞれ 22.0%、18.9%となっている。＜図 33＞

■33. 一週間あたりのアルバイト／定職にかかる時間（学科別）



【結果概要(問 34)】

本調査や大学での学びについての自由意見では記入者は 1,772 人、「特に意見はない」が 1,368 人で何らかの意見記入が 404 人となっている。

意見の中で「楽しかった・良かった・満足している」等の肯定的な意見は 106 件で最も多く、次に「授業」について 96 件、「アンケート」について 63 件となっている。

本調査や大学での学びについて	1775
楽しかった・良かった・満足している	106
授業	96
アンケート	63
大学での学びの内容	30
自分自身の今後の取り組み	20
感謝の言葉	17
大学の支援	15
施設・設備	12
食堂	11
教員・職員	9
交通手段・アクセス	3
学費が高い	2
その他	23
意見なし	1368

IV 資料編

調査票

令和6年度学生生活実態調査ご協力をお願い

この調査は、本学学生の生活実態及び学生の意識を把握することにより、大学運営の参考にし、より充実した学生生活の提供に資することを目的として実施するものです。

ご回答いただいた内容は全て統計資料としてのみ活用し、内容や意見が個人のものとして取り扱われることはありませんので、ありのままでできるだけ正確に回答してください。

令和6年11月

大阪体育大学

学生委員会

調査票の記入にあたって

1. 質問文で(複数回答可)と記載がある質問に関しては、あてはまる選択肢全てにチェックをつけてください。(複数回答可)と記載がない質問に関しては、選択肢の中から最もあてはまるもの1つだけにチェックをつけてください。
2. 回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
3. 回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
4. JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

1. 基本項目

F1 次のそれぞれの項目について、あてはまるものに○印をつけてください。

①所属学部・学科	1. 体育学部 スポーツ教育学科 コーチ教育コース(3、4年生)
	2. 体育学部 スポーツ教育学科 体育科教育コース(3、4年生)
	3. 体育学部 スポーツ教育学科 スポーツ心理・カウンセリングコース(3、4年生)
	4. 体育学部 スポーツ教育学科 (2年生)
	5. 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 スポーツマネジメントコース (3、4年生)
	6. 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 アスレティックトレーニングコース(3、4年生)
	7. 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 健康スポーツコース(3、4年生)
	8. 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 (2年生)
	9. 教育学部 教育学科 小学校教育コース (2～4年生)
	10. 教育学部 教育学科 保健体育教育コース (2～4年生)
	11. 教育学部 教育学科 幼児教育コース (2～4年生)
	12. 教育学部 教育学科(1年生)
	13. スポーツ科学部 スポーツ科学科(1年生)

②年次	1. 1年次 2. 2年次 3. 3年次 4. 4年次
③性別	1. 男 2. 女 3. その他
④入学方法	1. 総合型選抜・卒業生子女型選抜 2. 特別総合型選抜 3. 学校推薦型選抜(指定校推薦含む) 4. 一般選抜 5. 大学入学共通テスト利用選抜 6. その他の入試
⑤課外活動 (クラブ・同好会)	1. 参加している 2. 参加していない
⑥居住形態	1. 自宅 2. 自宅外で一人生活 → 問1へ 3. 自宅外で共同生活 → 問1へ ↳ 問2へ

2. 住居と暮らしについて

問1 上記⑥で「自宅外」と回答した方にお聞きます。家賃等(共益費等含む)はいくらですか。

1. 3万円未満	2. 3万円以上5万円未満	3. 5万円以上7万円未満
4. 7万円以上9万円未満	5. 9万円以上	

問2 大学への通学方法はどれですか。

1. 電車+バス	2. 電車+バイク	3. 電車+自転車	4. 自動車
5. バイク	6. 自転車	7. 徒歩	8. その他

問3 通学時間は、片道どれくらいですか。

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分以上60分未満 | 3. 60分以上90分未満 |
| 4. 90分以上120分未満 | 5. 120分以上 | |

問4 通学中に事故の経験がありますか。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. ある → 問4-1へ | 2. ない → 問5へ |
|---------------|-------------|

問4-1 どのような事故でしたか。(複数回答可)

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 自損事故(転倒など) | 2. 接触・衝突をした | 3. 接触・衝突をされた |
| 4. その他() | | |

問5 一ヶ月平均の生活費はいくらですか。(家賃等を除く)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 2万円未満 | 2. 2万円以上4万円未満 | 3. 4万円以上6万円未満 |
| 4. 6万円以上8万円未満 | 5. 8万円以上 | |

問6 家族からもらう生活費等の一ヶ月の平均金額はいくらですか。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 2万円未満 | 2. 2万円以上4万円未満 | 3. 4万円以上6万円未満 |
| 4. 6万円以上8万円未満 | 5. 8万円以上 | |

問7 あなたは自分の経済状況についてどのように感じていますか。

- | | | |
|----------|------------|--------|
| 1. 余裕がある | 2. やや余裕がある | 3. ふつう |
| 4. やや苦しい | 5. 苦しい | |

問8 アルバイトの週平均労働時間数はいくらか。

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. していない | → 問12へ |
| 2. 10時間未満 | } 問8-1へ |
| 3. 10時間以上20時間未満 | |
| 4. 20時間以上 | |

問8-1 主なアルバイトの時間帯はどれですか。

- | | | |
|----------------------|--------------------|----------------------|
| 1. 午前中(6:00～12:00) | 2. 昼間(12:00～17:00) | 3. 夕方～夜(17:00～24:00) |
| 4. 深夜から早朝(0:00～6:00) | 5. その他 [] | |

問9 アルバイトの月平均収入はいくらですか。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 2万円未満 | 2. 2万円以上4万円未満 | 3. 4万円以上6万円未満 |
| 4. 6万円以上8万円未満 | 5. 8万円以上 | |

問10 アルバイトをする理由は何ですか。(複数回答可)

- | | | | | |
|------------------|----------|----------|--------|-------------|
| 1. 生活費 | 2. 学費 | 3. 課外活動費 | 4. 交際費 | 5. 旅行・レジャー費 |
| 6. 携帯電話・インターネット費 | 7. その他 [| | |] |

問11 アルバイトが理由で授業を欠席したことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

3. 授業・学習について

問12 カリキュラム・時間割についてどう感じていますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1. 特に不満なし | |
| 2. 選択できる科目の種類が少ない | |
| 3. 科目数が多いので、どれを選択したらよいか分からない | |
| 4. 時間割が重なっているので、履修したい科目が選択できない | |
| 5. どの科目を履修したらよいか分からない | |
| 6. 先生の話聞く内容の科目が多く、自分たちで考え問題解決する科目が少ない | |
| 7. その他 [|] |

問13 履修科目全体のあなたの授業の出席状況はどれくらいですか。

- | | | |
|----------------|----------|----------------|
| 1. ほぼ100% | 2. 80%以上 | 3. 80%未満～60%以上 |
| 4. 60%未満～40%以上 | 5. 40%未満 | |

問14 履修科目全体の授業内容は理解できていますか。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. ほぼ理解できている | } 問15へ |
| 2. まあまあ理解できている | |
| 3. 多少困難である | } 問14-1へ |
| 4. ほとんど理解できていない | |

問14-1 「多少困難である」または「ほとんど理解できていない」と回答した方にお聞きます。
理解困難な理由はどれですか。(複数回答可)

1. 授業内容が高度すぎて理解できない科目が多い
2. 授業方法や教員の指導・助言が不十分である
3. 大学での学習方法が分からない
4. 自分の学力が不十分である
5. 自分の勉学の意欲や努力が不足している
6. わからない

問15 自分の考えや課題を発表する授業はありましたか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった |
| 4. まったくなかった | | |

問16 教員に質問したり、意見を述べたことはありましたか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった |
| 4. まったくなかった | | |

問17 学生同士が講義する授業はありましたか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった |
| 4. まったくなかった | | |

問18 定期的に小テストやレポートが課せられた授業はありましたか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった |
| 4. まったくなかった | | |

問19 一週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間はどれくらいですか。

- | | | |
|----------------|-----------------|---------------|
| 1. 0時間 | 2. 1時間未満 | 3. 1時間以上6時間未満 |
| 4. 6時間以上11時間未満 | 5. 11時間以上16時間未満 | 6. 16時間以上 |

問20 一週間あたりの授業とは直接関係のない勉強をしている時間はどれくらいですか。

- | | | |
|----------------|-----------------|---------------|
| 1. 0時間 | 2. 1時間未満 | 3. 1時間以上6時間未満 |
| 4. 6時間以上11時間未満 | 5. 11時間以上16時間未満 | 6. 16時間以上 |

問21 授業時間外に他の学生と授業内容について話し合ったり一緒に勉強したことがありましたか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった |
| 4. まったくなかった | | |

問22 教職員に学修に関する相談をしたことがありましたか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった |
| 4. まったくなかった | | |

問23 授業や課題のために図書館で資料・文献を調べたことがありましたか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった |
| 4. まったくなかった | | |

問24 授業や課題のためにインターネットで資料・文献を調べたことがありましたか。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった |
| 4. まったくなかった | | |

問25 オンライン授業に満足していますか。

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

問26 大学でどのような形態の授業を増やしてほしいですか。(複数回答可)

- | | | |
|---|------------|-----------------|
| 1. 少人数演習 | 2. グループワーク | 3. オンデマンド |
| 4. オンライン(遠隔双方向) | 5. 講義 | 6. 実技 |
| | | 7. PBL(課題解決型学習) |
| 8. 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) | | |
| 9. ディスカッション | 10. ディベート | 11. フィールドワーク |
| 12. プレゼンテーション | 13. 実習 | 14. 実験 |
| | | 15. わからない・特にない |

問27 ラーニングコモンズ(旧学習支援室)の利用についてお聞きます。

- | |
|--|
| 1. よく行って利用している |
| 2. たまに行って利用している |
| 3. ラーニングコモンズ(旧学習支援室)があるのを知っているが利用したことはない |
| 4. ラーニングコモンズ(旧学習支援室)があるのを知らない |

問28 大阪体育大学のポータルサイト(大学からの各種情報提供サイト)を知っていますか。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. よく知っており、毎日アクセスしている | 2. 名称は知っており、時々アクセスする |
| 3. 名称を知らないし、アクセスしたこともない | |

問29 Gmailを利用していますか。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 大学とプライベートの両方で利用している | 2. 大学との通信手段として利用している |
| 3. 公私ともにあまり利用していない | |

問30 Campus-Xs (旧Campusmate 休講情報や時間割の確認などが可能なサイト)を知っていますか。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. よく知っており、毎日アクセスしている | 2. 名称は知っており、時々アクセスする |
| 3. 名称を知らないし、アクセスしたこともない | |

問31 問28、問29、問30で「1」または「2」と回答した(ポータルサイト、Gmail、Campus-Xsを利用している)方のみ、利用している媒体をお答えください。(複数回答可)

- | | | | |
|----------------|------------|------------|------------|
| 1. 自宅(自分)のパソコン | 2. 大学のパソコン | 3. スマートフォン | 4. タブレット端末 |
|----------------|------------|------------|------------|

4. 課外活動等について

問32 学内の課外活動に参加していますか。

1. クラブに参加	}	問32-1へ
2. 同好会に参加		
3. 参加していたがやめた	}	問32-2へ
4. 当初から参加していない		

問32-1 一週間あたりの活動時間はどれくらいですか。

1. 5時間未満	2. 5時間以上10時間未満	3. 10時間以上15時間未満
4. 15時間以上20時間未満	5. 20時間以上	

問32-2 不参加(参加していたがやめたを含む)の理由は何ですか。(複数回答可)

1. 練習・活動についていけない	2. 人間関係	3. 経済的な負担
4. 時間的余裕がない	5. 学業の妨げになる	6. 面白くない
7. 学外での活動に参加したい・予定している		
8. その他 [		]

問33 大学祭(雨山祭)に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある → 問34へ	2. 参加したことがない → 問33-1へ
---------------------	-----------------------

問33-1 不参加の理由は何ですか。

1. クラブ等で忙しい	2. 興味がない	3. 内容が面白くない(面白くなさそう)
4. その他 [		]

5. 健康等について

問34 朝食を摂っていますか。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ほとんど毎日摂る → 問34-1へ | 2. 週に2～3回摂る → 問34-1へ |
| 3. 摂らない → 問35へ | |

問34-1 朝食は主にどこで摂っていますか。

- | | | |
|------------|--------|---------------------------------|
| 1. 自宅または下宿 | 2. 大学内 | 3. その他 [] |
|------------|--------|---------------------------------|

問35 三食の栄養摂取状況についてお答えください。(該当する物の数字をカッコ内に5つまで記入)

1. 主食(ご飯、麺類、パン等)	2. 野菜	3. 肉類	4. 魚介類
5. 豆類(豆腐、納豆等)	6. 卵	7. 海藻類	8. 乳製品
9. 果物	10. その他 []		



朝食 ⇒	()	()	()	()	()
昼食 ⇒	()	()	()	()	()
夕食 ⇒	()	()	()	()	()

問36 食生活についてどう感じていますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 特に不満なし | 2. 食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない → 問36-1へ |
| 3. 食べたいものが食べられない | 4. 野菜が不足している |
| 5. 栄養が偏っている | 6. インスタントや加工食品が多い |
| 7. 何を食べたらよいか分からない | |

問36-1 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由は何ですか。
(複数回答可)

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 身近にない | 2. 時間的余裕がない | 3. 経済的余裕がない | 4. 作るのが面倒 |
|----------|-------------|-------------|-----------|

問37 本学が通常授業日に毎日実施している「100円サンドウィッチ、100円スムージー、100円スープなど」について、お聞きます。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. ほぼ毎日利用している | 2. ときどき利用している |
| 3. たまに利用している | 4. 知っているが、利用したことがない |
| 5. 知らなかったので、利用したことがない | |

問37-1 「100円サンドウィッチ、100円スムージー、100円スープなど」について、感じたことはどれですか。(複数回答可)

- | |
|-----------------------|
| 1. 良い試みなので、今後も継続してほしい |
| 2. 種類が増えたのが良い |
| 3. 提供数を増やしてほしい |
| 4. あまり関心がない |
| 5. 意味がないので、やめた方がよい |
| 6. その他 [] |

問38 大学で仲良くしている友人とは、何をきっかけに知り合いましたか。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|--------------|------------------|
| 1. 同じ高校 | 2. 入学式 | 3. 入学後のオリエンテーション |
| 4. 大学1年生時の授業 | 5. 大学2年生時の授業 | 6. 大学のクラブ・同好会 |
| 7. ゼミ | 8. その他 [] | |

6. 不安や悩みについて

問39 現在、悩みや課題はありますか。

- | | | |
|-------|---------|-----------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ほとんどない |
|-------|---------|-----------|

問40 悩みや課題の具体的内容は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|--------------|---------------|-------------|------------|
| 1. クラブ・同好会活動 | 2. 学業 | 3. 就職・進路など | |
| 4. 対人関係(友人等) | 5. 対人関係(教職員等) | 6. 身体上の健康 | 7. 精神上的の健康 |
| 8. 家族の問題 | 9. 学生生活 | 10. 恋愛 | |
| 11. ハラスメント | 12. 悩み・課題なし | 13. その他 [] | |

問41 悩みは誰に相談しますか。(複数回答可)

- | | | | |
|-------------------------|---------------|-------------------|--------------|
| 1. 家族 父母 | 2. 家族 兄弟姉妹 | 3. 大学の友人(クラブ・同好会) | |
| 4. 大学の友人(クラブ・同好会以外) | 5. 大学以外の友人 | 6. 大学の教員 | |
| 7. 学生相談室・スポーツカウンセリングルーム | 8. キャリア支援センター | | |
| 9. 教職支援センター | 10. 教学部 | 11. 身近にいない | 12. 誰にも相談しない |
| 13. 相談する人がいない | 14. その他 [] | | |

問42 学生相談室・スポーツカウンセリングルームについてお答えください。

1. 利用したことがある
2. 存在は知っているが利用したことはない
3. 存在を知らないので利用したことがない

7. マナー等について

問43 マナーアップキャンペーンについてお答えください。

1. 参加したことがある
2. キャンペーンをしていることは知っている
3. 全然知らない

問44 あなたが悪いと思う学生のマナーをお答えください。(複数回答可)

- | | | |
|------------------|-------------|-------------------|
| 1. 授業中の私語 | 2. 授業中の携帯電話 | 3. 教室内での飲食 |
| 4. ゴミの捨て方 | 5. 食堂でのマナー | 6. 通学時のバイク等の交通マナー |
| 7. ロッカールームの整理・整頓 | 8. その他 [|] |

問45 あなたは学内で何らかの被害にあったことがありますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. かばん、服、靴などの盗難被害 | 2. 財布・現金等の盗難被害 |
| 3. 自動車・バイク・自転車の盗難被害 | 4. 痴漢・のぞき等被害 |
| 5. 暴行・傷害被害 | 6. ストーカー被害 |
| 7. 霊感、マルチなどの悪徳商法の被害 | 8. 新興宗教などへの強引な勧誘被害 |
| 9. いじめ被害 | 10. その他被害 [|
| 11. 被害にあったことはない |] |

8. 進路と就職について

問46 あなたの将来の希望職種は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|---------------|-----------------|----------------------|-----------|
| 1. 教員 | 2. 警察官 | 3. 消防士 | 4. その他公務員 |
| 5. 企業(スポーツ関係) | 6. 企業(スポーツ関係以外) | 7. 生涯スポーツ(フィットネス等)関係 | |
| 8. 医療・福祉関係 | 9. プロ・実業団選手 | 10. 幼児教育 | |
| 11. 大学院進学 | 12. まだ決めていない | 13. その他 [|] |

問47 あなたの進路を考える上での情報の入手手段は何ですか。(複数回答可)

1. 指導教員(ゼミ)	2. クラブ・同好会指導教職員	3. 先輩・知人
4. 就職情報誌・マスコミ	5. 家族	6. インターネット
7. キャリア支援センター	8. 授業(キャリアデザイン等)	
9. 教職支援センター	10. キャリアフェスタ	11. その他 []

問48 大学卒業後の進路に向けた準備・活動をいつ頃から始めようと考えていますか
(あるいはいつ頃から始めましたか)。

1. 大学入学前	2. 大学1年生	3. 大学2年生	4. 大学3年生前期
5. 大学3年生夏休み	6. 大学3年生後期	7. 大学4年生前期	8. 大学4年生夏休み以降
9. 在学中は活動しない	10. 就職するつもりがない	11. わからない	

問49 あなたはキャリア支援センターを利用していますか。

1. よく利用している	→ 問49-1へ	2. たまに利用している	→ 問49-1へ
3. ほとんど利用していない	→ 問49-2へ		

問49-1 キャリア支援センターをどのように利用していますか。(複数回答可)

1. 進路相談をする	2. 面接練習をする	3. 書類を添削してもらう
4. 書籍・参考書を閲覧する	5. 求人票(紙媒体)の閲覧をする	
6. 新聞・朝刊・夕刊のトピックスを閲覧する	7. PCを利用する	
8. 企業内定者、公務員合格者のメッセージを閲覧する	9. 大体大キャリアNAVIを使用する	
10. 講座・模試(公務員、企業、SPI、TOEIC)へ参加する		
11. その他 []		

問49-2 キャリア支援センターを利用していない理由は何ですか。

1. キャリア支援センターの存在を知らない	2. 利用方法が分からない
3. 利用しても役に立たないと思う	4. その他 []

問50 あなたは教職支援センターを利用していますか。

- | | | | |
|----------------|----------|--------------|----------|
| 1. よく利用している | → 問50-1へ | 2. たまに利用している | → 問50-1へ |
| 3. ほとんど利用していない | → 問50-2へ | | |

問50-1 教職支援センターをどのように利用していますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 教育実習・介護等体験などの相談をする | |
| 2. 教員採用試験など、教員採用に関する相談をする | |
| 3. 面接・模擬授業の練習をする | 4. 書類を添削してもらう |
| 5. 資料を閲覧する | 6. 自習をする |
| | 7. その他 [] |

問50-2 教職支援センターを利用していない理由は何ですか。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 教職支援センターの存在を知らない | 2. 利用方法が分からない |
| 3. 利用しても役に立たないと思う | 4. その他 [] |

9. ボランティア活動について

問51 あなたはボランティア活動の経験がありますか。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. ある → 問51-1へ | 2. ない → 問51-2へ |
|----------------|----------------|

問51-1 ボランティア活動に参加した理由は何ですか。(複数回答可)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| 1. 社会勉強 | 2. 大学生活充実のため | 3. 困った人を助けるため |
| 4. 就職に役立てる | 5. 自分を試したかった | 6. 参加団体の活動として |
| 7. 友人に誘われて | 8. 環境保全や文化財保護 | 9. 宗教上の理由 |
| 10. その他 [] | | |

問51-2 なぜボランティア活動の経験がないのですか。(複数回答可)

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. きっかけがない | 2. 時間がない | 3. 情報がない |
| 4. 勇気がない | 5. できないと思う | 6. 認識がない |

問52 ボランティア活動への興味・関心がありますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. ある → 問52-1へ | 2. ない → 問53へ |
|----------------|--------------|

問52-1 興味・関心がある方にお聞きします。

参加を希望するボランティア活動内容は何か。(複数回答可)

1. スポーツ指導	2. 障がい者支援	3. 幼児・児童支援	4. 生徒支援
5. 高齢者支援	6. 地域活動(まちづくり活動)	7. 災害復興支援	
8. 環境保全活動	9. 国際交流活動(国内外)	10. その他 [	]

問53 ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて何が必要と思いますか。
(複数回答可)

1. ボランティア活動の意義等についてのセミナーなどで啓発する
2. ボランティア活動希望者への研修会を実施する
3. ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる
4. ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する
5. 授業科目として単位を認定する
6. 特に必要と思うことはない

10. 大学施設等について

問54 大学内で空き時間に利用(滞在)する施設はどれですか。(複数回答可)

1. 食堂	2. 教室	3. グラウンド	4. 体育館	5. C号館レストラン
6. P号館学生ホール	7. セミナーハウス学生ホール	8. 部室	9. 図書館	
10. トレーニングルーム(S&C)・ATルーム	11. ラーニングコモンズ(旧学習支援室)			
12. 教員研究室	13. その他 [			]

問55 図書館利用についてお答えください。

1. いつも利用している	2. たまに利用している	3. ほとんど利用していない
--------------	--------------	----------------

問55-1 あなたは新聞をよく読みますか。(ネットニュースを含みます)

1. よく読んでいると思う	2. とくとき読んでいる	3. あまり読まない
4. ほぼ読まない		

問55-2 あなたは本をよく読みますか。(デジタル書籍を含みます)

1. よく読んでいると思う	2. とくとき読んでいる	3. あまり読まない
4. ほぼ読まない		

問56 トレーニングルーム(S&C)・ATルームの利用についてお答えください。

- | | | | |
|----------------|----------|--------------|----------|
| 1. いつも利用している | → 問56-1へ | 2. たまに利用している | → 問56-1へ |
| 3. ほとんど利用していない | → 問57へ | | |

問56-1 一週間あたりの利用時間はどれくらいですか。

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| 1. 2時間未満 | 2. 2時間以上5時間未満 | 3. 5時間以上10時間未満 |
| 4. 10時間以上 | | |

問57 大学内で昼食時に利用する施設はどれですか。(複数回答可)

- | | | | |
|-------------|-------------|-----------------|--------|
| 1. 食堂 | 2. 教室 | 3. グラウンド | 4. 体育館 |
| 5. C号館レストラン | 6. P号館学生ホール | 7. セミナーハウス学生ホール | |
| 8. 部室 | 9. その他 [| |] |

問58 食堂をどのくらいの頻度で利用しますか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週3～4日 | 3. 週1～2日 |
| 4. 月1～2日 | 5. 利用しない | → 問58-1へ |

問58-1 食堂を利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|--------------|-----------|-------------|-----------|
| 1. 価格が高い | 2. 味があわない | 3. メニューが少ない | 4. 混雑している |
| 5. 弁当を持参している | 6. その他 [| |] |

問59 食堂の混雑状況についてお答えください。

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------------|
| 1. いつも混んでいる | 2. 時間帯により混んでいる | 3. 混んでいるので利用しない |
| 4. 利用しないのでわからない | | |

問60 食堂の利用時間や営業時間についてお答えください。(複数回答可)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 夏休みや春休みなど授業がない日も営業してほしい | 2. 日曜日や祝日も営業してほしい |
| 3. 平日の夜間も営業してほしい | 4. 今のままでよい |

問61 あなたは普段1回の昼食代にどの程度のお金を使いますか。最も多い価格帯を1つ選んでください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 300円未満 | 2. 300円以上400円未満 | 3. 400円以上500円未満 |
| 4. 500円以上600円未満 | 5. 600円以上 | |

問62 食べたいメニュー(新メニュー)はありますか。(自由記述)

問63 食堂の改善点や要望・感想(自由記述)等があればご記入ください。

問64 大学事務局の窓口の対応をどう思いますか。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満足である | 5. 不満足である | |

問65 大阪体育大学の学生生活に満足していますか。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満足である | 5. 不満足である | |

11. 大学への意見・要望

ご協力ありがとうございました。

ここからは、文部科学省で実施している「令和6年度 全国学生調査(第4回試行実施)」の質問項目となります。(選択式33問・自由記述式1問)

文部科学省では、学生の皆さん一人ひとりのまだ美の実態を把握し、大学教育を改善していくための「全国学生調査」を実施します。いただいた回答は、匿名により個人が特定されない形で所属大学へ提供し、各大学の教育改善に活用していただきます。(本人以外はどなたが回答したかわかりません。)この機会に、皆さんの声をぜひ聞かせてください。(所要時間:約10分)

1. あなたが在籍する学部(学科)を選択してください。(回答省略)
2. 学部(学科)の分野を選択してください。(回答省略)
3. あなたの学年を選択してください。(回答省略)

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

4. 理解がしやすいように教え方が工夫されていた。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ある程度あった | 3. あまりなかった |
| 4. なかった | | |

5. 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ある程度あった | 3. あまりなかった |
| 4. なかった | | |

6. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ある程度あった | 3. あまりなかった |
| 4. なかった | | |

7. グループワークやディスカッションの機会がある。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ある程度あった | 3. あまりなかった |
| 4. なかった | | |

8. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ある程度あった | 3. あまりなかった |
| 4. なかった | | |

9. ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. よくあった | 2. ある程度あった | 3. あまりなかった |
| 4. なかった | | |

問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は⑤を選択してください。

10. インターンシップ(5日間以上)

1. 有用だった	2. ある程度有用だった	3. あまり有用ではなかった
4. 有用ではなかった	5. 経験していない	

11. 海外留学・海外研修(短期も含む)

1. 有用だった	2. ある程度有用だった	3. あまり有用ではなかった
4. 有用ではなかった	5. 経験していない	

12. 主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)

1. 有用だった	2. ある程度有用だった	3. あまり有用ではなかった
4. 有用ではなかった	5. 経験していない	

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

13. 専門分野に関する知識・理解

1. 身に付いた	2. ある程度身に付いた	3. あまり身に付いていない
4. 身に付いていない		

14. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観

1. 身に付いた	2. ある程度身に付いた	3. あまり身に付いていない
4. 身に付いていない		

15. 文献・資料を収集・分析する力

1. 身に付いた	2. ある程度身に付いた	3. あまり身に付いていない
4. 身に付いていない		

16. 論理的に文章を書く力

1. 身に付いた	2. ある程度身に付いた	3. あまり身に付いていない
4. 身に付いていない		

17. 人に分かりやすく話す力

- | | | |
|-------------|--------------|----------------|
| 1. 身に付いた | 2. ある程度身に付いた | 3. あまり身に付いていない |
| 4. 身に付いていない | | |

18. 外国語を使う力

- | | | |
|-------------|--------------|----------------|
| 1. 身に付いた | 2. ある程度身に付いた | 3. あまり身に付いていない |
| 4. 身に付いていない | | |

19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能

- | | | |
|-------------|--------------|----------------|
| 1. 身に付いた | 2. ある程度身に付いた | 3. あまり身に付いていない |
| 4. 身に付いていない | | |

20. 問題を見つけて解決方法を考える力

- | | | |
|-------------|--------------|----------------|
| 1. 身に付いた | 2. ある程度身に付いた | 3. あまり身に付いていない |
| 4. 身に付いていない | | |

21. 他者と協働する力

- | | | |
|-------------|--------------|----------------|
| 1. 身に付いた | 2. ある程度身に付いた | 3. あまり身に付いていない |
| 4. 身に付いていない | | |

22. 幅広い知識、ものの見方

- | | | |
|-------------|--------------|----------------|
| 1. 身に付いた | 2. ある程度身に付いた | 3. あまり身に付いていない |
| 4. 身に付いていない | | |

23. 異なる文化に関する知識・理解

- | | | |
|-------------|--------------|----------------|
| 1. 身に付いた | 2. ある程度身に付いた | 3. あまり身に付いていない |
| 4. 身に付いていない | | |

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

24. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。

- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. あまりそうは思わない |
| 4. そうは思わない | | |

25. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。

- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. あまりそうは思わない |
| 4. そうは思わない | | |

26. 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。

- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. あまりそうは思わない |
| 4. そうは思わない | | |

27. 大学の学びによって成長を実感している。

- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. あまりそうは思わない |
| 4. そうは思わない | | |

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

28. 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)

- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 0時間 | 2. 1-5時間 | 3. 6-10時間 | 4. 11-15時間 |
| 5. 16-20時間 | 6. 21-30時間 | 7. 31時間以上 | |

29. 卒業論文・卒業研究・卒業制作
究・卒業制作(2年生は回答しない)

- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 0時間 | 2. 1-5時間 | 3. 6-10時間 | 4. 11-15時間 |
| 5. 16-20時間 | 6. 21-30時間 | 7. 31時間以上 | |

30. 予習・復習・課題など授業に関する学習(卒業論文等は除く)

- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 0時間 | 2. 1-5時間 | 3. 6-10時間 | 4. 11-15時間 |
| 5. 16-20時間 | 6. 21-30時間 | 7. 31時間以上 | |

31. 授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)

1. 0時間	2. 1-5時間	3. 6-10時間	4. 11-15時間
5. 16-20時間	6. 21-30時間	7. 31時間以上	

32. 部活動／サークル活動

1. 0時間	2. 1-5時間	3. 6-10時間	4. 11-15時間
5. 16-20時間	6. 21-30時間	7. 31時間以上	

33. アルバイト／定職

1. 0時間	2. 1-5時間	3. 6-10時間	4. 11-15時間
5. 16-20時間	6. 21-30時間	7. 31時間以上	

34. 本調査や、大学での学びについて意見がありましたら教えてください。(自由記述)

令和6年度 学生生活実態調査 報告書

令和7年3月

編集・発行 大阪体育大学 学生委員会
教学部学生支援担当
